

熊本県院内がん登録データに係る統計

— 2023 年診断症例 —

熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会

目 次

はじめに	1
収集データについて	2
院内がん登録 標準登録様式	3
統計使用項目一覧	5
統計独自項目	6
統計独自区分一覧	6

I. 施設全体統計

がん登録部会参加施設 - 2023 年診断症例	9
1. 令和5年の熊本県の状況と 2023 年診断症例の件数に関する概要	10
2. 診断年別 登録件数	12
3. 診断年別 患者住所医療圏別登録件数	12
4. 患者住所医療圏別 部位別登録件数	13
5. 診断年別 年代別登録件数	14
6. 診断年別 平均年齢	14
7. 性別年代別 主要部位別登録内訳	15
8. 主要部位別 登録件数と割合	16
9. 診断年別 主要部位別登録件数	16
10. 主要部位別病期分類(総合 Stage)	17
11. 主要部位別治療の内訳	17
12. 5大部位(総合 Stage 別)の主な治療内訳	18
13. 診断年別 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)	19
14. 施設別 主要部位別登録件数	19
15. 施設別 治療(初回治療開始+初回治療継続)件数	20
16. 5大部位別 施設別治療の内訳	20
17. 施設別 患者住所構成割合	22
18. 診断年別 部会統計参加施設による全国がん登録届出状況(概算)	24
19. 集計年別 5年生存率の推移	25

(がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計報告書より)

目 次

Ⅱ．施設別統計

国立大学法人 熊本大学病院	29
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	37
独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター	45
荒尾市立 有明医療センター	53
独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	61
熊本赤十字病院	69
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	77
一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター	85
独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院	93
独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター	101
独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院	109
国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	117
国保 水俣市立総合医療センター	125
医療法人創起会 くまもと森都総合病院	133
一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター	141
社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院	149
山鹿市民医療センター	157
独立行政法人国立病院機構 熊本南病院	165
阿蘇医療センター	173
熊本市立 熊本市民病院	181
地方独立行政法人 くまもと県北病院	189
社会医療法人黎明会 宇城総合病院	197
球磨郡公立 多良木病院	205

<各施設別に以下作成>

表紙（概要、コメント）

- ① 患者住所医療圏別登録の状況（2023年診断症例）
- ② 平均年齢と年次比較
- ③ 発見経緯 5 大部位の内訳
- ④ 性別主要部位別件数と平均年齢
- ⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布
- ⑥ 診断年別主要部位別登録件数
- ⑦ 主要部位別病期分類（総合 Stage）
- ⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）
- ⑨ 主要部位別治療の内訳
- ⑩ 5 大部位（総合 Stage 別）の主な治療

はじめに

本統計資料をご覧くださいましてまことにありがとうございます。

熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会は、熊本県におけるがん対策を推進する目的で設置された「熊本県がん診療連携協議会」の一組織として、県内における院内がん登録の普及啓発、登録精度向上、登録データの利活用等の活動を行っています。平成 18 年以降、国指定のがん診療連携拠点病院 7 施設と、熊本県が独自に指定している熊本県がん診療連携拠点病院 14 施設、その他に院内がん登録を実施している医療機関等に参画いただきながら、部会活動の拡充を図っているところです。

さて本資料は、部会活動の一環として平成 21 年度から発行しているもので、今回で 17 回目となります。部会参加 24 施設中、23 施設の院内がん登録データ（2023 年診断症例）を収集し、統計参加施設全体の集計と、施設別の集計を行いました。

熊本県全体のがん診療の状況とともに、各施設でどのようながんを対象に診療を行っているか、主としてどの地域のがん患者様を対象として診療を行っているかなどの状況を表す内容となっています。また、参加施設が自施設の集計データに関するコメントを掲載していますので、集計データとあわせてご覧いただくことで、各施設のがん診療の特徴をより具体的に捉えていただけるものと考えています。

2023 年診断症例は、前年と同じ参加施設数による集計となりましたが、前年より 546 件増の 19,263 件と過去最多の登録数になりました。施設別に見ますと、前年の登録数より 50 件以上増加した施設は 6 施設にのぼり、一方で 50 件以上減少した施設はなく、40 件以上 50 未満の減少が 2 施設でした。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が 2023 年 5 月より 5 類へと移行し、受診控えなどが解消されつつあることも影響していると思われます。

さて、本県では 2023 年 4 月より、熊本大学病院において「がんゲノム医療拠点病院」の指定を受けました。これにより県内外から、がんゲノム検査の需要が高まることが予想され、がん患者の診断および治療成績に少しでも貢献できるのではないかと期待するところです。

本資料が熊本県内のがん診療の状況をご理解いただくための一資料として、医療関係者をはじめ多くの方にご活用いただき、熊本県における院内がん登録推進の基盤となることを祈念しております。

令和 7 年 3 月
熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会長
熊本大学病院医療情報経営企画部長
がんセンターがん登録センター長

中村 太志

収集データについて

収集対象

2023 年診断症例(2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日)を対象とし、国(厚生労働省)指定のがん診療連携拠点病院 7 施設及び熊本県指定のがん診療連携拠点病院 14 施設、拠点病院以外のがん登録部会参加医療機関 2 施設、合わせて 23 施設から収集を行った。

登録対象は自施設における新規の診断症例または初診症例(他施設において初回治療が行われた後、自施設に初診した症例等)である。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種が生じた場合には、複数登録となる。また同一患者が同じがんで複数の部会参加医療機関を受診した場合、同じがんが重複して登録されるが、各医療機関において集計作業を行っているため重複の整理は行っていない。

また「がん登録等の推進に関する法律」の施行により 2016 年診断症例分から全国がん登録が開始され、従来の悪性新生物と頭蓋内良性腫瘍に加え、髄膜・脊髄・中枢神経系に発生した良性腫瘍、全ての消化管間質腫瘍(GIST)、一部の卵巣境界悪性腫瘍等が登録対象となった。

集計方法

国立研究開発法人国立がん研究センター提示による「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016 年版」において定義された標準項目に基づいて収集されたデータに、同センターがん対策研究所が提供する品質管理ツールによる精度チェックまたはそれと同等の品質管理を実施したものを各医療機関において精査集計した。各施設の集計結果は部会事務局でもある都道府県がん診療連携拠点病院(熊本大学病院)において集約した。

なお、収集したデータの取扱いについては、いかなる場合においても患者個人情報が判明することがないように配慮している。そのため集計値が 3 件以下のものは「*」または非表示とした。

統計を利用する上での留意事項

登録データ収集の範囲は各施設によって異なっている可能性があるため、一概に比較することはできない。本統計は「各施設における院内がん登録データを使用し、その状況をまとめたもの」にすぎない。」という点に十分留意していただきたい。

また、本統計について、分析して仮説を立て検証する段階をも含む個々の活動は、「疫学研究に関する倫理指針」の適用となる場合が考えられるので、研究活動等に利用するにあたっては、熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会までお問い合わせいただきたい。

院内がん登録 標準登録様式（主な項目一覧）

項目	項目名	分類方法	説明
900	病院等の名称		
100	診療録番号	施設で患者に固有にあてられている番号・記号	施設において患者を識別するための1患者1件の不変コード。
110	重複番号	1 第1がん、 2 第2がん、…	自施設における多重がんの有無を把握するための番号。
120	カナ氏名	全角カタカナで入力し、姓と名の間に全角空白を入れる	
130	氏名	姓と名の間に全角空白を入れる	住民登録上の氏名を登録する。
140	性別	1 男 2 女	生物学的性別ではなく、患者の住民登録上の性別を登録する。
150	生年月日	YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に則って登録する	
200	診断時都道府県コード	01 北海道 ～ 47 沖縄 80 その他(外国) 99 不詳	
210	診断時住所	当該腫瘍の診断時に居住していた住所	
220	診断時郵便番号	ハイフンなしの数字7桁(不明の場合は99999999)	
300	原発部位(局在コード)	ICD-O-3 局在コード4桁 C169 のように「」を含まず入力する	
309	原発部位(テキスト)	原発部位・局在コードをテキストで補足する	
310	側性	1 右側 2 左側 3 両側 7 側性なし 9 不明	側性のある臓器に用いる。側性ありとし、両側に腫瘍が発生した場合、原則、多重癌として登録する。〔3両側〕は、①同じ組織形態の卵巣腫瘍、②ウィルムス腫瘍(腎芽腫)、③網膜の網膜芽細胞腫にのみ選択できる。
320	病理診断(形態コード)	ICD-O-3 形態(M)コード6桁 8000/39 → 800039 の形で入力	腫瘍の形状を示す4桁と腫瘍の性状を示す1桁、それに分化度/リンパ性造血器腫瘍表面抗原を示す1桁からなる。
329	病理診断(テキスト)	病理診断・形態コードをテキストで補足する	
330	診断依頼	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー(AFP、HCG、VMA、免疫グロブリンの高値) 5 臨床検査 6 臨床診断 9 不明 ※ 4にPSAは含まない	患者の全診療経過を通じて施行された検査の中で、最も確からしい検査。初回治療後の検査も含まれる。
350	当該腫瘍初診日	当該腫瘍の診療のために初めて自施設を受診した日 (YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に則って登録する。)	当該腫瘍初診日については、〔370〕自施設診断日が「77777777」となる場合(前戻で診断など)に、生存確計算などの起算日として用いる。
360	他施設診断日	当該腫瘍に関して治療前の診断過程で、最も確かな検査が実施された日 (他施設が主体になって、その診断過程が実施された場合)	正確な診断日が不詳の場合は、他施設での治療開始日、入院日なども可とする。
370	自施設診断日	当該腫瘍に関して治療前の診断過程で、最も確かな検査が実施された日 (自施設が主体になって、その診断過程を実施した場合)	
380	診断日	診断施設が「自施設診断」の場合は「自施設診断日」、他施設診断の場合は「当該腫瘍初診日」	(起算日)
400	診断施設	1 自施設診断 2 他施設診断	当該腫瘍の初回治療前の診断において、もっとも確からしい検査を施行した施設を特定するための項目。
410	治療施設	1 施設で初回治療をせず 他施設に紹介またはその経過不明 2 自施設で初回治療を開始 3 他施設で初回治療を開始後に、自施設を受診して初回治療を継続 4 他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診 8 その他	
420	症例区分	10 診断のみ 20 自施設診断・自施設初回治療開始 21 自施設診断・自施設初回治療継続 30 他施設診断・自施設初回治療開始 31 他施設診断・自施設初回治療継続 40 初回治療終了後 80 その他	
450	来院経路	10 自主的受診 20 他施設からの紹介(他院・老健施設・がん検診・健診ドック等) 30 自施設で他疾患経過観察中 80 その他 99 不明	当該腫瘍の診断・治療のため自施設を受診した経路。がん患者がどのような経路により自施設を受診したのかを把握できる。発見経路とは異なるものである点に留意。
460	発見経緯	1 がん検診・健康診断・人間ドック 3 他疾患経過観察中の偶然発見 4 剖検発見(AI含む) 8 その他 9 不明	当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目。自施設・他施設を問わず、当該腫瘍に関して初めて医療機関を受診した際の状態を、判断する。 ※剖検…死亡時のAutopsy Imagingなしは解剖所見により発見された場合を指す。
470	病名告知の有無	1 病名の告知あり 2 病名の告知なし 9 不明	亜分類が付与されている部位もある。
500	ステージ(治療前・UICC)	4000 0期 4100 Ⅰ期 4200 Ⅱ期 4300 Ⅲ期 4400 Ⅳ期 4999 不明 7777 該当せず	
510	TNM分類(UICC)pT分類	1000 T0 1050 Ta 1010 Tis 1100 T1 1200 T2 1300 T3 1400 T4 1500 TX 1999 不明 7777 該当せず	
520	TNM分類(UICC)cN分類	2000 N0 2100 N1 2200 N2 2300 N3 2400 N4 2500 NX 2999 不明 7777 該当せず	
530	TNM分類(UICC)m分類	3000 M0 3100 M1 3500 MX 3999 不明 7777 該当せず	
540	TNM分類(UICC)c付加因子	5110 G1 5120 G2 5130 G3 5140 G4 5150 GX 5160 G5 5200 S0 5210 S1 5220 S2 5230 S3 5250 SX 5300 症状なしA 5310 症状ありB 5410 核分裂像5以下 5420 5超 5511 乳頭/濾胞・15歳未満 5512 乳頭/濾胞・15歳以上 5513 乳頭/濾胞・15歳未満 5514 乳頭/濾胞・15歳以上 5520 嚢腫様 5530 未分化癌 5540 その他の癌腫 7001 胆嚢管 7002 肝門部胆管 7003 遠位胆管 7100 未検査または不明 7101 いずれも陰性 7102 EBV陽性 7103 HPV/p16陽性 5999 不明 7777 該当せず	
600	ステージ(術後病理学的・UICC)	4000 0期 4100 Ⅰ期 4200 Ⅱ期 4300 Ⅲ期 4400 Ⅳ期 6610 手術なし 6620 術前治療後 4999 不明 7777 該当せず	術後病理学的分類は、治療前分類を補足、修正するもの。 亜分類が付与されている部位もある。
610	pTNM分類(UICC)pT分類	1000 pT0 1050 pTa 1010 pTis 1100 pT1 1200 pT2 1300 pT3 1400 pT4 1500 pTX	(初回治療継続症例で、自施設初回治療開始前に他施設で観血的治療が実施されたとき、他施設から確かな病期分類情報を得られる場合、8000～8999コードを用いる。ただし現行において本統計冊子では使用しない。)
620	pTNM分類(UICC)pN分類	2000 pN0 2100 pN1 2200 pN2 2300 pN3 2400 pN4 2500 pNX 2999 不明 6620 術前治療後 4999 不明 7777 該当せず	
630	pTNM分類(UICC)pM分類	3000 pM0 3100 pM1 3500 pMX 3999 不明 6620 術前治療後 4999 不明 7777 該当せず	

項目	項目名	分類方法	説明
640	TNM分類(UICOP)付加因子	5110 G1 5120 C2 5130 G3 5140 G4 5150 GX 5160 G5 5200 S0 5210 S1 5220 S2 5230 S3 5250 SX 5300 症状なしA 5310 症状ありB 5410 移行分裂癌以下 5420 5超 5511 乳頭・遠隔・45歳未満 5512 乳頭・遠隔・45歳以上 5513 乳頭・遠隔・55歳未満 5514 乳頭・遠隔・55歳以上 5520 転移癌 5530 未分化癌 5540 その他の癌腫 7001 胆嚢管 7002 肝門部胆管 7003 遠位胆管 7100 未検査または不明 7101 いずれも陰性 7102 EBN陽性 7103 HPV/p16陽性 6610 手術なし 6620 術前治療後 5999 不明 7777 該当せず	原則として、骨、軟部組織、虫垂・精、前立腺、精巣、悪性リンパ腫、GIST、甲状腺、胆道系、頭頸部・原発不明、中咽頭に適用。それ以外は「該当せず」でよい。
550	肝癌の病期(治療中・取扱い規約)	4000 O期 4100 I期 4200 II期 4300 III期 4410 IVA期 4420 IVB期 4999 不明 7777 該当せず	肝癌以外の場合は、「該当せず」でよい。
580	進展度(治療前)	400 上皮下内 410 限局 420 領域シ・転移 430 隣接臓器浸潤 440 遠隔転移 777 該当せず 499 不明	終時的な集計・変化の観察目的であり、施設間での比較に使いにくい。
680	進展度(術後病理学的)	400 上皮下内 410 限局 420 領域シ・転移 430 隣接臓器浸潤 440 遠隔転移 660 手術なし又は術前治療後 777 該当せず 499 不明	手術検出検体をもとに行われた病理組織学的診断により、判断される。
700	内視鏡的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
701	外科的治療の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)外科的治療が自施設で施行された日	
705	外科的治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
706	外科的治療(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
710	鏡視下治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
711	鏡視下治療の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)鏡視下治療が自施設で施行された日	
715	鏡視下治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
716	鏡視下治療(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
720	内視鏡的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
721	内視鏡的治療の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)内視鏡的治療が自施設で施行された日	
725	内視鏡的治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
726	内視鏡的治療(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
730	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲	1 腫瘍連続なし 4 腫瘍連続あり 6 観血的治療なし 9 不明 ※ 原発巣切除を伴わない転移巣切除の場合は、4に含まる	当該腫瘍に対する外科的・鏡視下・内視鏡的治療の根治度をコードする。 初回治療として施行した観血的治療の総合的な結果を記載する。
740	放射線療法の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
741	放射線療法の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)放射線療法が自施設で施行された日	
745	放射線療法(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
746	放射線療法(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
750	化学療法の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
751	化学療法の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)化学療法が自施設で施行された日	
755	化学療法(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	化学療法には、分子標的薬などの薬物療法を含む。なお、分子標的薬以外の薬物を用いた免疫療法はその他の治療」に含む。
756	化学療法(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
760	内分泌療法の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	内分泌療法には、前立腺癌の除根術を含む。
761	内分泌療法の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)内分泌療法が自施設で施行された日	
765	内分泌療法(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
766	内分泌療法(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
770	その他の治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	その他の治療は、免疫療法・BRM、TAE等の血管塞栓術、PEIT、レーザーやラジオ波等による薬物治療等、腫瘍に対する縮小効果を期待して行われた治療をさす。
775	その他の治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
776	その他の治療(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
780	経過観察の選択の有無(自施設)	1 自施設で経過観察開始 2 自施設で経過観察を開始せず 9 経過観察の有無不明	自施設「初回治療開始」であれば、初回治療情報の項目のいずれかは「あり」、本項目は「自施設で経過観察を開始せず」を選択する。
790	症状緩和的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	初回治療のタイミングで症状の緩和を目的とした治療の実施有無。
800	生存最終確認日	生存状況確認調査を行って、最終来院日などにより生存が確認された日 (YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に則って登録する)	既定値は77777777
810	死亡日	YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に則って登録する	既定値は77777777
820	生存状況	1 生存 2 死亡	既定値は「1:生存」
830	生存確認調査方法	10 来院情報 20 死亡退院情報 30 全国がん登録情報 40 役場照会 50 他施設照会 60 本人・家族照会 80 その他 99 不明	既定値は「10:来院情報」

院内がん登録の登録対象及び登録内容等について

- ＞登録対象疾患：上皮内がんを含む全悪性新生物（頭蓋内・髄膜・脊髄・中枢神経系に発生した良性腫瘍、全ての消化管間質性腫瘍（GIST）、一部の卵巣境界悪性腫瘍等）。
- ＞登録対象内容：原則、入院及び外来部門。
- ＞多重がん：同一患者に複数の独立した腫瘍（多重がん）が診断された場合は、それぞれの腫瘍について登録した（SEERのルール）。
- ＞部位、組織診断名コーディング：「国際疾病分類-腫瘍学第3版 ICD-O-3」。
- ＞病期分類：「UICC TNM 第8版」。

統計使用項目一覧

	ペー ジ タ イ ト ル	使 用 項 目
施設全体統計	がん登録部会参加施設 - 2023年診断症例	症例区分
	1. 令和5年の熊本県の状況と2023年診断症例の件数に関する概要	患者住所区分、性別、年齢区分
	2. 診断年別 登録件数	施設名
	3. 診断年別 患者住所医療圏別登録件数	患者住所区分
	4. 患者住所医療圏別 部位別 登録件数	患者住所区分、部位区分
	5. 診断年別 年代別登録件数	性別、年齢区分
	6. 診断年別 平均年齢	(各施設の)平均年齢、登録件数
	7. 性別年代別 主要部位別登録内訳	性別、年齢区分、部位区分
	8. 主要部位別 登録件数と割合	部位区分
	9. 診断年別 主要部位別登録件数	部位区分
	10. 主要部位別病期分類 (総合Stage)	部位区分、総合Stage区分
	11. 主要部位別治療の内訳	治療施設、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	12. 5大部位 (総合Stage別) の主な治療内訳	内分泌療法、その他の治療、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、
	13. 診断年別 治療施設の内訳 (自施設における初回治療の状況)	治療施設
	14. 施設別 主要部位別登録件数	施設名、部位区分
	15. 施設別 治療 (初回治療開始+初回治療継続) 件数	治療施設、施設名、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
施設別統計	16. 5大部位別 施設別治療の内訳	治療施設、施設名、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	17. 施設別 患者住所構成割合	患者住所区分、施設名
	18. 診断年別 部会統計参加施設による全国がん登録届出状況 (概算)	
	19. 集計年別 5年生存率の推移 (がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計 報告書より)	
	表紙(概要、コメント)	性別、重複番号
	① 患者住所医療圏別登録の状況 (2023年診断症例)	患者住所区分、部位区分
	② 平均年齢と年次比較	診断時年齢
	③ 発見経緯 5大部位の内訳	発見経緯、部位区分
	④ 性別主要部位別件数と平均年齢	性別、診断時年齢、部位区分
	⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布	性別、年齢区分、部位区分
施設別統計	⑥ 診断年別主要部位別登録件数	診断日(年)、部位区分
	⑦ 主要部位別病期分類 (総合Stage)	部位区分、総合Stage区分
	⑧ 治療施設の内訳 (自施設における初回治療の状況)	治療施設
	⑨ 主要部位別治療の内訳	治療施設、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無、治療の範囲
	⑩ 5大部位 (総合Stage別) の主な治療	治療施設、部位区分、総合Stage区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療

統計獨自項目

＜統計独自項目＞

項目名	説明
施設名	各医療機関を略称化【熊大、労災、人吉、荒尾、熊医療、日赤、済生会、天地域、天中央、再春、熊総合、熊中央、山鹿、熊本南、阿蘇、熊市民、県北、宇城、多良木、福田】
診断日	診断施設が自施設の場合は「診断日2(自施設診断日)」を使用し、他施設の場合は「当該腫瘍初診日(腫瘍)に対する当院初診日)」を使用
診断時年齢	生年月日で診断日で年齢を計算
患者住所区分	診断時住所情報で下記<患者住所区分1><患者住所区分2>に基づき分類
年齢区分	診断時年齢を下記<年齢区分>に基づき分類
部位区分	診断名コード及び組織診断名コードで下記<部位区分>に基づき分類
総合Stage区分	UICCステージ(治療前)(術後病理学的)で下記<総合Stage区分>に基づき分類

蠟一分區自治統計

患者住所区分1^

区分	名称	市町村	区分	名称	市町村
01	熊上(熊本)	熊本市	07	阿蘇	高森町
02	熊上(上益城)	網走町	07	阿蘇	西原村
02	熊上(上益城)	新嘉町	07	阿蘇	南阿蘇村
02	熊上(上益城)	益城町	08	八代	八代市
02	熊上(上益城)	中野町	08	八代	米川町
02	熊上(上益城)	山都町	09	芦北	水俣市
03	宇土市	宇土市	09	芦北	芦北町
03	宇城	宇城市	09	芦北	津奈木町
03	宇城	美里町	10	球磨	人吉市
04	有明	荒尾市	10	球磨	錦町
04	有明	玉名市	10	球磨	多良木町
04	有明	玉東町	10	球磨	湯前町
04	有明	南関町	10	球磨	水上村
04	有明	長洲町	10	球磨	相良村
04	有明	和水町	10	球磨	五木村
05	鹿本	山鹿市	10	球磨	山江村
06	菊池	菊池市	10	球磨	球磨村
06	菊池	合志市	10	球磨	あさぎり町
06	菊池	天津町	11	天草	上天草市
06	菊池	菊陽町	11	天草	天草市
07	阿蘇	阿蘇市	11	天草	苓北町
07	阿蘇	南小国町	12	奥外	他県
07	阿蘇	小国町	13	その他不明	国外、住所不明
07	阿蘇	彦山町			

分区统计

区分	年齢
a	0～14 (小児がん)
b	15～39 (AYA世代)
c	40～49
d	50～59
e	60～69
f	70～79
g	80～89
h	90～

＜部位区分＞

区分	部位	ICD-O-3コード
01	口腔咽頭	C00-C14
02	食道	C15
03	胃	C16
04	大腸	C18-C20
05	肝	C22
06	膵	C25
07	肺	C33-C34
08	皮膚	C44
09	乳房	C50
10	子宮頸部	C53
11	子宮体部	C54
12	前立腺	C61
13	膀胱	C67
14	脳脊髄	C70-C72, C751-753
15	甲状腺	C73
16	悪性血液疾患	形態コード959-999, C421
17	その他	上記以外

<総合Stage区分>

区分	Stage
0	0
1	I
2	II
3	III
4	IV
5	その他

※住所区分(二次医療圏)について

熊本県の二次医療圏である熊本医療圏と上益城医療圏が1つに再編されたため、新医療圏への完全移行に対する本統計上のメットデモットの検討を重ねた結果、本統計においては、「熊本・上益城」医療圏をベースとしながらもこれまでの11医療圏に近い形で名称と区分番号を変更することとなった。

(＜患者住所区分＞熊上(熊本市、熊上(上益城郡)これにより、過去掲載分との比較も継続でき、「熊上(上益城)医療圏」としても数値を算出しやすい区分となった。R4年度(2021年診断症例)より開始。

＜患者住所区分＞

※二次医療圏＜患者住所区分＞をより詳細に分類した。現在の市町村では詳細に分類できない場合は旧市町村区分も使用した。各医療機関の所在地においてこの分類を使用。

[illegible]

I 施設全体統計

がん登録部会参加施設 - 2023年診断症例

医療機関名(略称)	担当医療圏 指定日(赤:国指定 青:県指定 緑:その他)	登録件数	症例区分80 の件数	初回治療の割合 (症例区分20～31)	収集対象	R6年度国立がん研究センターへの情報提供		
						2023年全国 集計	2016年5年 予後付き	2022年 Q1研究
 国立大学法人 熊本大学病院 (熊本)	全 圏 2006.08.24	3,767	203	83.1%	入院・外来 症例	参加		参加
 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 (労災)	八 代 2007.01.31	754	11	81.8%	入院・外来 症例	参加		参加
 独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター (人吉)	球 磨 2007.01.31	751	13	77.2%	入院・外来 症例	参加		参加
 荒尾市立 有明医療センター (荒尾)	有 明 2008.02.08	535	2	79.3%	入院・外来 症例	参加		参加
 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター (熊医療)	熊本・上益城、鹿本 2008.02.08	1,897	36	83.4%	入院・外来 症例	参加		参加
 熊本赤十字病院 (日赤)	熊本・上益城、菊池、阿蘇 2008.02.08	1,993	93	76.7%	入院・外来 症例	参加		参加
 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 (済生会)	熊本・上益城、宇城 2008.02.08	2,024	67	82.3%	入院・外来 症例	参加		不参加
 一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター (天地域)	天 草 2010.08.17	451	7	71.0%	入院・外来 症例	参加		参加
 独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院 (天中央)	天 草 2010.08.17	431	0	60.8%	入院・外来 症例	参加		参加
 独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター (再春)	菊 池 2010.08.17	185	2	79.5%	入院・外来 症例	参加		不参加
 独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院 (熊総合)	八 代 2010.08.17	755	12	87.2%	入院・外来 症例	参加		不参加
 国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 (熊中央)	熊本・上益城 2010.08.17	1,059	1	84.6%	入院・外来 症例	参加		参加
 国保 水俣市立総合医療センター (水俣)	芦 北 2010.08.17	333	0	76.9%	入院・外来 症例	参加		参加
 医療法人創起会 くまもと森都総合病院 (森都)	熊本・上益城 2011.11.07	703	19	77.1%	入院・外来 症例	参加		参加
 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター (熊地域)	熊本・上益城 2011.11.07	510	6	77.6%	入院・外来 症例	参加		参加
 社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院 (高野)	熊本・上益城 2011.11.07	371	1	52.0%	入院・外来 症例	参加		不参加
 山鹿市民医療センター (山鹿)	鹿 本 2012.11.16	313	11	47.6%	入院・外来 症例	参加		不参加
 独立行政法人国立病院機構 熊本南病院 (熊本南)	宇 城 2014.02.28	295	2	33.2%	入院・外来 症例	参加		不参加
 阿蘇医療センター (阿蘇)	阿 蘇 2020.04.01	88	6	14.8%	入院・外来 症例	不参加		不参加
 熊本市立 熊本市民病院 (熊市民)	熊本・上益城 2020.04.01	1,037	14	77.9%	入院・外来 症例	参加		参加
 地方独立行政法人 くまもと県北病院 (県北)	有 明 2021.12.03	814	12	69.7%	入院・外来 症例	参加		参加
 社会医療法人黎明会 宇城総合病院 (宇城)	宇 城 2014年度	14	1	35.7%	入院・外来 症例	不参加		不参加
 球磨郡公立多良木病院 (多良木)	球 磨 2014年度	183	1	57.4%	入院・外来 症例	参加		不参加
 社会医療法人愛育会 福田病院 (福田)		—						

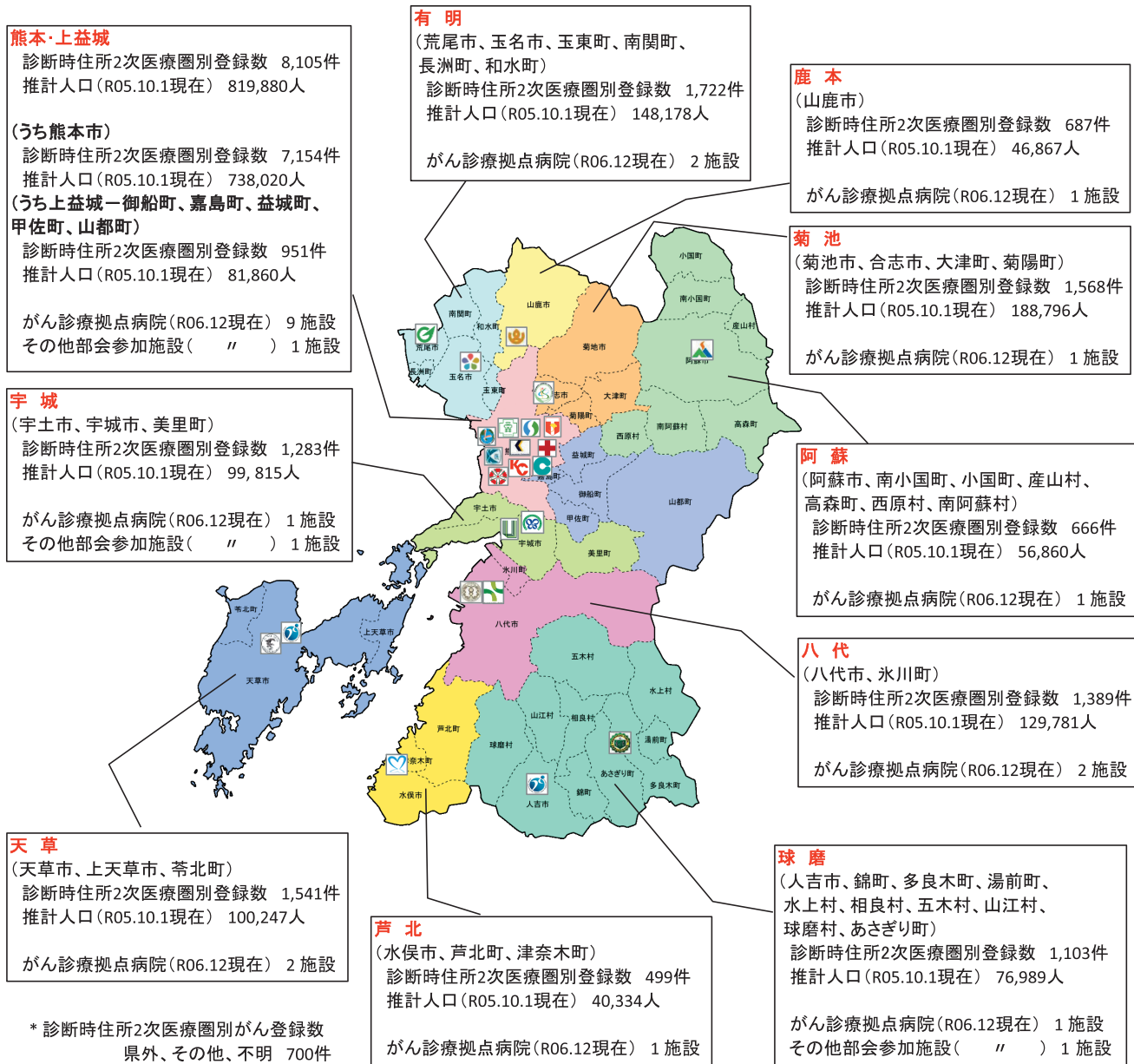
令和6年度
収集なし

※医療機関名は2023.12.31現在の名称です。

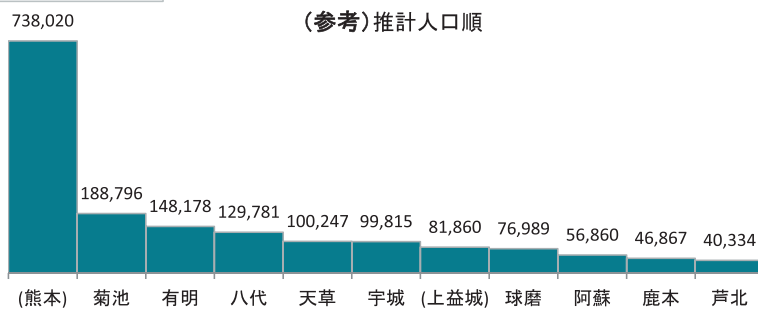
※参加施設の掲載順を変更しました。◇ 注意
指定の種類→指定日→施設名昇順
本統計に参加していない施設は下順

- ◇ この統計資料は、がん登録部会参加施設24施設のうち23施設、計19,263件の2023年診断/初診症例データをもとに作成しております。取扱い等におきましては十分にご注意いただきますよう、お願いいたします。
- ◇ 表中の略称は本統計全般で使用します。
- ◇ このページ以外の個人が特定できる可能性のある数値(3件以下)は「*」または非表示で掲載しています。
- ◇ 特に注意書きがない頁は、収集した全症例(症例区分10、40、80も含む)で集計しています。

1. 令和5年の熊本県の状況と2023年診断症例の件数に関する概要

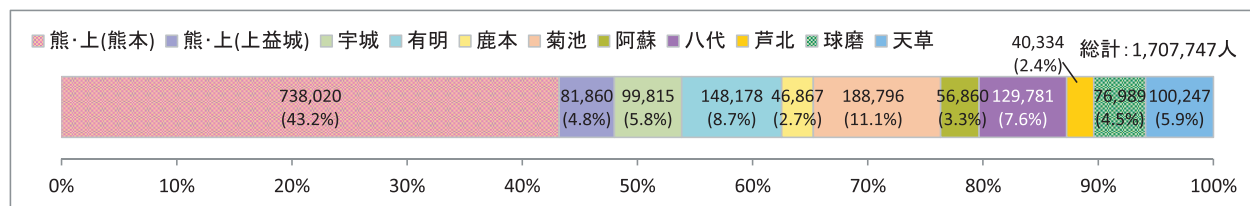


熊本・上益城 819,880

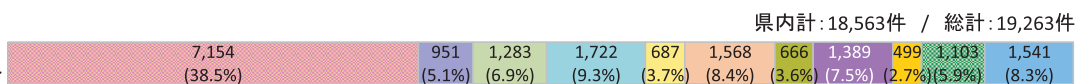


※ R06.12月(統計作成時)現在、がん診療拠点病院21施設(国指定:7、県指定:14)、その他がん登録部会参加施設(3)である。本(R6)年度の統計には熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会参加施設(拠点病院+その他の施設)のうち23施設が参加している。

(参考) 熊本県の推計人口と割合(R05.10.01現在)



(参考) 2023年症例登録数と割合

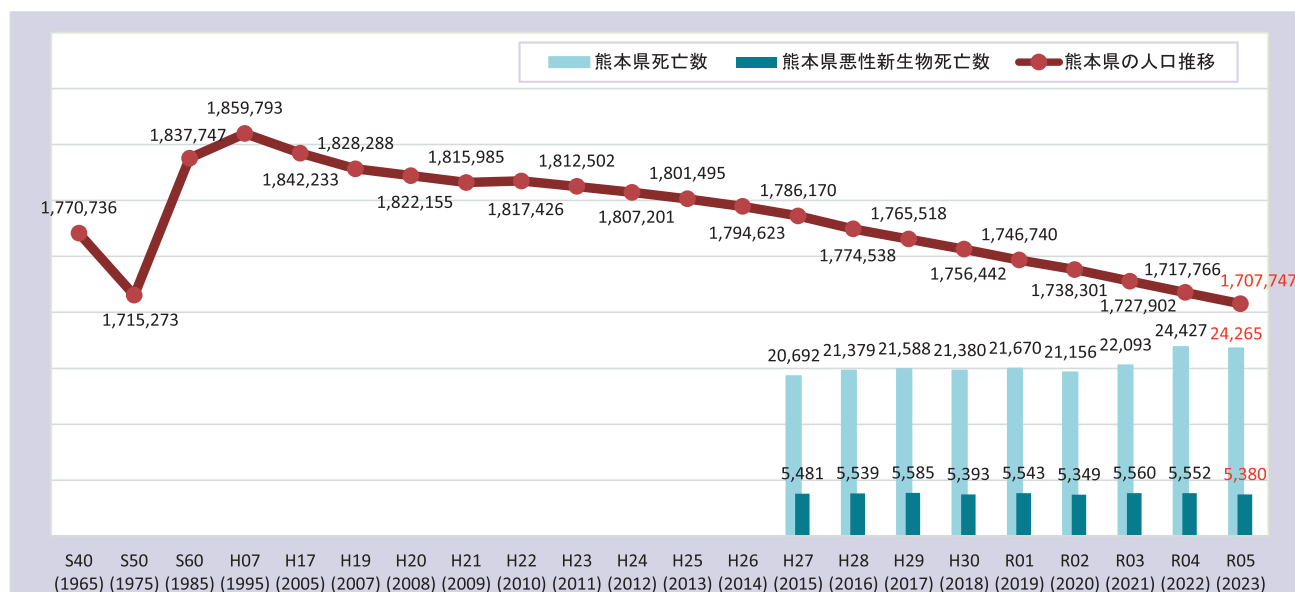


* 診断時住所が県内の分のみでグラフ化(県外など計:700件)

※ 推計人口は熊本県HP「熊本県の人口と世帯数(年報)第1表」より出典した。

※ 2023年症例登録数は件数≠人数である。(多重がん登録、患者重複あり)

(参考) 熊本県の人口推移と死亡の状況

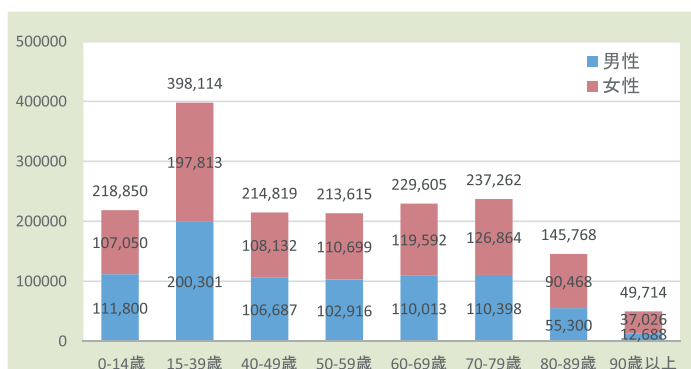


※ 熊本県の人口推移については、平成17年までは「国勢調査」、平成19年以降は熊本県HP「熊本県の人口と世帯数(年報)」より出典した。

※ 熊本県死亡数については、厚生労働省人口動態統計(確定数)の概況-該当年の第3表-1(熊本県死亡総数)より出典した。

※ 熊本県悪性新生物死亡数については、国立がん研究センターがん情報サービス/がん統計/集計表ダウンロード/全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率/都道府県別悪性新生物死亡数(熊本県の部分)より出典した。

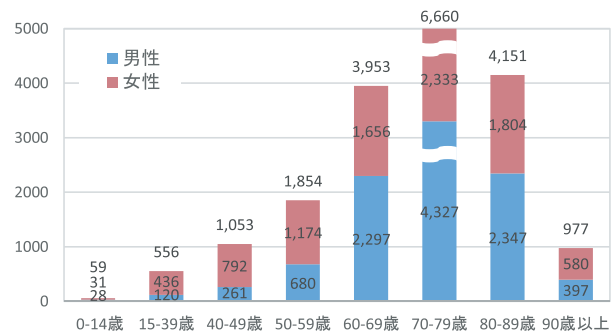
(参考) 熊本県の年代別人口(R05.10.01現在)



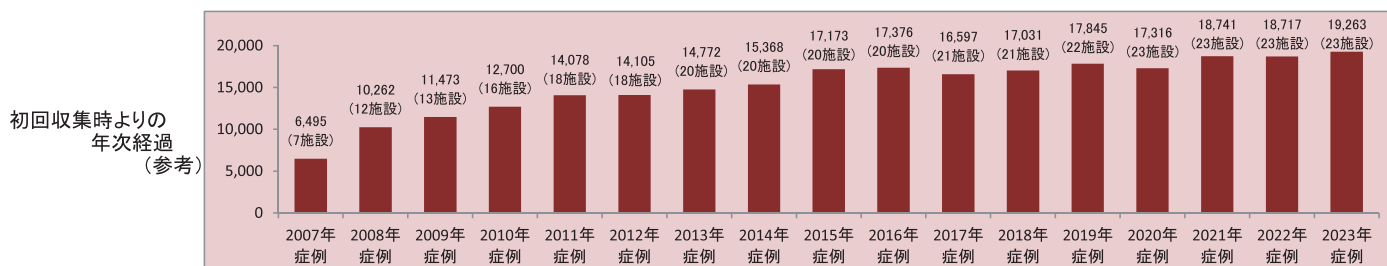
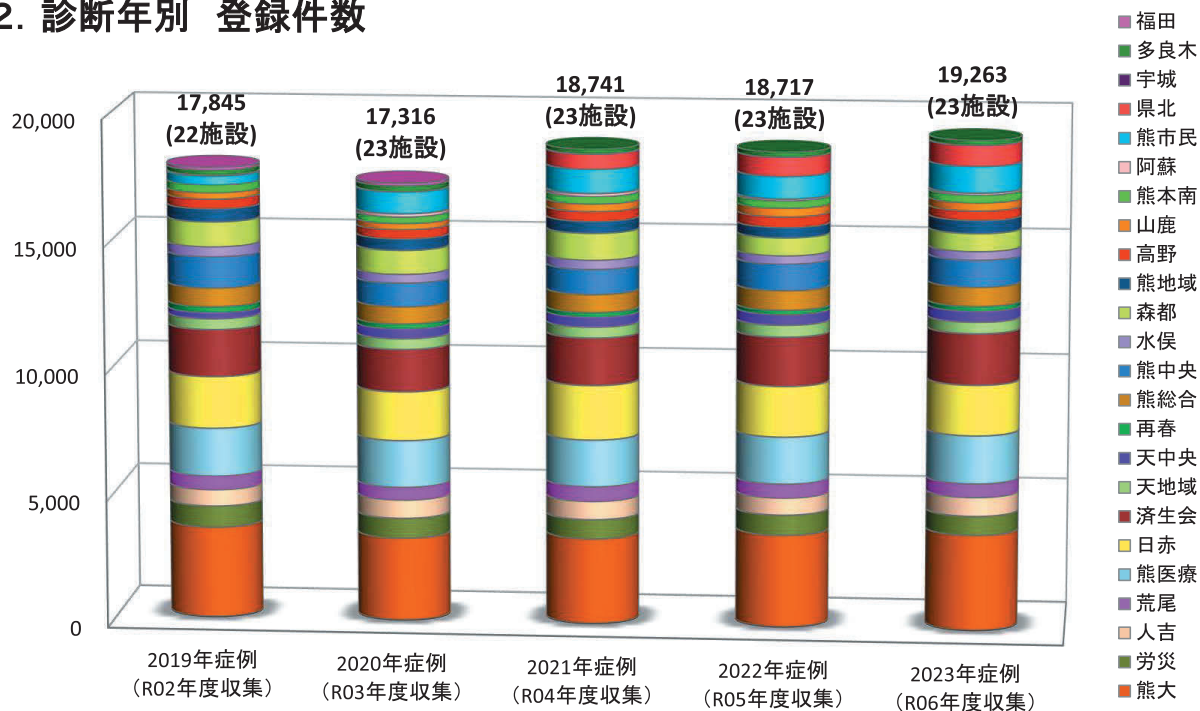
※ 推計人口は熊本県HP「熊本県の人口と世帯数(年報)第4表」より出典した。

※ 年齢は、本統計冊子で定めた区切り方による。
(6頁 統計独自区分一覧<年齢区分>参照)

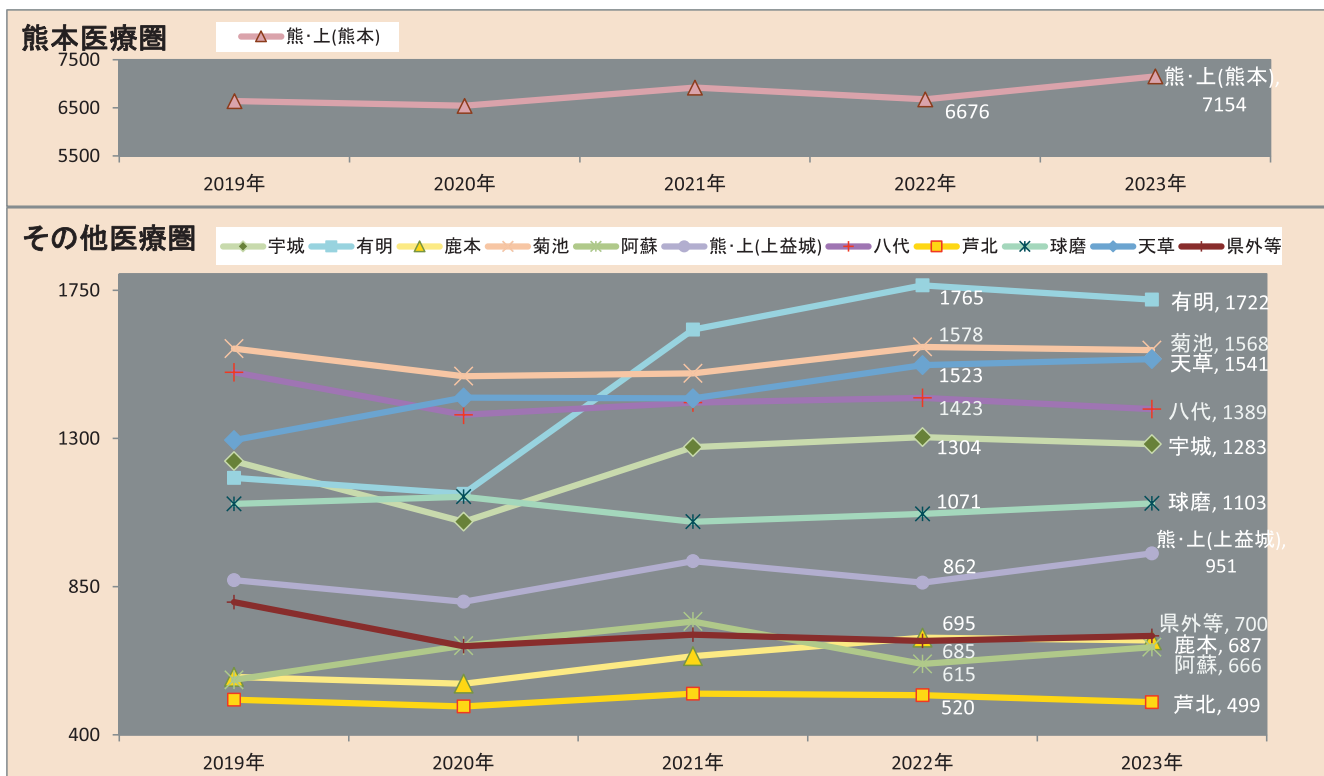
(参考) 2023年症例年代別登録数



2. 診断年別 登録件数

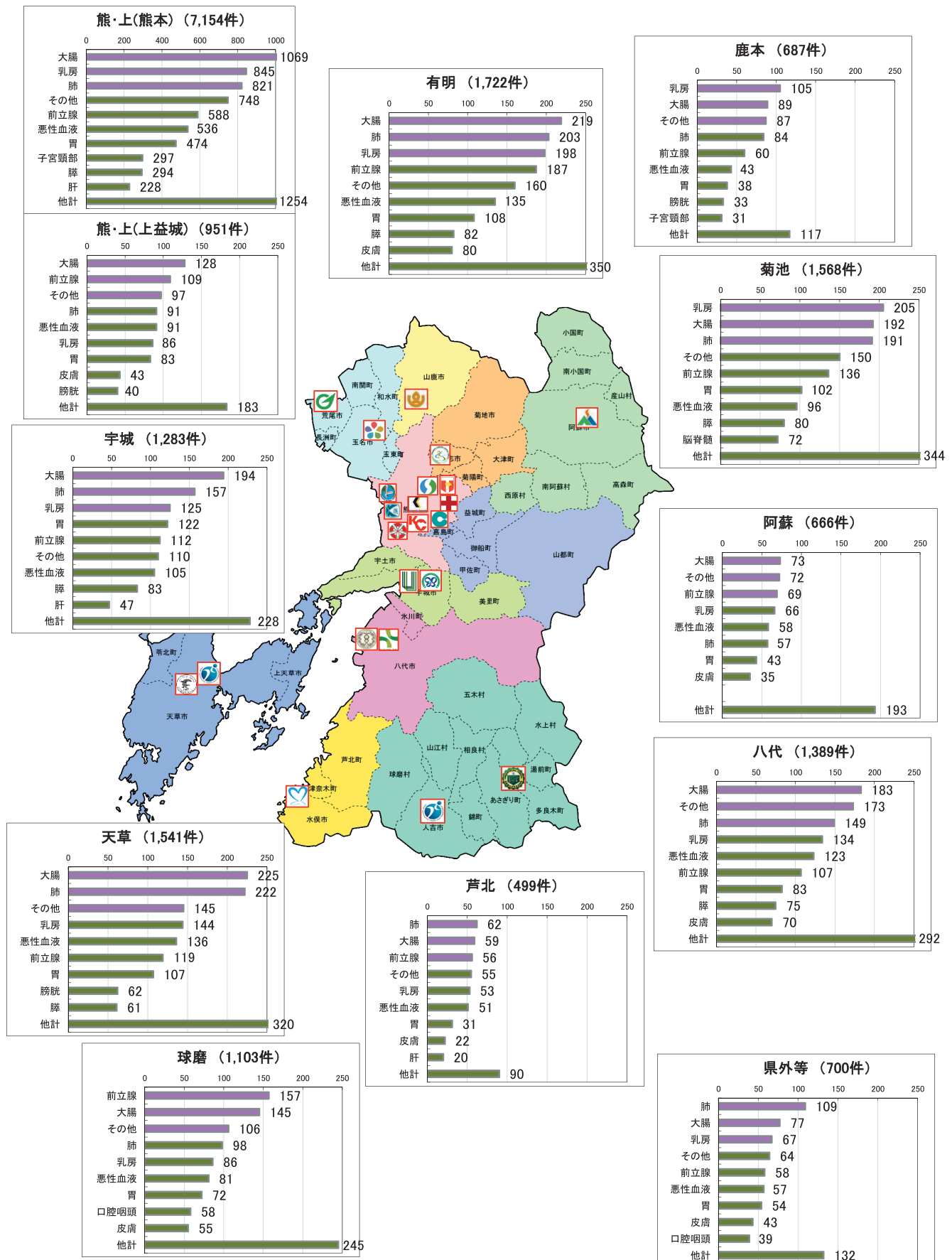


3. 診断年別 患者住所医療圏別登録件数

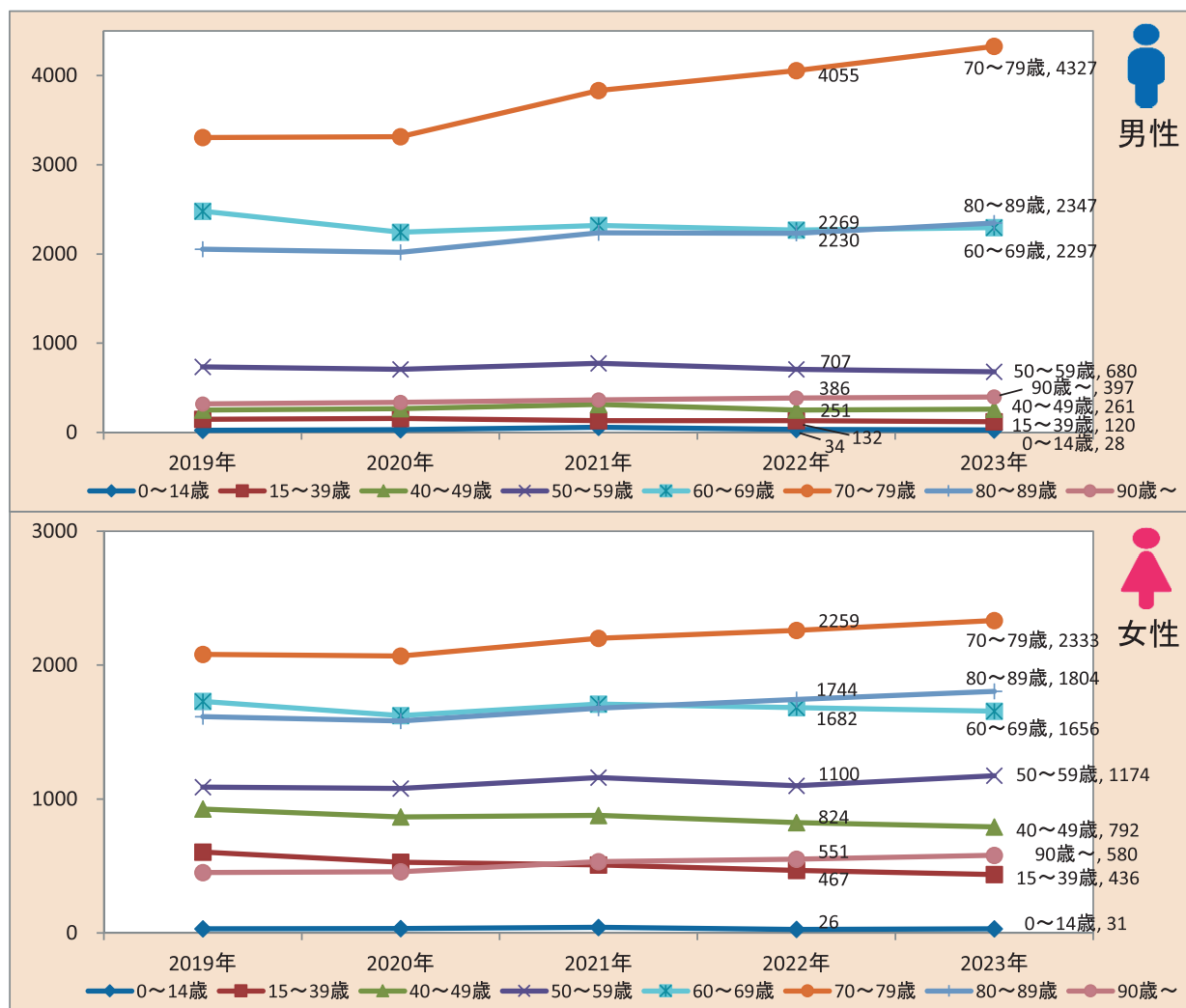


※ 収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。

4. 患者住所医療圏別 部位別登録件数

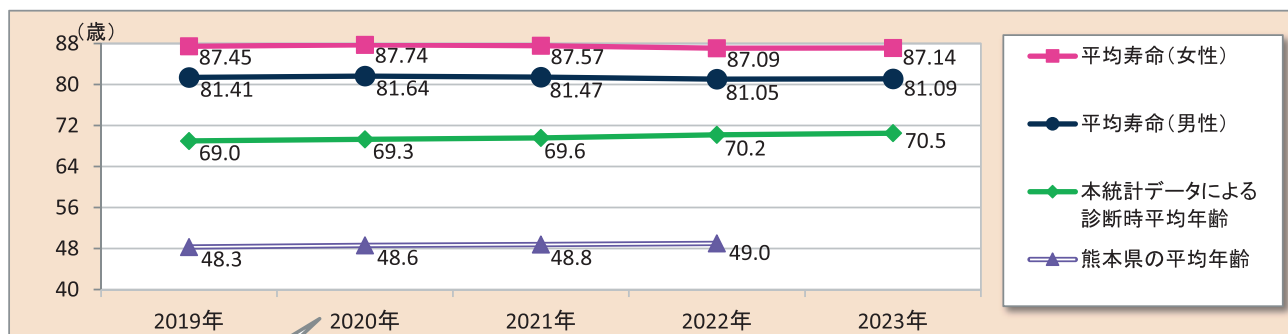


5. 診断年別 年代別登録件数



※ 収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。

6. 診断年別 平均年齢

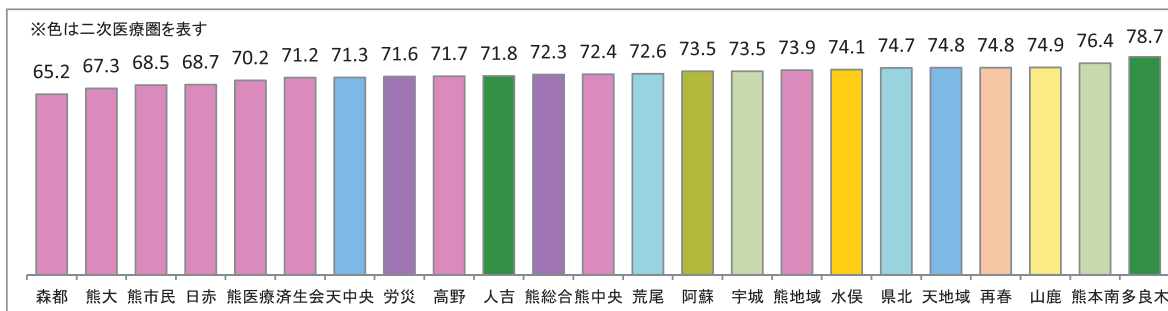


令和2(2020)年度
熊本県平均寿命(5年毎公表)
男性 81.91 女性 88.22
(H27年より) 0.69上昇 0.73上昇

※ 平均寿命は、厚生労働省HP 簡易生命表より出典した。

※ 熊本県の平均年齢は、国立社会保障・人口問題研究所HP 人口統計資料集 都道府県別人口の平均年齢(熊本県の部分)より出典した。(統計作成時、公表は2022年まで)

(参考)
施設別
診断時
平均年齢



7. 性別年代別 主要部位別登録内訳



男性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
前立腺	悪性血液	その他	大腸	大腸	前立腺	前立腺	前立腺	肺
大腸★	脳脊髄	悪性血液	その他	その他	大腸	肺	肺	前立腺
肺★	その他	脳脊髄	悪性血液	肺	肺	大腸	大腸	その他
その他	皮膚	大腸	肺	前立腺	その他	その他	胃	大腸
胃★	口腔咽頭	甲狀腺	脳脊髄	悪性血液	胃	胃	悪性血液	皮膚
悪性血液	食道	口腔咽頭	脾	胃	悪性血液	悪性血液	その他	胃
膀胱	胃	皮膚	口腔咽頭	食道	食道	膀胱	膀胱	悪性血液
肝★	大腸	胃	胃	脳脊髄	脾	肝	皮膚	膀胱
脾	肝	肺	膀胱	脾	口腔咽頭	食道	脾	肝
食道	脾	肝	肝	膀胱	肝	脾	肝	脾
口腔咽頭	肺	膀胱	食道	食道	膀胱	口腔咽頭	口腔咽頭	口腔咽頭
皮膚	乳房	脾	甲狀腺	肝	皮膚	皮膚	食道	脳脊髄
脳脊髄	子宮頸部	食道	皮膚	22 脳脊髄	42 脳脊髄	67 脳脊髄	25 脳脊髄	食道
甲狀腺	子宮体部	乳房	前立腺	12 甲狀腺	11 甲狀腺	22 甲狀腺	10 甲狀腺	甲狀腺
乳房★	前立腺	子宮頸部	乳房	* 乳房	* 乳房	11 乳房	7 乳房	乳房
子宮頸部	膀胱	子宮頸部	子宮頸部	子宮頸部	子宮頸部	子宮頸部	子宮頸部	子宮頸部
子宮体部	甲狀腺	前立腺	子宮体部	子宮体部	子宮体部	子宮体部	子宮体部	子宮体部
計	10,457	28	120	680	2,297	4,327	2,347	397

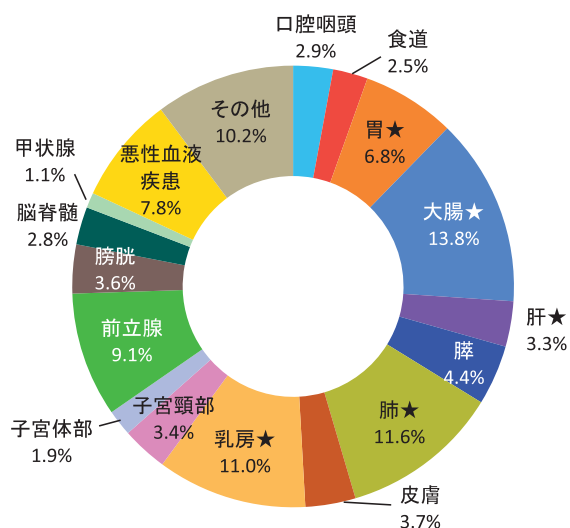


女性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
乳房★	脳脊髄	子宮頸部	乳房	乳房	乳房	乳房	大腸	大腸
大腸★	悪性血液	乳房	子宮頸部	大腸	大腸	大腸	乳房	皮膚
その他	その他	その他	その他	子宮体部	肺	肺	悪性血液	その他
肺★	口腔咽頭	子宮体部	子宮体部	子宮頸部	その他	その他	その他	乳房
悪性血液	食道	脳脊髄	大腸	その他	悪性血液	悪性血液	肺	肺
子宮頸部	胃	悪性血液	悪性血液	脳脊髄	胃	胃	悪性血液	悪性血液
胃★	大腸	甲狀腺	脳脊髄	24 悪性血液	80 胃	138 皮膚	114 胃	胃
脾	肝	胃	脳脊髄	19 脾	77 脳脊髄	88 胃	109 脾	脾
子宮体部	脾	大腸	胃	35 脾	62 皮膚	66 肝	71 膀胱	膀胱
皮膚	肺	脾	甲狀腺	16 甲狀腺	29 脳脊髄	58 口腔咽頭	43 口腔咽頭	口腔咽頭
脳脊髄	皮膚	口腔咽頭	皮膚	11 脾	35 皮膚	54 膀胱	37 膀胱	肝
肝★	乳房	肺	食道	7 口腔咽頭	30 子宮体部	51 子宮体部	36 脳脊髄	10 脳脊髄
口腔咽頭	子宮頸部	皮膚	脾	6 皮膚	26 子宮頸部	42 膀胱	35 子宮頸部	9 子宮頸部
甲狀腺	子宮体部	食道	肝	4 食道	23 口腔咽頭	40 食道	16 食道	4 食道
膀胱	前立腺	肝	膀胱	4 肝	23 甲狀腺	38 甲狀腺	16 子宮体部	4 子宮体部
食道	膀胱	前立腺	口腔咽頭	* 膀胱	18 食道	26 食道	15 甲狀腺	4 甲狀腺
前立腺	甲狀腺	膀胱	前立腺	前立腺	前立腺	前立腺	前立腺	前立腺
計	8,806	31	436	1,174	1,656	2,333	1,804	580

※ ★は5大部位

総数	大腸★	肺★	乳房★	その他	前立腺	悪性血液	胃★	脾	皮膚	膀胱	子宮頸部	肝★	口腔咽頭	脳脊髄	食道	子宮体部	甲狀腺	計
	2,653	2,244	2,114	1,967	1,758	1,512	1,317	847	708	689	646	640	561	532	491	369	215	19,263

8. 主要部位別 登録件数と割合



部位	ICD-O-3コード	2023年 症例
口腔咽頭	C00-C14	561
食道	C15	491
胃★	C16	1,317
大腸★	C18-C20 (結腸、直腸)	2,653
肝★	C22	640
膵	C25	847
肺★	C33-C34	2,244
皮膚	C44	708
乳房★	C50	2,114
子宮頸部	C53	646
子宮体部	C54	369
前立腺	C61	1,758
膀胱	C67	689
脳脊髄	C70-C72, C751-753	532
甲状腺	C73	215
悪性血液疾患	形態コード959-999, C421 (白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍)	1,512
その他	上記以外	1,967
計		19,263

※ 先に形態コード(959-999)で集計後、局在コード(C**)で集計する。

※ ★は5大部位。

9. 診断年別 主要部位別登録件数



※ 収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。

※ 患者重複、多重がん等含めた件数である。

10. 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	561	41	115	78	79	194	54
食道	491	44	215	39	69	72	52
胃★	1,317		768	96	119	239	95
大腸★	2,653	480	543	505	458	487	180
肝★	640	*	229	131	90	94	93
膵	847	24	196	118	87	337	85
肺★	2,244	69	815	141	296	750	173
皮膚	708	150	384	70	32	12	60
乳房★	2,114	200	671	496	170	113	464
子宮頸部	646	415	68	47	63	35	18
子宮体部	369		239	19	52	41	18
前立腺	1,758		440	635	262	242	179
膀胱	689	292	168	72	42	20	95
脳脊髄	532						532
甲状腺	215		102	46	9	19	39
悪性血液疾患	1,512		210	136	109	237	820

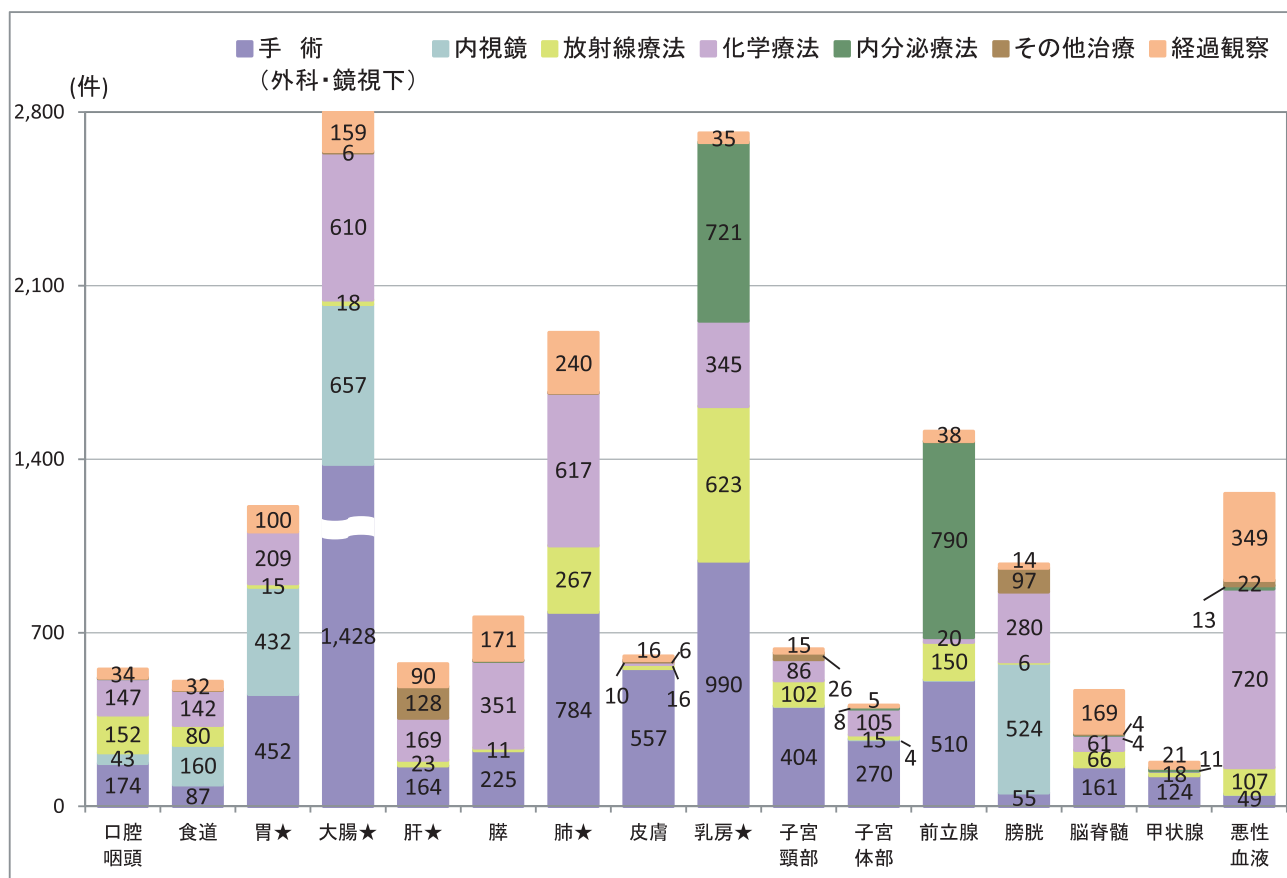
※ 総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)

※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage

※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものは「その他」として集計

※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

11. 主要部位別治療の内訳



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で治療されたものを集計

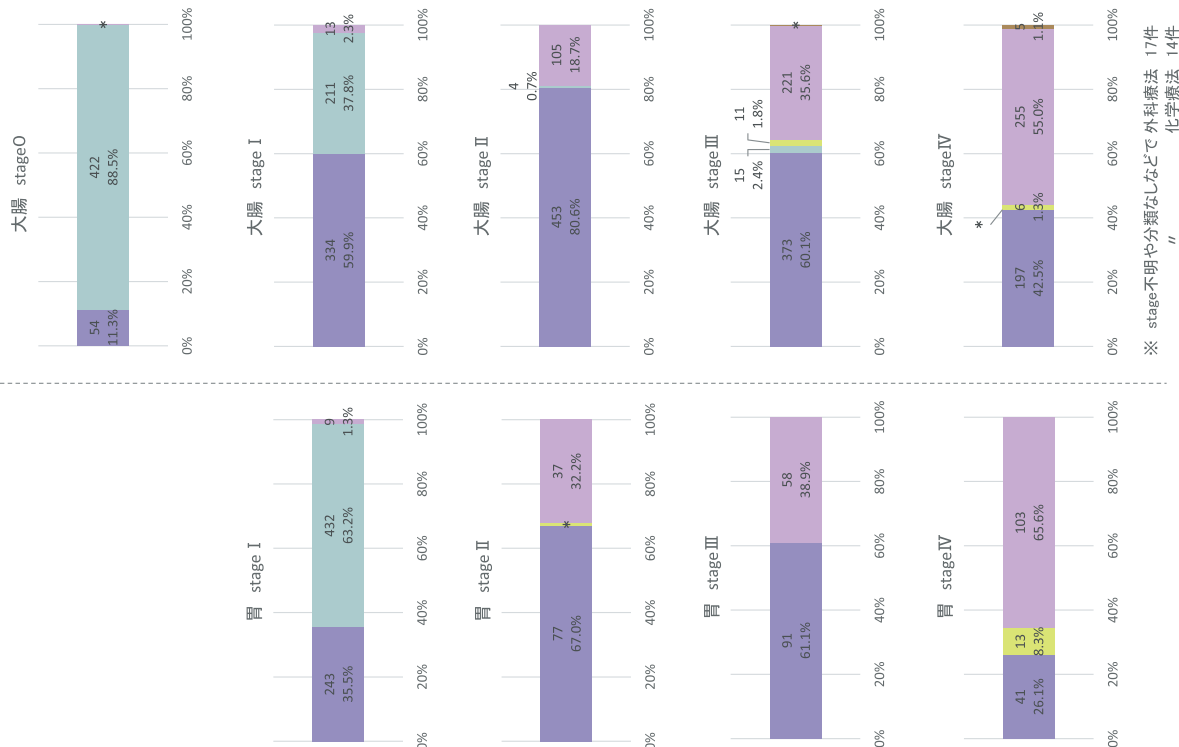
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

12. 5大部位(総合Stage別)の主な治療内訳

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUIC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと(経過観察は含まない)

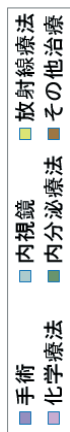


※ stage不明や分類なしなどで外科療法 17件
 化学療法 14件

※ stage不明や分類なしなどで化学療法 11件

※ stage不明や分類なしなどで放射線療法 215件
 内分泌療法 44件

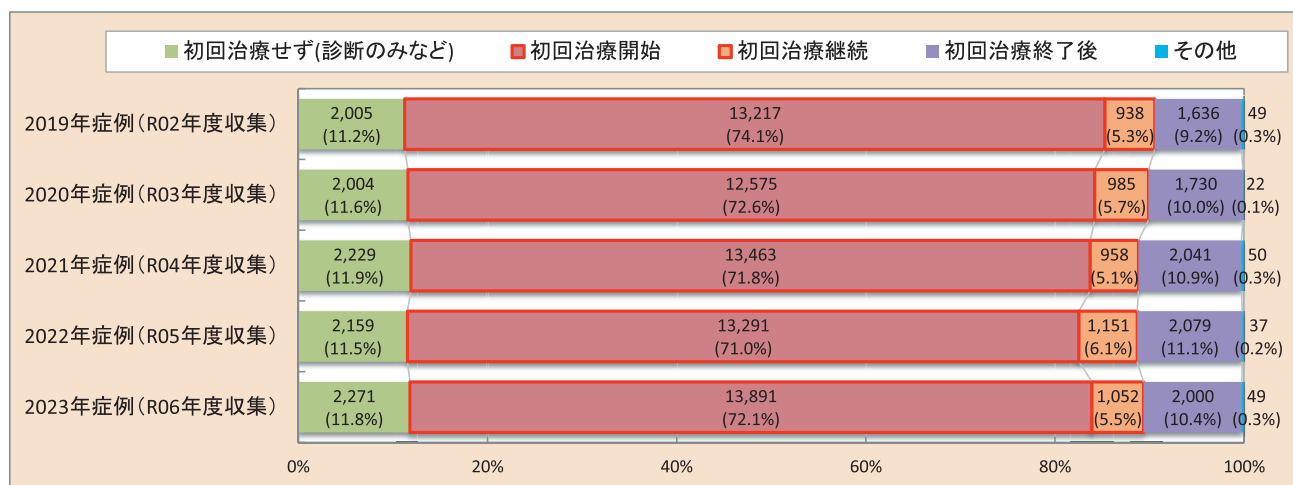
I 施設全体統計



※ stage不明や分類なしなどで化学療法 11件

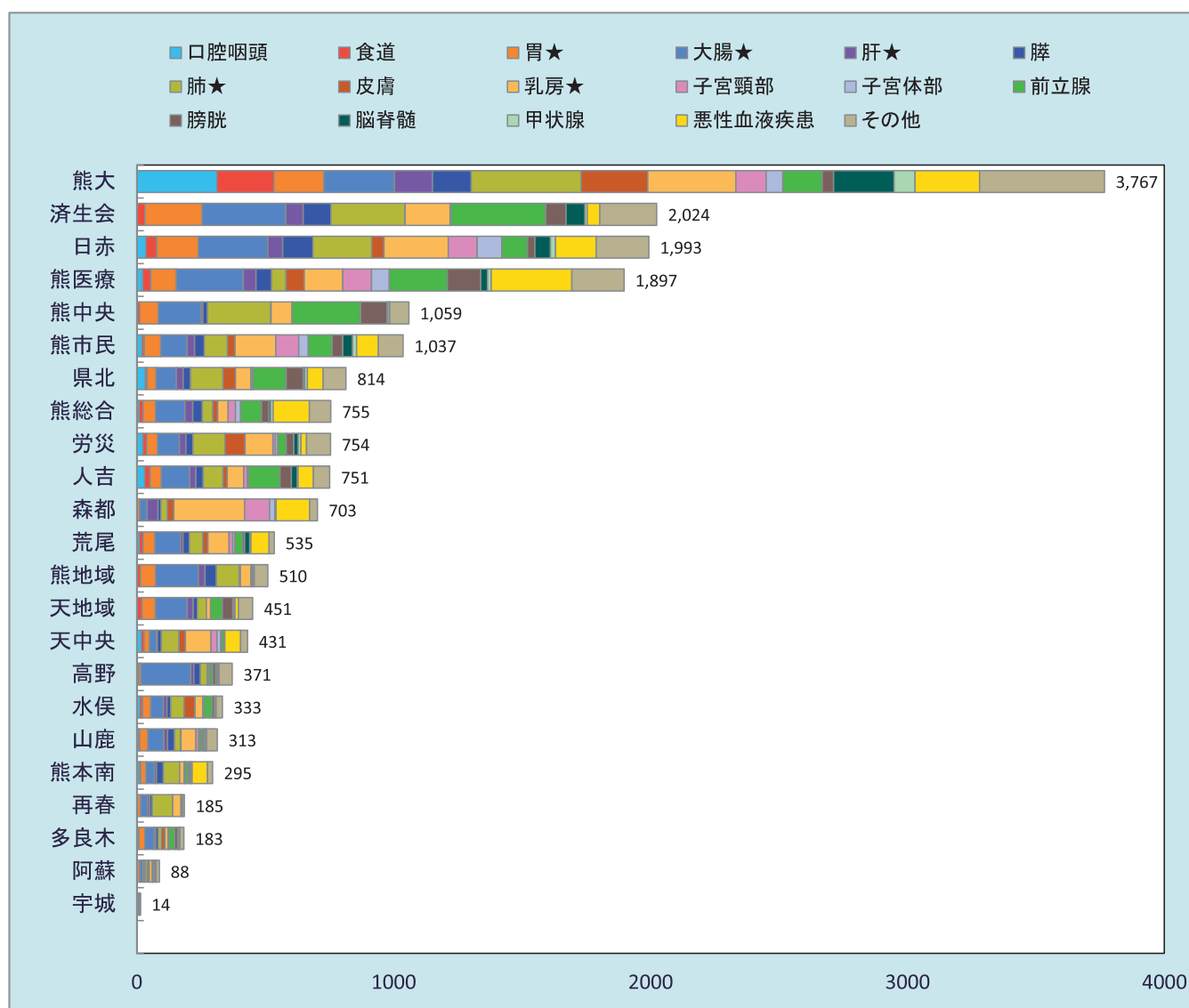
※ stage不明や分類なしなどで放射線療法 215件
 内分泌療法 44件

13. 診断年別 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)



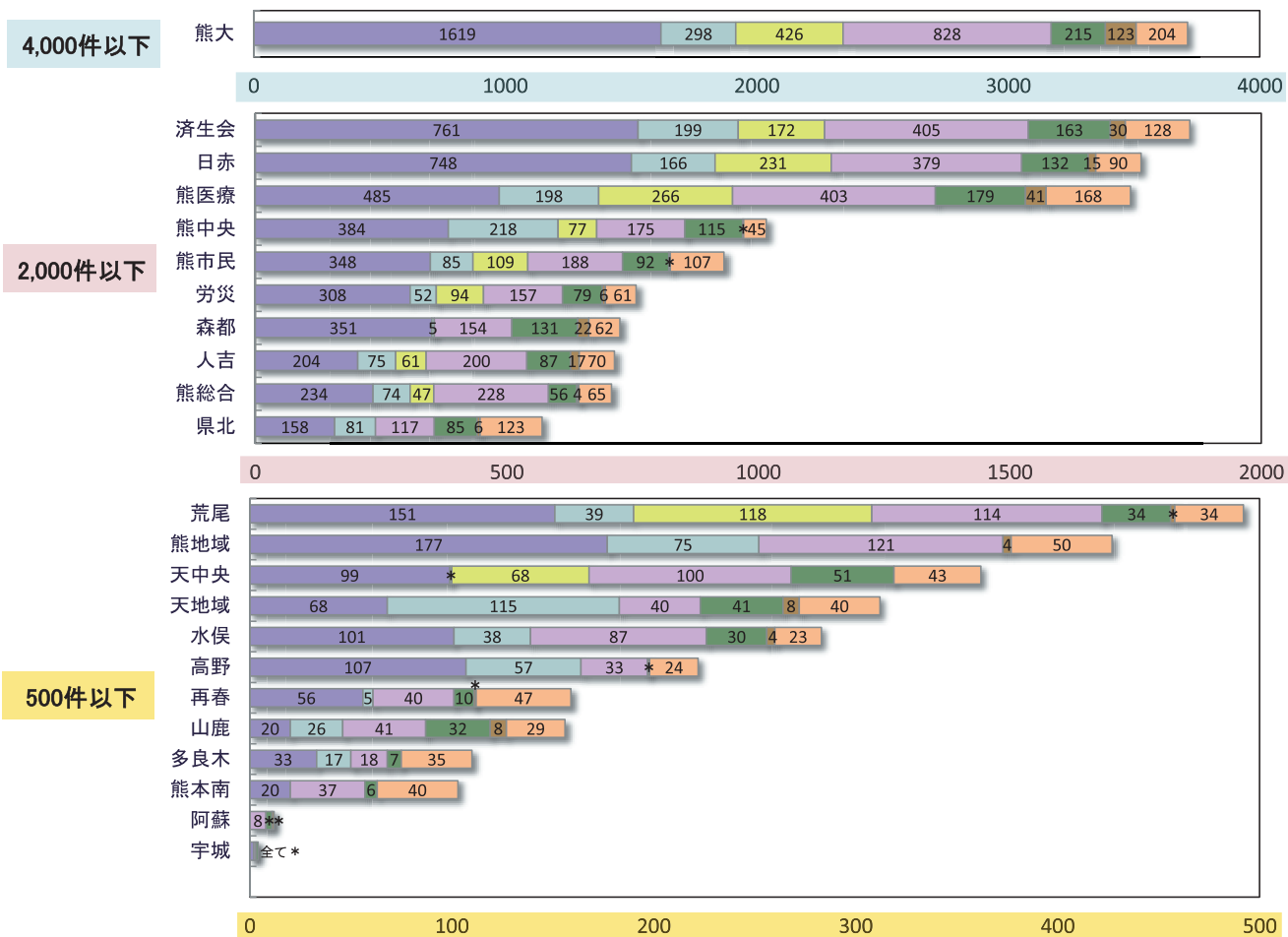
※ 収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。
 ※ 患者重複、多重がん等含めた件数である。

14. 施設別 主要部位別登録件数

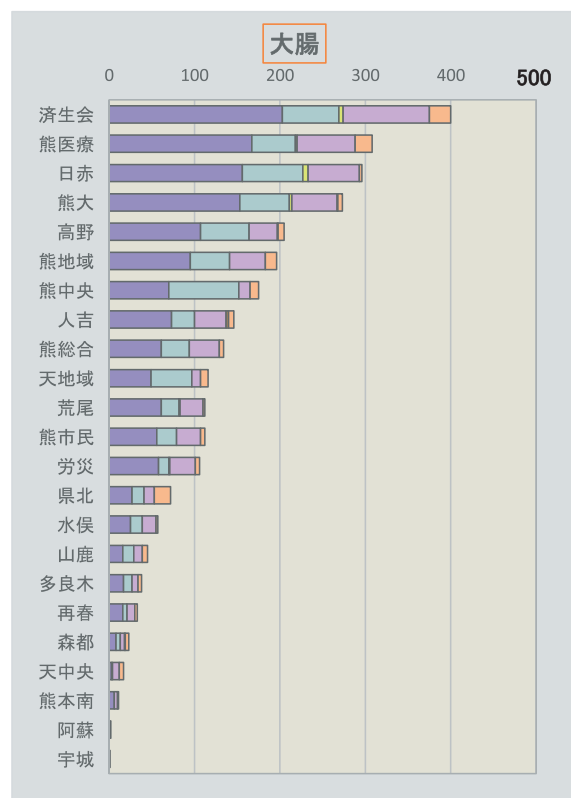
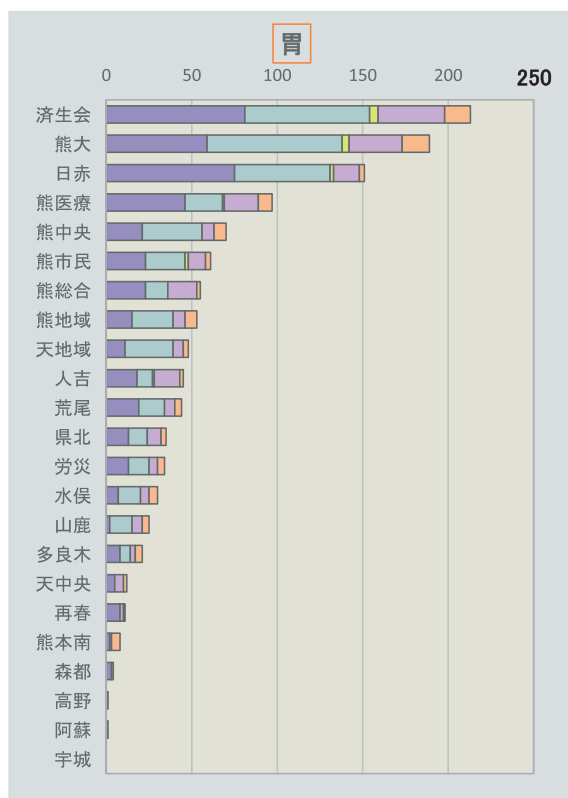


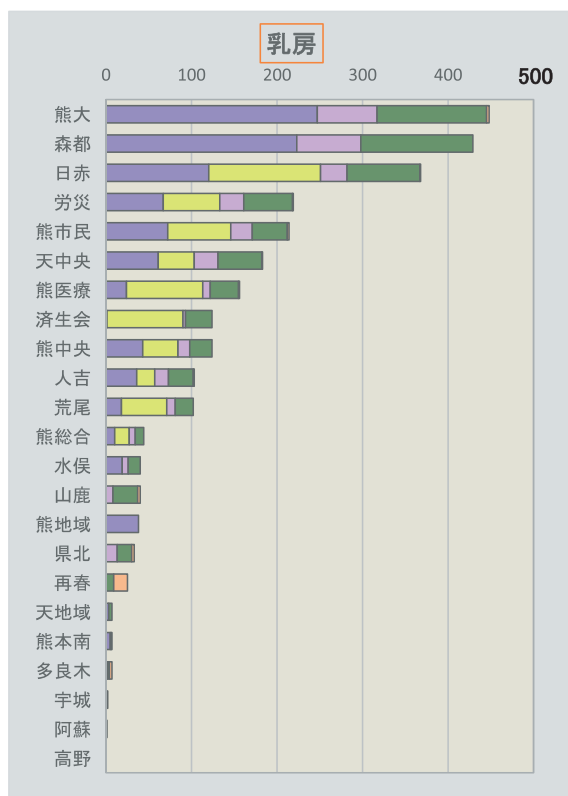
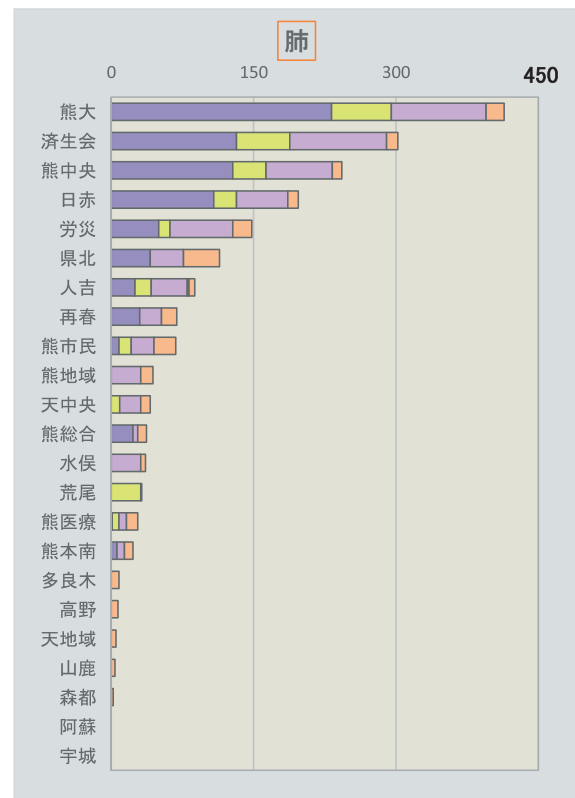
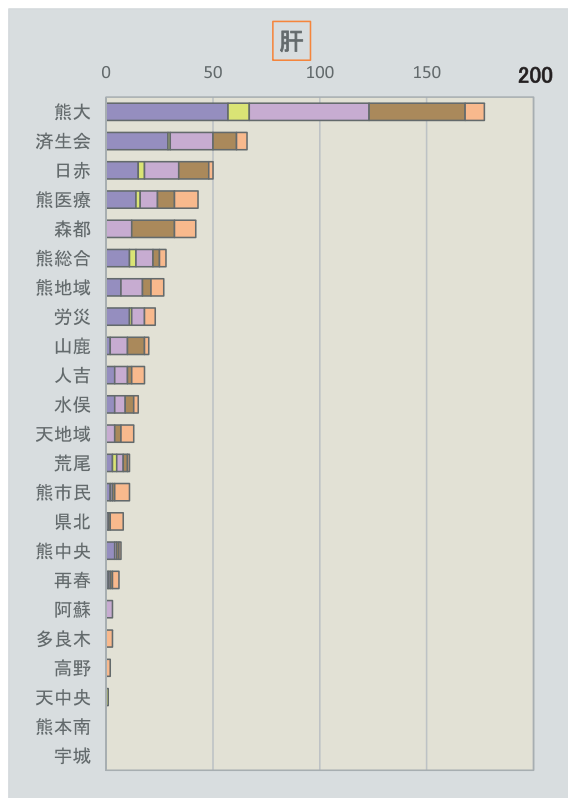
※ 患者重複、多重がん等含めた件数である。

15. 施設別 治療(初回治療開始+初回治療継続)件数



16. 5大部位別 施設別治療の内訳



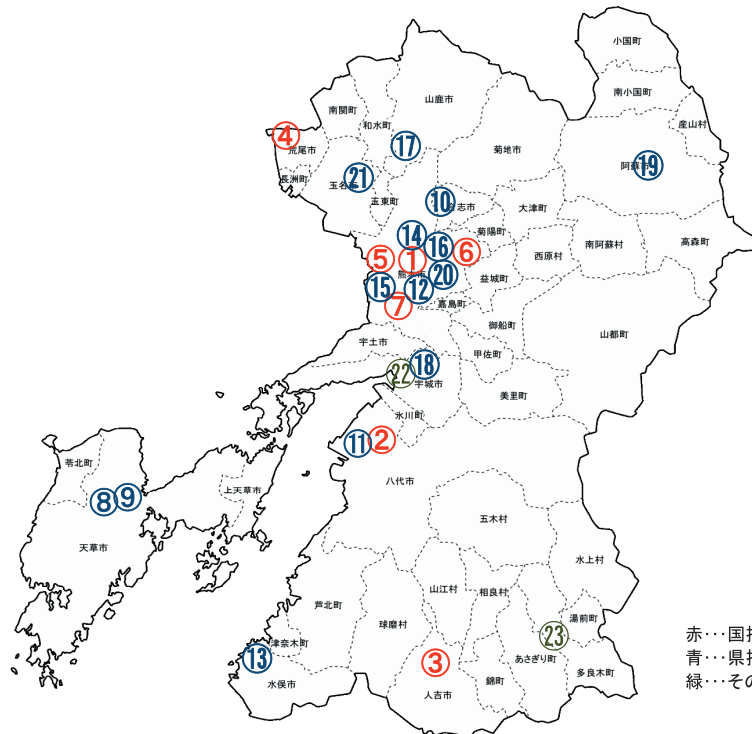


◇ 15. 16. 共通

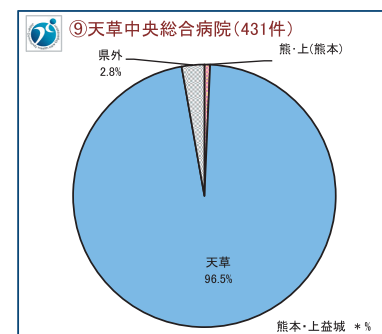
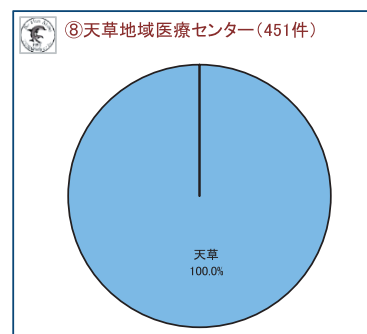
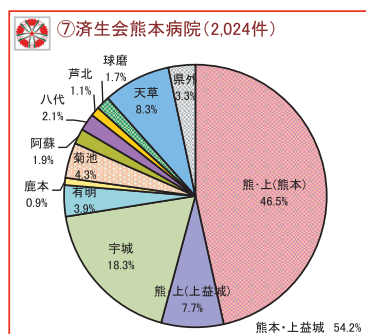
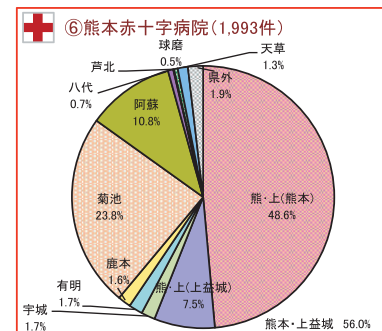
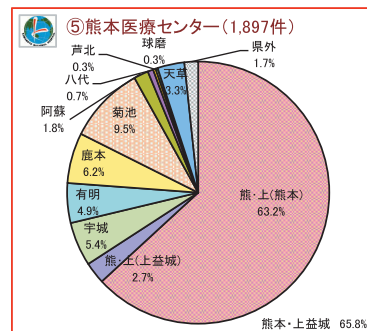
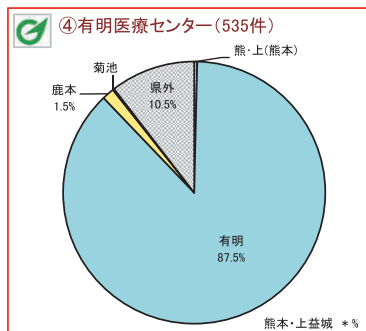
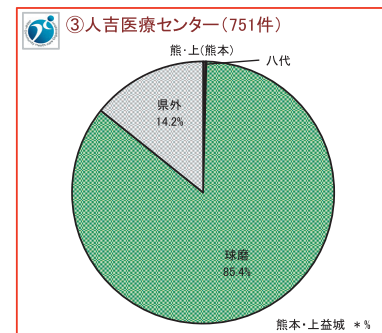
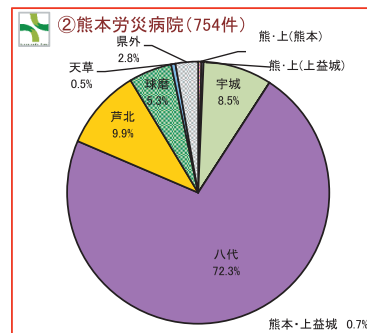
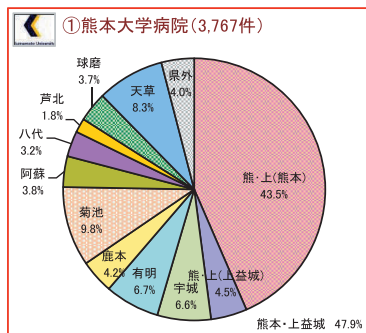
- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で治療されたものを集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療



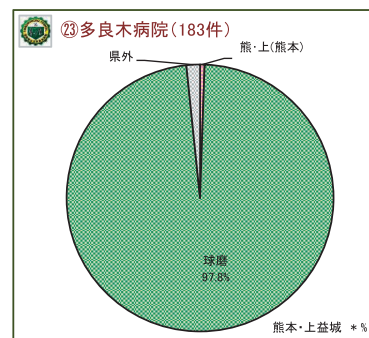
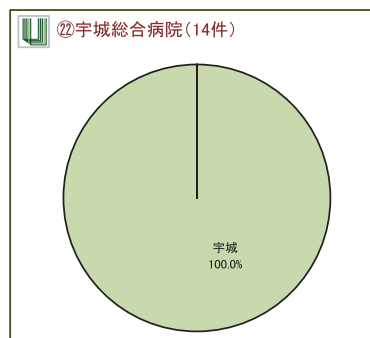
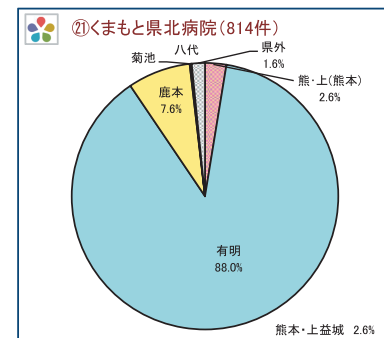
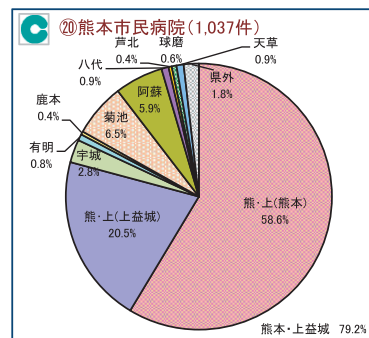
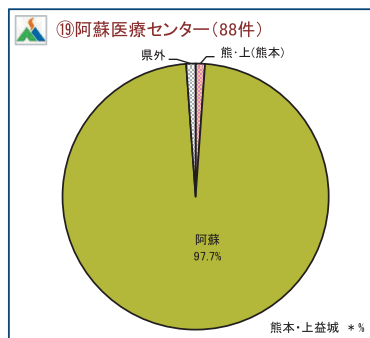
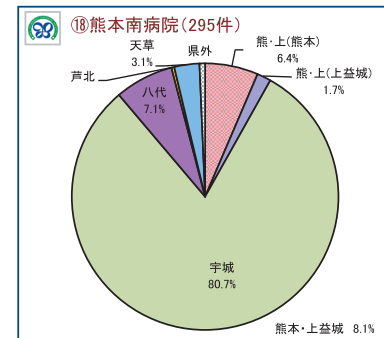
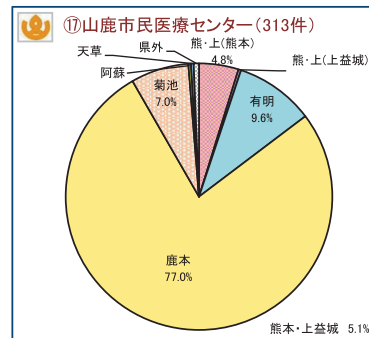
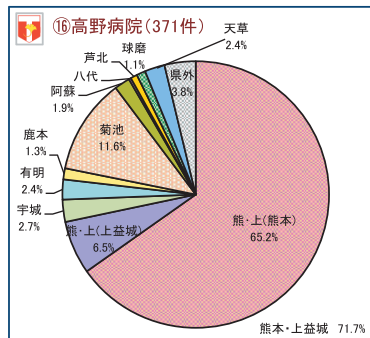
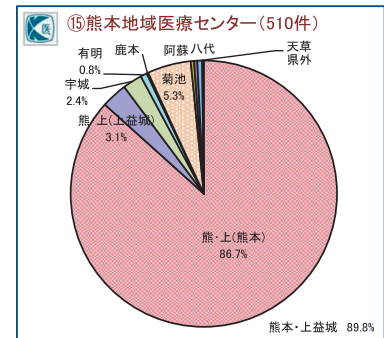
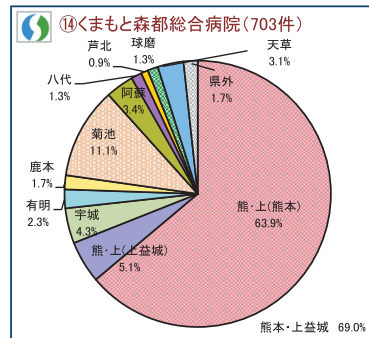
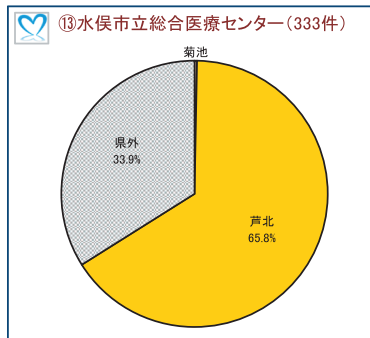
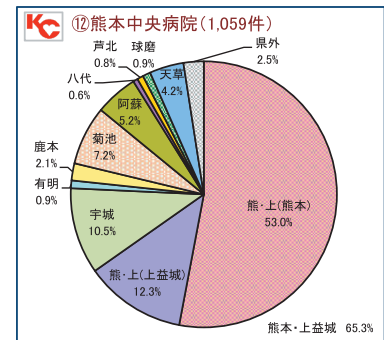
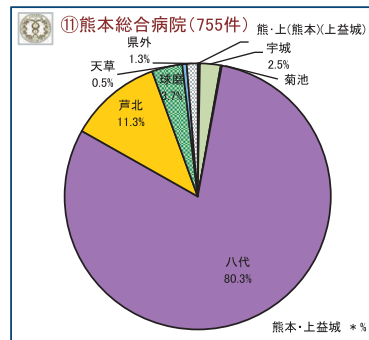
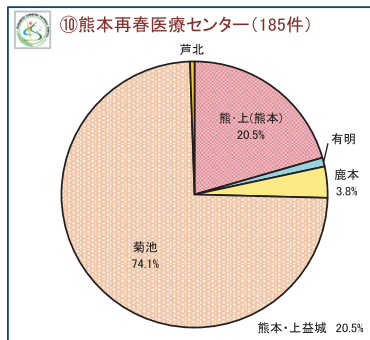
17. 施設別 患者住所構成割合



※ 3件以下の地域は%が非表示

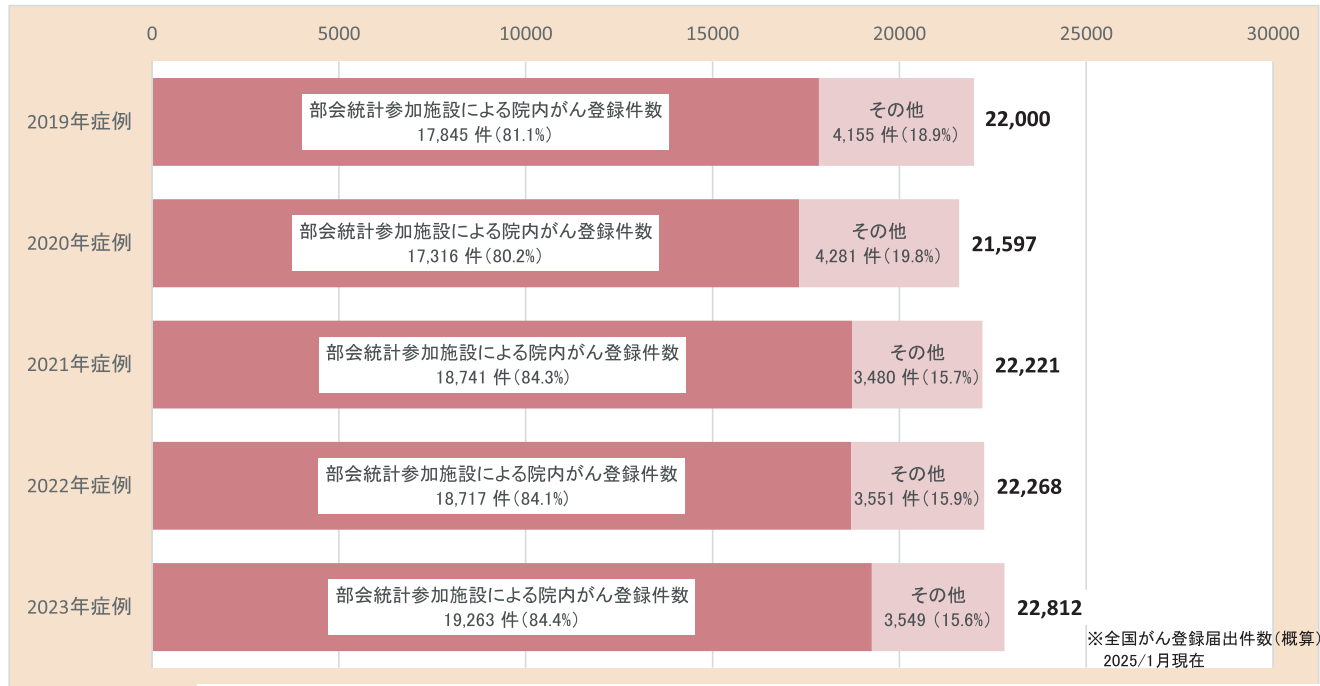


※ 3件以下の地域は%が非表示



I 施設全体統計

18. 診断年別 部会統計参加施設による全国がん登録届出状況(概算)



* このグラフは、院内がん登録でどの程度全国がん登録をカバーしているかを見るためのものである。(院内がん登録では同一患者同一がんを1件に集約する作業はしないため患者重複がある。また全国がん登録届出件数は概算値のため該当年以外の診断症例も含まれている点に留意。院内・全国がん登録は集約方法等が異なるため、あくまで参考値とする。)

* 部会統計参加施設による院内がん登録件数は、2024年12月に当部会へ提出された各施設の院内がん登録件数の集計数。(部会統計については、収集年によって参加施設数、件数ともに変化している。)

* その他は、部会統計参加施設以外の施設と参加施設の追加提出分などの件数。

* 全国がん登録届出件数(概算)は、公益財団法人熊本県総合保健センターによる。また件数は、集計年の12月～1月現在の届出数で概算のため確定値ではないが、参考値でもあるため再掲はしない。

(参考) 熊本県の全国がん登録届出医療機関数と全国がん罹患数

診断年	病院 届出数/病院数	診療所 届出数/指定診療所数	全国がん罹患数
2019年	130 /212	24 /60	15,913(13,989)
2020年	118 /211	19 /60	14,916(13,137)
2021年	88 /208	13 /59	2025/1月現在未公表
2022年	80 /206	8 /57	2025/1月現在未公表
2023年	76 /203	9 /56	2025/1月現在未公表

* 全国がん登録届出数/病院数及び指定診療所数は、公益財団法人熊本県総合保健センターによる。

* 原則、該当年の全国がん登録届出数/病院数及び指定診療所数は、集計年の12月～1月現在の件数であるため未確定値となる。次回作成時に再掲予定。

* 全国がん罹患数は、厚生労働省HP「全国がん登録罹患数・率報告(熊本県の部分)」より出典した。表の()内は上皮内がんを除いた件数。

(参考) 熊本県の病院数と病床数(R5(2023).4.1現在)

医療圏	病院数			病院病床数			診療所数			診療所病床数		
	2022年	2023年	前年差	総数 (2022年)	総数 (2023年)	前年差	2022年	2023年	前年差	総数 (2022年)	総数 (2023年)	前年差
(熊本)	93	91	-2	14,792	14,701	-91	657	662	5	1,574	1,480	-94
(上益城)	13	13	0	1,159	1,159	0	63	66	3	133	133	0
宇城	11	10	-1	1,644	1,599	-45	71	73	2	224	224	0
有明	11	11	0	2,240	2,240	0	127	125	-2	447	433	-14
鹿本	6	6	0	826	826	0	44	44	0	188	169	-19
菊池	16	16	0	2,977	2,977	0	142	141	-1	276	283	7
阿蘇	6	6	0	964	912	-52	44	44	0	73	66	-7
八代	11	11	0	2,313	2,321	8	132	127	-5	376	373	-3
芦北	10	10	0	1,358	1,358	0	46	46	0	219	205	-14
球磨	11	11	0	1,455	1,444	-11	80	83	3	167	167	0
天草	18	18	0	2,632	2,632	0	101	100	-1	392	373	-19
計	206	203	-3	32,360	32,169	-191	1,507	1,511	4	4,069	3,906	-163

* 該当年の件数は熊本県HP「医療施設一覧(令和5(2023)年4月1日現在)」より出典した。

* 同一覧の休止中医療機関も含む。

* 表の総数とは一般、療養、精神、結核、感染症病床の合計である。

19. 集計年別 5年生存率の推移 (がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計 報告書より)

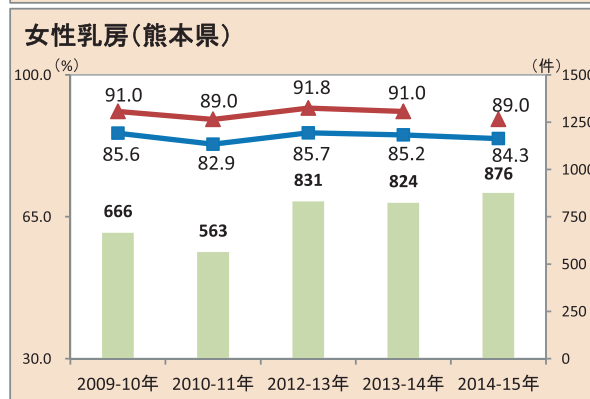
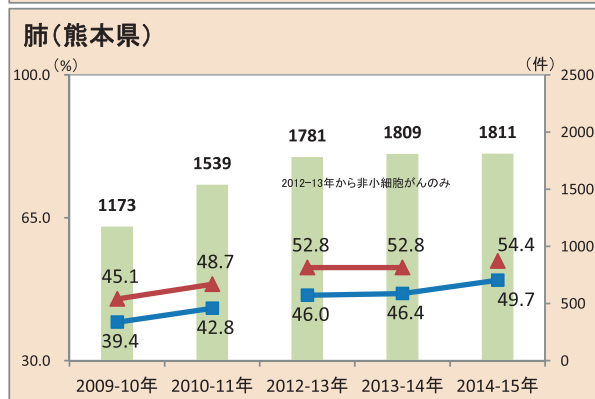
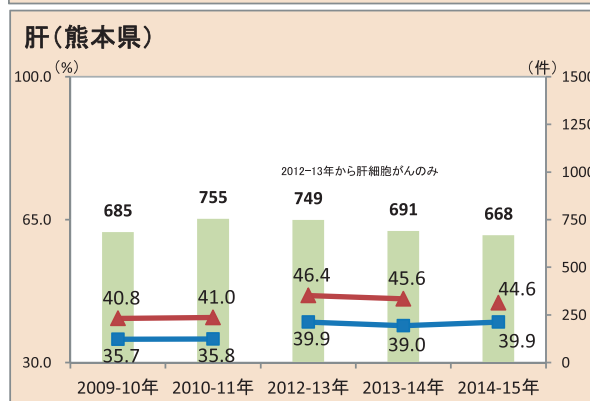
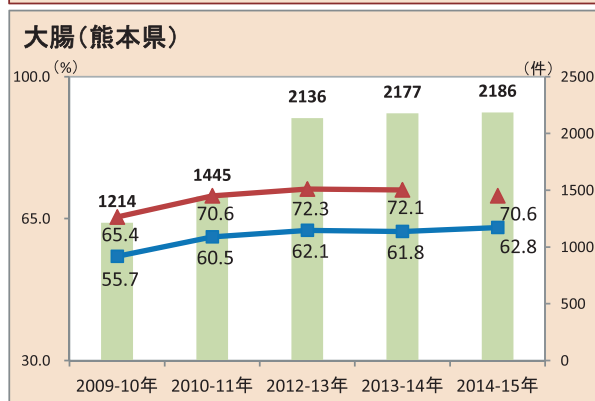
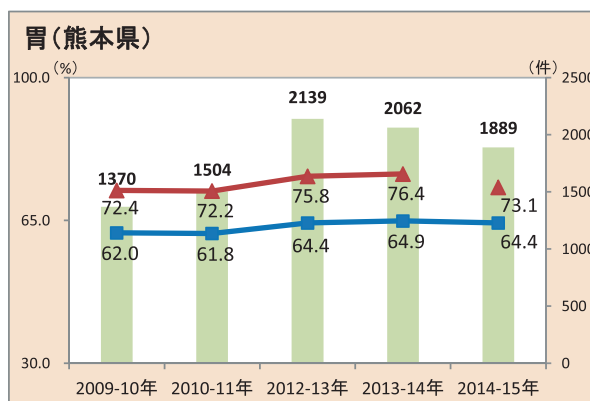
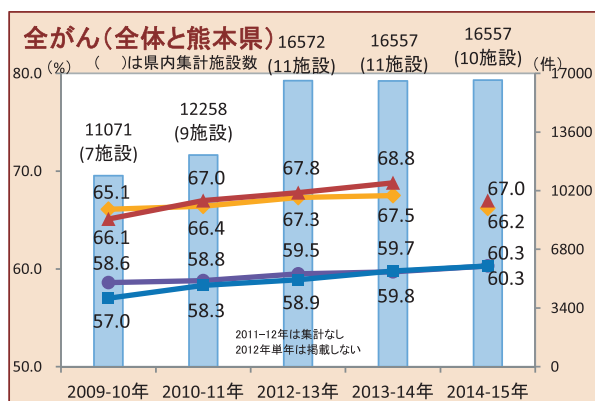
◆がん診療連携拠点病院/該当年の院内がん登録全国集計にデータ提供を行った都道府県推薦病院のうち
以下の条件を満たした施設

令和6年度 公表なし

- 生存状況把握割合が90%を超えた施設 (集計対象が30例未満の場合、生存率は非公開となる)

■ 熊本県集計件数 ■ 全体(実測) ▲ 全体(相対) ■ 熊本県(実測) ▲ 熊本県(相対)

→ 2014-15年分より相対生存率からネットサバイバル(純生存率)へ変更



※ この頁は、国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センターによる「院内がん登録5年生存率集計 報告書 付表2. 都道府県別5年生存率集計」のうち、主に熊本県の部分から出典した。

(URL: https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/index.html)

※ この頁は、がん診療連携拠点病院等の一部施設のデータ集計値で5年生存率を算出したものである。ただしこれは県内のごく一部の医療機関の数値をまとめたものに過ぎず、部位・ステージ・合併症・年齢などの考慮は反映されていないため、必ずしも県全体の実態を表すものではないことに留意すること。

尚、同報告書の【施設数が少ない都道府県のデータについては、かなりの偏りあるいは不正確さが存在していることを想定する必要がある。このため、ここで示した生存率が、単純に当該都道府県のがん医療の優劣ではないことに留意する必要がある。】との但し書きにある通り、数値については十分ご留意の上、参照していただきたい。

※ 実測(生存率)とは、死因に関係なく全ての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因による死亡も含まれる。

※ 相対(生存率)とは、生存率を計算する対象者と同じ特性(性、年齢、暦年など)を持つ一般集団の期待生存率より算出した期待生存率で実測生存率を割ることによって、他死因を補正する方法。期待生存率は国立がん研究センターが公表しているコホート生存率表を利用して求めている。

※ ネットサバイバル(純生存率)とは、期待生存率を算出することなく「がんのみが死因となる状況」を推計する、国際的にも広く採用されている方法。

Ⅱ 施設別統計

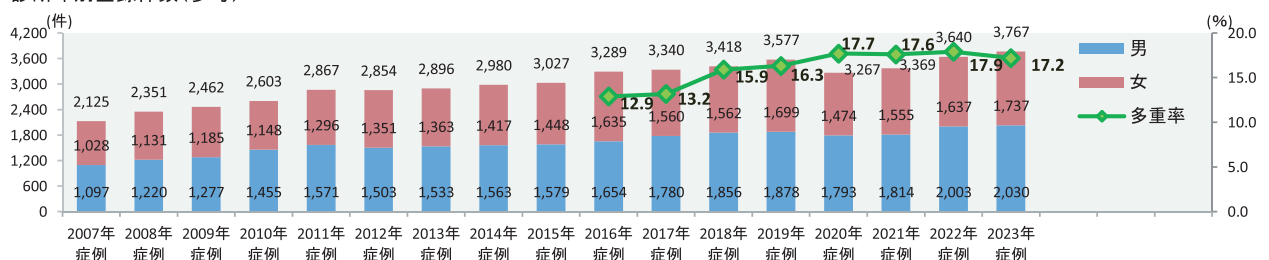
熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名	 国立大学法人熊本大学病院		
○基本情報			
【令和5(2023)年12月現在			
所在地	熊本市中央区本荘1丁目1番1号		
病床数	845床(一般795床;精神50床)		
追加情報	無菌室16床		
診療科数	33科		
がん診療連携拠点病院指定日	2006.08.24	がん登録開始基準日	2006.08.01
平均在院日数	12.4(日)		
入院患者数	19,931(人)		
外来患者延数	354,061(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	5
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 14,420(件)		
院内がん登録件数	3,767(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 2 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

本院は熊本県の中心部に位置する都道府県がん診療連携拠点病院であり、県内唯一の特定機能病院である。特徴として、県内全域及び隣県の幅広い地域の患者様や、様々ながん腫の診療を行っていることがあげられる。
2023年の院内がん登録数は3,767件で、2022年より127件増加し、過去最多登録数となった。また、外来患者延数は2022年の351,660人から354,061人と増加していた。要因は様々と思われるが、新型コロナウイルス感染症の感染症法に基づく分類が、2023年の5月から5類へと移行した事などの影響で、本院に来院する患者数は増加傾向へと変化していったものと思われる。
部位別の上位5部位は、「肺(428)」・「乳房(343)」・「口腔咽頭(312)」・「大腸(275)」・「皮膚(259)」となり、2022年に上位5部位であった「脳脊髄」(注;脳脊髄は良性等も含まれる)より「皮膚」の件数が上回った。前年件数との単純比較では、どの部位も増加しているが、「肝」・「甲状腺」・「食道」を含む8項目は減少していた。また本院では毎年「その他(486)」区分が最多となるが、その上位内訳は「腎(81)」・「胆嚢・肝外胆管(67)」・「喉頭(51)」であった。【⑥参照】
2023年登録における平均年齢は67.3歳(前年66.5歳)であった。男性の平均年齢は69.3歳(前年68.8歳)、女性は65.0歳(前年63.6歳)であり、男女ともに上昇していた。【②参照】
初回治療については各々積算ではあるが、切除術(外科、鏡視下、内視鏡)1917件、放射線療法426件、化学療法828件、内分泌療法215件、その他治療(RFA、レーザー治療、免疫療法など)123件、経過観察のみ(症状緩和治療のみ含む)204件であった。切除術が最も多くなっており、その中には手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術も含まれている。【⑨参照】
本院は2023年4月にがんゲノム医療拠点病院に指定された。また、同年12月には遺伝に関する悩みや不安、疑問のある方や遺伝学的検査を検討されている方へ対応できるよう遺伝診療センターも設置された。遺伝性腫瘍をはじめとした疾患について正しい情報を伝え、理解・選択を支援できるよう、大学病院として取り組み、総合的な診断・治療へとつなげていきたいと考えている。

診断年別登録件数(参考)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

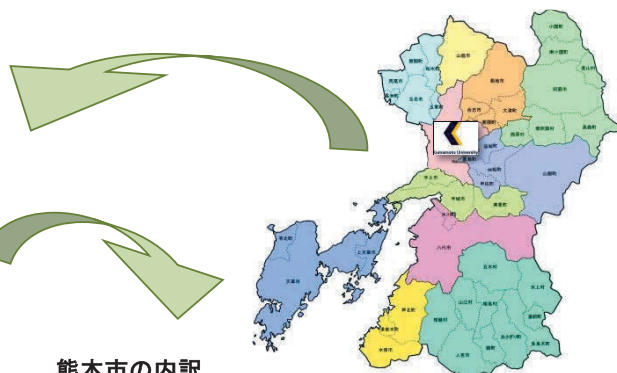
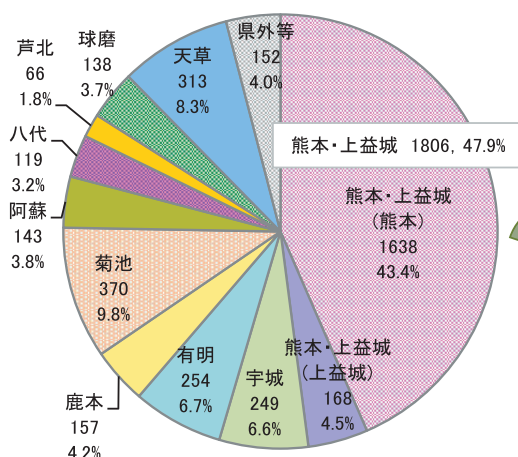
Ⅱ 施設別統計

熊本大学病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

熊本大学病院 (3,767件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示



熊本市の内訳

中央区	東区	西区	南区	北区
436	401	226	265	310

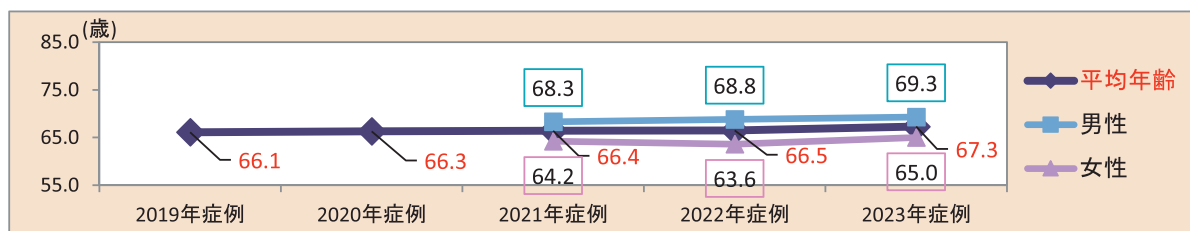
0 340 680 1020 1360 1700

◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	その他	218	有明	乳房	46	阿蘇	皮膚	18	球磨	口腔咽頭	29
	肺	188		その他	35		肝	13		その他	21
	乳房	158		肺	26		その他	13		皮膚	14
	口腔咽頭	134		脾	19		口腔咽頭	12		食道	12
	大腸	132		肝	18		該当部位	各11		該当部位	各8
熊・上 (上益城)	皮膚	27	鹿本	乳房	34	八代	その他	18	天草	肺	52
	その他	20		その他	30		口腔咽頭	17		その他	37
	悪性血液	17		大腸	21		乳房	12		皮膚	30
	肺	13		皮膚	10		悪性血液	12		悪性血液	25
	該当部位	各11		肺	50		食道	10		脳脊髄	20
宇城	大腸	29	菊池	その他	45	芦北	その他	12	県外等	口腔咽頭	20
	肺	28		前立腺	33		肺	9		肺	17
	乳房	27		口腔咽頭	32		大腸	8		食道	13
	その他	24		脳脊髄	30		口腔咽頭	7		その他	13
	悪性血液	18					乳房	6		該当部位	各12

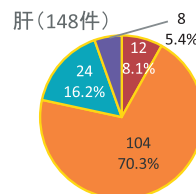
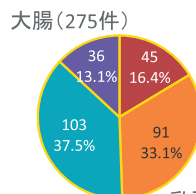
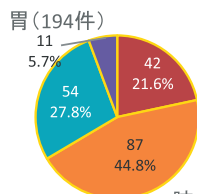
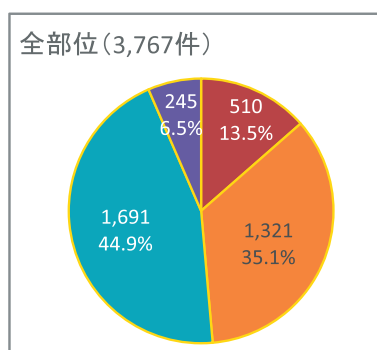
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

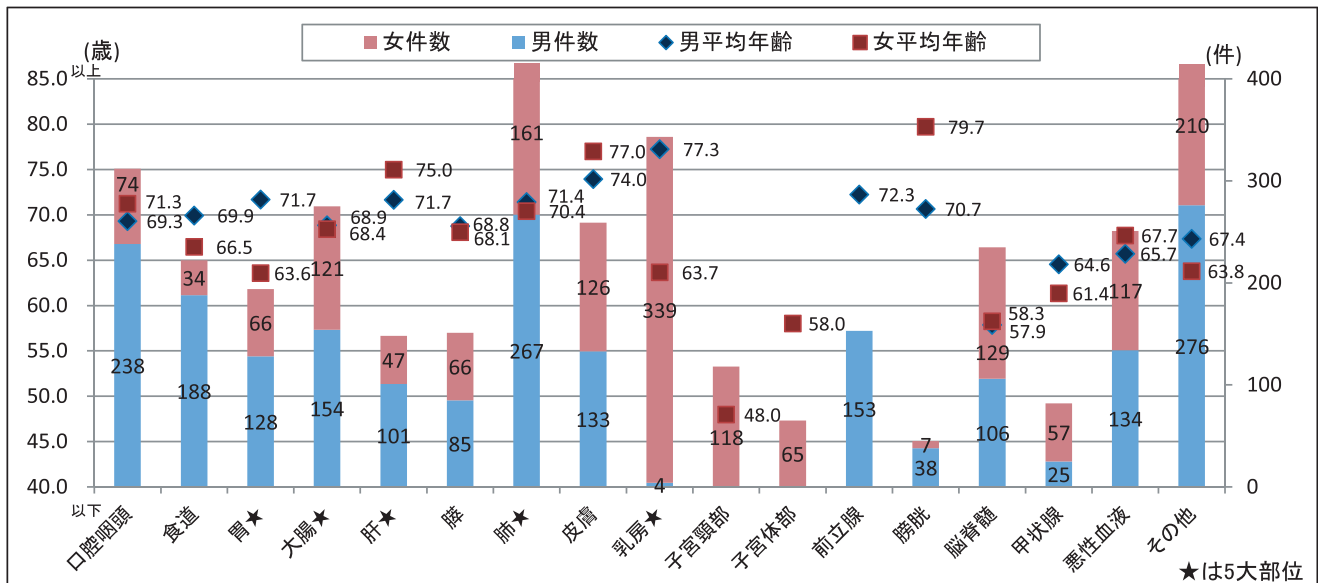


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



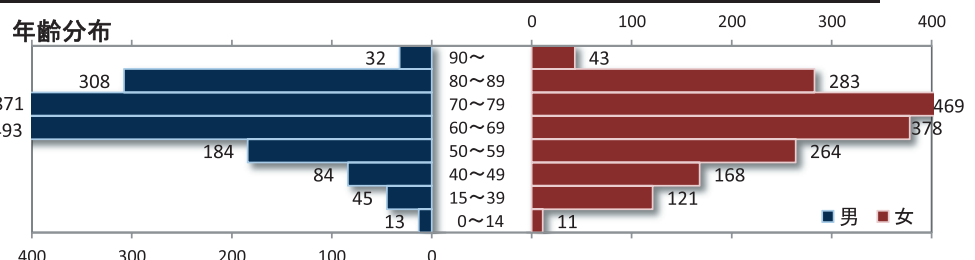
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
その他	276	その他	5	脳脊髄	14	その他	18	口腔咽頭	29
肺	267	悪性血液	4	その他	11	脳脊髄	11	その他	22
口腔咽頭	238	脳脊髄	4	悪性血液	9	大腸	10	肺	21
食道	188			該当部位	各*	口腔咽頭	9	脳脊髄	20
大腸	154					悪性血液	9	大腸	18
前立腺	153					など		など	
悪性血液	134	計	13	計	45	計	84	計	184
皮膚	133	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
胃	128	口腔咽頭	63	肺	144	口腔咽頭	39	皮膚	12
脳脊髄	106	食道	61	その他	125	肺	38	その他	6
肝	101	肺	54	口腔咽頭	93	皮膚	38	該当部位	各*
膵	85	その他	54	食道	91	その他	35		
膀胱	38	前立腺	46	前立腺	77	胃	30		
甲状腺	25	など		など		など			
乳房	4	計	493	計	871	計	308	計	32
子宮頸部									
子宮体部									
計	2,030								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	339	脳脊髄	6	子宮頸部	42	乳房	51	乳房	68
その他	210	該当部位	各*	その他	18	子宮頸部	24	その他	31
肺	161			脳脊髄	15	その他	19	子宮頸部	24
脳脊髄	129			乳房	13	脳脊髄	13	子宮体部	22
皮膚	126			子宮体部	9	該当部位	各10	大腸	21
大腸	121			など		など		など	
子宮頸部	118	計	11	計	121	計	168	計	264
悪性血液	117	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
口腔咽頭	74	乳房	84	乳房	70	乳房	49	皮膚	22
胃	66	その他	44	肺	69	皮膚	42	その他	5
膵	66	肺	41	その他	61	その他	29	口腔咽頭	4
子宮体部	65	悪性血液	36	大腸	38	該当部位	各28	乳房	4
甲状腺	57	脳脊髄	35	皮膚	35	大腸	24	該当部位	各*
肝	47	など		など		など			
食道	34	計	378	計	469	計	283	計	43
膀胱	7								
前立腺									
計	1,737								



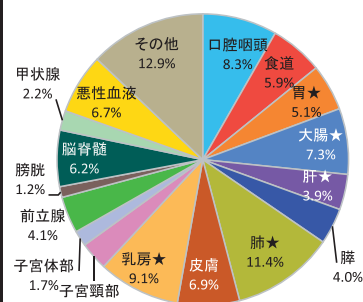
Ⅱ 施設別統計

熊本大学病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	291	276	274	317	312
食道	196	209	225	240	222
胃★	208	208	183	176	194
大腸★	245	220	247	253	275
肝★	167	170	168	178	148
膵	123	115	99	121	151
肺★	360	314	337	394	428
皮膚	240	222	198	202	259
乳房★	244	244	291	314	343
子宮頸部	181	110	132	98	118
子宮体部	87	62	65	74	65
前立腺	127	104	139	167	153
膀胱	56	42	46	61	45
脳脊髄	227	212	214	250	235
甲状腺	123	115	121	112	82
悪性血液疾患	267	260	216	241	251
その他	435	384	414	442	486
計	3,577	3,267	3,369	3,640	3,767

2023年診断症例 主要部位別割合



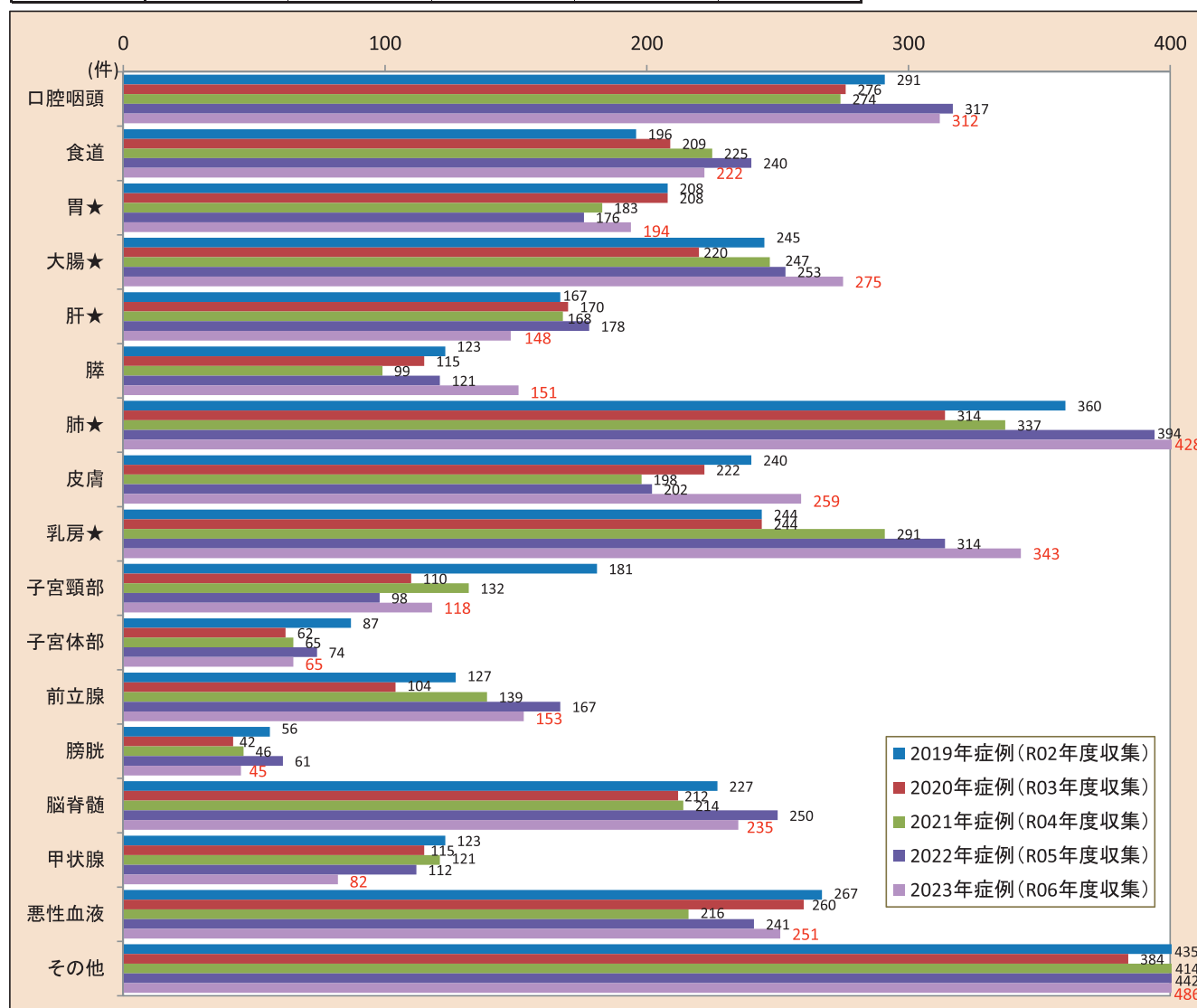
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

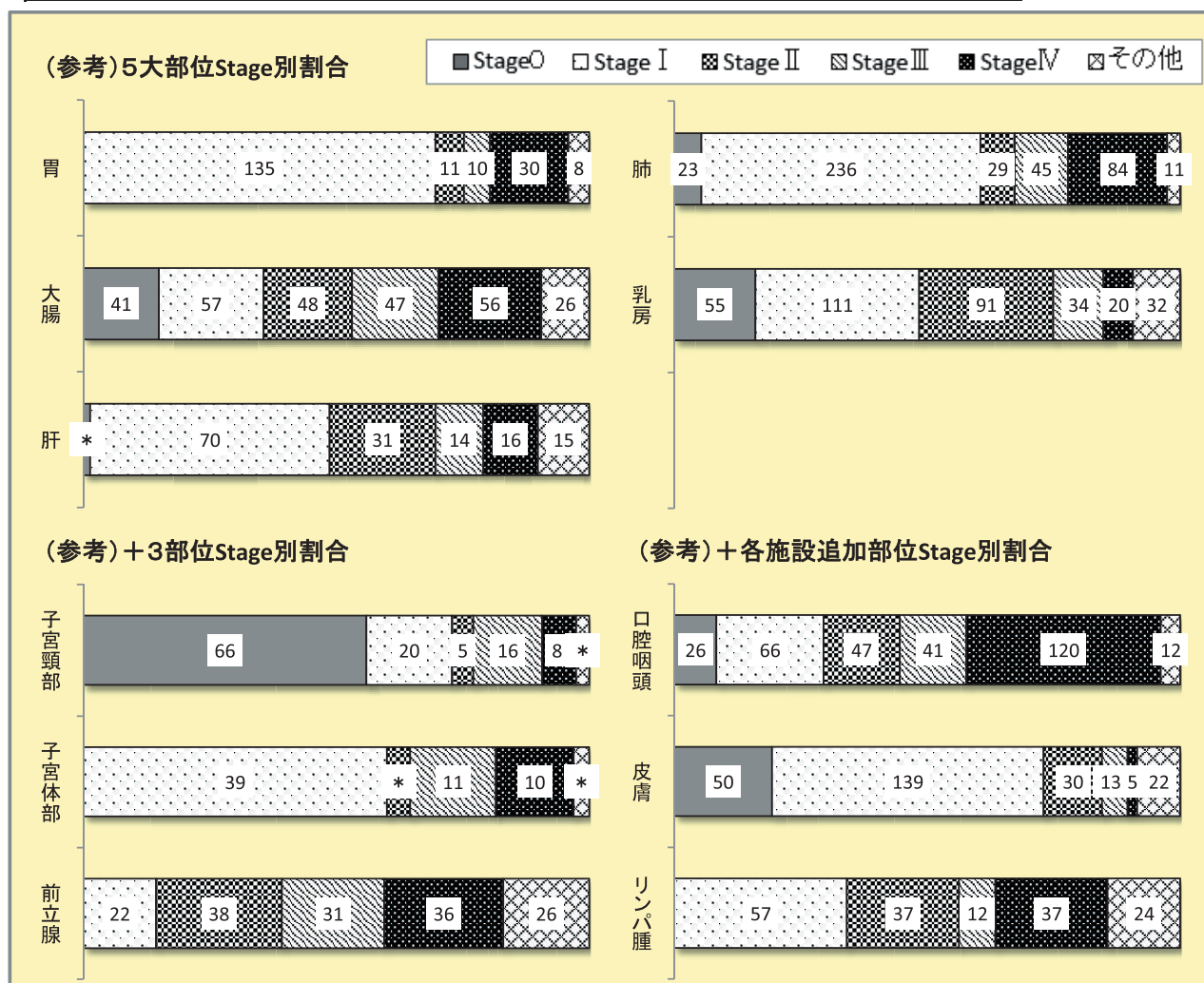
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	312	26	66	47	41	120	12
食道	222	6	112	20	45	31	8
胃★	194		135	11	10	30	8
大腸★	275	41	57	48	47	56	26
肝★	148	*	70	31	14	16	15
膵	151	13	41	23	21	46	7
肺★	428	23	236	29	45	84	11
皮膚	259	50	139	30	13	5	22
乳房★	343	55	111	91	34	20	32
子宮頸部	118	66	20	5	16	8	*
子宮体部	65		39	*	11	10	*
前立腺	153		22	38	31	36	26
膀胱	45	14	12	10	8	*	
脳脊髄	235						235
甲状腺	82		42	15	7	9	9
悪性血液疾患	251		58	37	13	43	100
その他	486	19	184	50	78	82	73
計	3,767	315	1344	488	434	597	589



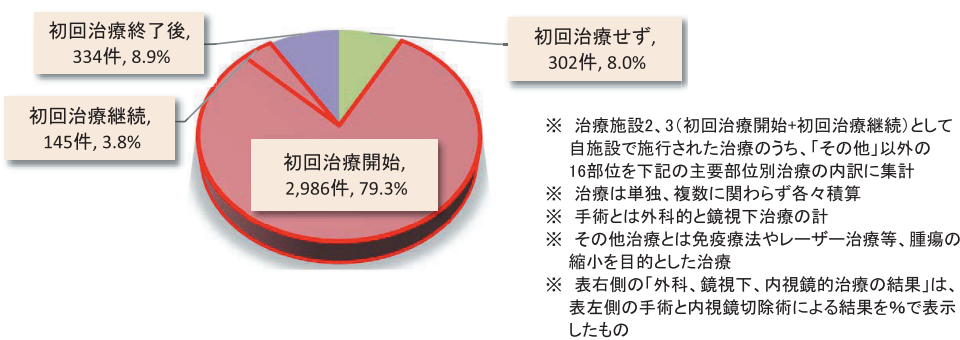
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

熊本大学病院

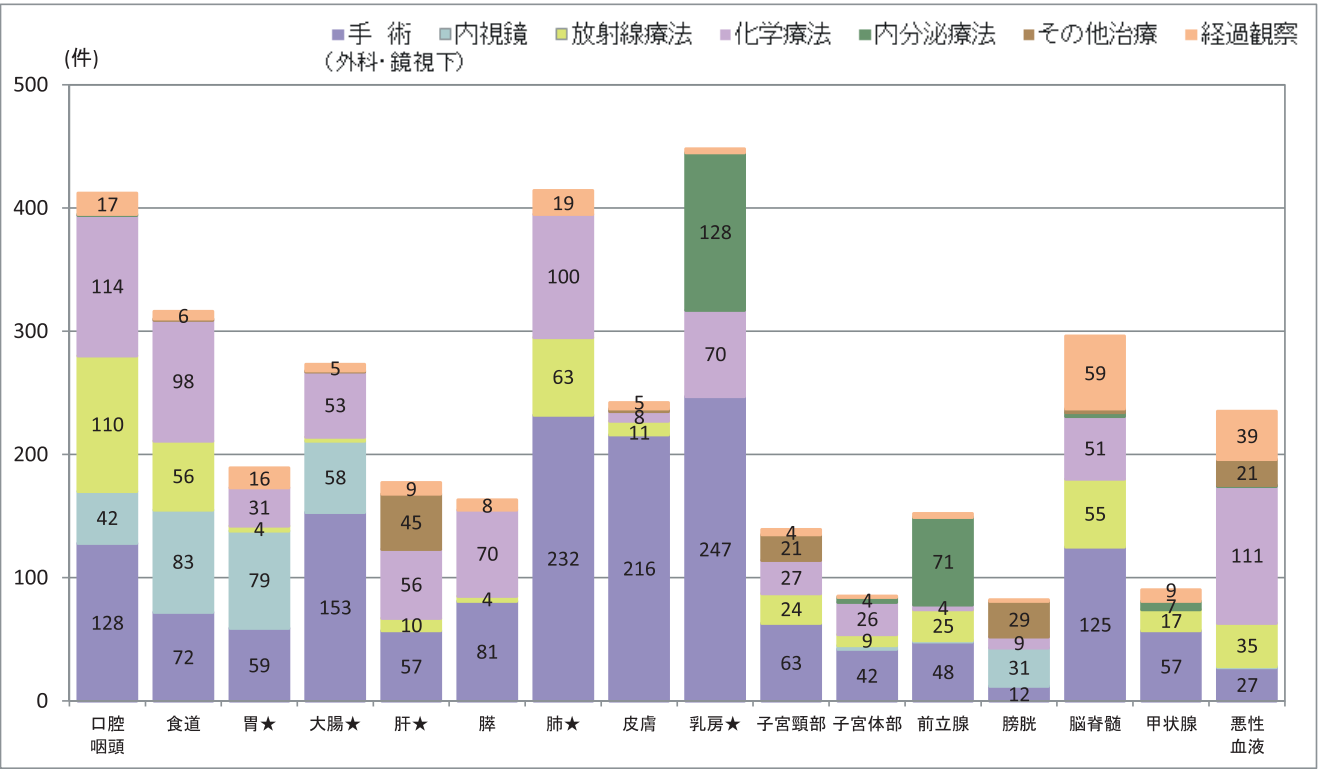
⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	302
2初回治療開始	2,986
3初回治療継続	145
4初回治療終了後	334
8その他	
計	3,767



⑨ 主要部位別治療の内訳

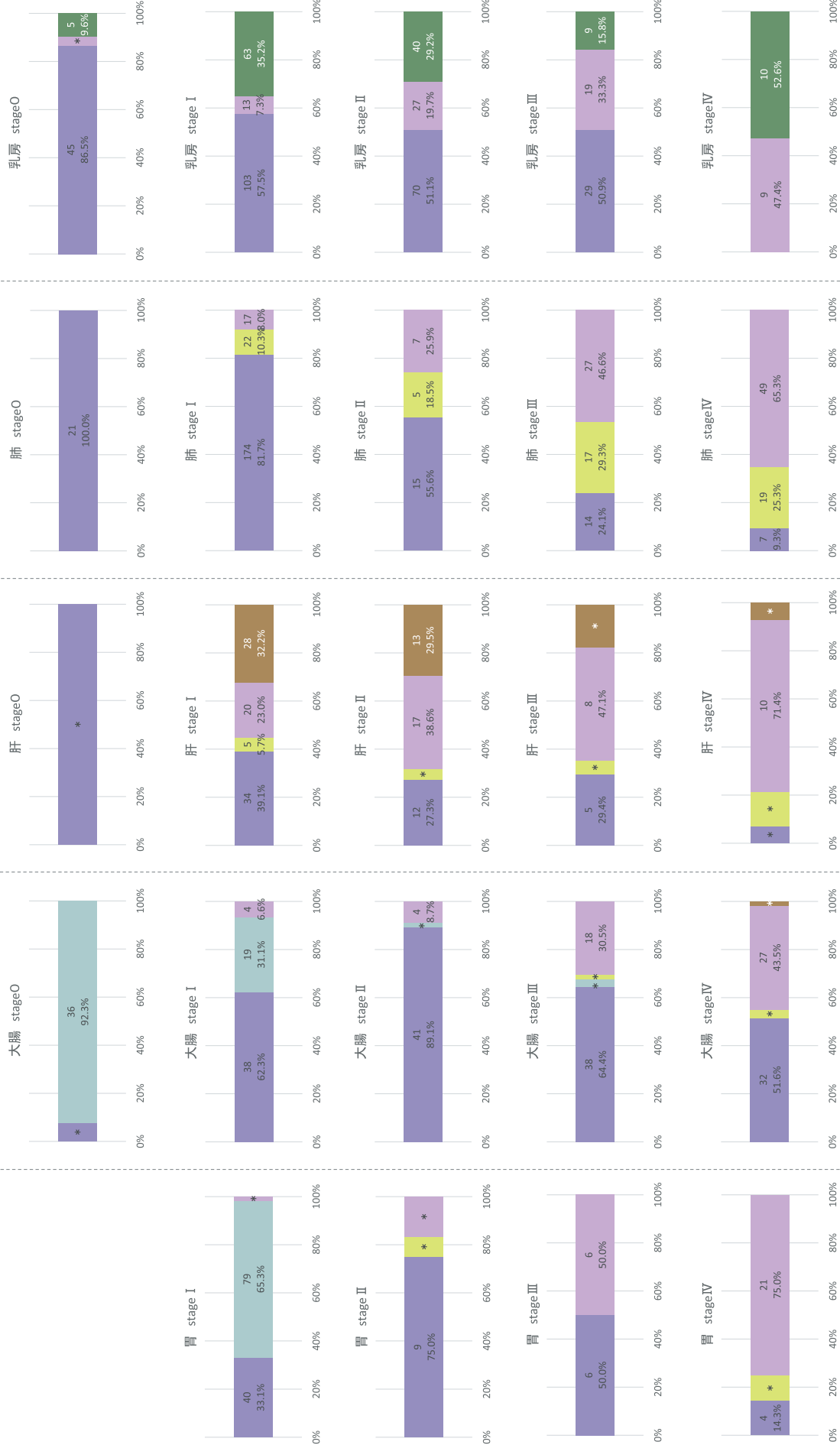
	(外科・手術 鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	128	42	110	114	*		17	412	80.0%	2.9%	17.1%
食道	72	83	56	98		*	6	316	90.7%	2.6%	6.6%
胃★	59	79	4	31			16	189	93.3%	3.0%	3.7%
大腸★	153	58	*	53		*	5	273	83.7%	6.4%	9.9%
肝★	57		10	56		45	9	177	78.9%	3.5%	17.5%
膵	81		4	70			8	163	77.8%	12.3%	9.9%
肺★	232		63	100			19	414	93.9%	2.2%	3.9%
皮膚	216		11	8		*	5	242	97.7%	2.3%	0.0%
乳房★	247			70	128		*	448	92.3%	5.7%	2.0%
子宮頸部	63		24	27		21	4	139	87.1%	12.9%	0.0%
子宮体部	42	*	9	26	4		*	85	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺	48	*	25	4	71		*	152	77.6%	20.4%	2.0%
膀胱	12	31		9		29	*	82	91.7%	8.3%	0.0%
脳脊髄	125		55	51	*	*	59	296	23.2%	50.4%	26.4%
甲状腺	57		17		7		9	90	66.7%	8.8%	24.6%
悪性血液疾患	27	*	35	111	*	21	39	235	7.1%	60.7%	32.1%
計	1,619	298	426	828	215	123	204	3,713			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の 主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法
 ■ 化学療法 ■ 内分泌療法 ■ その他治療



Ⅱ 施設別統計 熊本大学病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 ―2023年診断症例―

医 療 機 関 名		独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院
-----------	---	------------------------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

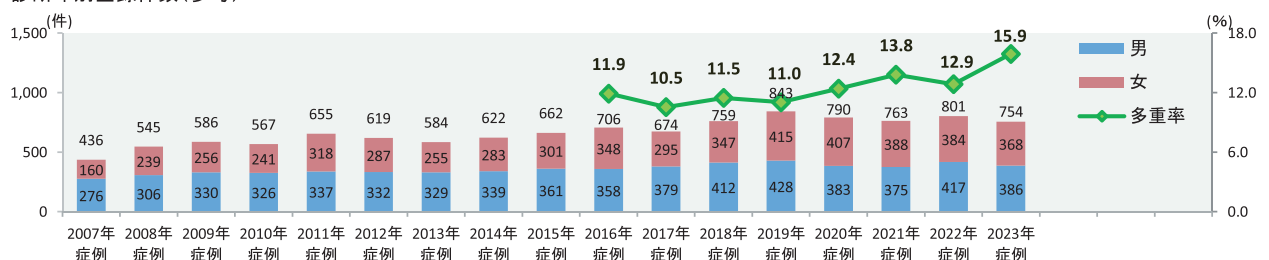
所 在 地	八代市竹原町1670		
病 床 数	410床(一般410床)		
追加情報			
診 療 科 数	26科		
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31	がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	13.5 (日)		
入院患者数	9,109 (人)		
外来患者延数	144,926 (人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 9,500 (件/概算)		
院内がん登録件数	754 (件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 /初級者 0 /他 0 (名)		

○医療機関からのコメント

本院は熊本県第二の都市である八代市に位置し、熊本県南地域における中核病院の1つとして救急医療をはじめとする地域の高度専門医療を担っている。がん診療においても担当医療圏である八代が72%を占め、地域がん診療連携拠点病院の役割を果たしていると思われる。
◇2023年登録件数 754件(前年より47件減少)
◇部位別登録件数(上位5部位) ①肺125件 ②乳房108件 ③大腸85件 ④皮膚78件 ⑤胃42件
◇男女別登録件数 男性386件(51%) 女性368件(49%)
◇平均年齢 71.6歳(男性73.2歳 女性69.9歳)
◇患者住所の割合 ①八代72.3% ②芦北9.9% ③宇城8.5% ④球磨5.3%

登録件数は前年より47件減少した。最も多かった部位は前年同様、肺125件(前年118件)であった。
自施設初回治療もしくはその継続治療を行った症例617件は手術(外科、鏡視下、内視鏡)360件、放射線療法94件、化学療法157件、内分泌療法79件であり手術が最も多くなっている。中でも手術件数が多いのは大腸70件、乳房67件であった。
登録患者の平均年齢は71.6歳で、例年同様高い傾向にある。これは地域特性として、若年層の都市部への流出により地域全体に高齢者が多いこと、また、若い検診受診者はインターネットなどで情報を集め移動も容易であるため熊本市内の病院を受診する傾向にあること、交通手段の少ない高齢者は検診を受けず、症状が出現して地域の基幹病院を受診する傾向にあることなどが影響しているものと思われる。
治療に関しては、高齢者・若年層に関わらず、症状が出現した状態で受診し、それらの多くが進行癌であることなどから外科的治療が出来ない場合が少なくない。しかし、治療が可能な症例については熊本県が推進している「医科歯科連携」などを積極的に行い、がん患者が安心して治療を受けることができるような体制づくりを行っている。
八代医療圏からの紹介が多く、がん相談支援センターを中心とした「私のカルテ」による連携、治療初期段階からの必要に応じた相談支援、「がんサロン」の開催、緩和ケアの実施、「私の日記」の導入など、地域医療の質の充実に推進している。がんに関する情報提供と啓発活動として、院内でのピンクリボン運動推進イベント『雅太鼓による演奏会』の開催、院外では森都心プラザ図書館でのがん専門相談員による出張相談会、不知火図書館「がんピアおしゃべり相談室」でがん相談なども行っている。

診断年別登録件数(参考)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

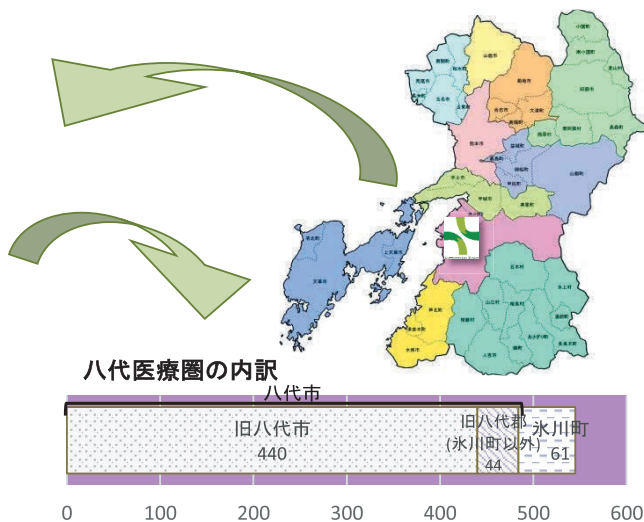
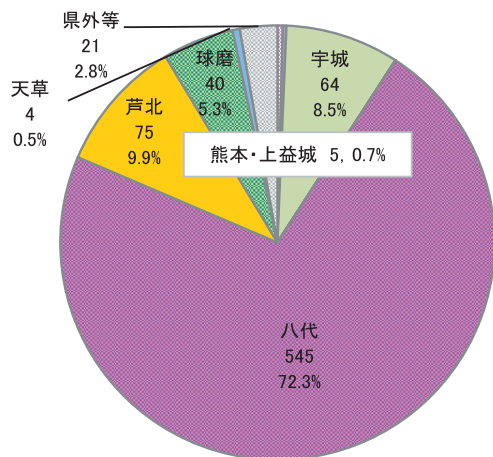
Ⅱ 施設別統計

熊本労災病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

熊本労災病院 (754件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示



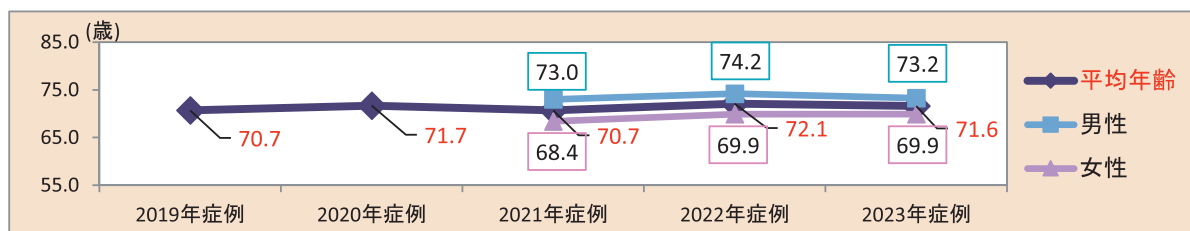
※ 熊・上(熊本・上益城)は1~3件

◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	該当部位	各*	有明		阿蘇		球磨	皮膚	14	
						乳房		7		
						子宮頸部		4		
						その他		4		
						該当部位		各*		
熊・上 (上益城)	該当部位	各*	鹿本		八代	肺	92	天草	該当部位	各*
						乳房	77			
						その他	70			
						大腸	67			
						皮膚	46			
宇城	肺	12	菊池		芦北	肺	13	県外等	肺	5
	皮膚	8				乳房	12		乳房	4
	乳房	8				大腸	10		該当部位	各*
	胃	6				その他	10			
	その他	6				該当部位	各5			

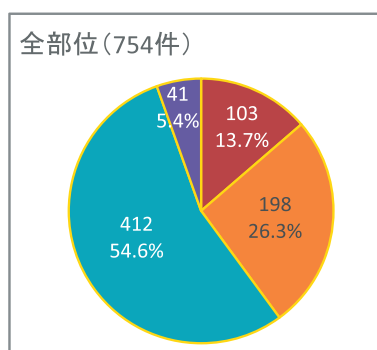
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

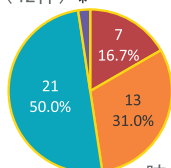


③ 発見経緯 5大部位の内訳

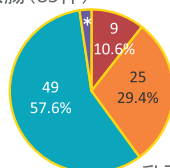
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



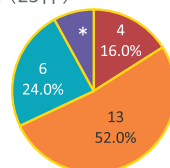
胃(42件)*



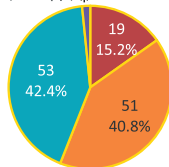
大腸(85件)



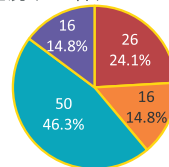
肝(25件)



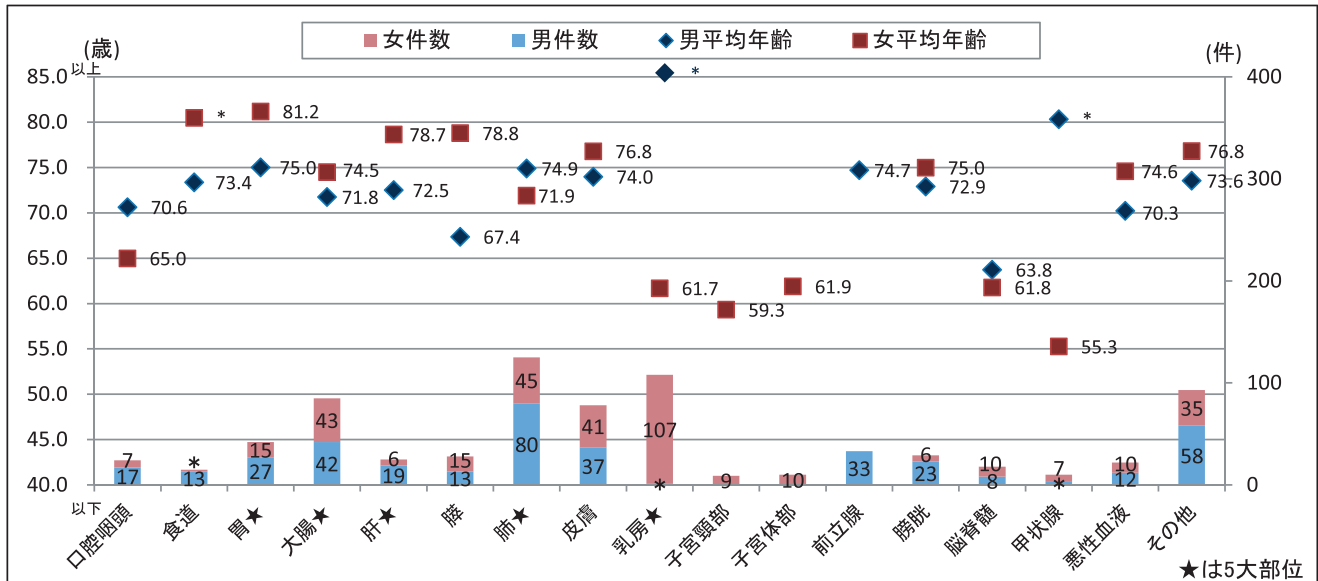
肺(125件)*



乳房(108件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



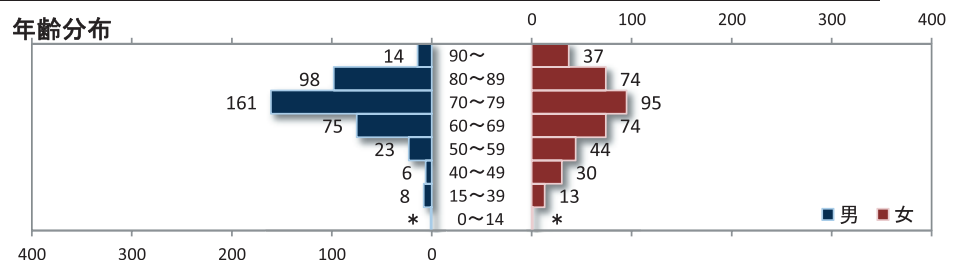
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
肺	80	該当部位	*	該当部位	各*	該当部位	各*	その他	5
その他	58							大腸	4
大腸	42							該当部位	各*
皮膚	37								
前立腺	33								
胃	27								
膀胱	23	計	*	計	8	計	6	計	23
肝	19	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
口腔咽頭	17	肺	15	肺	42	肺	16	該当部位	各*
食道	13	その他	12	その他	26	皮膚	14		
膵	13	皮膚	8	大腸	18	その他	13		
悪性血液	12	前立腺	8	前立腺	14	胃	11		
脳脊髄	8	該当部位	各7	胃	11	前立腺	9		
甲状腺	*	など		など		など			
乳房	*	計	75	計	161	計	98	計	14
子宮頸部									
子宮体部									
計	386								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	107	該当部位	*	乳房	9	乳房	16	乳房	22
肺	45			該当部位	各*	皮膚	4	大腸	8
大腸	43					該当部位	各*	該当部位	各*
皮膚	41								
その他	35								
胃	15	計	*	計	13	計	30	計	44
膵	15	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
子宮体部	10	乳房	26	乳房	22	その他	13	皮膚	11
脳脊髄	10	肺	14	肺	21	皮膚	12	大腸	9
悪性血液	10	皮膚	9	大腸	13	胃	9	その他	5
子宮頸部	9	子宮体部	5	その他	10	大腸	9	該当部位	各*
口腔咽頭	7	その他	5	など		乳房	9		
甲状腺	7	該当部位	各*			など			
肝	6	計	74	計	95	計	74	計	37
膀胱	6								
食道	*								
前立腺									
計	368								



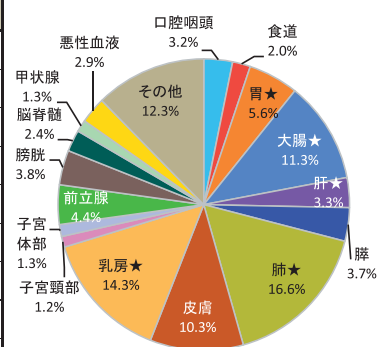
Ⅱ 施設別統計

熊本労災病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	25	19	15	21	24
食道	13	9	12	12	15
胃★	52	56	42	54	42
大腸★	94	93	95	97	85
肝★	35	30	37	24	25
膵	28	35	22	30	28
肺★	132	128	137	118	125
皮膚	51	50	52	80	78
乳房★	84	86	115	92	108
子宮頸部	53	39	19	25	9
子宮体部	29	26	9	12	10
前立腺	72	51	45	60	33
膀胱	37	30	26	25	29
脳脊髄	21	31	24	23	18
甲状腺	13	9	16	20	10
悪性血液疾患	23	24	18	19	22
その他	81	74	79	89	93
計	843	790	763	801	754

2023年診断症例 主要部位別割合



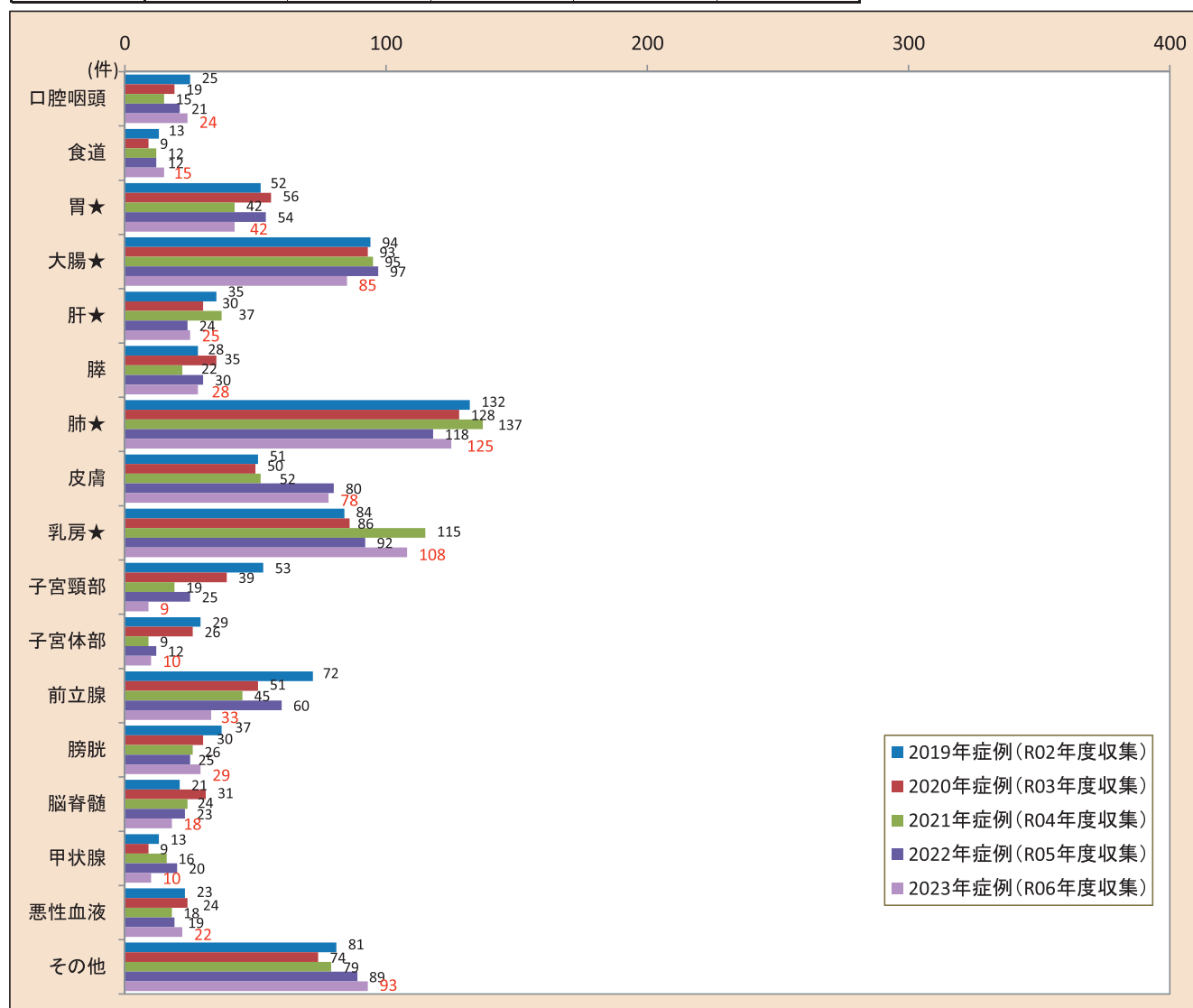
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

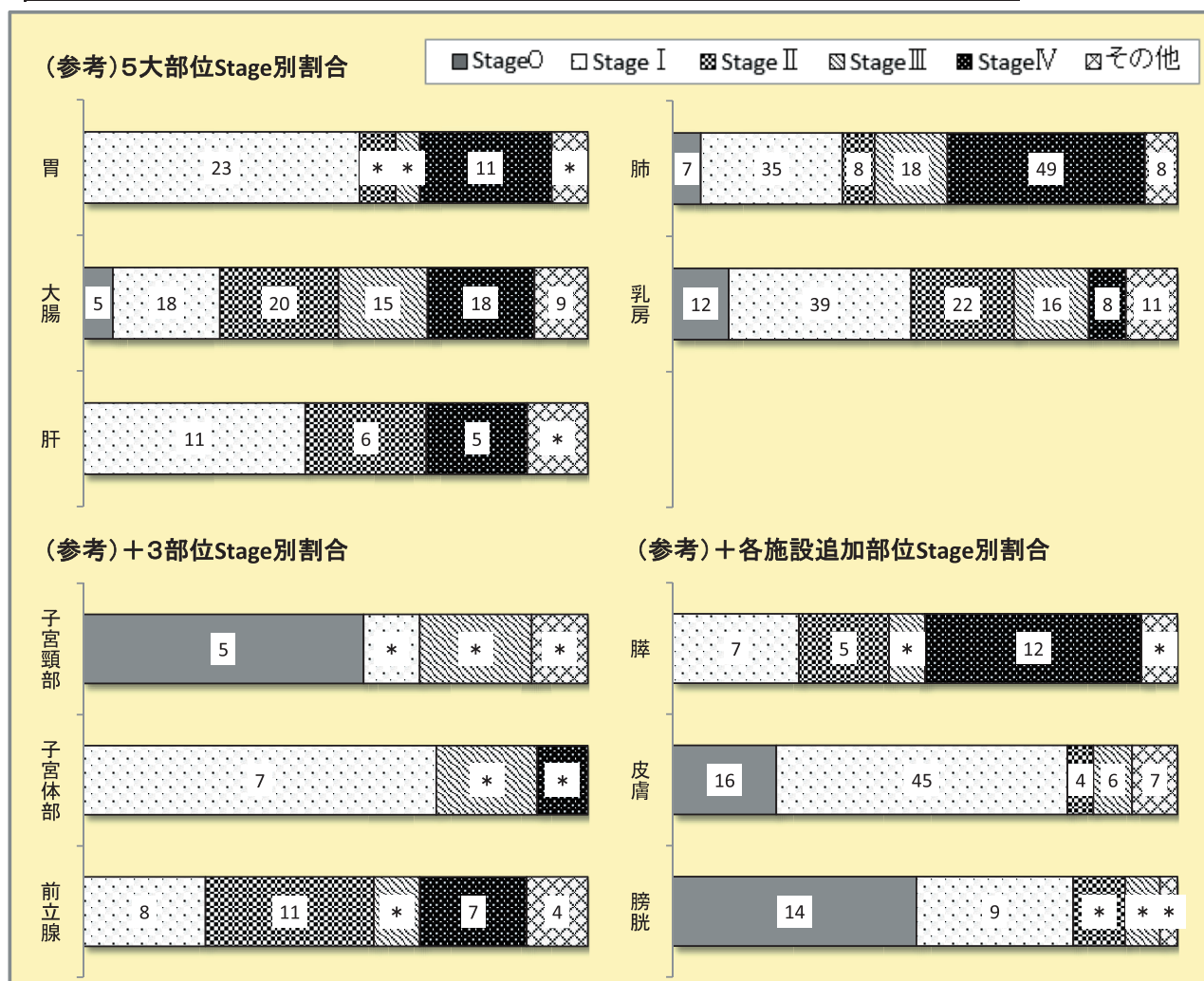
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	24	*	*	6	5	8	*
食道	15	*	5	6		*	
胃★	42		23	*	*	11	*
大腸★	85	5	18	20	15	18	9
肝★	25		11	6		5	*
膵	28		7	5	*	12	*
肺★	125	7	35	8	18	49	8
皮膚	78	16	45	4	6		7
乳房★	108	12	39	22	16	8	11
子宮頸部	9	5	*		*		*
子宮体部	10		7		*	*	
前立腺	33		8	11	*	7	4
膀胱	29	14	9	*	*		*
脳脊髄	18						18
甲状腺	10		6	4			
悪性血液疾患	22		4	*	4	6	5
その他	93	*	32	9	13	21	17
計	754	63	252	110	90	148	91



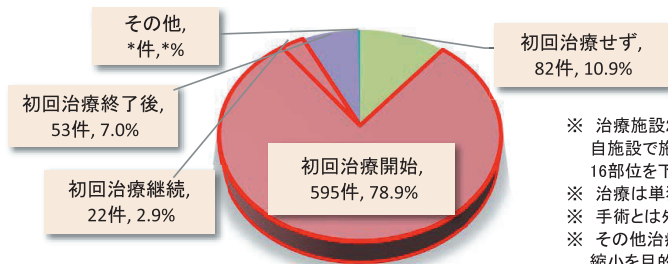
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

熊本労災病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

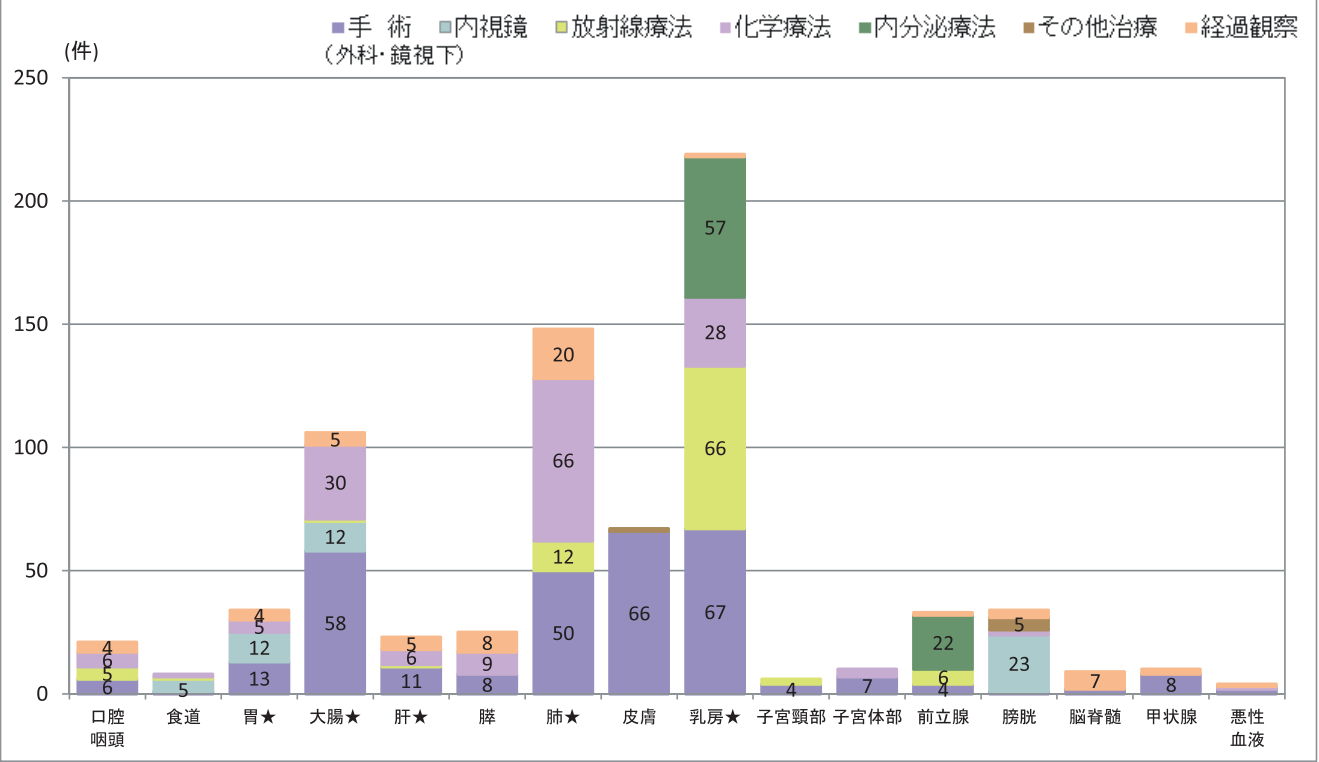
治療施設	件数
1初回治療せず	82
2初回治療開始	595
3初回治療継続	22
4初回治療終了後	53
8その他	*
計	754



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

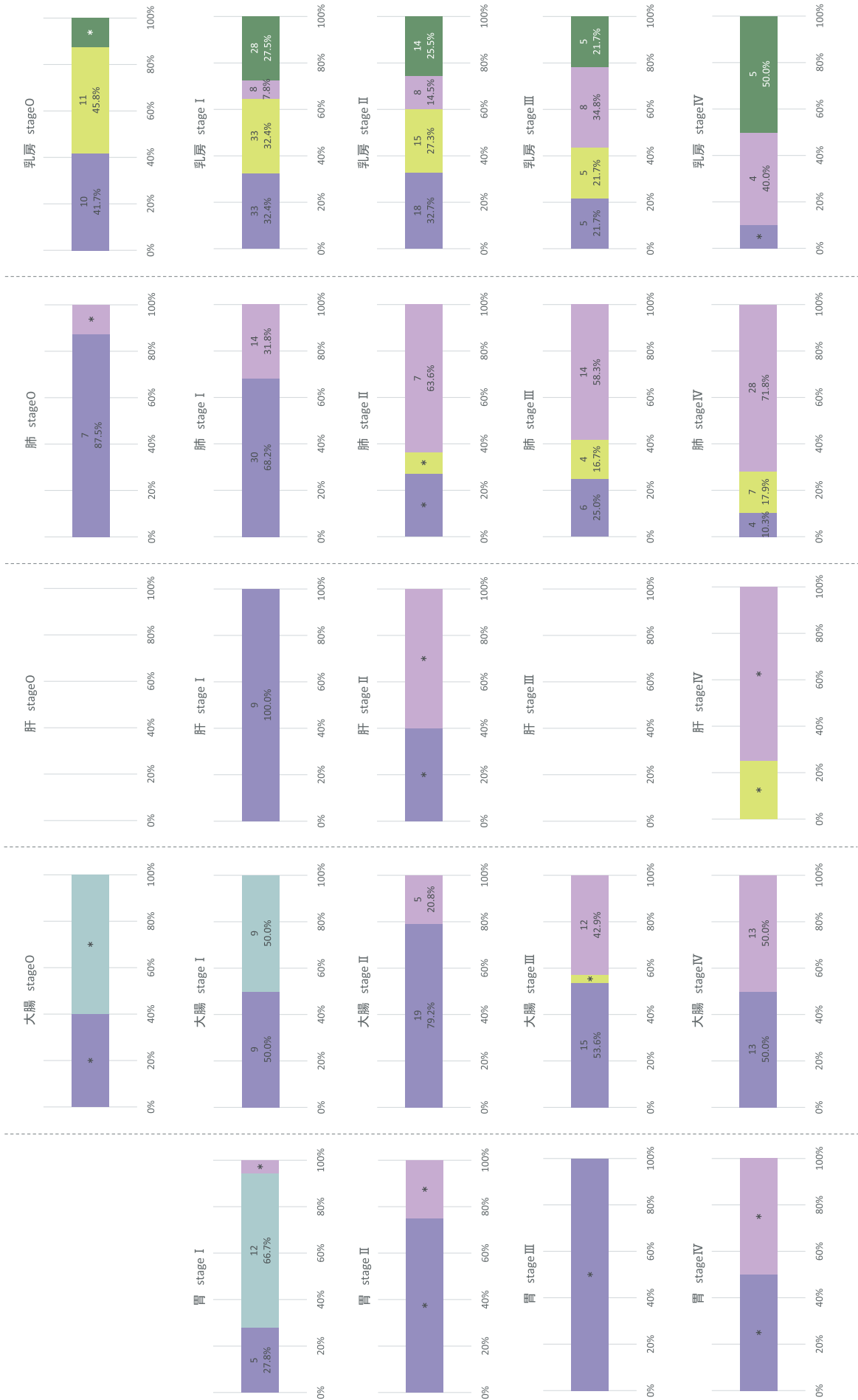
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	6		5	6			4	21	100.0%	0.0%	0.0%
食道	*	5	*	*				8	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	13	12		5			4	34	84.0%	16.0%	0.0%
大腸★	58	12	*	30			5	106	84.1%	13.0%	2.9%
肝★	11		*	6			5	23	100.0%	0.0%	0.0%
膵	8			9			8	25	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	50		12	66			20	148	88.0%	12.0%	0.0%
皮膚	66					*		67	93.9%	4.5%	1.5%
乳房★	67		66	28	57		*	219	80.6%	17.9%	1.5%
子宮頸部	4		*					6	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	7			*				10	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺	4		6		22		*	33	50.0%	50.0%	0.0%
膀胱	*	23		*		5	*	34	52.2%	47.8%	0.0%
脳脊髄	*						7	9	50.0%	0.0%	50.0%
甲状腺	8						*	10	87.5%	12.5%	0.0%
悪性血液疾患	*			*			*	4	0.0%	100.0%	0.0%
計	308	52	94	157	79	6	61	757			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の 主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 化学療法 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法 ■ その他治療



Ⅱ 施設別統計 熊本労災病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 —2023年診断症例—

医療機関名		独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター
-------	---	------------------------------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

所在地	人吉市老神町35番地		
病床数	252床(一般248床;感染症4床)		
追加情報			
診療科数	27科		
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31	がん登録開始基準日	2006.10.01
平均在院日数	11.5(日)		
入院患者数	5,800(人)		
外来患者延数	72,698(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	30
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 1,360(件)		
院内がん登録件数	751(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2/初級者 2 /他 0(名)		

○医療機関からのコメント

当院は熊本県南部に位置し、担当医療圏のみならず県境の宮崎県・鹿児島県からの受診も多い。がん診療は、手術、化学療法、放射線治療、温熱療法等の集学的治療から緩和ケアまで行える地域完結型医療の体制を整えている。泌尿器科については非常勤医師による外来診療のみであったが、2020年4月より常勤医師となり手術・入院診療が可能となった。血液内科については、2022年4月より診療体制縮小となっている。また「私のカルテ」による連携、「がんサロン」の開催、臨床心理士による精神面のサポート等、地域のがん診療拠点病院としてチーム医療、地域連携の充実に努めている。

【登録件数】2023年登録件数は751件(男性458件、女性293件)。前年(684件)と比較すると67件増加しており、特に泌尿器科疾患については泌尿器科医師の増員に伴い増加していた。男女比は男性が61%(前年57.5%)、女性が39%(前年42.5%)。

【患者住所医療圏】担当医療圏の割合は85.4%であった。圏外の割合は14.6%で、その内のほとんどが近県からの受診となっている。担当医療圏の市町村が10ある中で、隣接する宮崎県えびの市は全体で4番目、鹿児島県伊佐市は7番目に多い市町村であった。

【年齢】平均年齢は、全体71.8歳(前年72.3歳)、男性73歳(前年73.8歳)、女性69.9歳(前年70.2歳)で、男女共に前年と比較しやや低くなった。年代別件数では70代が最も多く、次いで80代であり、全体に占める70歳以上の割合は65.6%であった。

【部位】登録数の上位5位は①前立腺②大腸③肺④乳房⑤悪性血液の順であった。前立腺は前年比較で2番目から1番目となったが、生検目的での受診も多く初回治療ありの症例だけで見ると①は大腸、②は前立腺であった。その他の部位の変動はなかった。

【主要部位別Stageと治療内容】

【胃】Stage I が54.8%と早期がんの割合が高かった。内視鏡的手術については前年6件から9件と前年より増加していた。

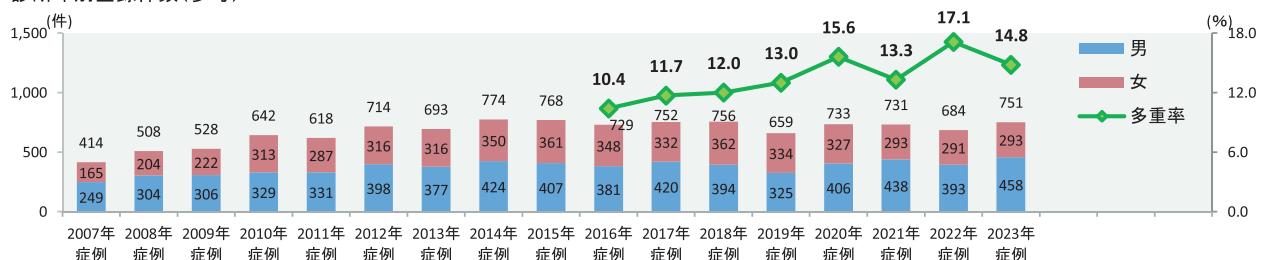
【大腸】Stage0-I の割合が38.1%で前年(52.9%)より減少していた。各Stageに大きな差はみられなかった。一番多かった治療は手術のみの症例で、85.3%が鏡視下での施行であった。

【肺】他の部位と比べStageIVの割合が38.7%と高かった。治療は手術のみ、化学療法のための症例が多かった。

【肝】当院で初回治療を行った症例は16件であったが、高齢などの理由で積極的治療を行わず、経過観察を選択した症例が約4割と多くみられた。

【乳房】Stage0-I の割合が52.9%で全体の5割を占めていた。全体の81.8%に対して手術を行っており、術後の多くは補助療法として放射線療法、内分泌療法、化学療法等を施行している。手術単独のものは2.8%であった。

診断年別登録件数(参考)

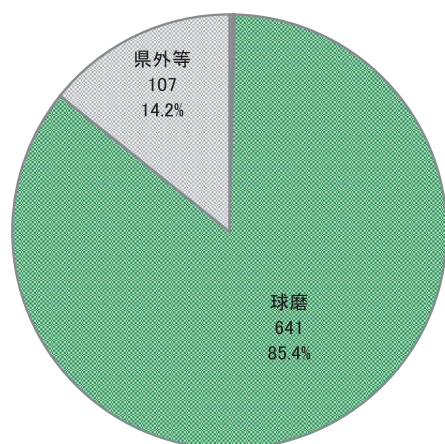


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

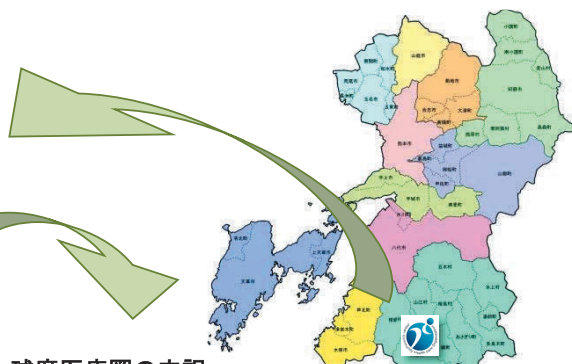
① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

人吉医療センター (751件)

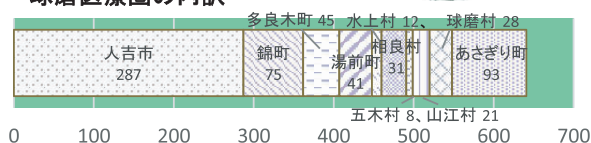
※ 全般において3件以下は*又は非表示



※ 熊・上(熊本)、八代は1~3件



球磨医療圏の内訳

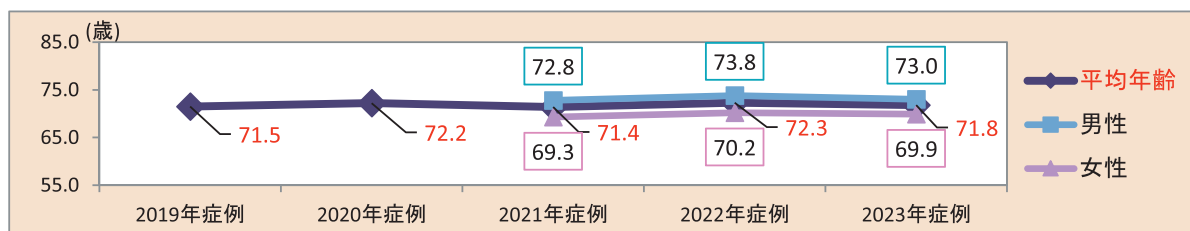


◇ 医療圏別上位5部位

医療圏	該当部位	各*	有明	阿蘇	球磨	前立腺	大腸	肺	その他	悪性血液
熊・上(熊本)										
熊・上(上益城)										
宇城										

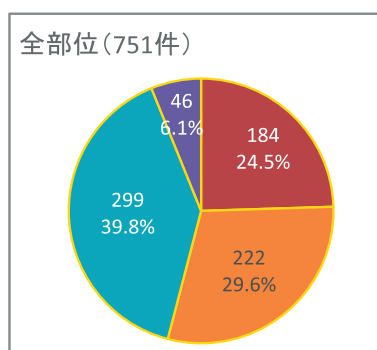
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

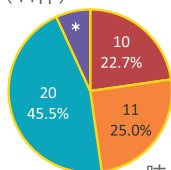


③ 発見経緯 5大部位の内訳

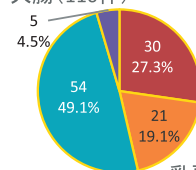
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



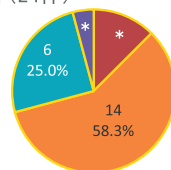
胃(44件)



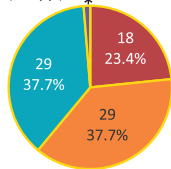
大腸(110件)



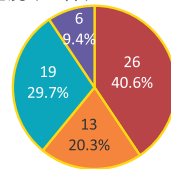
肝(24件)



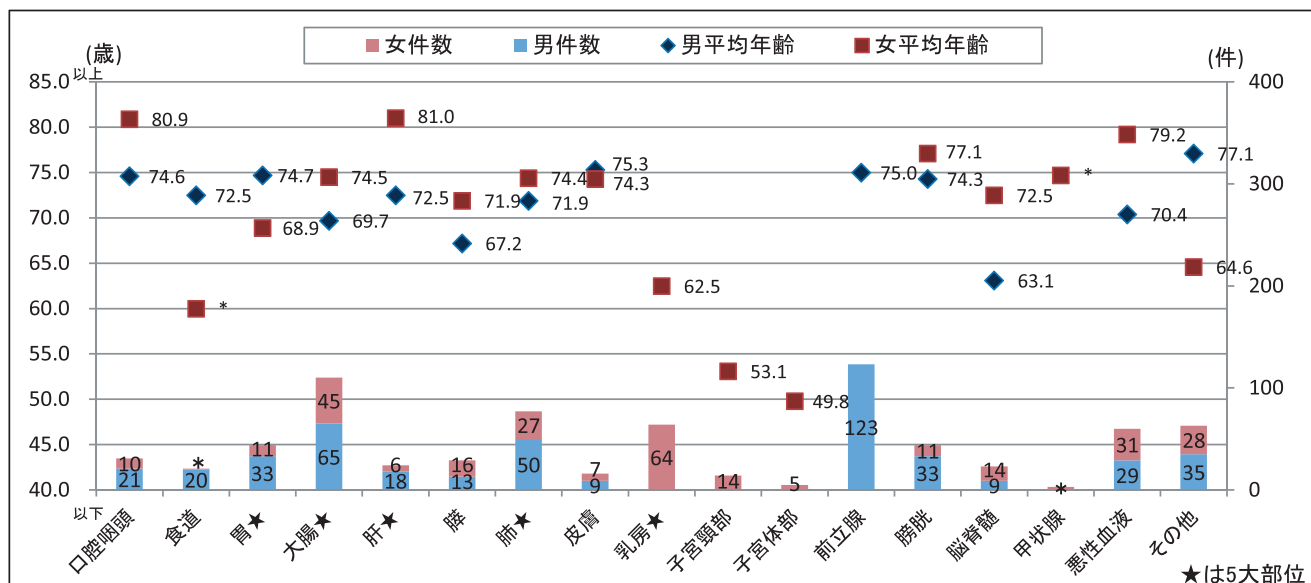
肺(77件)



乳房(64件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



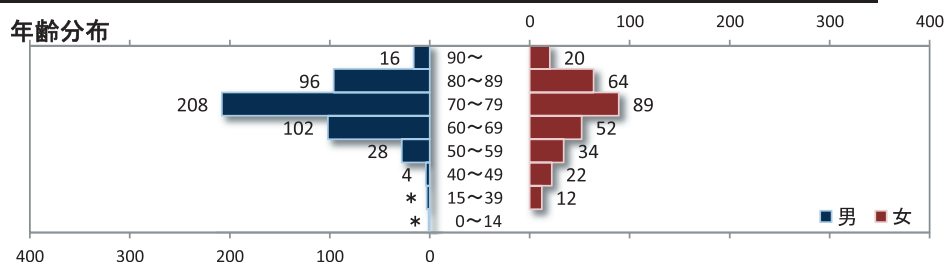
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
前立腺	123	該当部位	*	該当部位	各*	該当部位	各*	大腸	9
大腸	65							該当部位	各*
肺	50								
その他	35								
胃	33								
膀胱	33								
悪性血液	29	計	*	計	*	計	4	計	28
口腔咽頭	21	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
食道	20	前立腺	23	前立腺	65	前立腺	26	前立腺	6
肝	18	大腸	18	大腸	26	その他	11	該当部位	各*
膵	13	肺	15	肺	24	大腸	10		
皮膚	9	胃	9	膀胱	16	膀胱	9		
脳脊髄	9	該当部位	各6	胃	15	該当部位	各8		
乳房		など		など		など			
子宮頸部		計	102	計	208	計	96	計	16
子宮体部									
甲状腺									
計	458								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	64			該当部位	各*	乳房	11	乳房	15
大腸	45					子宮頸部	4	大腸	4
悪性血液	31					該当部位	各*	膵	4
その他	28							子宮体部	4
肺	27							該当部位	各*
膵	16								
子宮頸部	14			計	12	計	22	計	34
脳脊髄	14	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
胃	11	乳房	12	大腸	15	悪性血液	16	大腸	5
膀胱	11	その他	8	乳房	14	大腸	13	該当部位	各*
口腔咽頭	10	肺	7	悪性血液	11	乳房	9		
皮膚	7	胃	5	その他	9	肺	6		
肝	6	該当部位	各4	など		該当部位	各*		
子宮体部	5	該当部位	各*						
甲状腺	*	計	52	計	89	計	64	計	20
食道	*								
前立腺									
計	293								



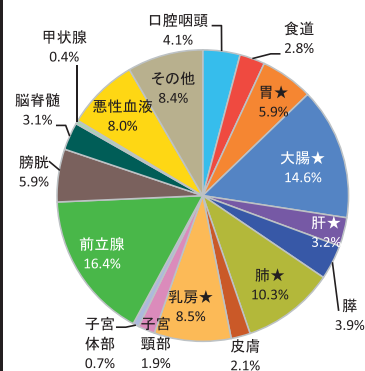
Ⅱ 施設別統計

人吉医療センター

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	20	14	18	15	31
食道	17	18	12	10	21
胃★	59	53	53	36	44
大腸★	113	102	113	96	110
肝★	33	24	25	29	24
膵	29	31	17	25	29
肺★	77	82	80	90	77
皮膚	11	13	15	16	16
乳房★	60	67	64	71	64
子宮頸部	28	27	24	13	14
子宮体部	13	9	12	12	5
前立腺	37	74	88	93	123
膀胱	16	53	42	36	44
脳脊髄	12	16	20	21	23
甲状腺	11	11	19	16	*
悪性血液疾患	71	77	70	46	60
その他	52	62	59	59	63
計	659	733	731	684	751

2023年診断症例 主要部位別割合



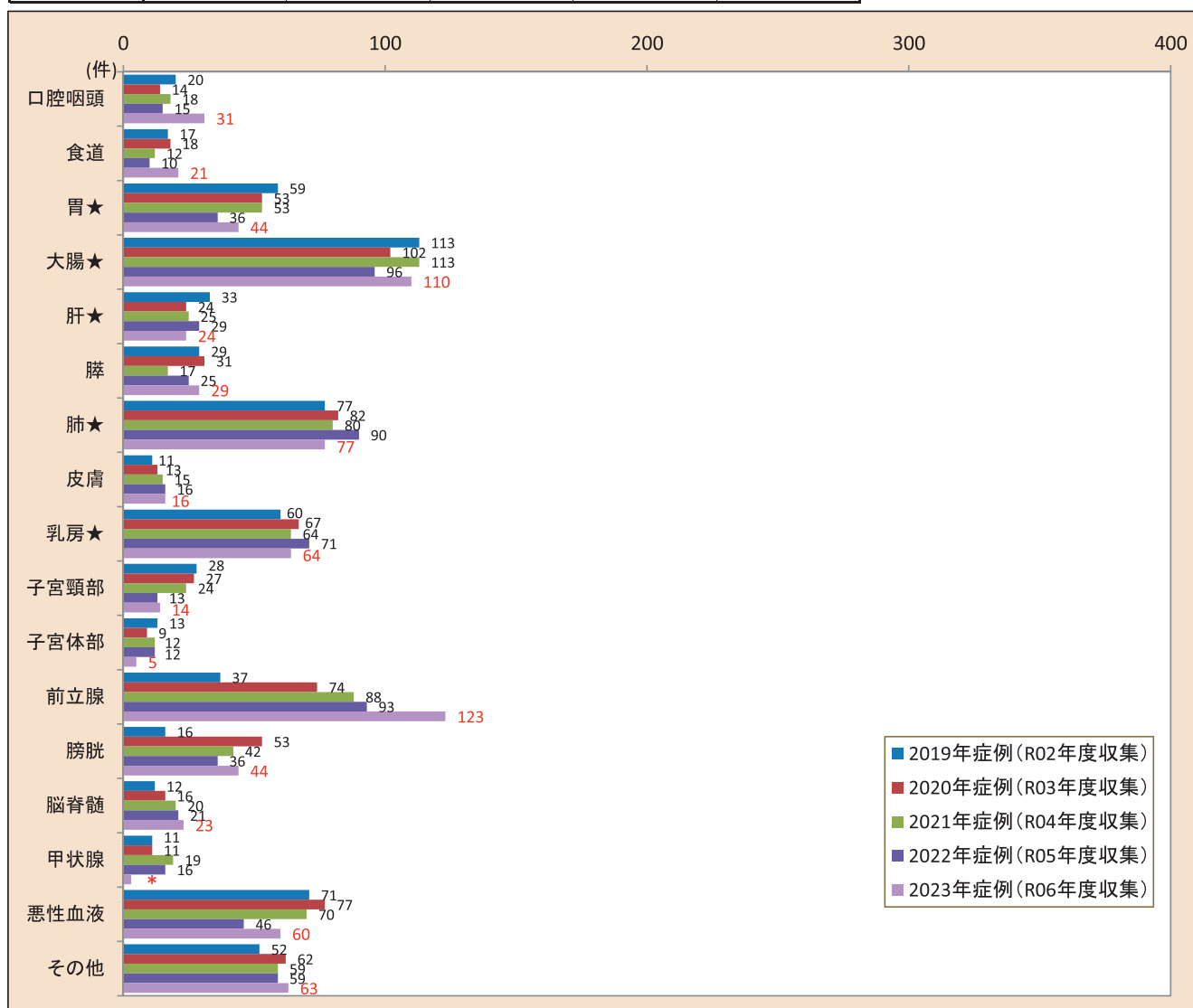
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

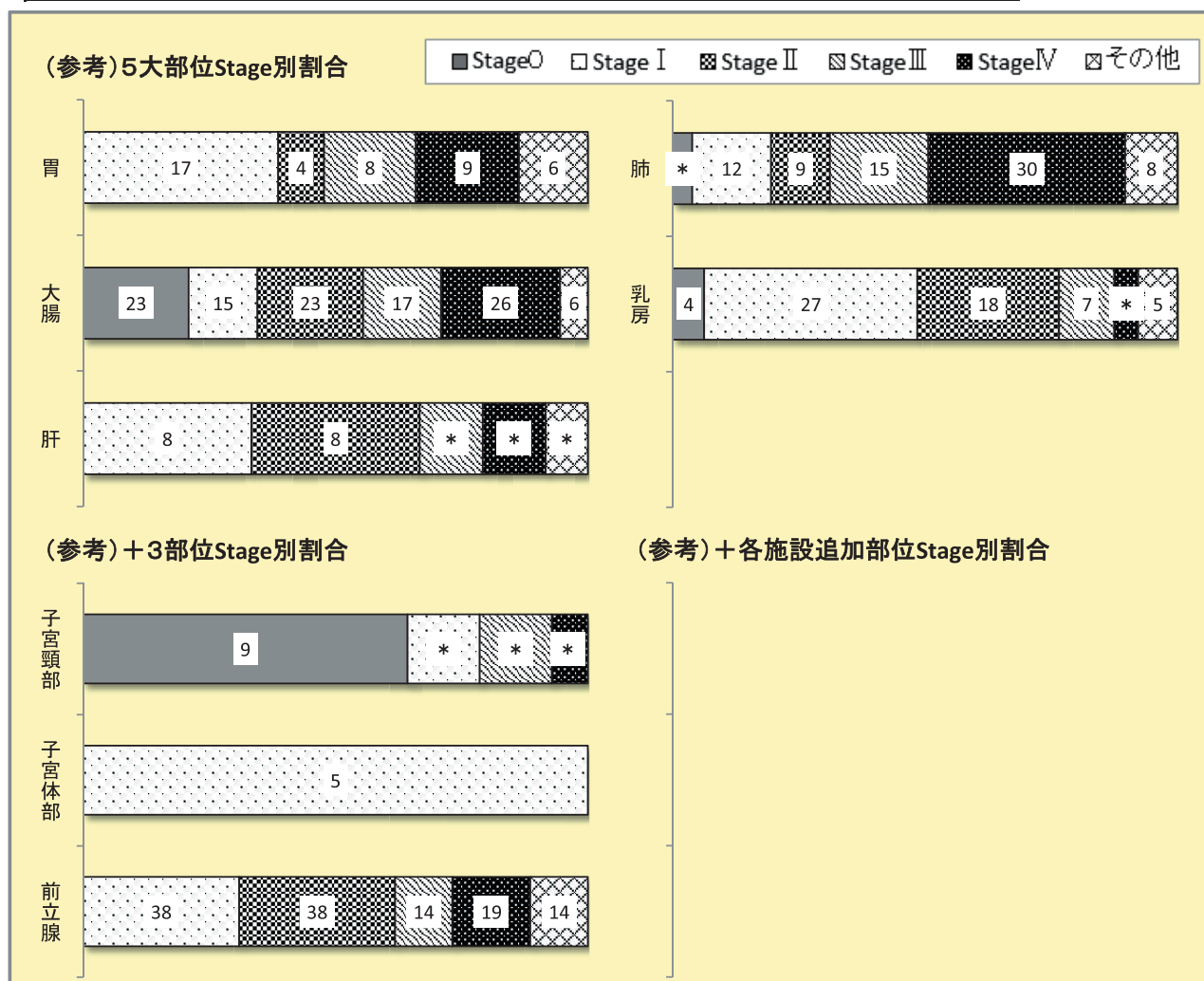
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	31	*		5	*	15	7
食道	21	4	6	*	*	6	*
胃★	44		17	4	8	9	6
大腸★	110	23	15	23	17	26	6
肝★	24		8	8	*	*	*
膵	29		5	7	6	10	*
肺★	77	*	12	9	15	30	8
皮膚	16	5	6	*			4
乳房★	64	4	27	18	7	*	5
子宮頸部	14	9	*		*	*	
子宮体部	5		5				
前立腺	123		38	38	14	19	14
膀胱	44	24	10	*	*		6
脳脊髄	23						23
甲状腺	*		*				*
悪性血液疾患	60		5	6	*	13	34
その他	63	4	17	8	8	12	14
計	751	78	175	131	87	147	133



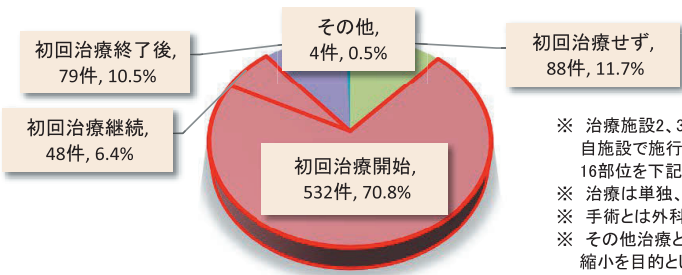
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

人吉医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

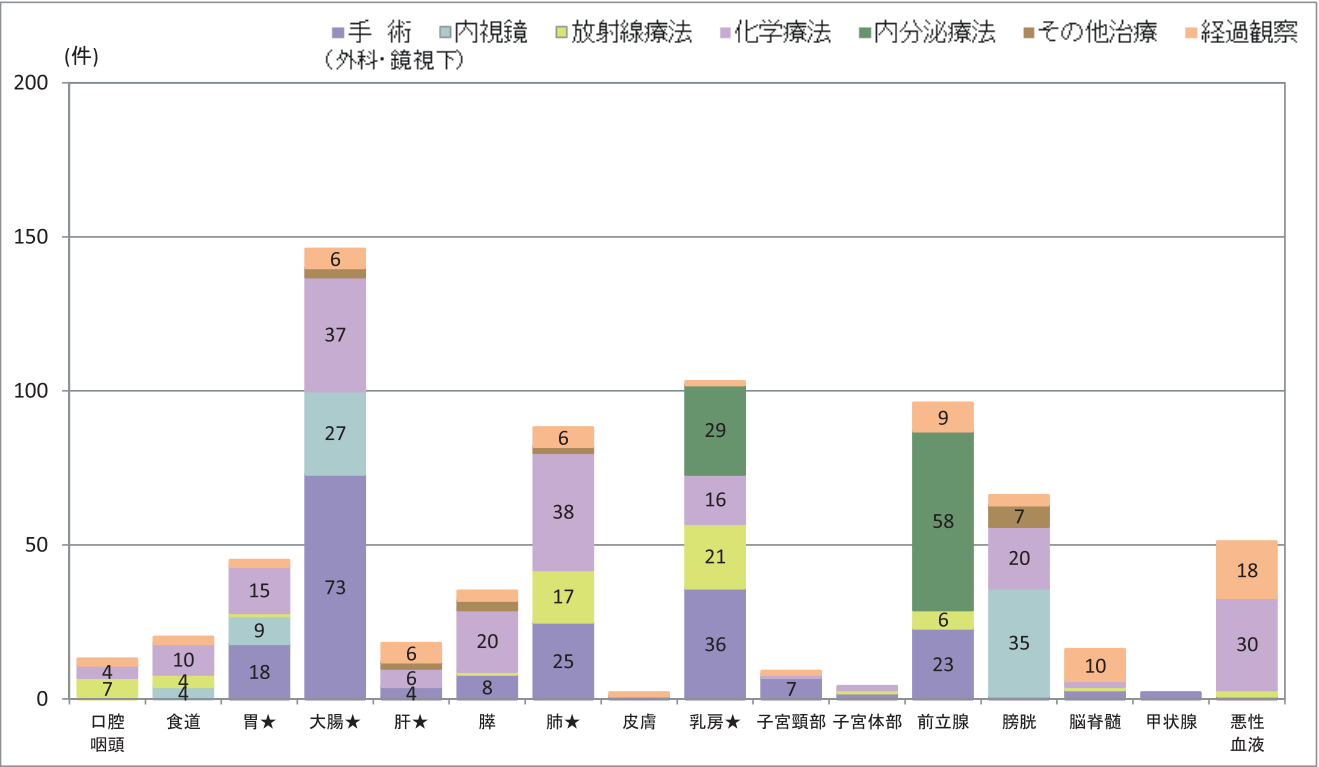
治療施設	件数
1初回治療せず	88
2初回治療開始	532
3初回治療継続	48
4初回治療終了後	79
8その他	4
計	751



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として
自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の
16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の
縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、
表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示
したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

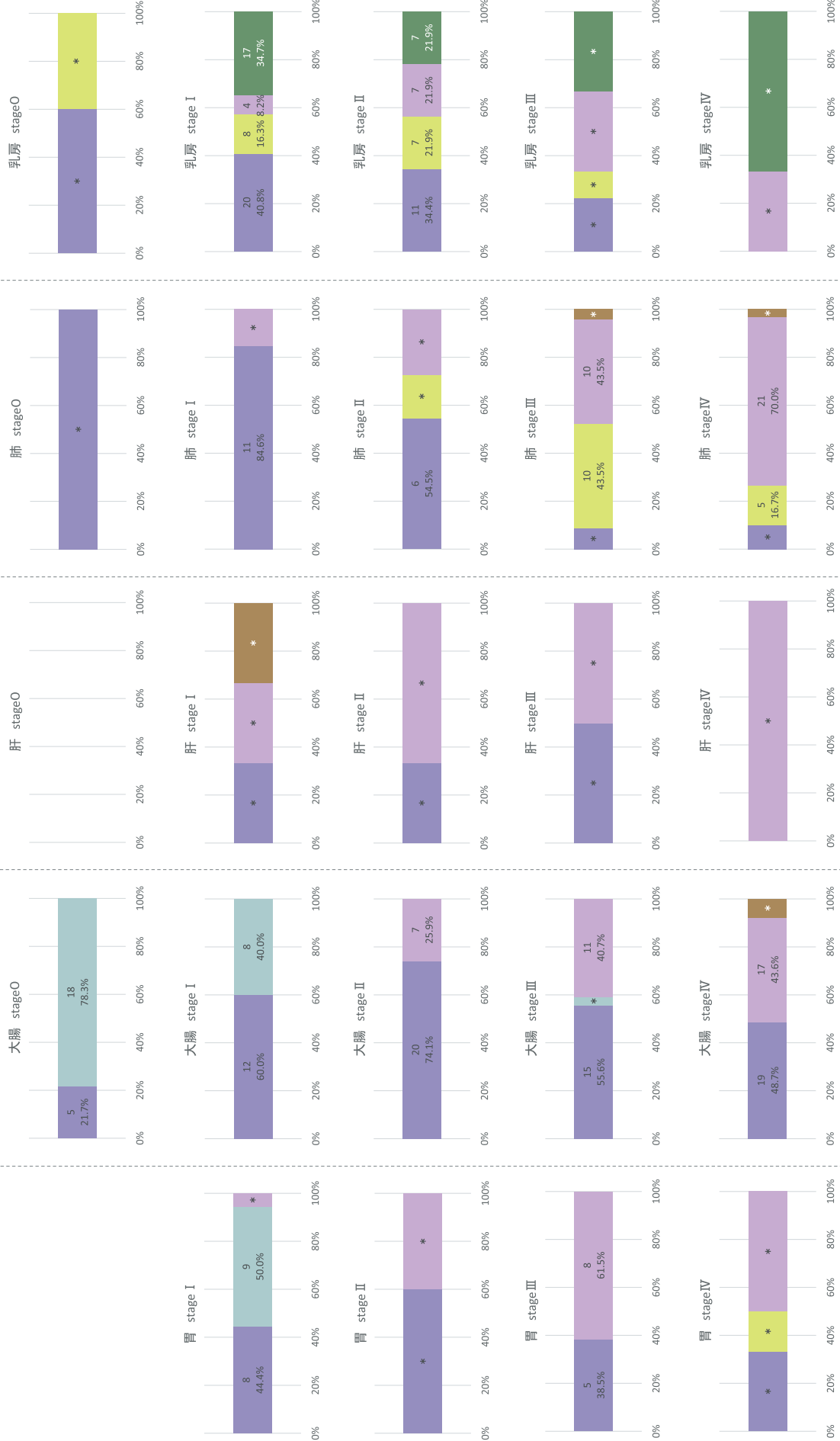
	(外科・手術 鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭			7	4			*	13			
食道		4	4	10			*	20	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	18	9	*	15			*	45	85.2%	7.4%	7.4%
大腸★	73	27		37		*	6	146	84.0%	13.8%	2.1%
肝★	4			6		*	6	18	75.0%	0.0%	25.0%
膵	8		*	20		*	*	35	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	25		17	38		*	6	88	88.0%	12.0%	0.0%
皮膚	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	36		21	16	29		*	103	97.2%	2.8%	0.0%
子宮頸部	7			*			*	9	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	*		*	*				4	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺	23		6		58		9	96	60.9%	39.1%	0.0%
膀胱	*	35		20		7	*	66	91.4%	2.9%	5.7%
脳脊髄	*		*	*			10	16	66.7%	33.3%	0.0%
甲状腺	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	*		*	30			18	51	0.0%	100.0%	0.0%
計	204	75	61	200	87	17	70	714			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の 主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

手術 化学療法 内視鏡 放射線療法 その他治療



Ⅱ 施設別統計 人吉医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名		荒尾市立有明医療センター
-------	---	--------------

○基本情報

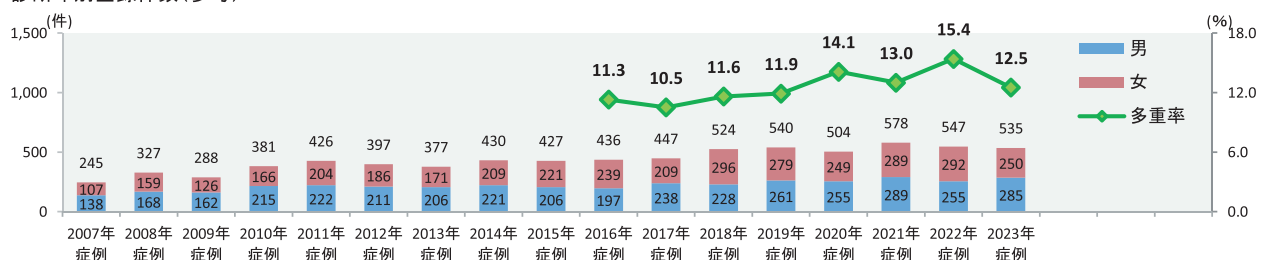
【令和5(2023)年12月現在】

所在地	荒尾市荒尾2600番地		
病床数	274床(一般270床;感染症4床)		
追加情報			
診療科数	25科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08	がん登録開始基準日	2008.01.01
平均在院日数	13.9(日)		
入院患者数	3,831(人)		
外来患者延数	78,249(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数(ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること 2,652(件/概算)		
院内がん登録件数	535(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 1(名)		

○医療機関からのコメント

【登録件数】 2023年症例は535件で前年(547件)と比較して、12件減少した。 【患者住所医療圏別】 登録症例の87.5%を有明医療圏在住の患者が占める。当院は、福岡県との県境に位置しており、県外からの受診 56件中、53件が福岡県大牟田市在住の患者である。 【性別・年齢別】 男性:285件、女性:250件。全体平均年齢は、72.6歳だった。 【主要部位別登録件数】 全体①大腸(99件)②乳房(82件)③悪性血液(71件)④肺(52件)⑤胃(46件)で、前年と比較して、大腸(79件→99件)肺(39件→52件)口腔咽頭(8件→10件)等が増加した。乳房(89件→82件)悪性血液(74件→71件)、脳脊髄(25件→20件)その他(40件→20件)食道(19件→15件)子宮頸部(20件→15件)等が減少している。 男性では、①大腸(59件)②肺(42件)③悪性血液(41件)④胃(35件)⑤前立腺(30件) 女性では、①乳房(82件)②大腸(40件)③悪性血液(30件)④子宮頸部(15件)⑤脳脊髄(13件)の結果であった。 【主要部位別病期分類(総合stage)】 登録症例全体では、Stage0が8.2%、StageⅠが28.2%、StageⅡが13.6%、StageⅢが16.6%、StageⅣが17.9%であった。特に膵臓のStageⅣが40%、肺StageⅣが51.9%と高い割合を占めた。 【主要部位別治療の内訳】 自施設の初回治療開始(345件)継続治療(79件)の症例の治療別内訳は、手術と内視鏡による観血的治療は、190件(38.6%)、放射線治療は、118件(24.0%)、化学療法は、114件(23.2%)、内分泌療法は、34件(6.9%)、その他の治療は、2件(0.4%)、経過観察は、34件(6.9%)であった。
--

診断年別登録件数(参考)

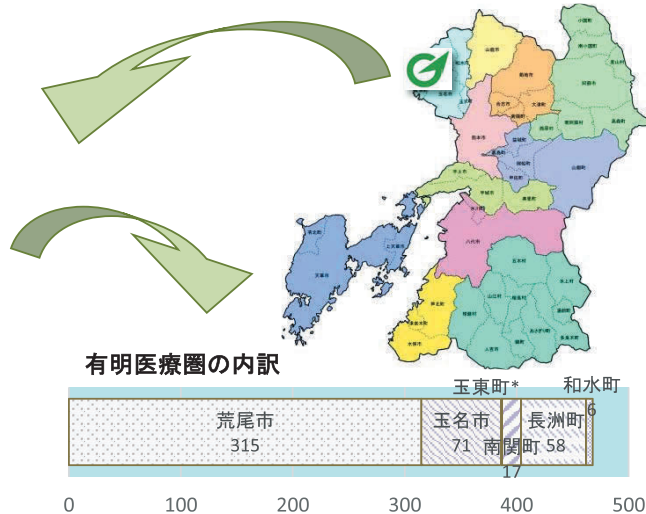
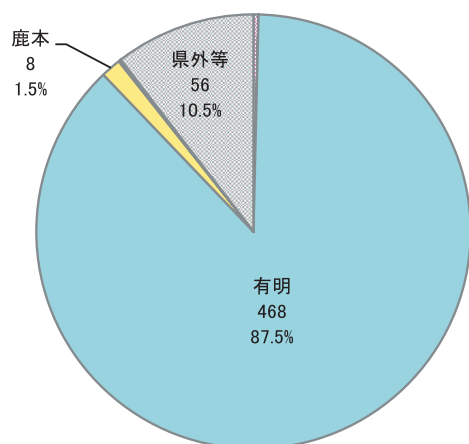


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

有明医療センター (535件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示



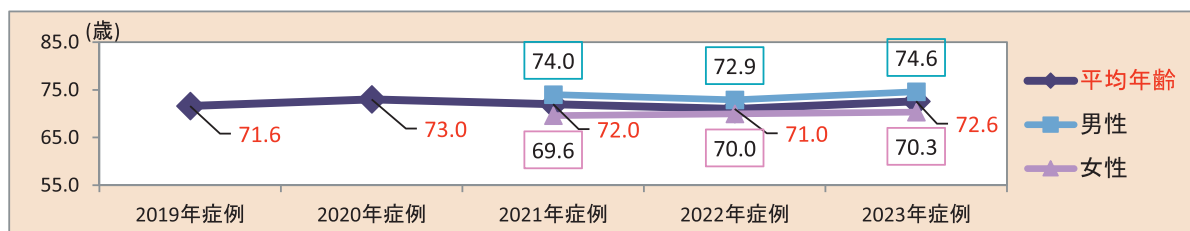
※ 熊・上(熊本)、菊池は1~3件

◇ 医療圏別上位5部位

医療圏	該当部位	各*	有明	大腸	乳房	悪性血液	胃	肺	阿蘇			球磨		
熊・上(熊本)				93	69	50	45	39						
熊・上(上益城)			熊本	乳房	5	各*			八代			天草		
				該当部位										
宇城			菊池	該当部位	*				芦北			県外等	悪性血液	21
													肺	12
													乳房	6
													口腔咽頭	4
													大腸	4

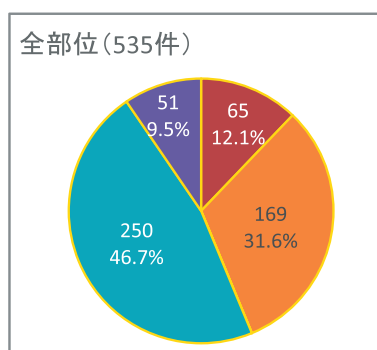
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

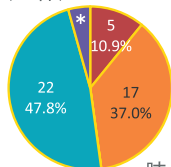


③ 発見経緯 5大部位の内訳

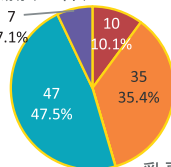
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



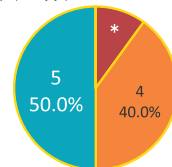
胃(46件)



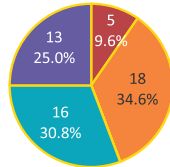
大腸(99件)



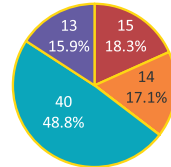
肝(10件)



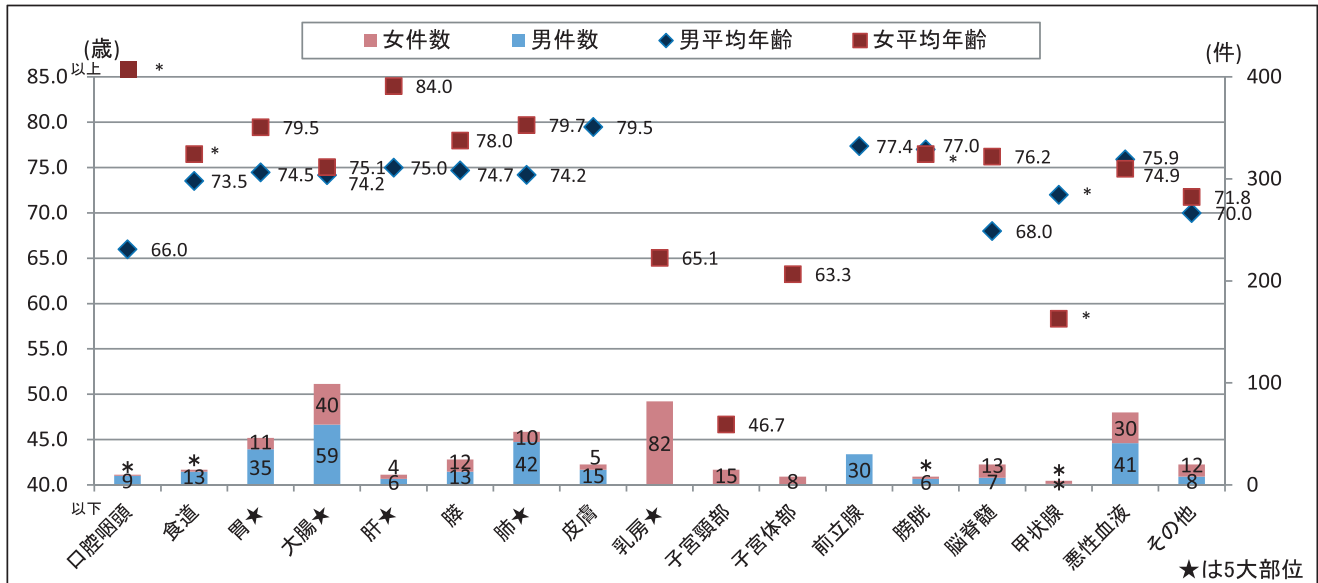
肺(52件)



乳房(82件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

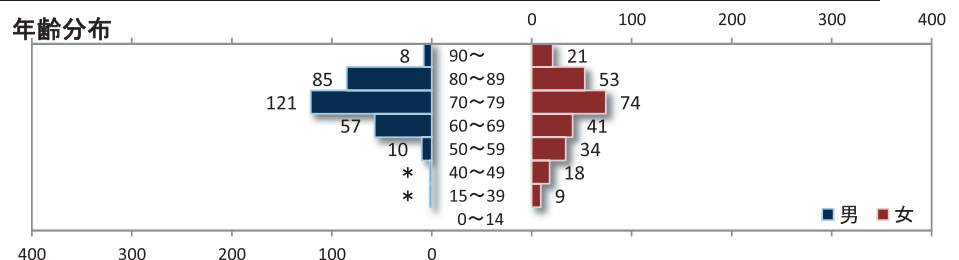


男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
大腸	59			該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*
肺	42								
悪性血液	41								
胃	35								
前立腺	30								
皮膚	15								
食道	13			計	*	計	*	計	10
膵	13	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
口腔咽頭	9	大腸	13	大腸	27	悪性血液	15	該当部位	各*
その他	8	肺	12	胃	16	大腸	14		
脳脊髄	7	悪性血液	7	肺	16	胃	12		
肝	6	口腔咽頭	6	前立腺	15	肺	11		
膀胱	6	胃	5	悪性血液	15	前立腺	11		
甲状腺	*	該当部位	各*	など		など			
乳房		計	57	計	121	計	85	計	8
子宮頸部									
子宮体部									
計	285								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	82			子宮頸部	5	乳房	9	乳房	16
大腸	40			該当部位	各*	子宮頸部	7	大腸	5
悪性血液	30					該当部位	各*	該当部位	各*
子宮頸部	15								
脳脊髄	13								
膵	12								
その他	12			計	9	計	18	計	34
胃	11	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
肺	10	乳房	21	乳房	22	大腸	13	該当部位	各*
子宮体部	8	大腸	6	大腸	12	悪性血液	11		
皮膚	5	悪性血液	4	脳脊髄	10	乳房	9		
肝	4	該当部位	各*	悪性血液	8	膵	5		
甲状腺	*			該当部位	各*	該当部位	各*		
食道	*			該当部位	各*				
膀胱	*	計	41	計	74	計	53	計	21
口腔咽頭	*								
前立腺									
計	250								

年齢分布



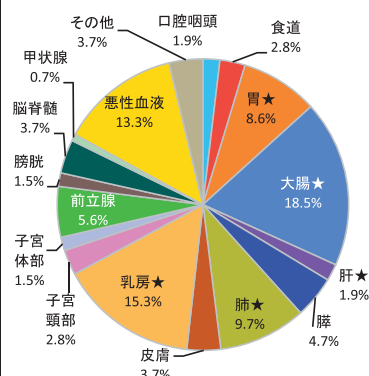
Ⅱ 施設別統計

有明医療センター

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	*	*	4	8	10
食道	7	5	13	19	15
胃★	51	47	51	46	46
大腸★	100	83	91	79	99
肝★	18	22	16	13	10
膵	17	20	22	25	25
肺★	59	46	60	39	52
皮膚	15	25	24	19	20
乳房★	70	68	86	89	82
子宮頸部	19	14	14	20	15
子宮体部	12	10	17	11	8
前立腺	27	34	29	30	30
膀胱	8	7	*	7	8
脳脊髄	30	21	22	25	20
甲状腺	*	4	7	*	4
悪性血液疾患	57	48	75	74	71
その他	46	48	45	40	20
計	540	504	578	547	535

2023年診断症例 主要部位別割合



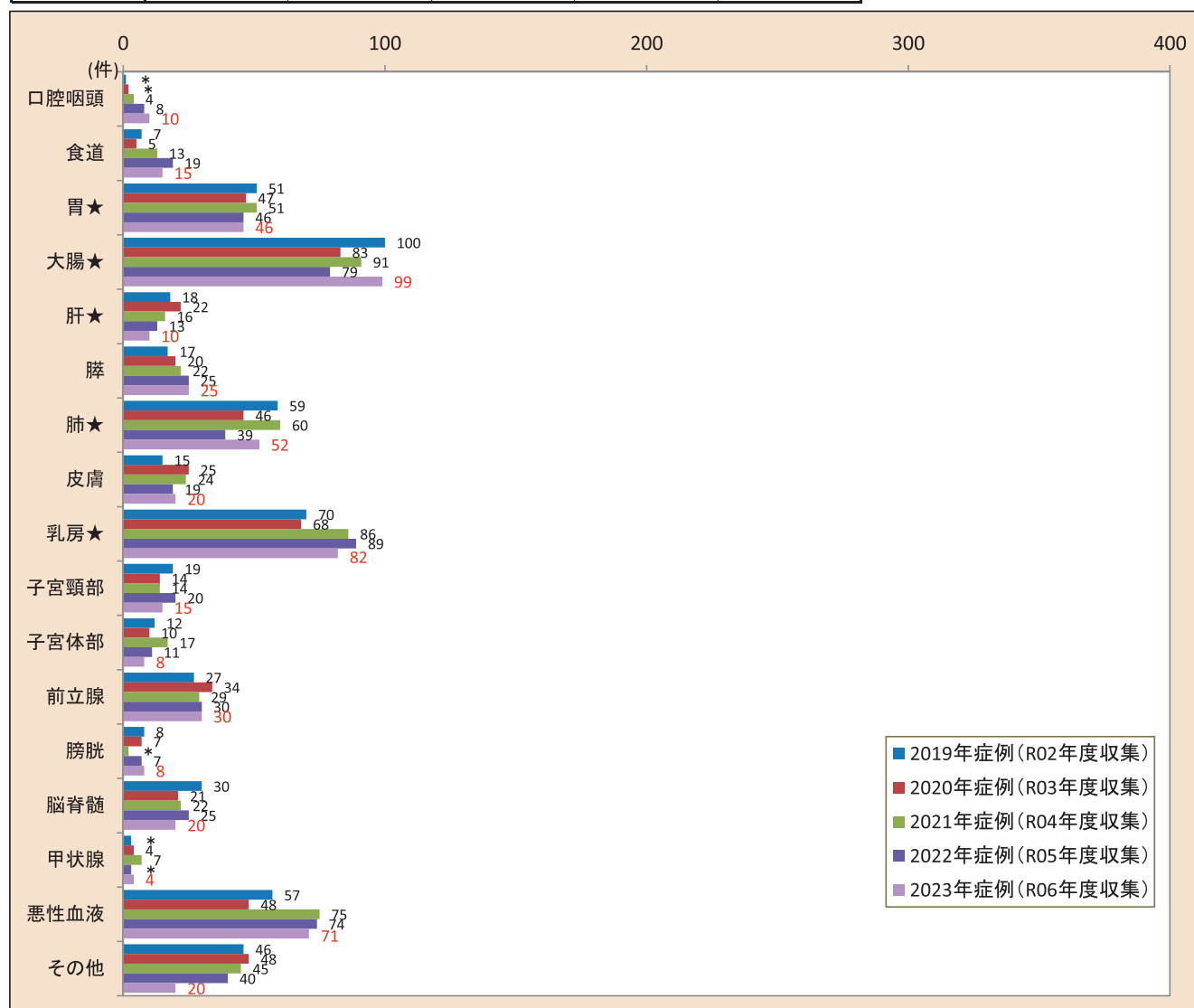
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

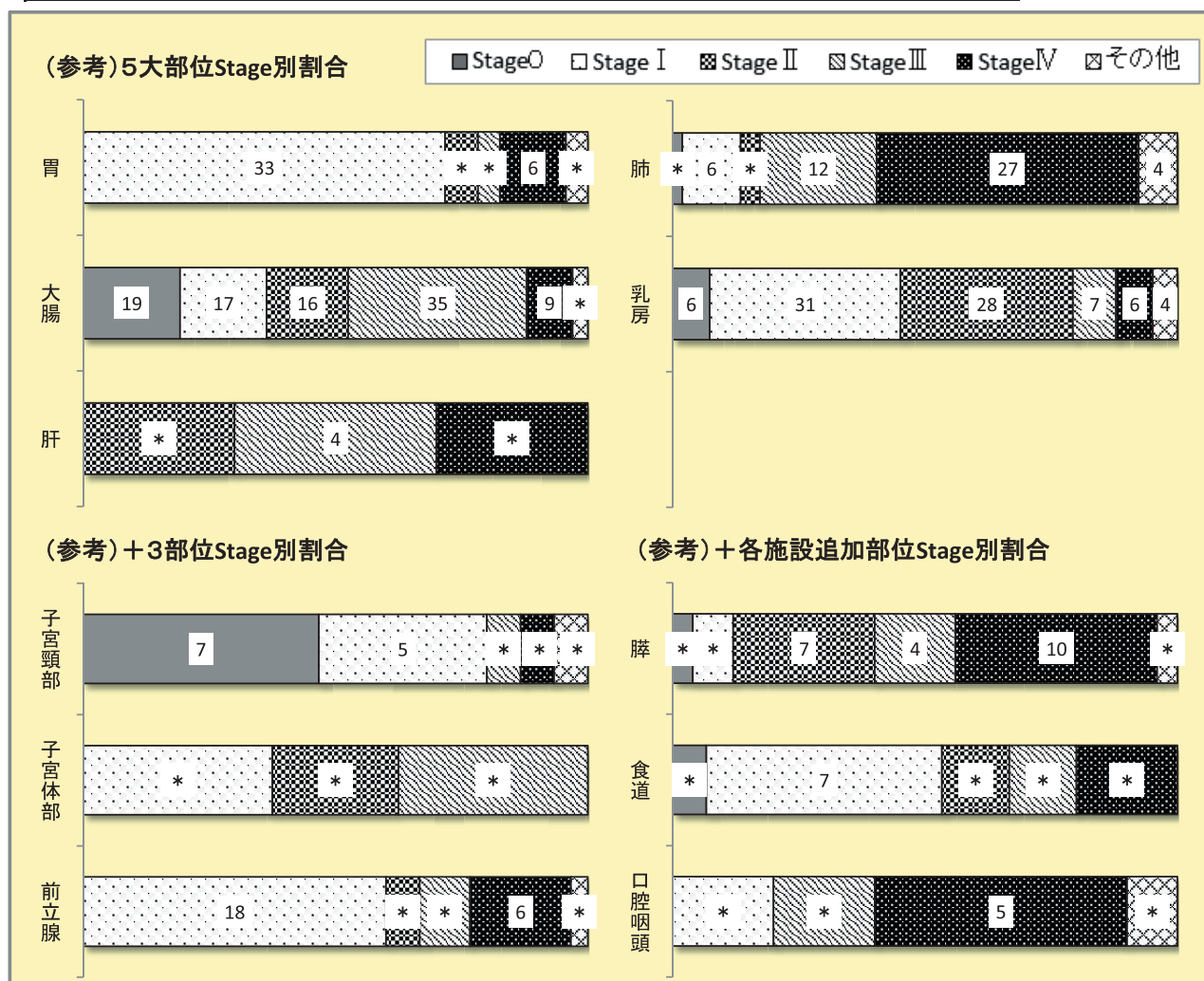
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	10		*		*	5	*
食道	15	*	7	*	*	*	
胃★	46		33	*	*	6	*
大腸★	99	19	17	16	35	9	*
肝★	10			*	4	*	
膵	25	*	*	7	4	10	*
肺★	52	*	6	*	12	27	4
皮膚	20	6	9	*	*		*
乳房★	82	6	31	28	7	6	4
子宮頸部	15	7	5		*	*	*
子宮体部	8		*	*	*		
前立腺	30		18	*	*	6	*
膀胱	8	*	*		*	*	*
脳脊髄	20						20
甲状腺	4		*			*	
悪性血液疾患	71		9	6	4	13	39
その他	20	*	5	*	6	5	*
計	535	44	151	73	89	96	82



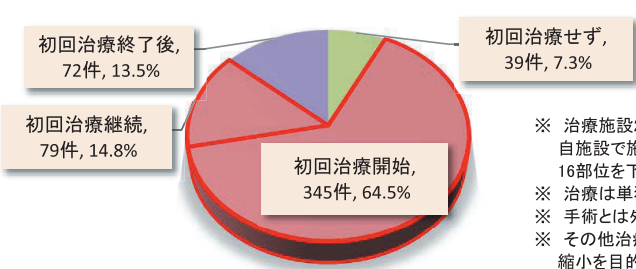
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

有明医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	39
2初回治療開始	345
3初回治療継続	79
4初回治療終了後	72
8その他	
計	535



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計

※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

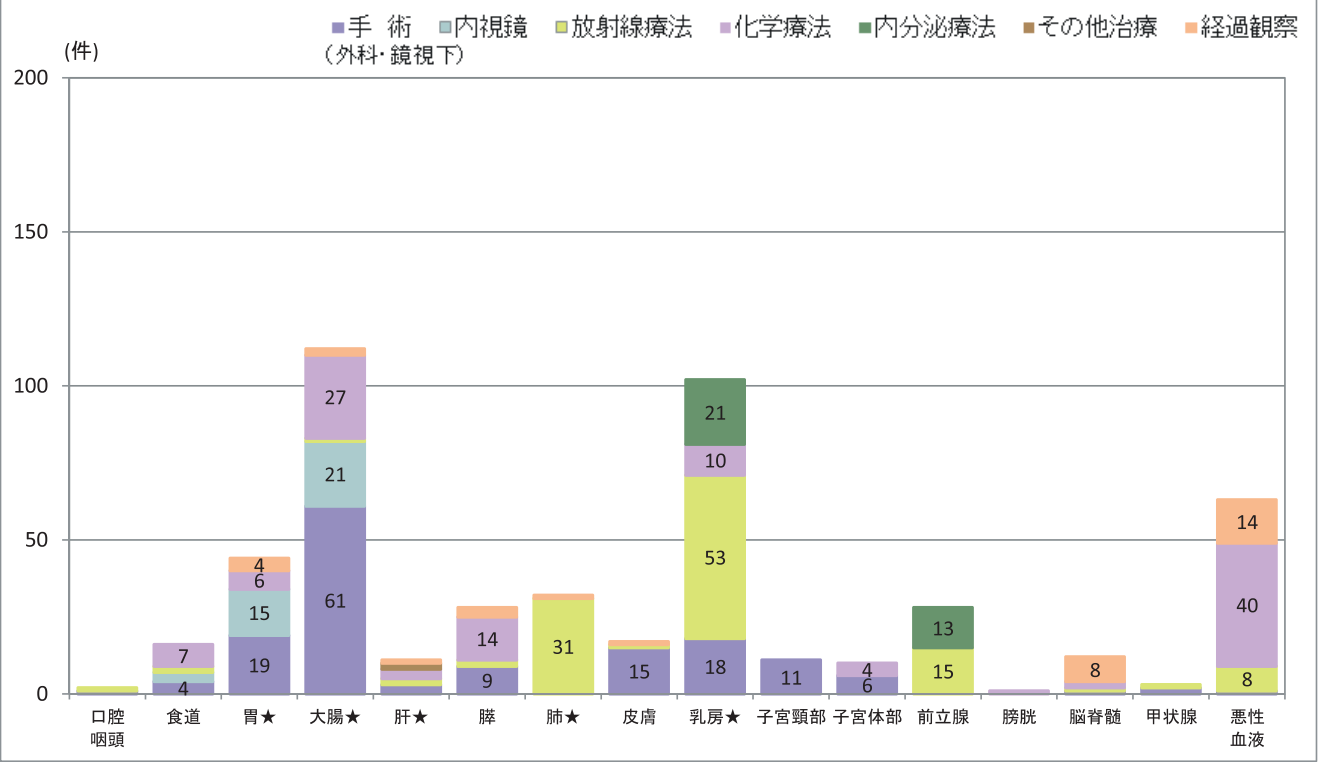
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

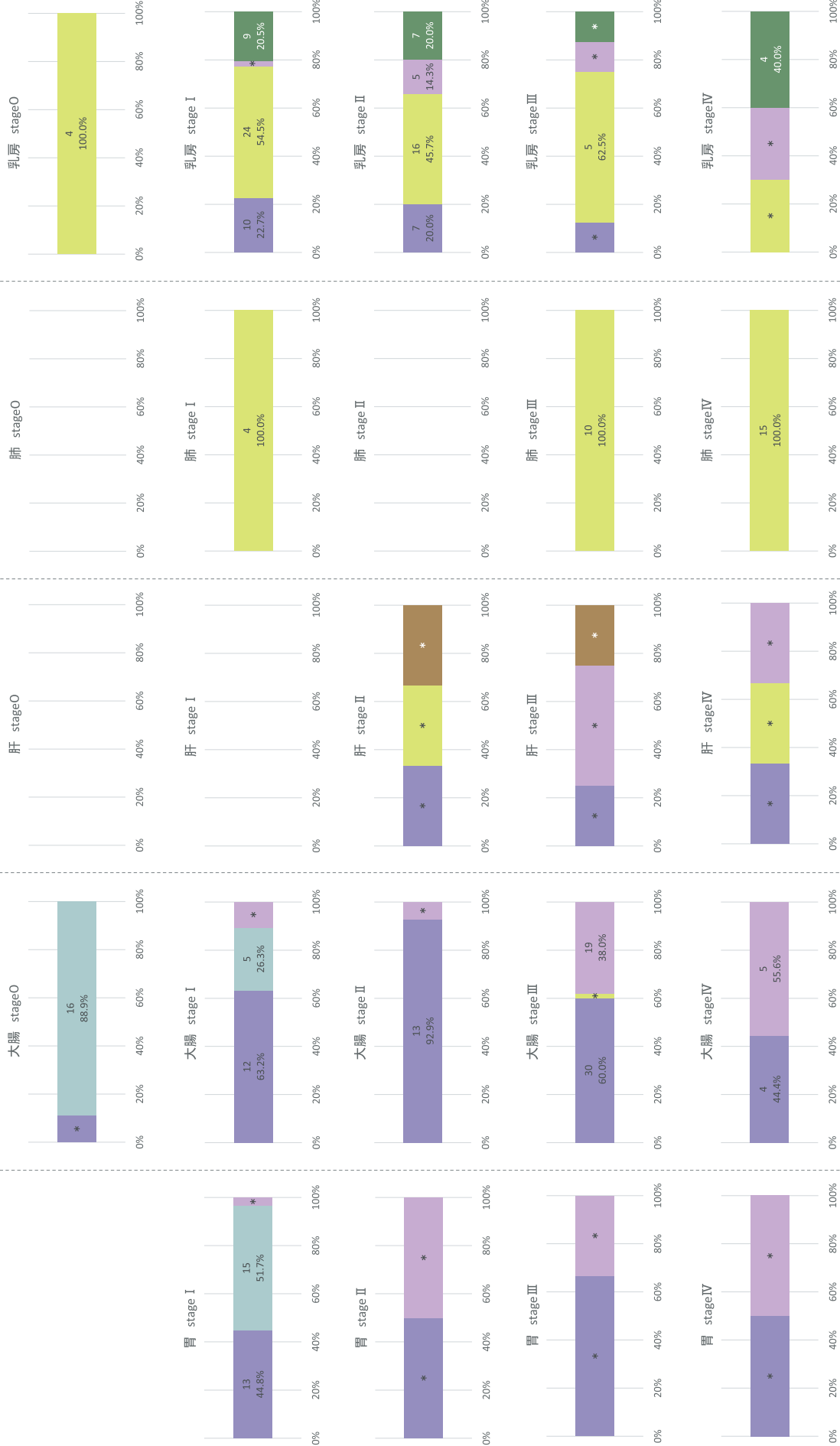
	(外科・手術 鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	*		*					*	100.0%	0.0%	0.0%
食道	4	*	*	7				16	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	19	15		6			4	44	90.9%	9.1%	0.0%
大腸★	61	21	*	27			*	112	91.0%	9.0%	0.0%
肝★	*		*	*		*	*	11	0.0%	100.0%	0.0%
膵	9		*	14			*	28	66.7%	33.3%	0.0%
肺★			31				*	32			
皮膚	15		*				*	17	93.3%	6.7%	0.0%
乳房★	18		53	10	21			102	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部	11							11	72.7%	18.2%	9.1%
子宮体部	6			4				10	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺			15		13			28			
膀胱				*				*			
脳脊髄	*		*	*			8	12	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	*		*					*	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	*		8	40			14	63	0.0%	100.0%	0.0%
計	151	39	118	114	34	*	34	492			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の 主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■化学療法 ■内視鏡 ■放射線療法 ■その他治療



Ⅱ 施設別統計 有明医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
-------	---	-----------------------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

所在地	熊本市中央区二の丸1-5		
病床数	550床(一般500床;精神50床)		
追加情報			
診療科数	34科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08	がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	13.0(日)		
入院患者数	13,584(人)		
外来患者延数	125,572(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数(ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること 20,000(件)		
院内がん登録件数	1,897(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 0 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】

国立病院機構熊本医療センターの2023年診断症例の院内がん登録件数は1897件であった。例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く314件、次いで大腸(結腸・直腸)261件、前立腺226件であった。

【性別・件数が多い部位別罹患平均年齢】

男性: ①前立腺 226件 74.6歳 ②悪性血液疾患 179件 69.4歳 ③大腸 144件 73.3歳
女性: ①乳房 150件 64.1歳 ②悪性血液疾患 135件 67.4歳 ③大腸 117件 72.6歳

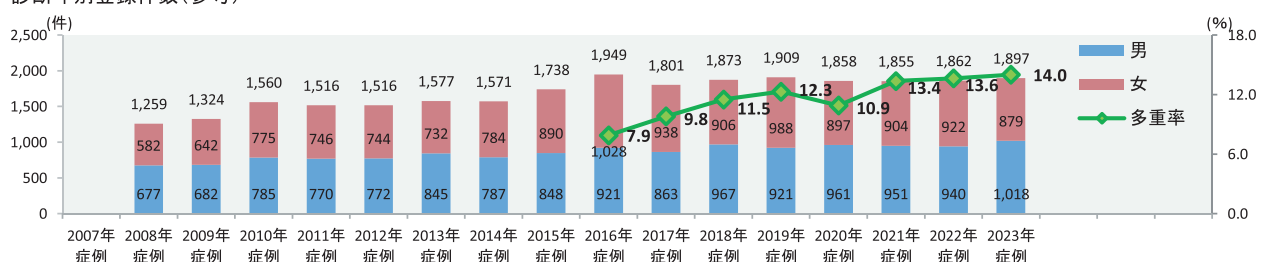
【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】

1)『悪性血液疾患』日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実施している。また、2021年4月より小児の悪性血液疾患専門医が加わったことで、全世代に対応可能な診療体制が整った。
2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
3)『前立腺』切除しない密封小線源治療(ブラキセラピー)を推進しており、2018年から全例にスペースOARシステムを導入し、放射線合併症防止にも努めている。また、2022年度より前立腺がん部分治療(Focal therapy)を本格的に開始している。

【熊本医療センターの特徴・役割】

精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。
2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医を有することで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。
2020年より新館にがん総合医療センターが開設したことで、より多くの患者様に寄り添ったがん治療を提供する体制を整えた。今後も地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図っていく。

診断年別登録件数(参考)

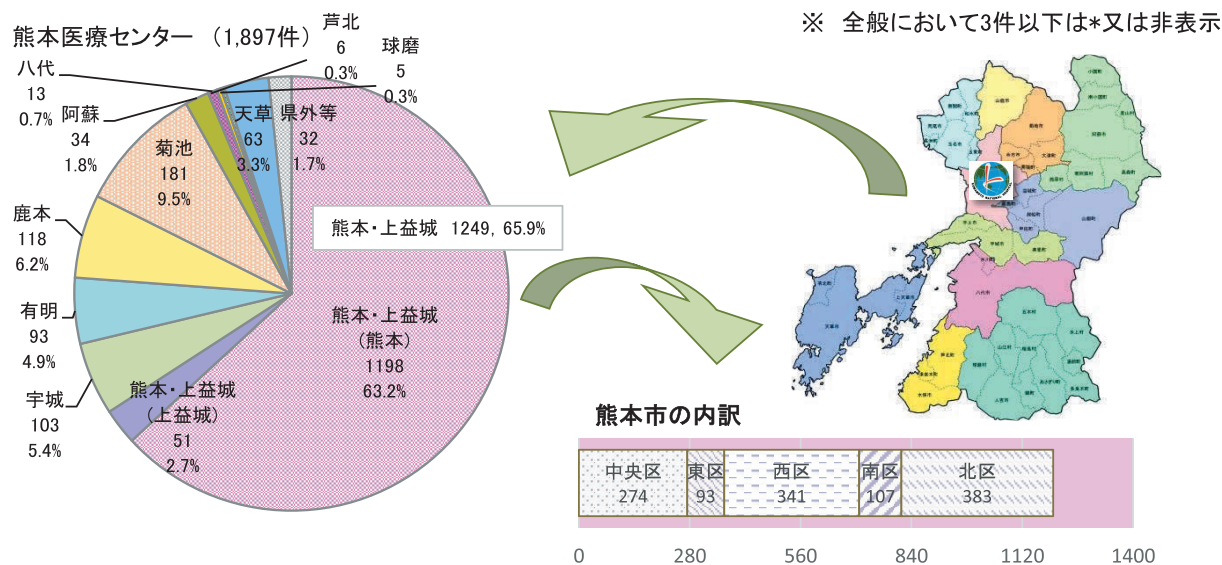


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本医療センター

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

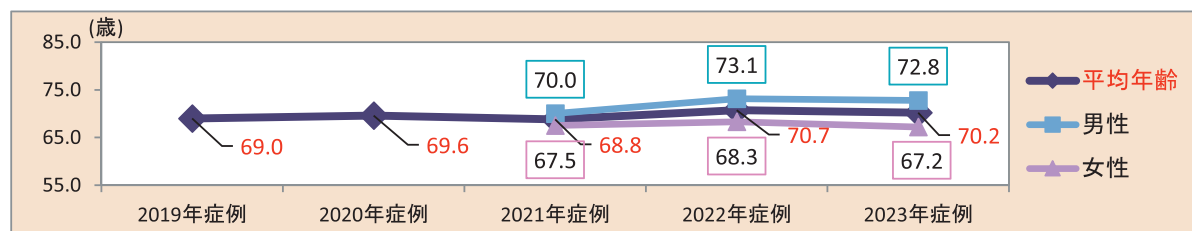


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	悪性血液	183	有明	大腸	15	阿蘇	悪性血液	7	球磨	該当部位	各*
	大腸	179		前立腺	14		大腸	4			
	その他	128		悪性血液	14		子宮頸部	4			
	前立腺	125		子宮頸部	9		膀胱	4			
	乳房	112		その他	8		該当部位	各*			
熊・上 (上益城)	その他	11	鹿本	悪性血液	20	八代	悪性血液	5	天草	悪性血液	23
	前立腺	10		前立腺	19		該当部位	各*		子宮頸部	9
	悪性血液	10		その他	13					大腸	7
	大腸	4		膀胱	12					前立腺	7
	乳房	4		大腸	11					子宮体部	5
宇城	悪性血液	19	菊池	悪性血液	28	芦北	該当部位	各*	県外等	前立腺	12
	大腸	17		膀胱	27					大腸	4
	その他	9		前立腺	24					悪性血液	4
	子宮体部	8		大腸	19					その他	4
	該当部位	各7		その他	19					該当部位	各*

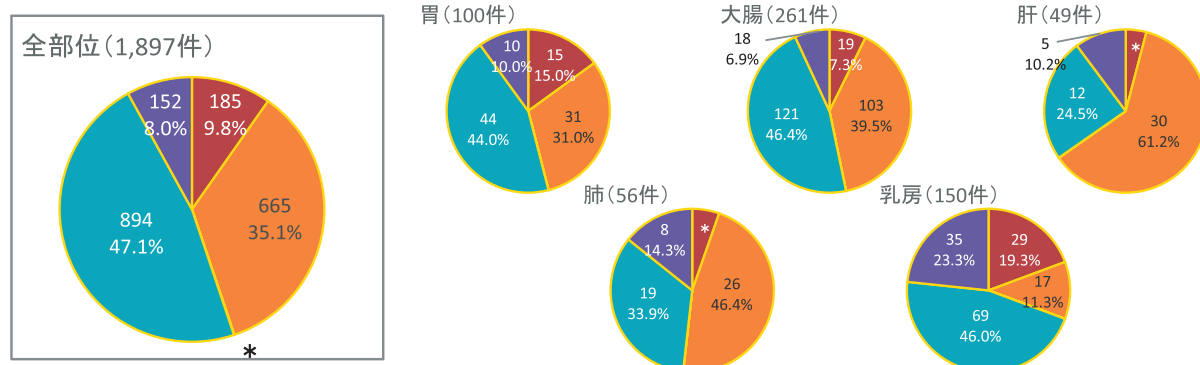
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

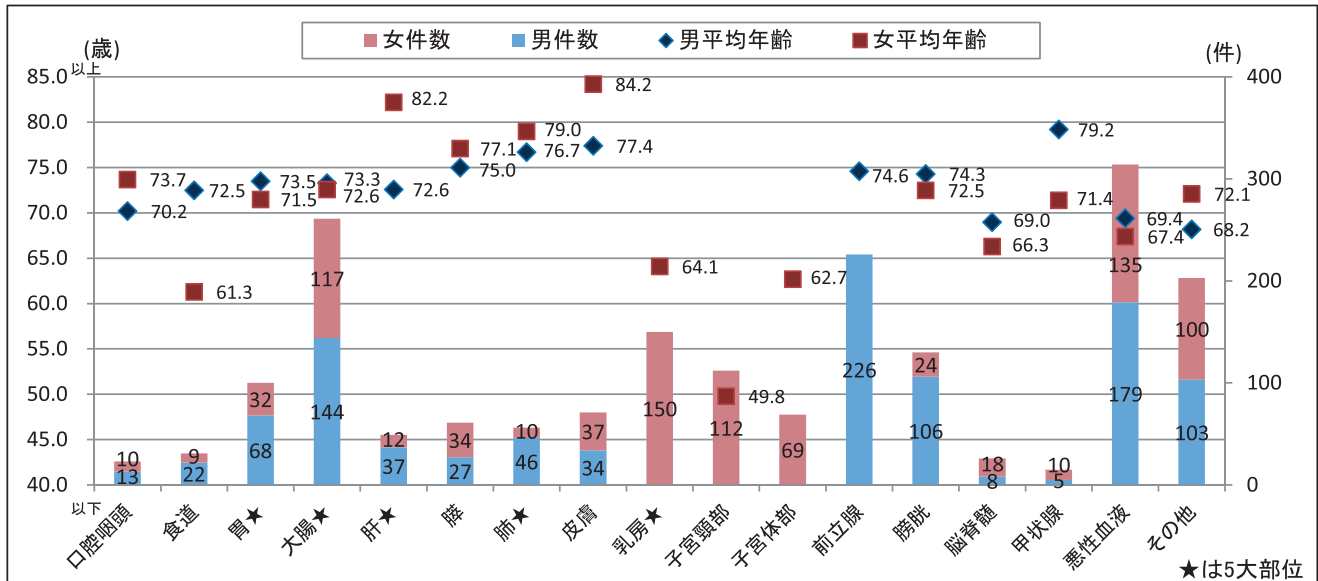


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

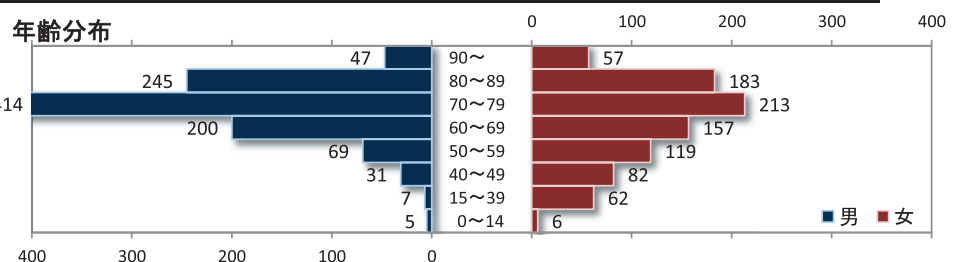


男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
前立腺	226	悪性血液	4	該当部位	各*	悪性血液	10	その他	13
悪性血液	179	該当部位	*			その他	8	膀胱	12
大腸	144					大腸	4	悪性血液	12
膀胱	106					該当部位	各*	大腸	9
その他	103							前立腺	8
胃	68							など	
肺	46	計	5	計	7	計	31	計	69
肝	37	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
皮膚	34	前立腺	47	前立腺	115	前立腺	45	前立腺	11
脾	27	悪性血液	43	悪性血液	68	大腸	38	膀胱	9
食道	22	大腸	29	大腸	58	悪性血液	34	大腸	6
口腔咽頭	13	その他	16	その他	38	膀胱	31	皮膚	5
脳脊髄	8	膀胱	14	膀胱	37	その他	23	悪性血液	5
甲状腺	5	など		など		など		該当部位	各*
乳房		計	200	計	414	計	245	計	47
子宮頸部									
子宮体部									
計	1,018								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	150	悪性血液	5	子宮頸部	35	子宮頸部	28	乳房	31
悪性血液	135	該当部位	*	乳房	7	乳房	20	子宮頸部	22
大腸	117			悪性血液	7	悪性血液	14	子宮体部	22
子宮頸部	112			該当部位	各*	子宮体部	7	大腸	13
その他	100					その他	5	その他	12
子宮体部	69					該当部位	各*	など	
皮膚	37	計	6	計	62	計	82	計	119
脾	34	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
胃	32	乳房	35	悪性血液	37	悪性血液	39	皮膚	14
膀胱	24	大腸	29	乳房	35	その他	30	大腸	11
脳脊髄	18	子宮体部	17	大腸	35	大腸	25	その他	10
肝	12	悪性血液	17	その他	28	乳房	17	悪性血液	6
口腔咽頭	10	子宮頸部	14	脾	14	皮膚	12	乳房	5
肺	10	など		など		など		該当部位	各*
甲状腺	10	計	157	計	213	計	183	計	57
食道	9								
前立腺									
計	879								

年齢分布



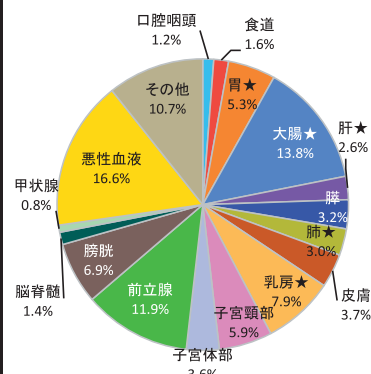
Ⅱ 施設別統計

熊本医療センター

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	35	36	29	36	23
食道	26	35	31	29	31
胃★	108	90	99	83	100
大腸★	273	246	231	233	261
肝★	59	69	56	50	49
膵	56	75	55	50	61
肺★	75	66	72	71	56
皮膚	70	71	85	83	71
乳房★	153	144	87	170	150
子宮頸部	172	127	132	130	112
子宮体部	68	74	61	59	69
前立腺	131	150	145	203	226
膀胱	107	92	98	134	130
脳脊髄	24	30	28	21	26
甲状腺	11	20	15	16	15
悪性血液疾患	310	296	390	265	314
その他	231	237	241	229	203
計	1,909	1,858	1,855	1,862	1,897

2023年診断症例 主要部位別割合



※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、

骨髄腫、他の造血器腫瘍

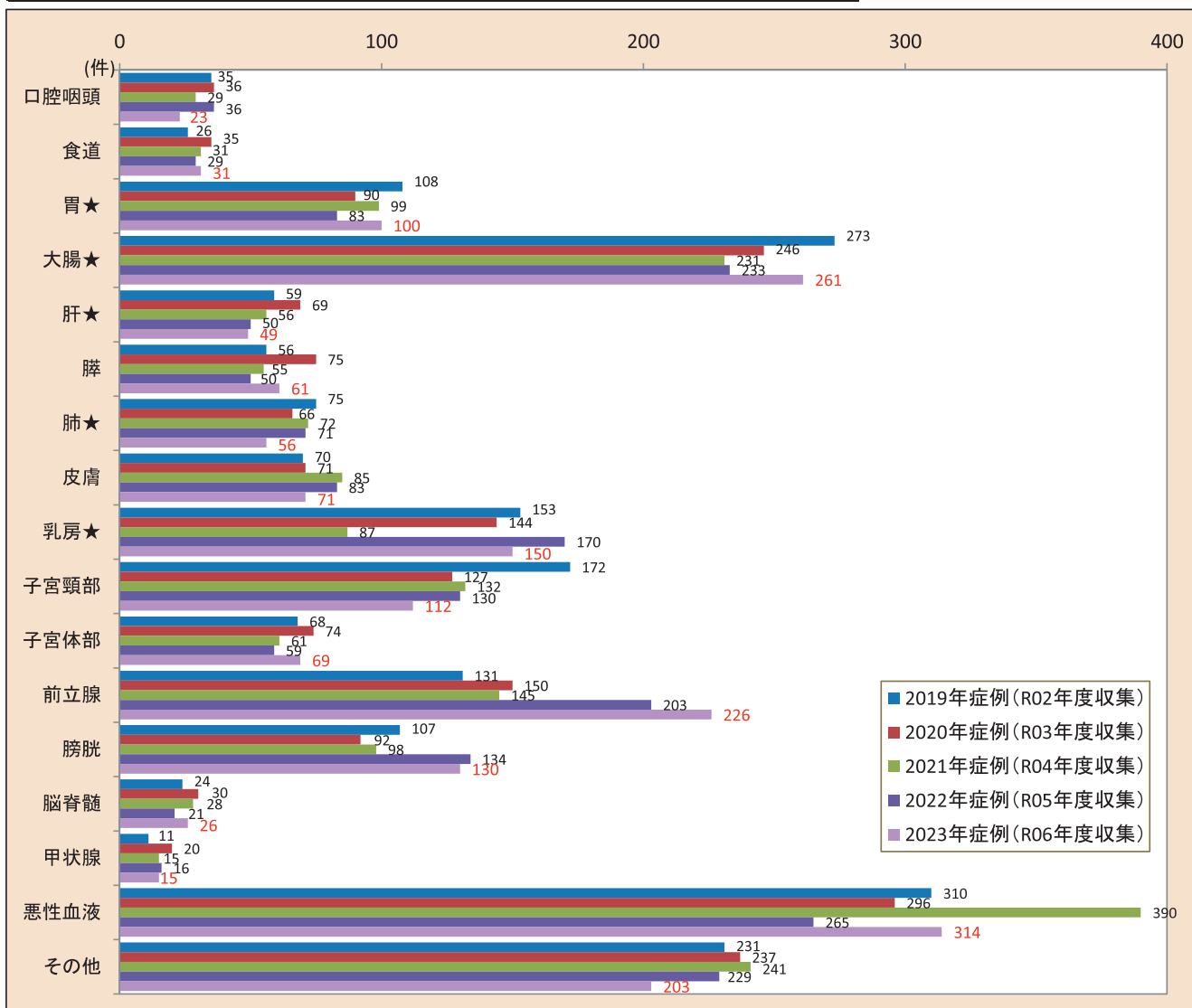
※その他は分類にないもの全て

(胆管、卵巣、骨軟部など)

※2019年症例より子宮を子宮頸部、

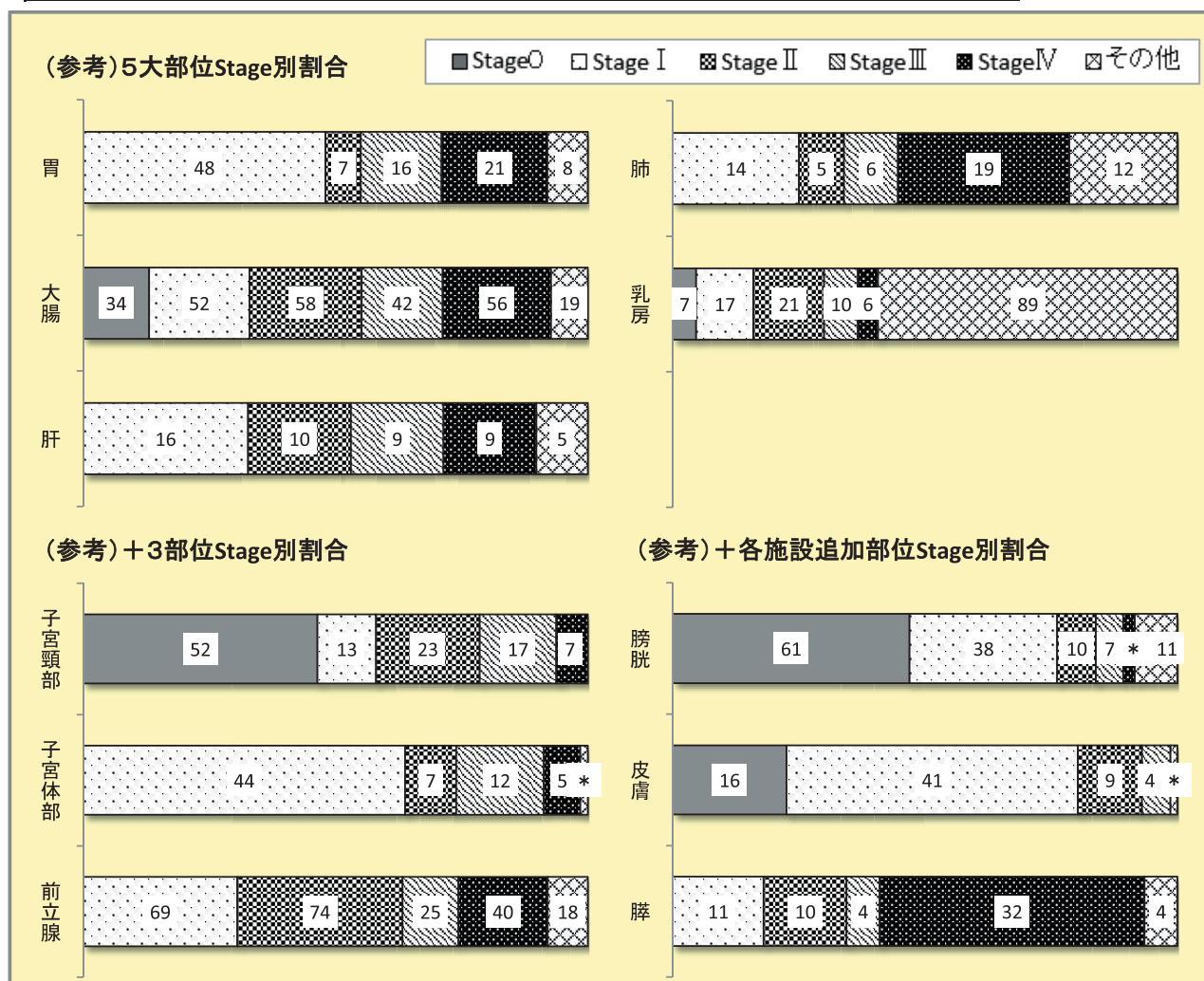
子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	23	6	4	5	*	5	*
食道	31	10	9	*	4	*	*
胃★	100		48	7	16	21	8
大腸★	261	34	52	58	42	56	19
肝★	49		16	10	9	9	5
膵	61		11	10	4	32	4
肺★	56		14	5	6	19	12
皮膚	71	16	41	9	4		*
乳房★	150	7	17	21	10	6	89
子宮頸部	112	52	13	23	17	7	
子宮体部	69		44	7	12	5	*
前立腺	226		69	74	25	40	18
膀胱	130	61	38	10	7	*	11
脳脊髄	26						26
甲状腺	15		7	*	*	*	*
悪性血液疾患	314		36	25	21	57	175
その他	203	7	72	13	37	29	45
計	1,897	193	491	282	216	293	422



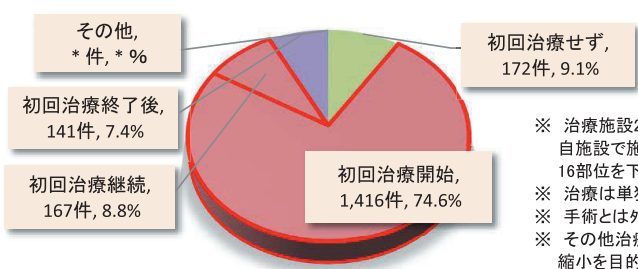
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

熊本医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

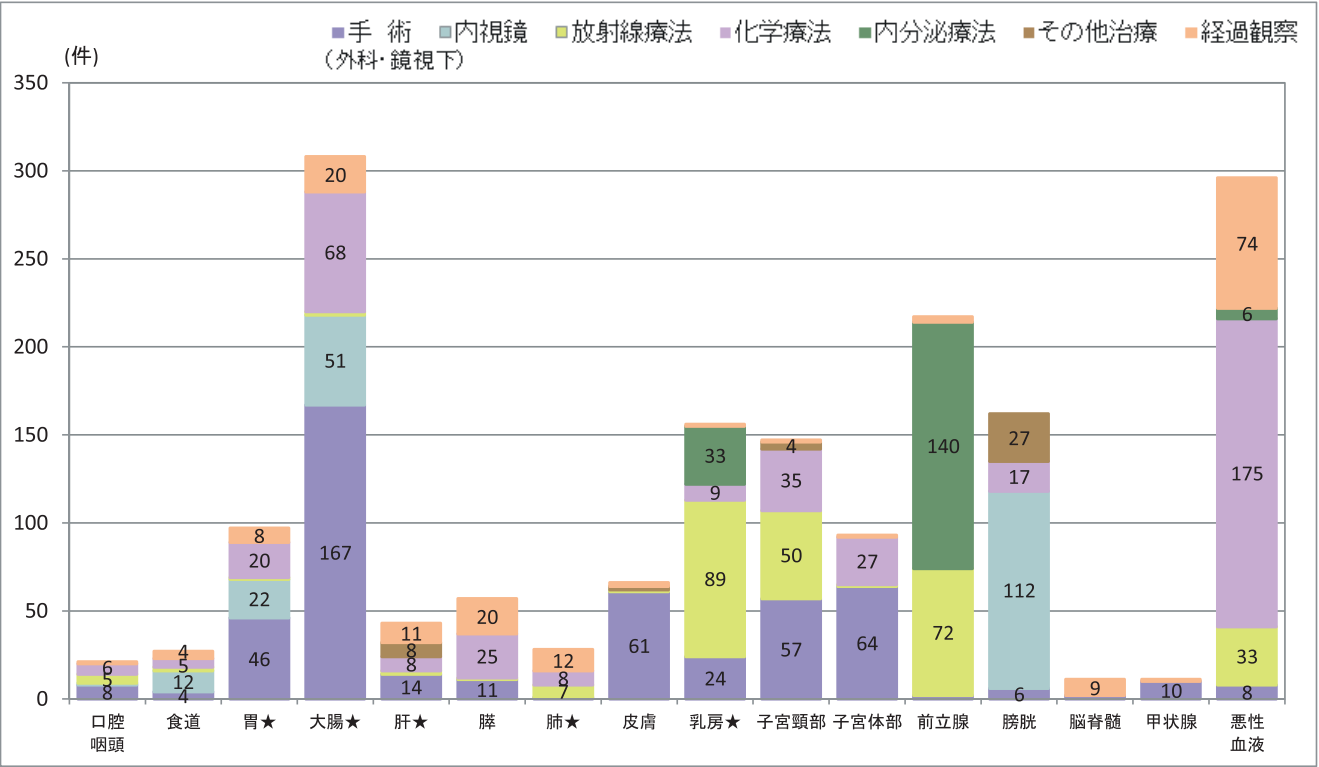
治療施設	件数
1初回治療せず	172
2初回治療開始	1,416
3初回治療継続	167
4初回治療終了後	141
8その他	*
計	1,897



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

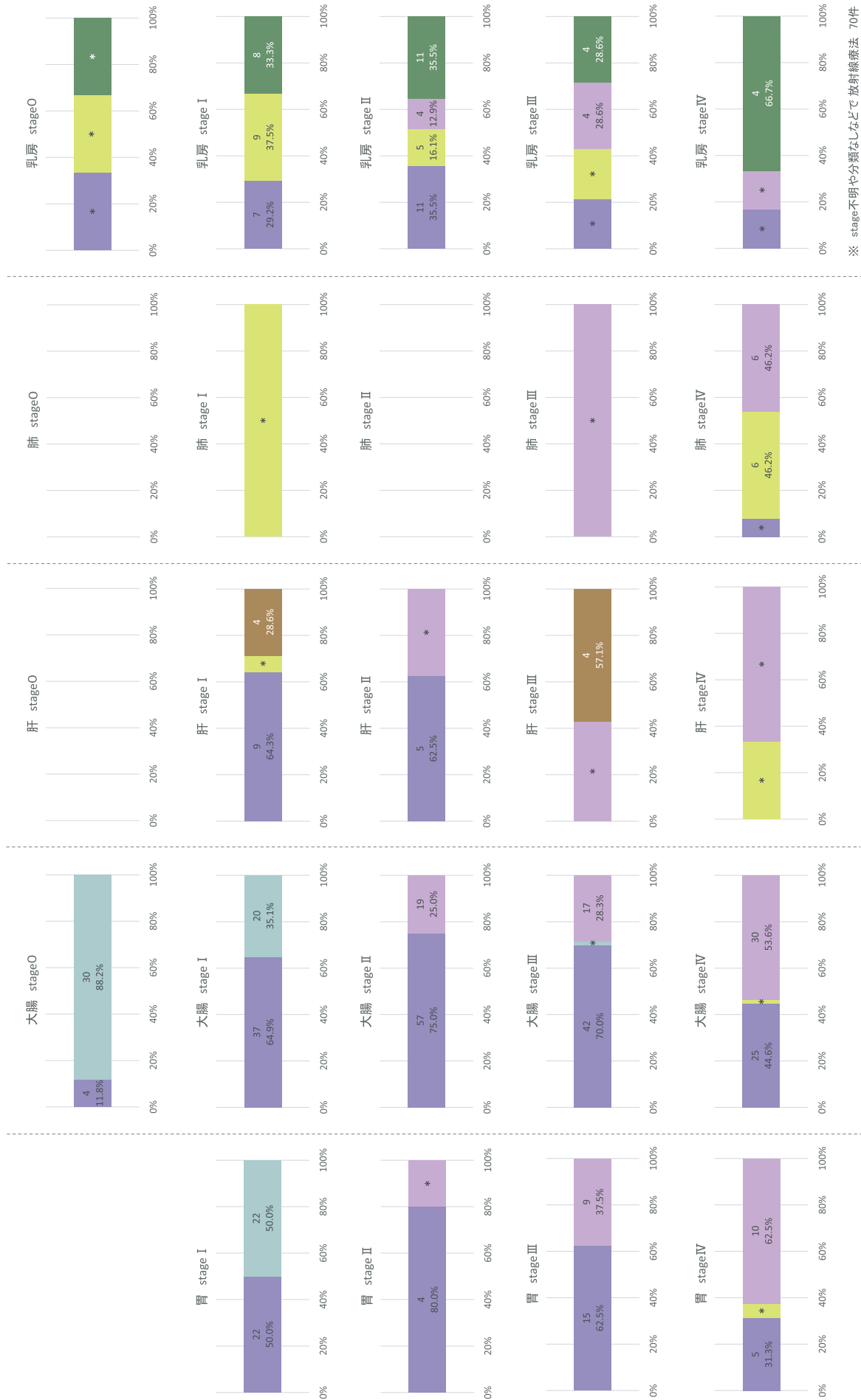
	(外科・手術・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	8	*	5	6			*	21	100.0%	0.0%	0.0%
食道	4	12	*	5			4	27	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	46	22	*	20			8	97	92.4%	7.6%	0.0%
大腸★	167	51	*	68			20	308	91.1%	8.4%	0.5%
肝★	14		*	8		8	11	43	92.9%	0.0%	7.1%
膵	11		*	25			20	57	72.7%	27.3%	0.0%
肺★	*		7	8			12	28	0.0%	100.0%	0.0%
皮膚	61		*			*	*	66	96.7%	1.6%	1.6%
乳房★	24		89	9	33		*	156	91.7%	8.3%	0.0%
子宮頸部	57		50	35		4	*	147	96.4%	0.0%	3.6%
子宮体部	64		*	27			*	93	87.5%	12.5%	0.0%
前立腺	*		72		140		*	217	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	6	112		17		27		162	45.5%	54.5%	0.0%
脳脊髄	*						9	11	50.0%	50.0%	0.0%
甲状腺	10						*	11	70.0%	30.0%	0.0%
悪性血液疾患	8		33	175	6		74	296	37.5%	50.0%	12.5%
計	485	198	266	403	179	41	168	1,740			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUIC08版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法
 ■ 化学療法 ■ 内分泌療法 ■ その他治療



※ stage不明や分類なしなどで放射線療法 70件

Ⅱ 施設別統計
 熊本医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名	熊本赤十字病院
-------	---------

○基本情報

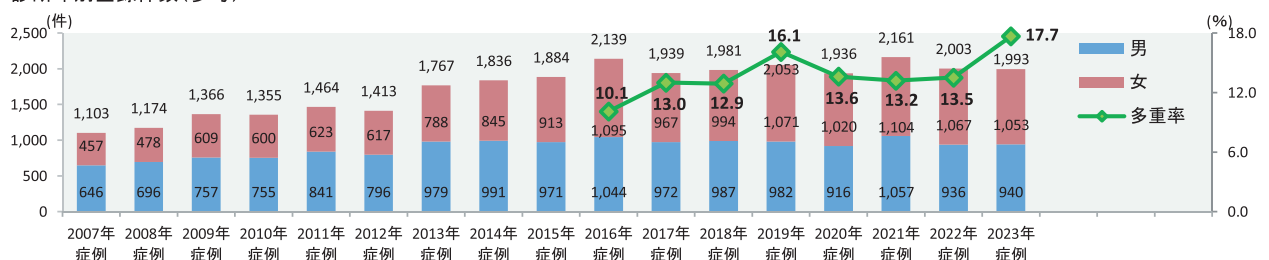
【令和5(2023)年12月現在】

所在地	熊本市東区長嶺南二丁目1番1号		
病床数	490床(一般490床)		
追加情報	無菌室5床		
診療科数	32科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08	がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	9.5(日)		
入院患者数	15,420(人)		
外来患者延数	243,185(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 13,641(件)		
院内がん登録件数	1,993(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 1 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

【医療圏】 熊本市48.6%(前年46.1%) 菊池23.8%(前年25.9%) 阿蘇10.8%(前年11.2%) ○担当医療圏である熊本、菊池、阿蘇が約8割を占め、地域がん診療連携拠点病院の役割を果たしていると考えられる。 【件数の比較】 - 全体件数 1,993件(前年:2,003件) - 部位別件数(『その他』を除く上位3部位) - 全体 『大腸』270件(前年275件)、『乳房』251件(前年245件)、『肺』229件(前年175件) - 男性 『肺』155件(前年107件)、『大腸』151件(前年146件)、『胃』107件(前年132件) - 女性 『乳房』246件(前年243件)、『大腸』119件(前年129件)、『子宮頸部』112件(前年133件) ○全体の部位別件数では、昨年同様『大腸癌』が最も多くを占めた。5大がん(胃・大腸・肝・肺・乳房)の件数は970件で全体の約半数を占める。 【治療内容の特徴】 ○2022年11月よりがん集学的治療センターを設置した。手術、化学療法、放射線治療などそれぞれの専門家がいてにより集学的治療が可能となっている。 ○胃のステージⅠ、大腸のステージ0では内視鏡治療を積極的に行う。 ○2019年から手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、患者の状況に合わせた治療提案を行っている。 (適応: 胃がん・大腸がん・肺がん・縦隔腫瘍・子宮体がん、膵がん) ○呼吸器領域については、1ヶ所の創で手術を行う単孔式胸腔鏡手術を実施している。
--

診断年別登録件数(参考)

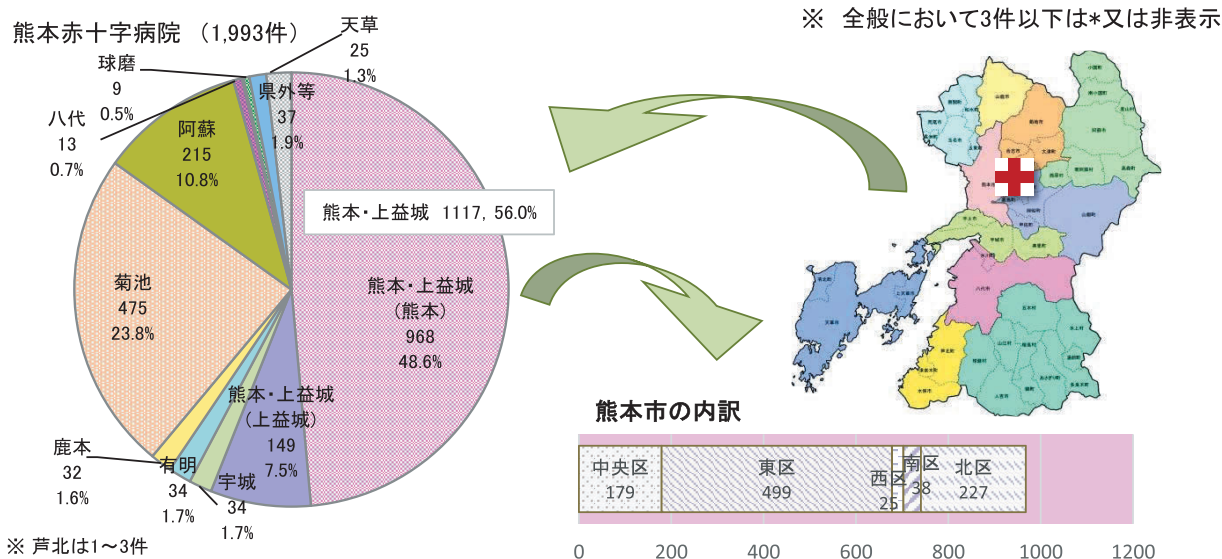


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本赤十字病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

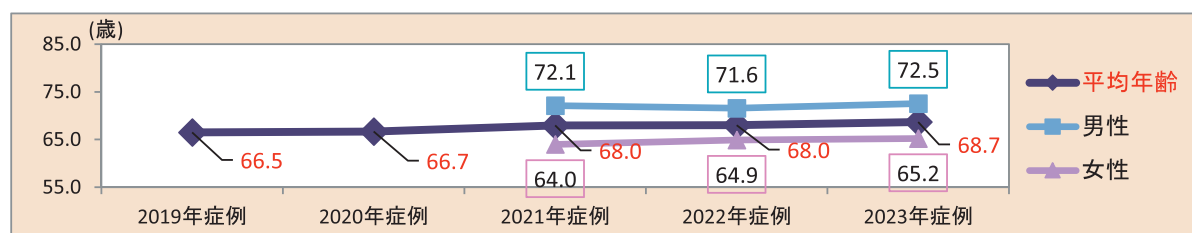


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	大腸	137	有明	子宮頸部	5	阿蘇	大腸	34	球磨	該当部位	各*
	乳房	130		乳房	4		その他	27			
	肺	118		悪性血液	4		胃	20			
	その他	97		その他	4		肺	20			
	悪性血液	76		該当部位	各*		乳房	18			
熊・上 (上益城)	胃	22	鹿本	悪性血液	7	八代	該当部位	各*	天草	肺	8
	大腸	22		肺	6					悪性血液	4
	悪性血液	19		子宮頸部	4					該当部位	各*
	肺	15		該当部位	各*						
	乳房	14									
宇城	子宮体部	6	菊池	乳房	73	芦北	該当部位	各*	県外等	その他	9
	肺	4		大腸	65					胃	5
	子宮頸部	4		肺	50					肝	4
	該当部位	各*		その他	46					乳房	4
				胃	42					該当部位	各*

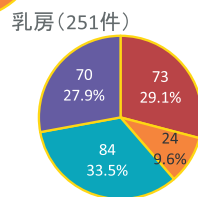
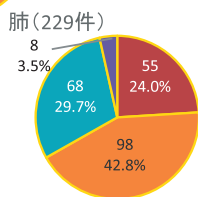
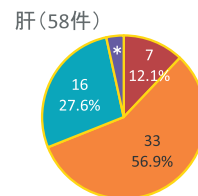
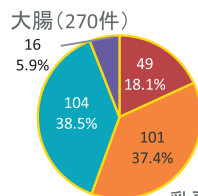
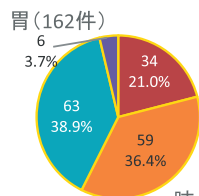
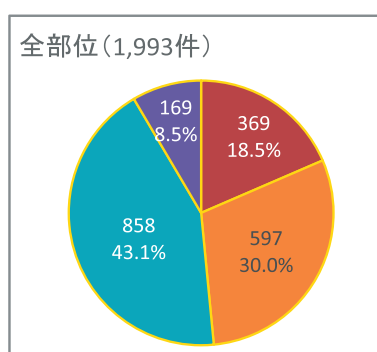
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

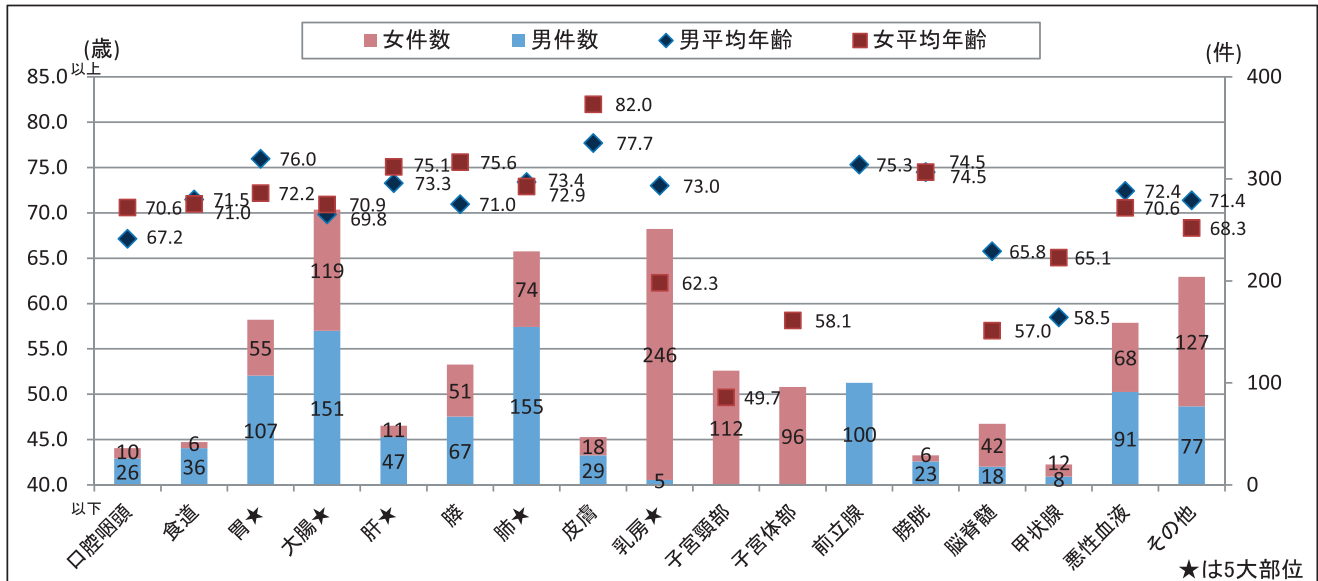


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



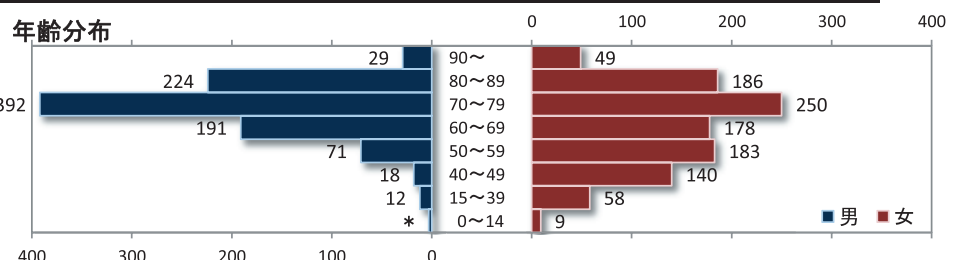
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
肺	155	該当部位	*	該当部位	各*	大腸	7	大腸	15
大腸	151					該当部位	各*	その他	11
胃	107							脾	8
前立腺	100							肺	7
悪性血液	91							悪性血液	6
その他	77							など	
脾	67	計	*	計	12	計	18	計	71
肝	47	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
食道	36	大腸	37	肺	74	肺	39	前立腺	7
皮膚	29	肺	32	大腸	64	胃	35	胃	5
口腔咽頭	26	前立腺	20	前立腺	54	悪性血液	28	悪性血液	5
膀胱	23	胃	18	胃	47	大腸	22	その他	4
脳脊髄	18	該当部位	各15	悪性血液	31	その他	21	該当部位	各*
甲状腺	8	など		など		など			
乳房	5	計	191	計	392	計	224	計	29
子宮頸部									
子宮体部									
計	940								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	246	脳脊髄	5	子宮頸部	30	乳房	45	乳房	60
その他	127	該当部位	各*	乳房	7	子宮頸部	38	子宮体部	36
大腸	119			子宮体部	7	子宮体部	18	子宮頸部	22
子宮頸部	112			その他	6	大腸	11	大腸	19
子宮体部	96			脳脊髄	5	その他	11	その他	14
肺	74			該当部位	各*	該当部位	各*	など	
悪性血液	68	計	9	計	58	計	140	計	183
胃	55	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
脾	51	乳房	53	乳房	50	その他	29	その他	9
脳脊髄	42	その他	24	大腸	36	大腸	27	大腸	9
皮膚	18	肺	21	その他	32	乳房	26	脾	6
甲状腺	12	大腸	17	肺	29	悪性血液	24	乳房	5
肝	11	子宮体部	16	胃	19	胃	16	該当部位	各4
口腔咽頭	10	など		など		など		該当部位	各*
食道	6	計	178	計	250	計	186	計	49
膀胱	6								
前立腺									
計	1,053								



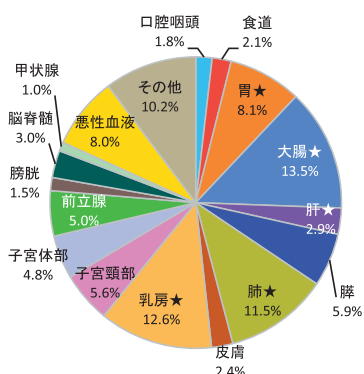
Ⅱ 施設別統計

熊本赤十字病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	27	24	18	29	36
食道	25	37	37	45	42
胃★	189	165	219	192	162
大腸★	269	236	300	275	270
肝★	61	53	56	62	58
膵	99	97	94	93	118
肺★	208	176	220	175	229
皮膚	38	44	59	56	47
乳房★	231	246	299	245	251
子宮頸部	175	149	136	133	112
子宮体部	73	54	85	94	96
前立腺	133	105	118	109	100
膀胱	59	49	59	38	29
脳脊髄	36	60	33	44	60
甲状腺	44	52	31	18	20
悪性血液疾患	164	163	158	181	159
その他	222	226	239	214	204
計	2,053	1,936	2,161	2,003	1,993

2023年診断症例 主要部位別割合



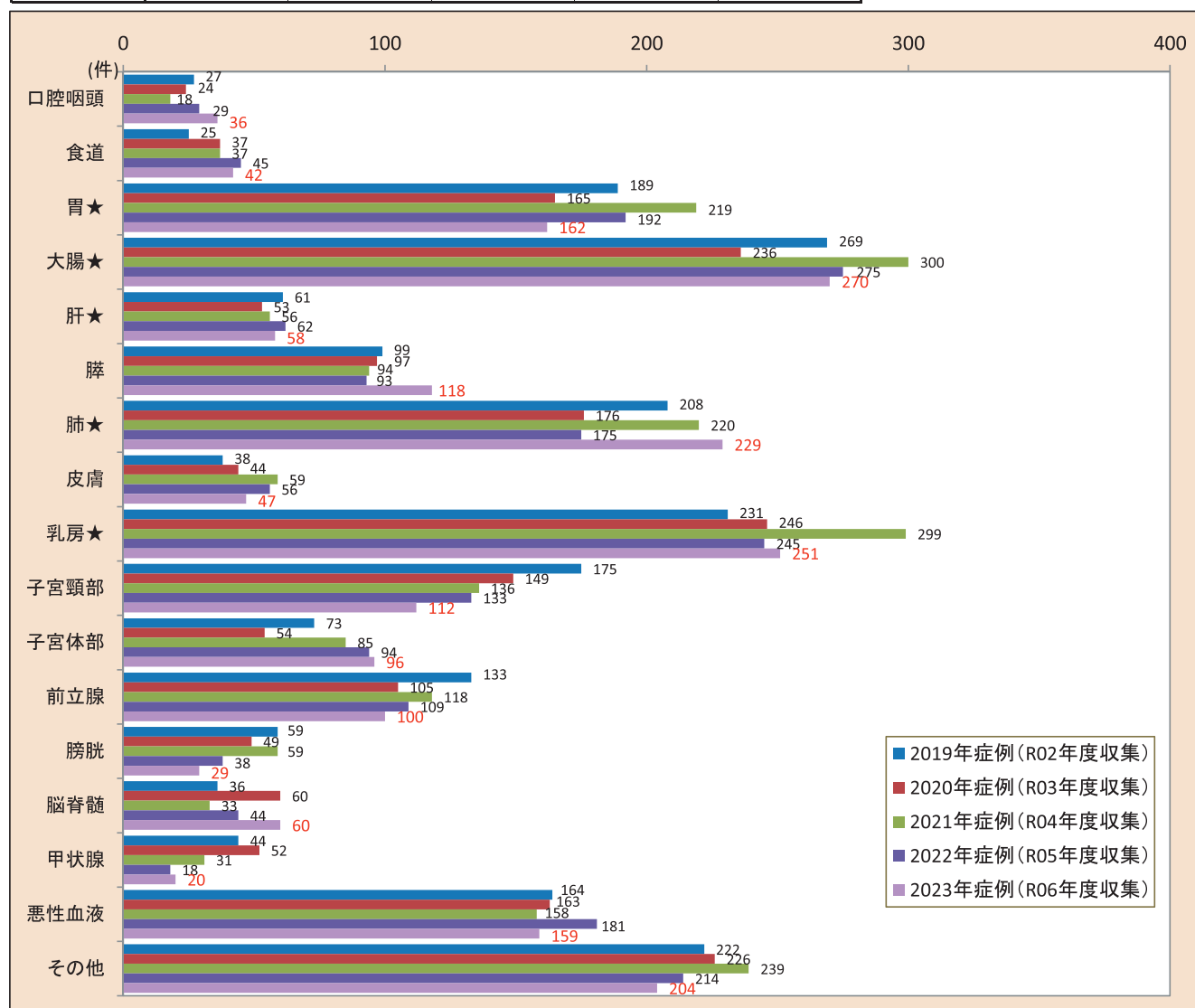
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

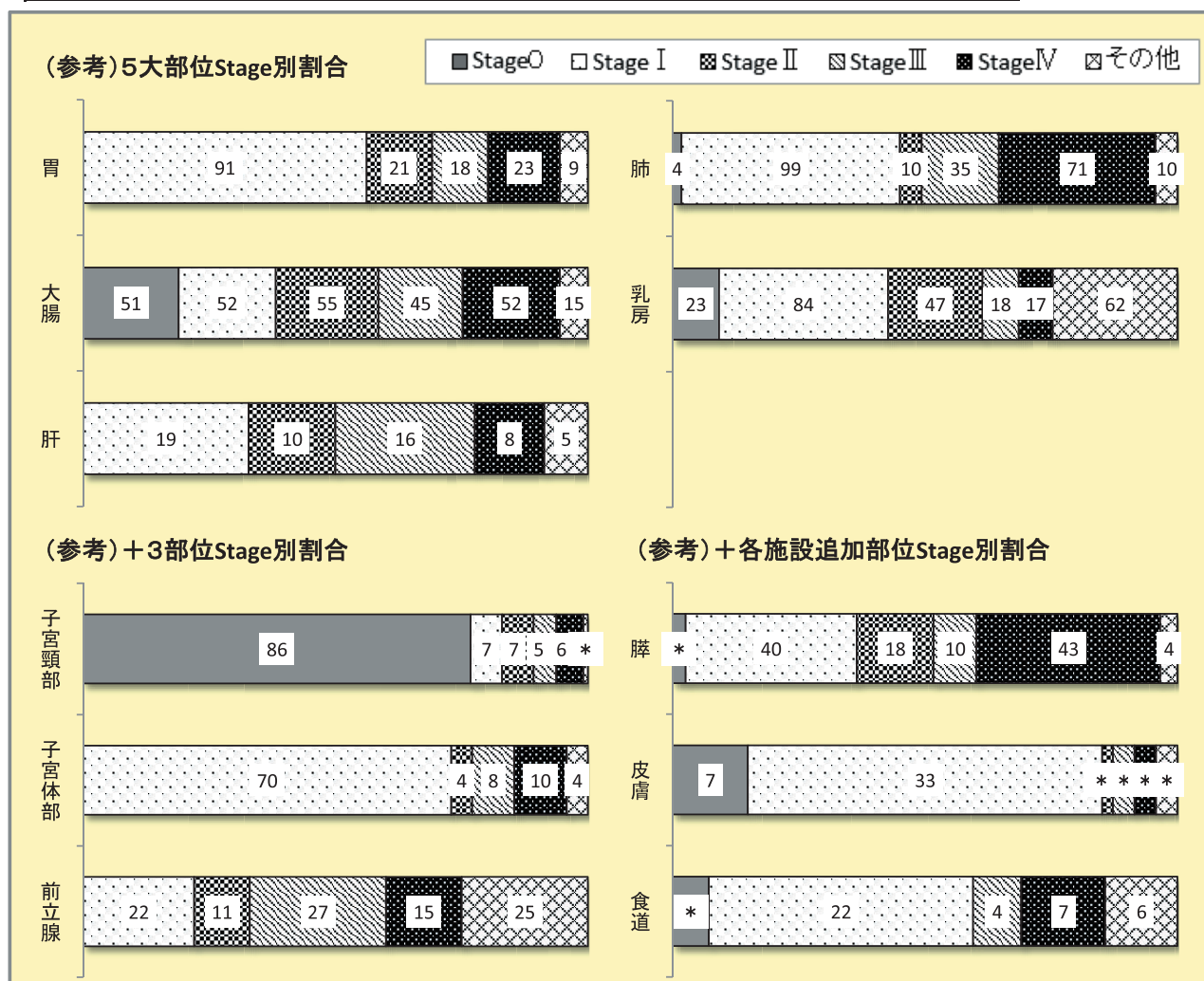
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	36	*	12	*	5	10	4
食道	42	*	22		4	7	6
胃★	162		91	21	18	23	9
大腸★	270	51	52	55	45	52	15
肝★	58		19	10	16	8	5
膵	118	*	40	18	10	43	4
肺★	229	4	99	10	35	71	10
皮膚	47	7	33	*	*	*	*
乳房★	251	23	84	47	18	17	62
子宮頸部	112	86	7	7	5	6	*
子宮体部	96		70	4	8	10	4
前立腺	100		22	11	27	15	25
膀胱	29	13	7	*	*	*	4
脳脊髄	60						60
甲状腺	20		10	7		*	*
悪性血液疾患	159		21	13	12	26	87
その他	204	6	53	21	35	39	50
計	1,993	198	642	231	241	331	350



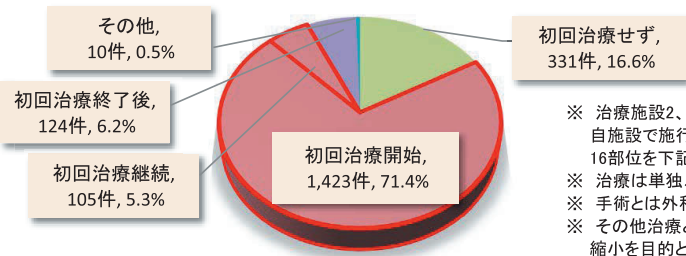
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

熊本赤十字病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	331
2初回治療開始	1,423
3初回治療継続	105
4初回治療終了後	124
8その他	10
計	1,993



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計

※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

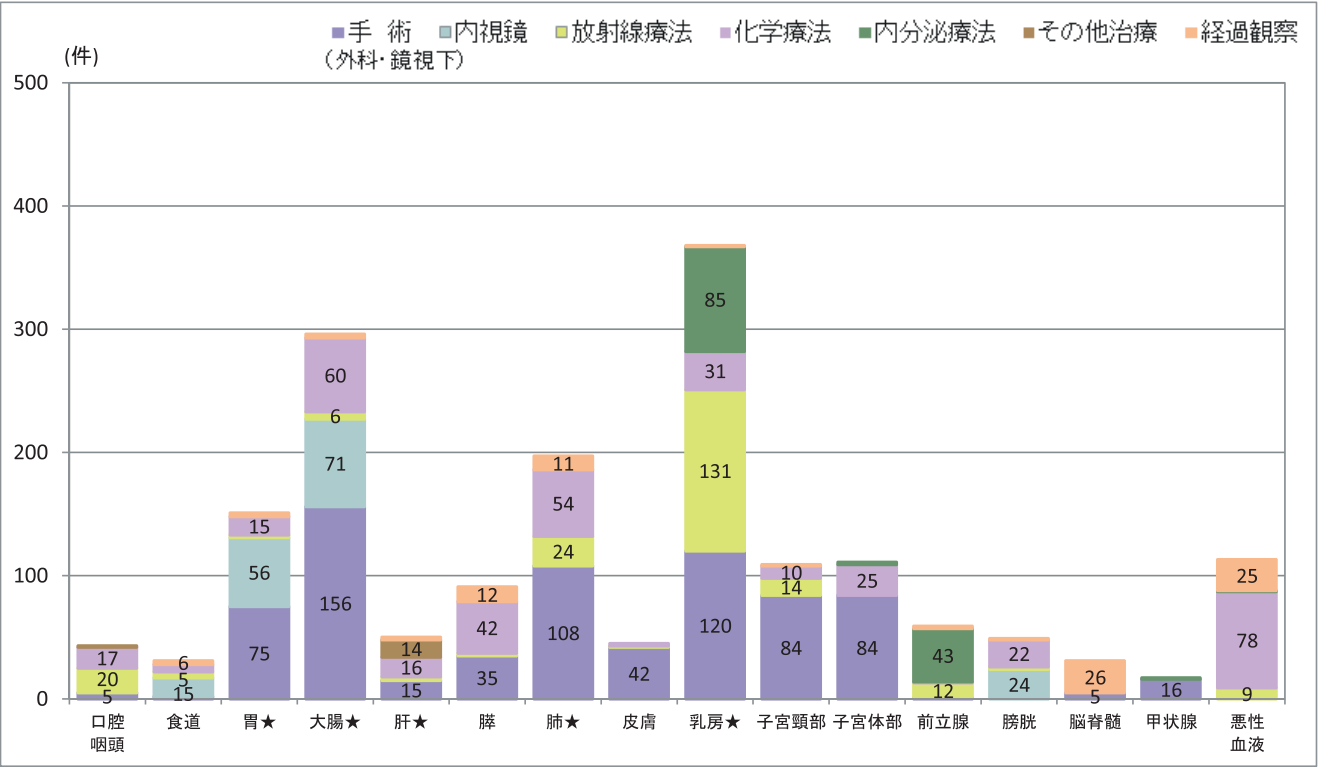
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

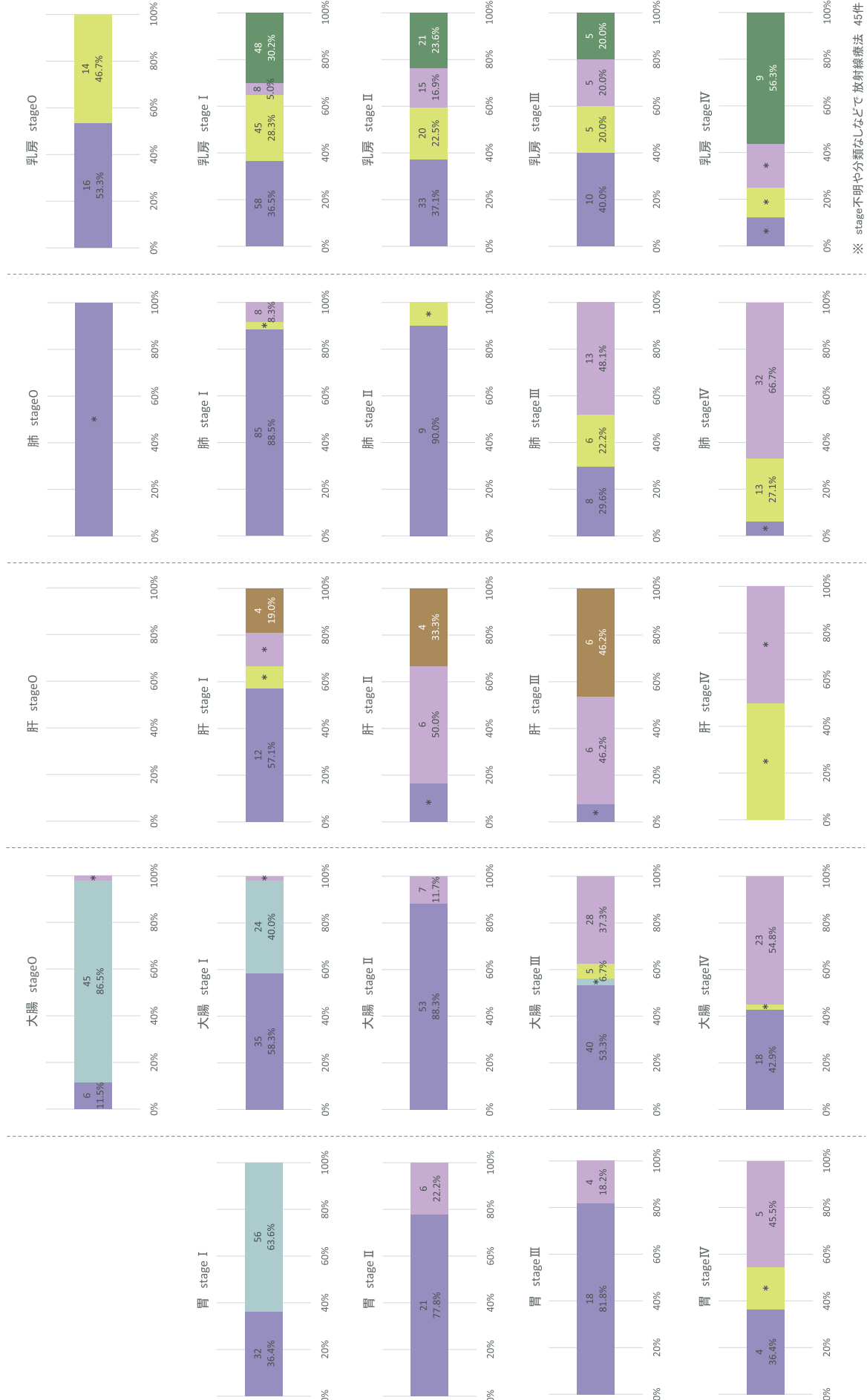
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	5		20	17		*		43	100.0%	0.0%	0.0%
食道	*	15	5	6			*	31	94.1%	5.9%	0.0%
胃★	75	56	*	15			*	151	96.9%	3.1%	0.0%
大腸★	156	71	6	60			*	296	97.2%	2.8%	0.0%
肝★	15		*	16		14	*	50	100.0%	0.0%	0.0%
膵	35		*	42			12	91	94.3%	5.7%	0.0%
肺★	108		24	54			11	197	95.4%	4.6%	0.0%
皮膚	42		*	*				45	97.6%	2.4%	0.0%
乳房★	120		131	31	85		*	368	95.0%	4.2%	0.8%
子宮頸部	84		14	10			*	109	97.6%	2.4%	0.0%
子宮体部	84			25	*			111	96.4%	3.6%	0.0%
前立腺	*		12	*	43		*	59	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱		24	*	22			*	49	79.2%	20.8%	0.0%
脳脊髄	5						26	31	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	16				*			17	93.8%	6.3%	0.0%
悪性血液疾患			9	78	*		25	113			
計	748	166	231	379	132	15	90	1,761			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 化学療法 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法 ■ その他治療



※ stage不明や分類なしなどで放射線療法 45件

Ⅱ 施設別統計
熊本赤十字病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名		社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院
-------	---	--------------------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

所在地	熊本市南区近見5丁目3番1号		
病床数	400床(一般400床)		
追加情報			
診療科数	20科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08	がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	10.1(日)		
入院患者数	13,179(人)		
外来患者延数	142,562(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数(ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること		4,916(件)
院内がん登録件数	2,024(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 3 / 初級者 2 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

【患者住所医療圏別登録状況】

熊本市(46.5%)、宇城(18.3%)2つの医療圏で65%を占めていた。

【年齢=()内は2022年診断症例との比較】

全体平均:71.2歳(+0.1歳) 男性平均:72.0歳(+0.3歳) 女性平均:69.8歳(-0.3歳)
年齢分布をみると、2022年と同様、男女ともに70～79歳の罹患数が一番多い結果となった。

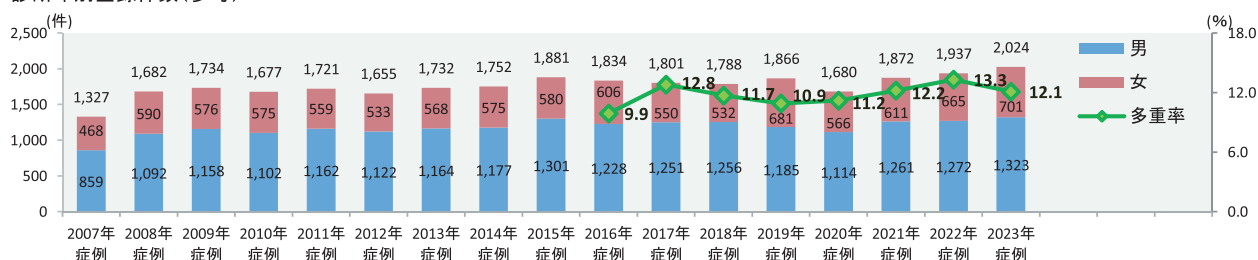
【登録件数】

登録件数は2,024件(男性1,323件、女性701件)で、前年より87件増加。
男女比に関してはほぼ変化なく、男性が65.4%(前年65.7%)、女性が34.6%(前年34.3%)であった。

なお、上位5部位の割合についての状況は以下の通りである。

<<2022年>>1.肺(18.9%) 2.前立腺(16.6%) 3.大腸(16.0%) 4.胃(10.5%) 5.乳房(7.3%)
<<2023年>>1.前立腺(18.2%) 2.大腸(16.1%) 3.肺(14.2%) 4.胃(11.0%) 5.乳房(8.6%)

診断年別登録件数(参考)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

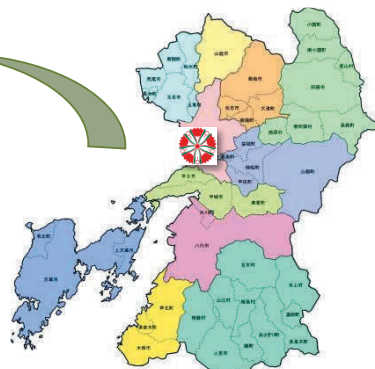
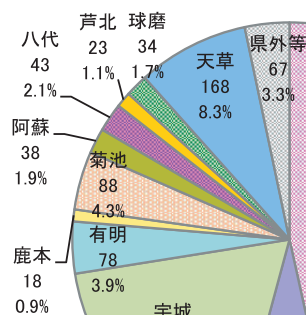
II 施設別統計

済生会熊本病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

済生会熊本病院 (2,024件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示



熊本市の内訳

中央区	東区	西区	南区	北区
158	100	170	437	77

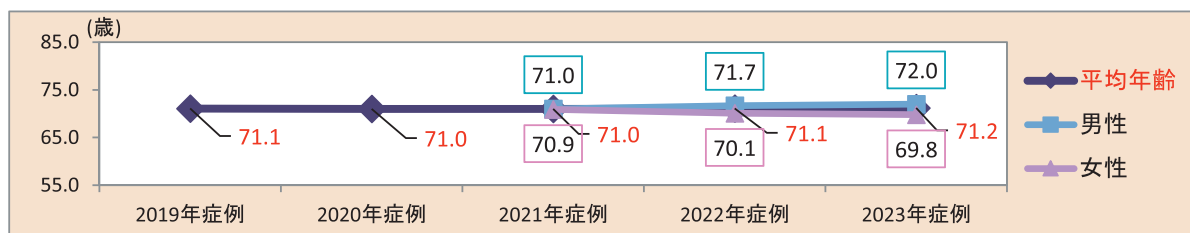
0 200 400 600 800 1000

◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	大腸	161	有明	前立腺	14	阿蘇	前立腺	13	球磨	前立腺	8
	前立腺	161		胃	12		その他	9		胃	6
	肺	140		肺	10		大腸	5		肝	5
	乳房	106		大腸	9		膀胱	4		その他	5
	その他	94		腓	9		該当部位	各*		該当部位	各*
熊・上 (上益城)	大腸	27	鹿本	前立腺	7	八代	肺	9	天草	肺	40
	前立腺	27		その他	5		前立腺	8		前立腺	35
	肺	19		該当部位	各*		乳房	5		大腸	30
	胃	15					その他	5		その他	17
	その他	15					該当部位	各4		胃	15
宇城	大腸	71	菊池	前立腺	28	芦北	前立腺	15	県外等	前立腺	13
	胃	61		脳脊髄	12		肺	4		その他	13
	肺	42		その他	10		該当部位	各*		肺	12
	前立腺	40		胃	8					大腸	10
	その他	39		大腸	8					胃	8

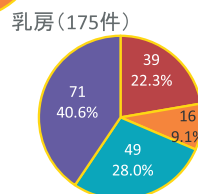
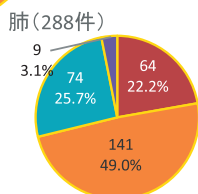
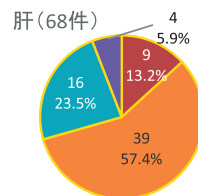
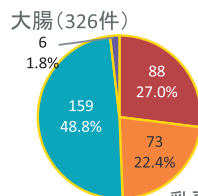
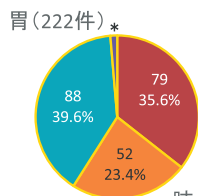
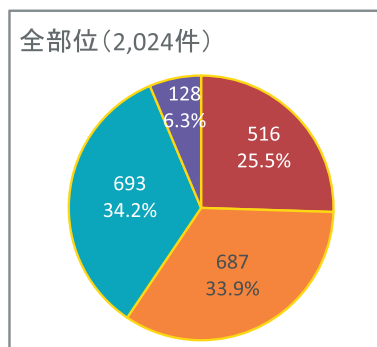
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

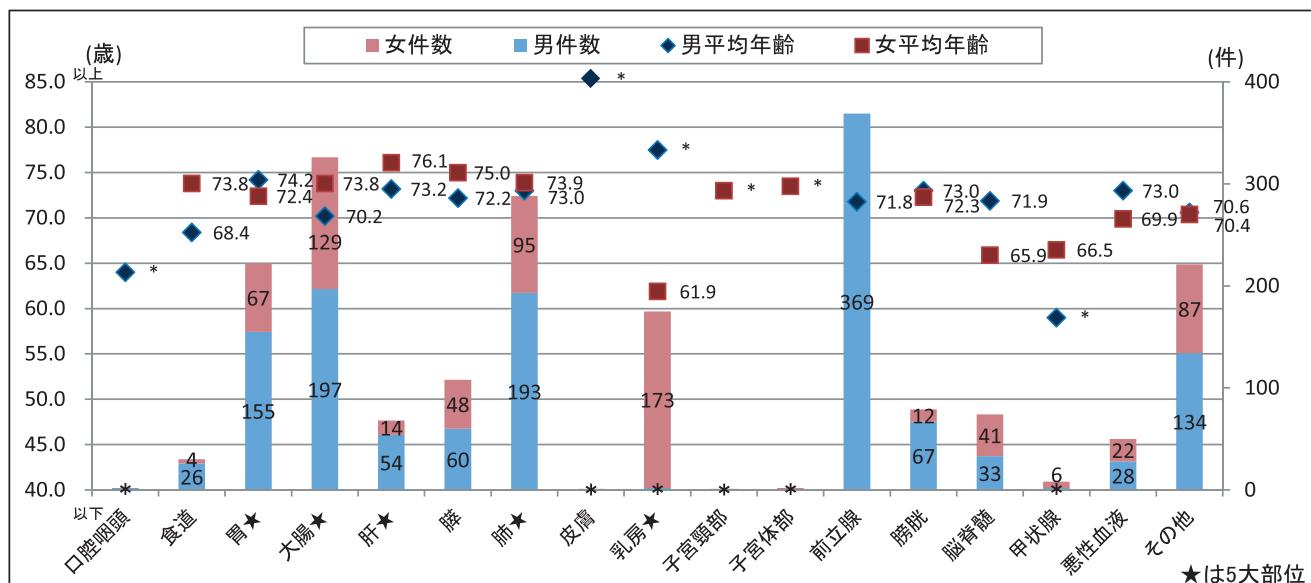


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



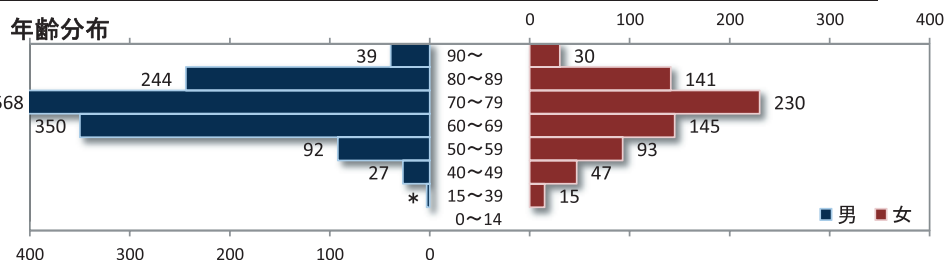
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
前立腺	369			該当部位	各*	大腸	8	大腸	24
大腸	197					胃	5	前立腺	19
肺	193					その他	4	その他	16
胃	155					該当部位	各*	肺	9
その他	134							該当部位	各5
膀胱	67							該当部位	各*
膵	60			計	*	計	27	計	92
肝	54	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
脳脊髄	33	前立腺	102	前立腺	204	肺	45	胃	8
悪性血液	28	肺	57	大腸	78	胃	42	大腸	8
食道	26	大腸	47	肺	71	前立腺	41	肺	8
口腔咽頭	*	その他	41	胃	60	大腸	31	その他	7
乳房	*	胃	35	その他	43	その他	22	該当部位	各*
甲状腺	*	など		など		など			
皮膚	*	計	350	計	568	計	244	計	39
子宮頸部									
子宮体部									
計	1,323								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	173			乳房	9	乳房	24	乳房	39
大腸	129			該当部位	各*	その他	7	その他	14
肺	95					大腸	6	大腸	10
その他	87					脳脊髄	4	胃	8
胃	67					該当部位	各*	脳脊髄	8
膵	48							など	
脳脊髄	41			計	15	計	47	計	93
悪性血液	22	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
肝	14	乳房	45	乳房	44	大腸	37	大腸	8
膀胱	12	大腸	24	大腸	43	肺	23	その他	7
甲状腺	6	肺	19	肺	41	その他	18	胃	4
食道	4	胃	16	その他	29	膵	17	肺	4
子宮体部	*	膵	11	胃	22	胃	16	該当部位	各*
子宮頸部	*	など		など		など			
口腔咽頭		計	145	計	230	計	141	計	30
皮膚		年齢分布							
前立腺		0100200300							
計	701	3990～30							



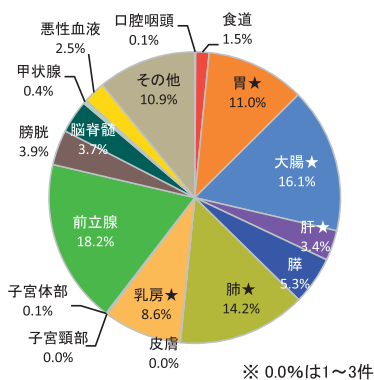
Ⅱ 施設別統計

済生会熊本病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	*	4	*	*	*
食道	33	23	27	29	30
胃★	210	175	225	204	222
大腸★	270	255	284	310	326
肝★	90	73	72	58	68
膵	100	100	111	101	108
肺★	303	264	300	366	288
皮膚		*		*	*
乳房★	102	89	104	142	175
子宮頸部	*	*	*	*	*
子宮体部	*	*	*	*	*
前立腺	271	282	332	321	369
膀胱	70	73	75	51	79
脳脊髄	99	88	82	86	74
甲状腺	7		6	7	8
悪性血液疾患	72	52	54	55	50
その他	235	198	193	199	221
計	1,866	1,680	1,872	1,937	2,024

2023年診断症例 主要部位別割合



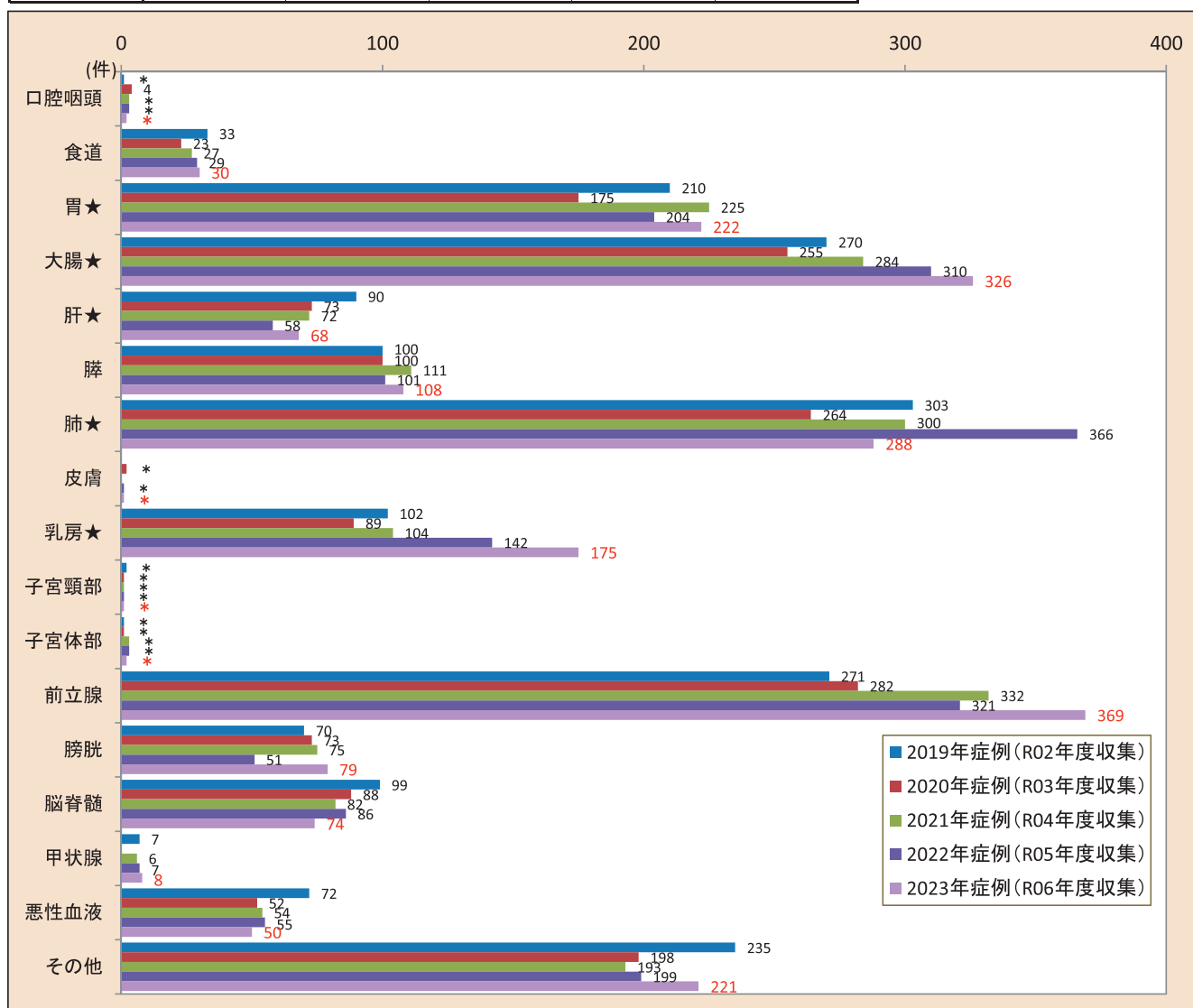
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

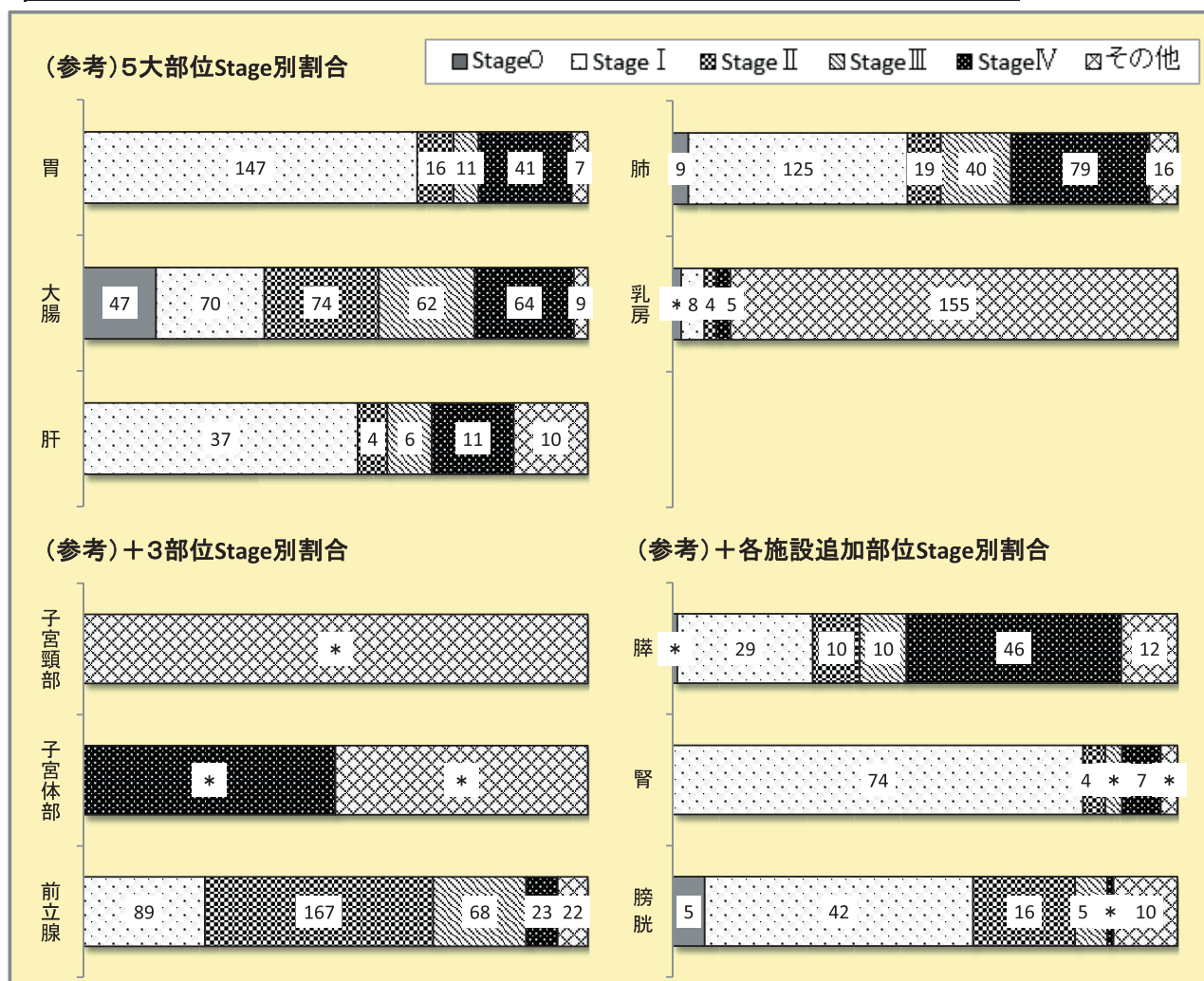
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	*				*		*
食道	30	5	10	*	*	4	6
胃★	222		147	16	11	41	7
大腸★	326	47	70	74	62	64	9
肝★	68		37	4	6	11	10
膵	108	*	29	10	10	46	12
肺★	288	9	125	19	40	79	16
皮膚	*						*
乳房★	175	*	8	4		5	155
子宮頸部	*						*
子宮体部	*					*	*
前立腺	369		89	167	68	23	22
膀胱	79	5	42	16	5	*	10
脳脊髄	74						74
甲状腺	8			*			6
悪性血液疾患	50		17	*	5	7	18
その他	221	5	105	22	13	32	44
計	2,024	75	679	339	224	314	393



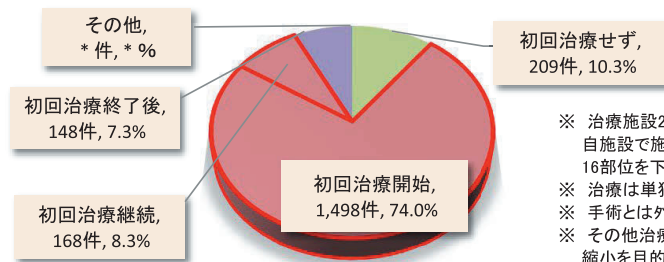
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

済生会熊本病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	209
2初回治療開始	1,498
3初回治療継続	168
4初回治療終了後	148
8その他	*
計	2,024



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計

※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

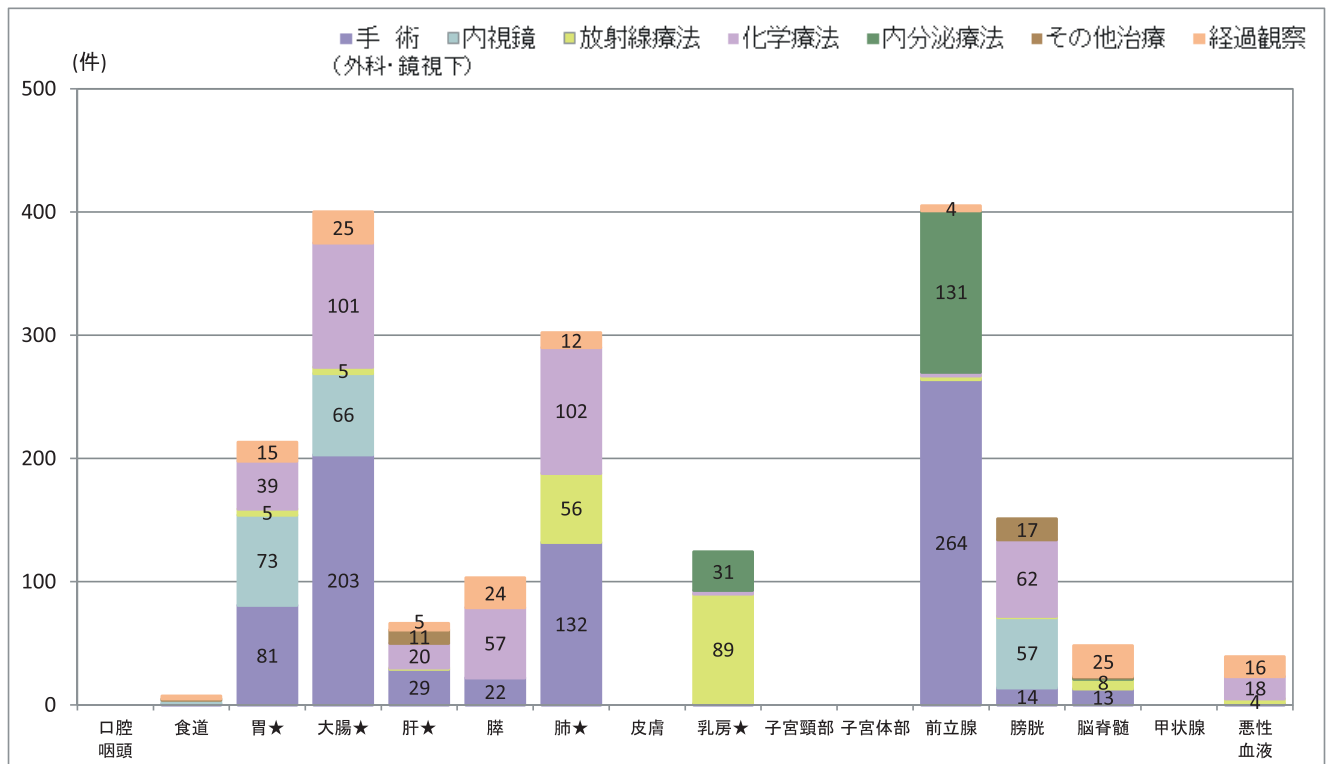
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

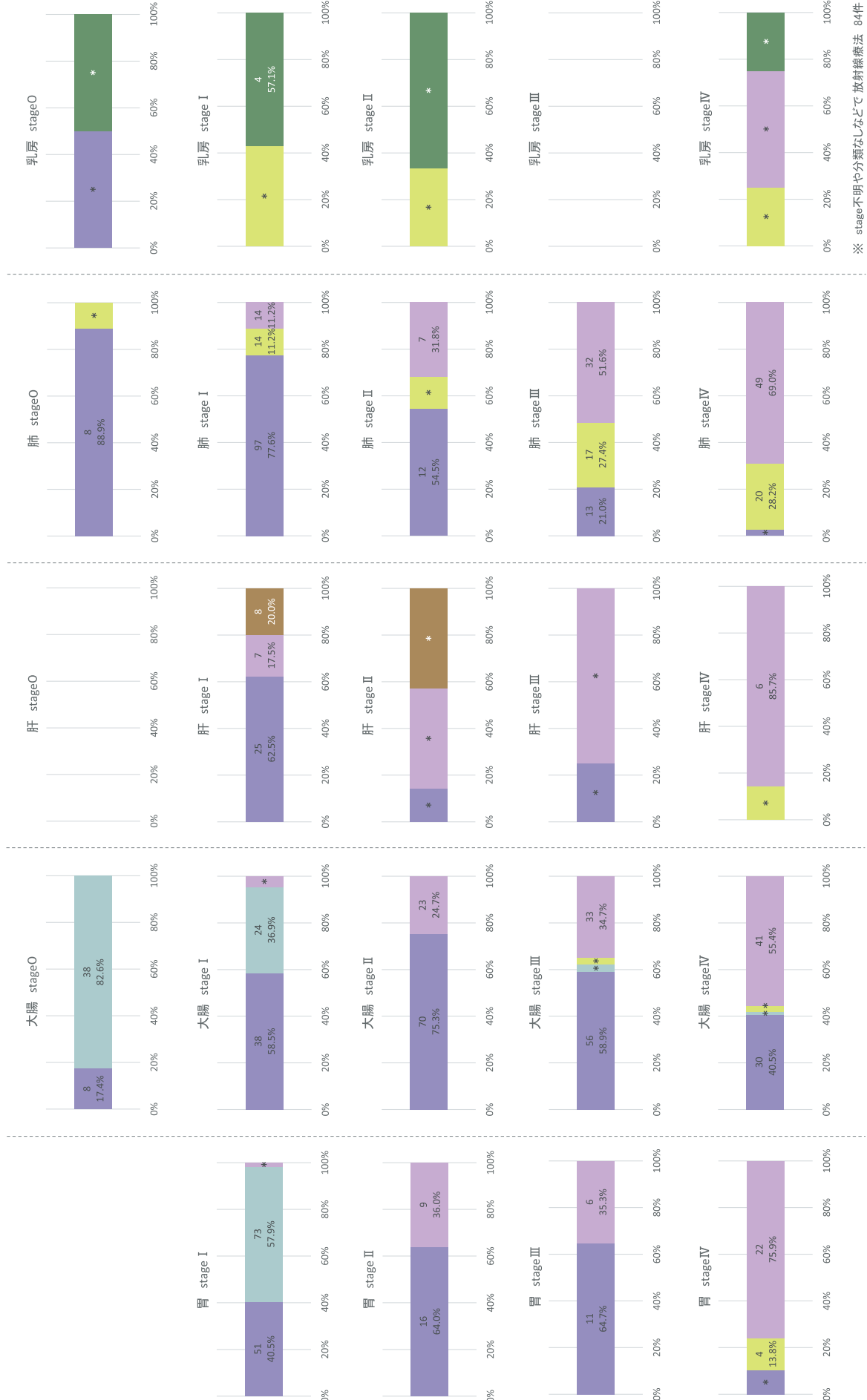
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道	*	*				*	*	7	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	81	73	5	39			15	213	96.0%	2.7%	1.3%
大腸★	203	66	5	101			25	400	86.3%	13.7%	0.0%
肝★	29		*	20		11	5	66	100.0%	0.0%	0.0%
膵	22			57			24	103	77.3%	22.7%	0.0%
肺★	132		56	102			12	302	97.0%	3.0%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	*		89	*	31			124	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺	264		*	*	131		4	405	83.0%	17.0%	0.0%
膀胱	14	57	*	62		17		151	26.2%	73.8%	0.0%
脳脊髄	13		8		*	*	25	48	69.2%	30.8%	0.0%
甲状腺								0			
悪性血液疾患	*		4	18			16	39	0.0%	100.0%	0.0%
計	761	199	172	405	163	30	128	1,858			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法
 ■ 化学療法 ■ 内分泌療法 ■ その他治療



※ stage不明や分類なしなどで放射線療法 84件
 内分泌療法 23件

Ⅱ 施設別統計
 済生会熊本病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名	 一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター
-------	--

○基本情報

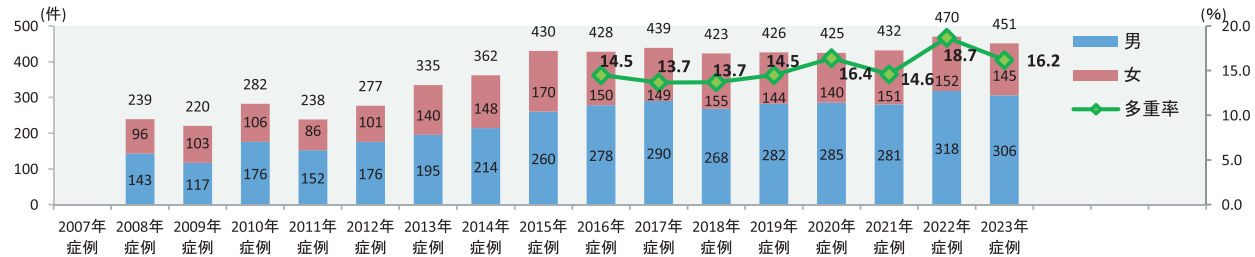
【令和5(2023)年12月現在】

所在地	天草市亀場町食場854番1		
病床数	210床(一般210床)		
追加情報			
診療科数	13科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2007.04.01
平均在院日数	16.1(日)		
入院患者数	4,091(人)		
外来患者延数	56,164(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 3,901(件/概算)		
院内がん登録件数	451(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 1 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

【登録件数】2023登録件数は451件(前年470件)と減少した。
男性が68%(前年68%)女性が32%(前年32%)で前年と変化はなかった。
男性では1位:大腸癌(75)、2位:前立腺癌(46)、3位:胃癌(39)。女性では1位:大腸癌(49)、2位:乳癌(16)、3位:胃癌(13)。男女ともに前年に比べ胃癌が減少傾向を認めた。
【年齢・性別】平均年齢74.8才であり2022年74.1才と高齢化傾向は変わらない。
【地域】登録症例451件中451件(100%)すべてが天草二次医療圏であった。
【部位】5大癌は251件(55.7%)、2022年は279件(59.4%)。登録件数は大腸癌(124件)、胃癌(52件)、肝癌(24件)、肺癌(35件)、乳癌(16件)。前年に比べ肺癌は増加傾向にあるが、胃癌と乳癌は減少傾向だった。
【発見経緯】がん検診・健康診断・人間ドック(18%→16%)は前年よりやや減少。その他は(49%→54%)と微増し、膀胱や前立腺癌の増加であった。
【病期】登録症例全体ではStage I が35%。胃癌ではStage I 期(65%)、II 期(8%)、III 期(8%)、IV 期(13%)と早期発見の割合が高いが、膀胱においてはI 期(19%)、II 期(25%)、III 期(0%)、IV 期(50%)であり進行しての発見割合が高い。
【治療施設】2023年登録症例においては他施設で初回治療終了後が(6%→12%)増加した。特に肺癌は全体の25%であった。呼吸器内科は非常勤医師のため、診断・治療は他施設で行い、その後のフォロー目的で受診する患者や、通院距離などの影響もあると推察された。
【治療】自施設初回治療・継続治療の症例320件の治療内訳は、観血的手術(手術、鏡視下、内視鏡)57.2%、化学療法12.5%、内分泌療法12.8%、その他3%、経過観察12.5%であった。昨年に比べ特に前立腺癌の内分泌療法が増加している。当院を受診する5大部位癌の治療において、手術、化学療法、内視鏡的治療、体腔鏡治療などは、ほぼ自施設において治療を行っているが放射線治療が必要な場合は、放射線照射可能施設へ紹介を行っている。血液、リンパ系の悪性症例は、専門医不在のため他院へ紹介を行っている。
◆2014年8月よりスタートした『天草メディカルネット』は9年を経過した2024年11月現在、利用者は32,512人となっており、ICT医療連携による天草医療圏全体の医療水準の底上げや、地域医療再生の一助となるよう機能の充実を進めています。また「くまもとメディカルネットワーク」の利用を積極的に推進しています。

診断年別登録件数(参考)

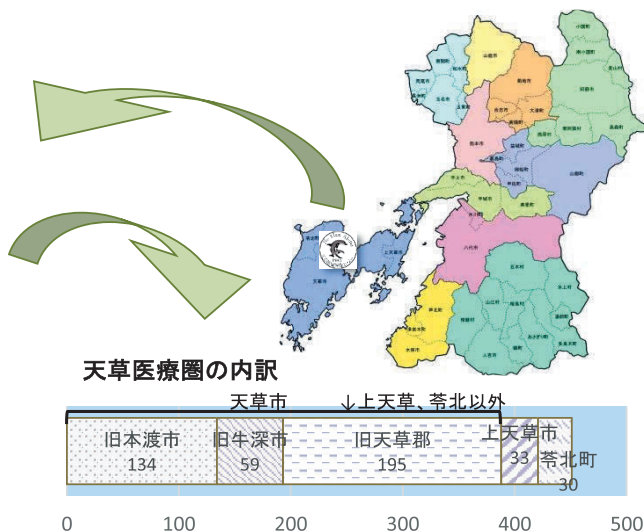
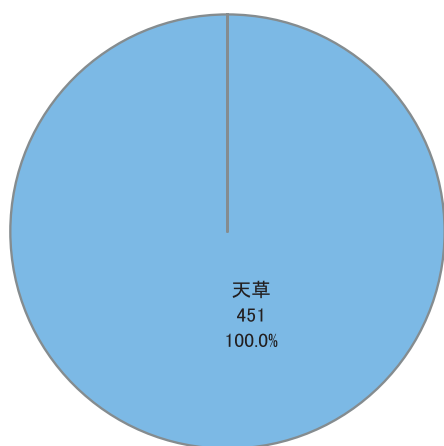


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

天草地域医療センター (451件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示

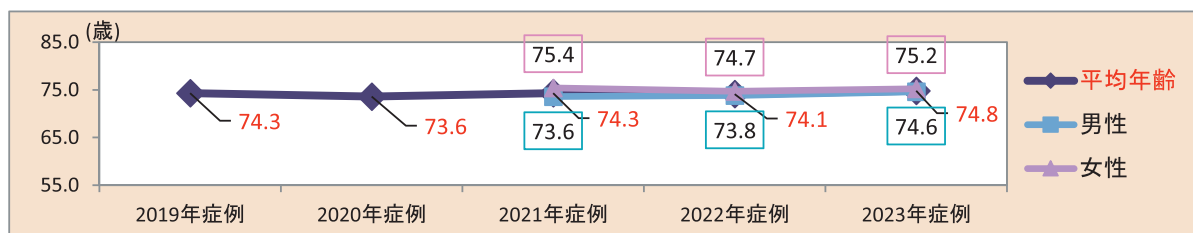


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)		有明		阿蘇		球磨	
熊・上 (上益城)		鹿本		八代		天草	大腸 124 その他 55 胃 52 前立腺 46 膀胱 41
宇城		菊池		芦北		県外等	

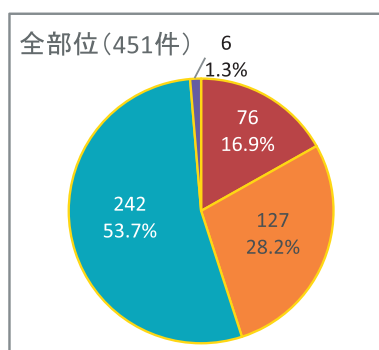
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

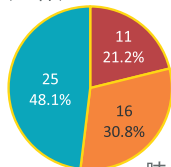


③ 発見経緯 5大部位の内訳

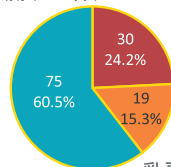
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



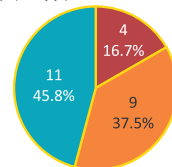
胃(52件)



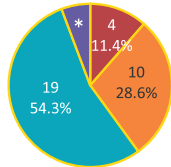
大腸(124件)



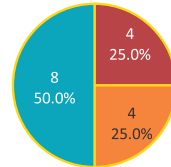
肝(24件)



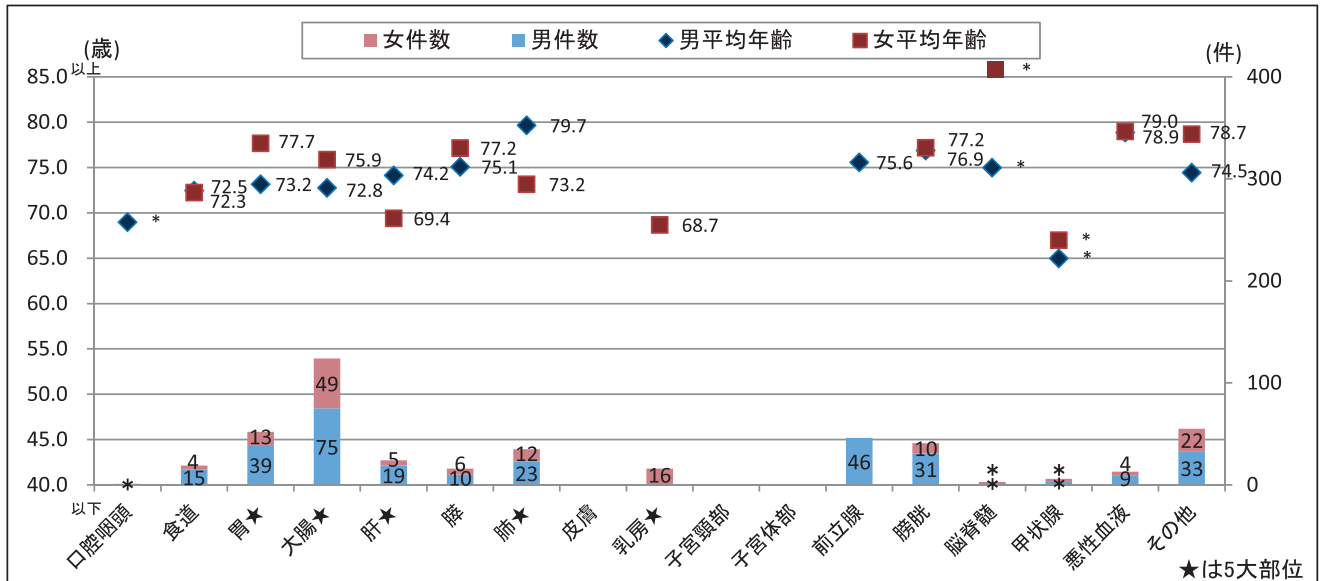
肺(35件)



乳房(16件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



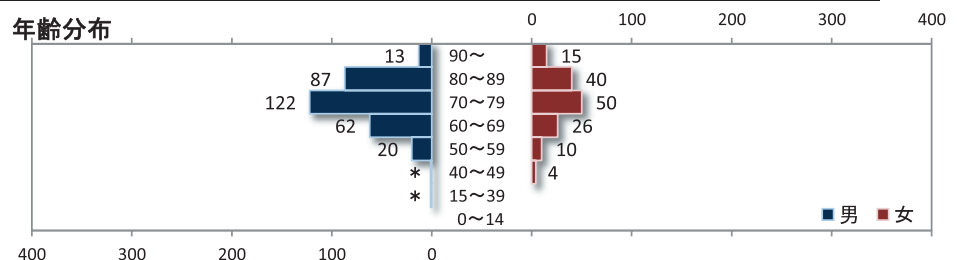
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
大腸	75	該当部位	該当部位	大腸
前立腺	46			胃
胃	39			該当部位
その他	33			各*
膀胱	31			
肺	23			
肝	19	計	計	計
食道	15			20
脾	10	60～69歳	70～79歳	80～89歳
悪性血液	9	大腸	大腸	大腸
甲状腺	*	前立腺	前立腺	前立腺
脳脊髄	*	その他	胃	胃
口腔咽頭	*	食道	膀胱	肺
皮膚		該当部位	その他	膀胱
乳房		各5	14	8
子宮頸部		など	など	など
子宮体部		計	計	計
計	306	62	122	87



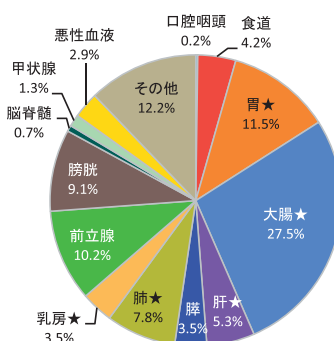
女性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
大腸	49		該当部位	該当部位
その他	22		各*	各*
乳房	16			
胃	13			
肺	12			
膀胱	10			
脾	6		計	計
肝	5		4	10
食道	4	60～69歳	70～79歳	80～89歳
悪性血液	4	大腸	大腸	大腸
甲状腺	*	該当部位	胃	その他
脳脊髄	*	各*	乳房	膀胱
口腔咽頭			肺	該当部位
皮膚			その他	各*
子宮頸部		該当部位	各*	各*
子宮体部		各*	各*	各*
前立腺		計	計	計
計	145	26	50	40



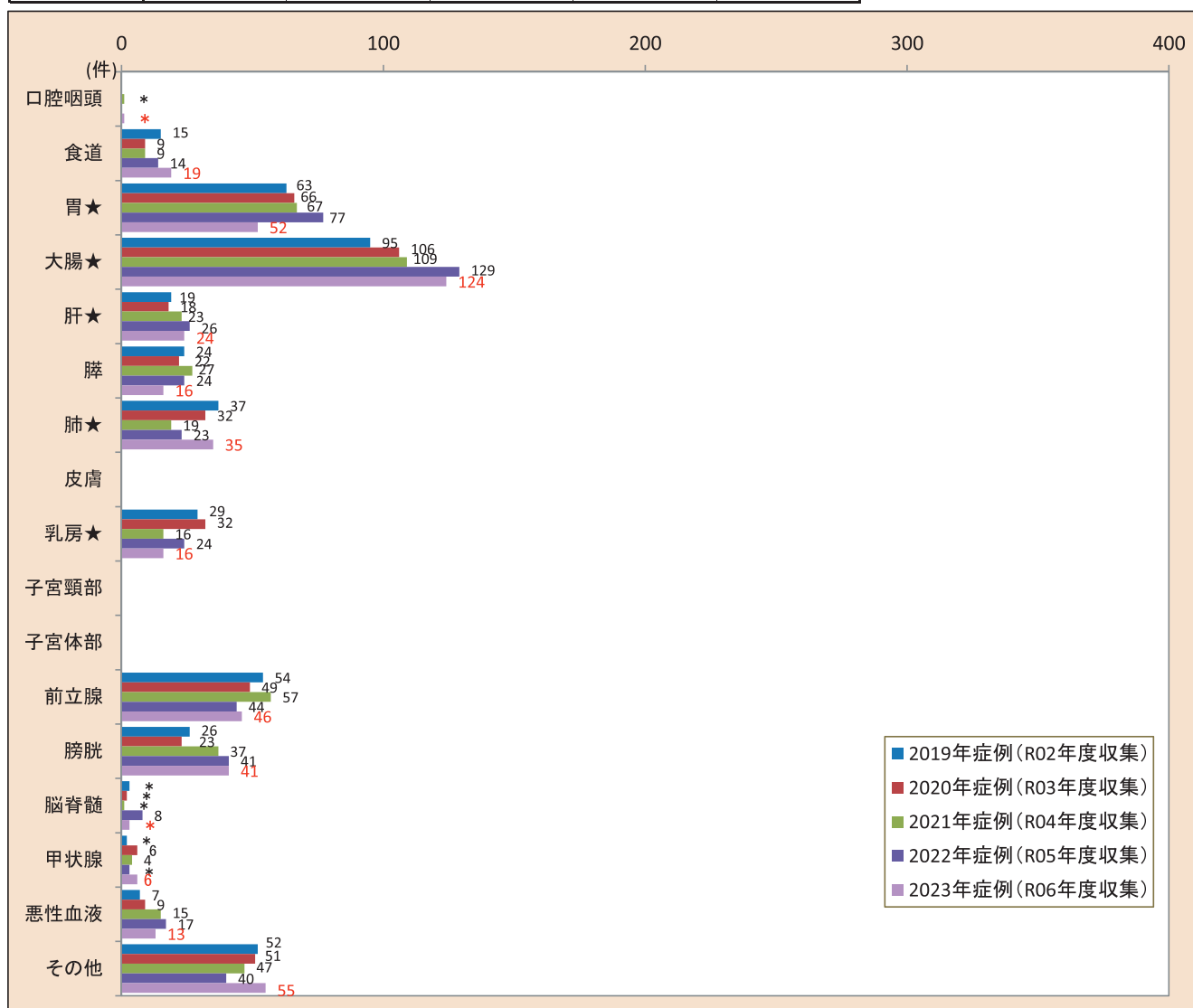
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭			*		*
食道	15	9	9	14	19
胃★	63	66	67	77	52
大腸★	95	106	109	129	124
肝★	19	18	23	26	24
膵	24	22	27	24	16
肺★	37	32	19	23	35
皮膚					
乳房★	29	32	16	24	16
子宮頸部					
子宮体部					
前立腺	54	49	57	44	46
膀胱	26	23	37	41	41
脳脊髄	*	*	*	8	*
甲状腺	*	6	4	*	6
悪性血液疾患	7	9	15	17	13
その他	52	51	47	40	55
計	426	425	432	470	451

2023年診断症例 主要部位別割合

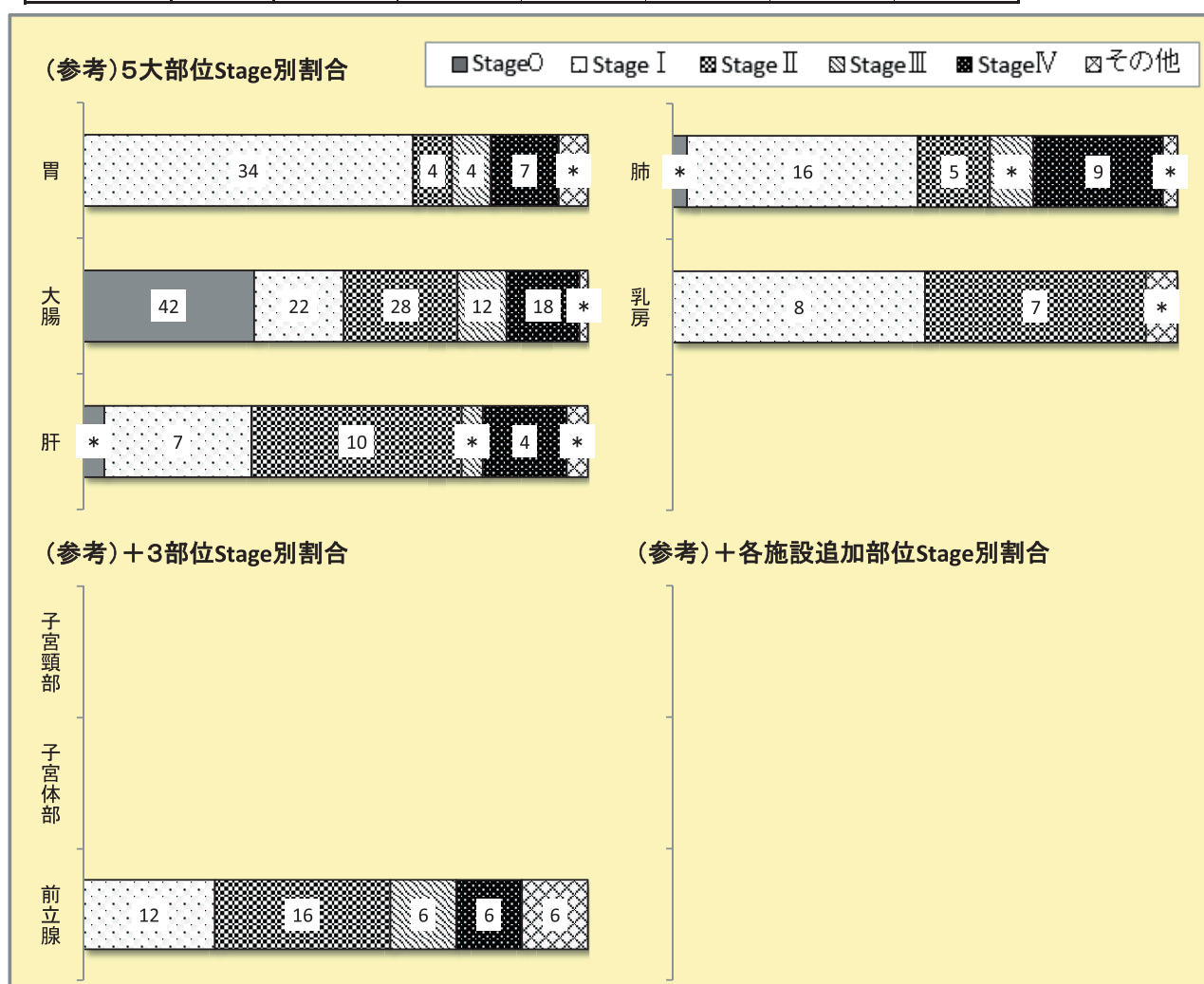


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	*					*	
食道	19	4	14				*
胃★	52		34	4	4	7	*
大腸★	124	42	22	28	12	18	*
肝★	24	*	7	10	*	4	*
膵	16		*	4		8	*
肺★	35	*	16	5	*	9	*
皮膚	0						
乳房★	16		8	7			*
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	46		12	16	6	6	6
膀胱	41	21	14		*	*	*
脳脊髄	*						*
甲状腺	6		*	*			
悪性血液疾患	13		6	*	*	*	*
その他	55	*	20	5	5	7	15
計	451	72	159	83	33	64	40



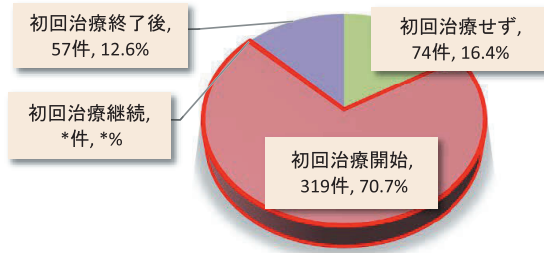
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

天草地域医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

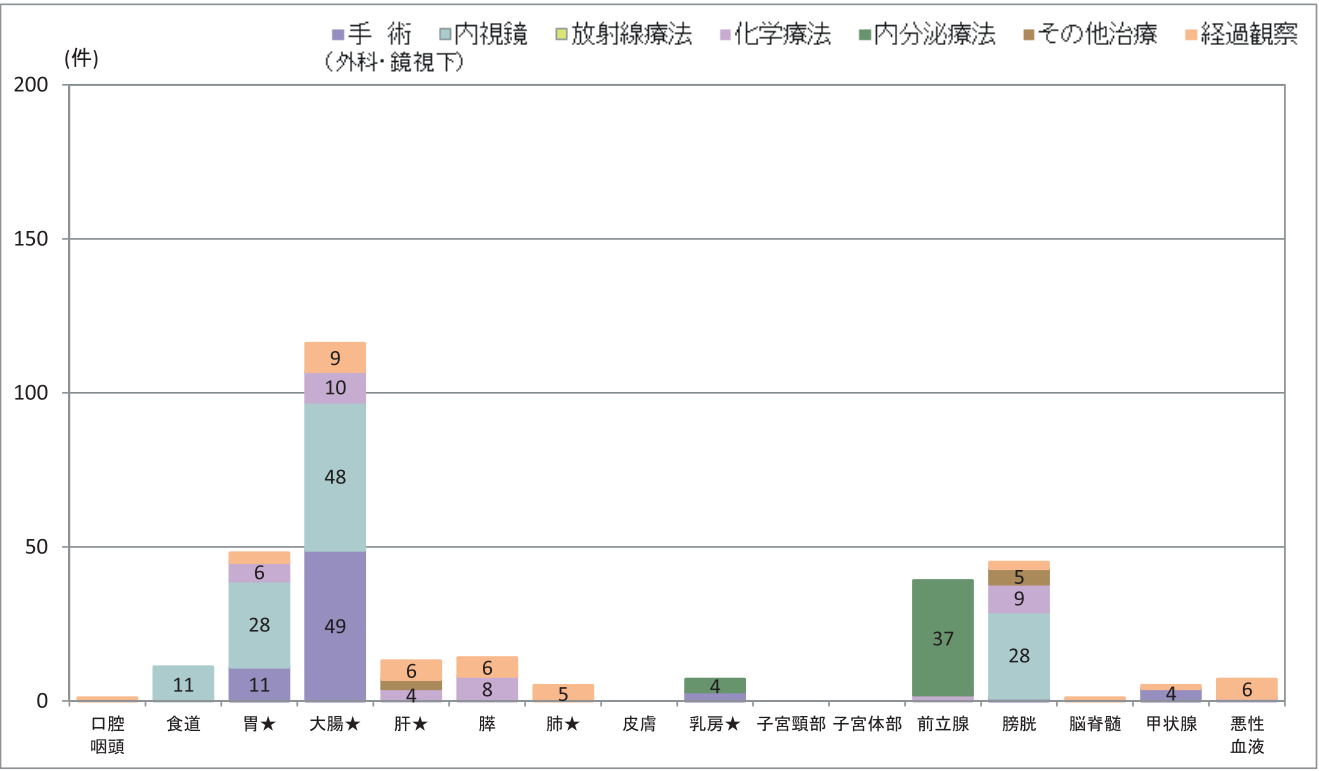
治療施設	件数
1初回治療せず	74
2初回治療開始	319
3初回治療継続	*
4初回治療終了後	57
8その他	
計	451



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
 ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

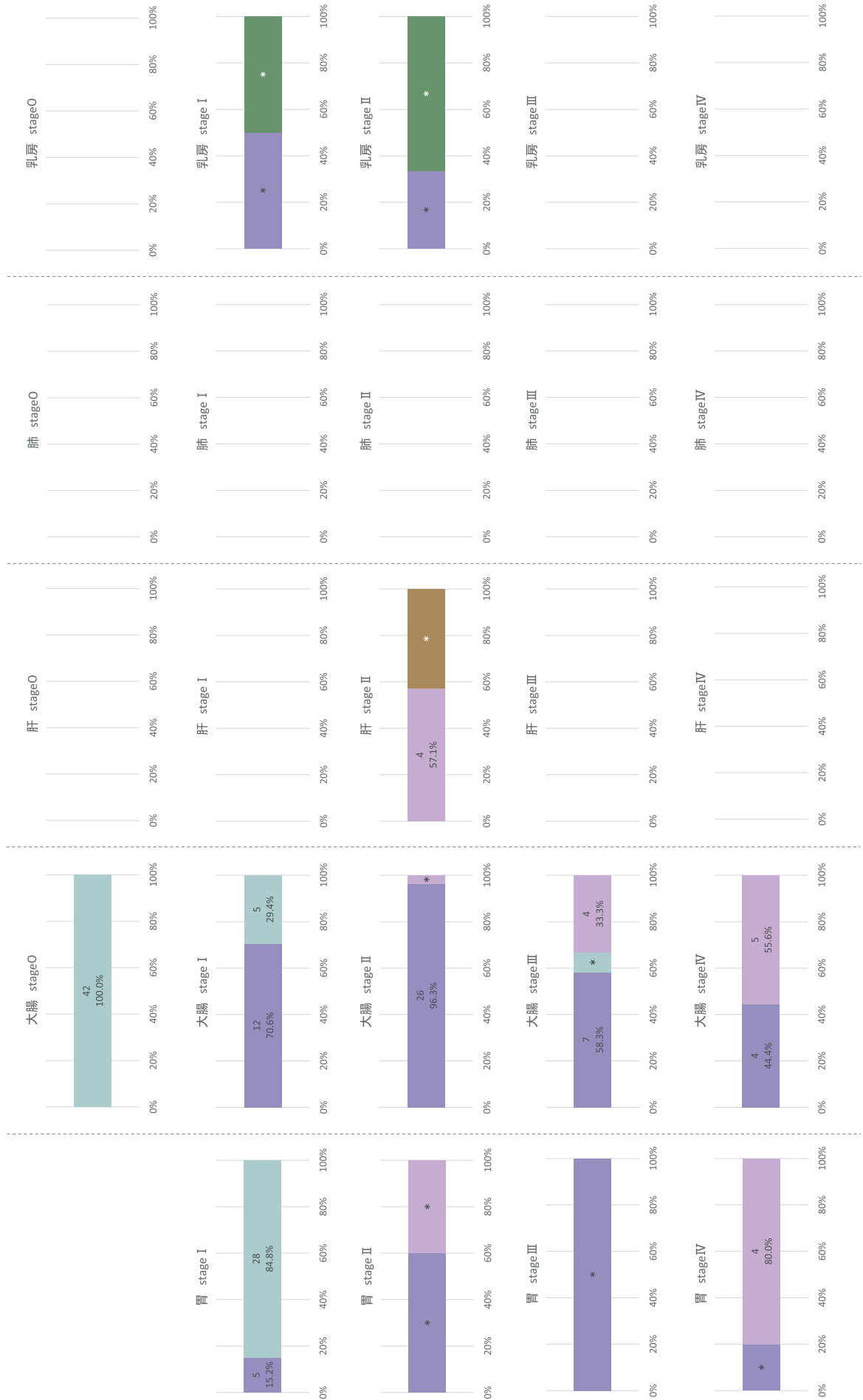
	(外科・手術 鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭							*	*			
食道		11						11	90.9%	9.1%	0.0%
胃★	11	28		6			*	48	97.4%	2.6%	0.0%
大腸★	49	48		10			9	116	100.0%	0.0%	0.0%
肝★				4		*	6	13			
膵				8			6	14			
肺★							5	5			
皮膚								0			
乳房★	*				4			7	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺				*	37			39			
膀胱	*	28		9		5	*	45	86.2%	13.8%	0.0%
脳脊髄							*	*			
甲状腺	4						*	5	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患				*			6	7			
計	68	115	0	40	41	8	40	312			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法
 ■ 化学療法 ■ 内分泌療法 ■ その他治療



Ⅱ 施設別統計
 天草地域医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計 —2023年診断症例—

医療機関名		独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院
-------	---	------------------------------

○基本情報

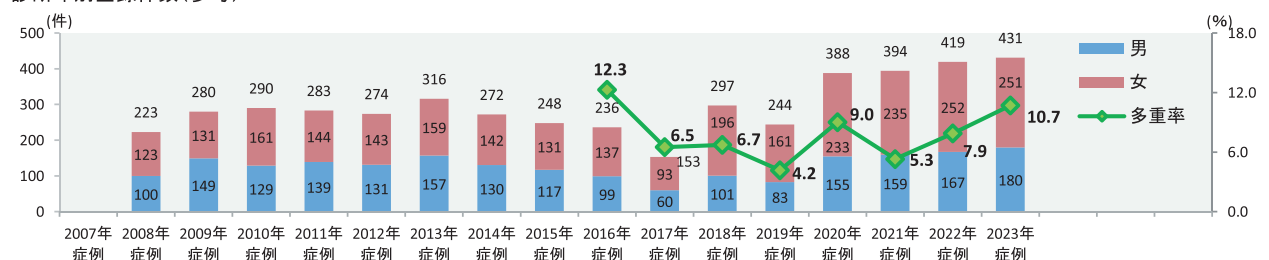
【令和5(2023)年12月現在】

所在地	天草市東町101番地		
病床数	155床(一般149床;感染症4床;結核2床)		
追加情報			
診療科数	13科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	16.7(日)		
入院患者数	2,811(人)		
外来患者延数	60,779(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 2,000(件)		
院内がん登録件数	431(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 2 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

本院は天草医療圏で唯一放射線治療ができる施設である。 2018年7月よりセンチネルリンパ節生検の施設認定を受け、一期的乳癌手術も当院にて可能となった。 また、2023年10月より非常勤の乳腺専門医師1名の増員があり乳癌治療の充実に努めている。 医師・緩和ケア認定看護師・がん化学療法看護認定看護師・がん性疼痛看護認定看護師・がん専門相談員・薬剤師・管理栄養士・理学療法士等によるチーム医療に取り組んでいる。また、私のカルテによる連携、がんサロンの開催やがん患者・家族会のサポート等、地域においてがん患者が安心して治療を受けられるよう支援している。 【医療圏】 登録件数431件中416件(96.5%)が天草医療圏となっている。 【登録件数】 ・登録件数は431件(男性180件、女性251件)、前年419件(男性167件、女性252件)、微増ではあるが増加している。 ・部位別登録件数(『その他』を除く上位3部位) 全体 『乳房』100件(前年82件)、『肺』68件(前年60件)、『悪性血液』61件(前年46件)、前年と順位の変更なし。 男性 『肺』53件(前年43件)、『悪性血液』26件(前年25件)、『胃』17件(前年14件) 女性 『乳房』99件(前年81件)、『悪性血液』35件(前年21件)、『子宮頸部』23件(前年19件) 乳癌の登録件数が前年より18件増、全体に占める割合は23.0%(前年19.3%)であった。 【年齢】 ・全体平均年齢71.3歳、男性74.7歳(前年74.2歳)、女性68.8歳(前年69.6歳) 平均年齢は2018年 67.4歳、2019年 68.1歳、2020年 69.5歳、2021年 70.8歳、2022年 71.4歳、経年でみて上がっていたが2023年は71.3歳であった。
--

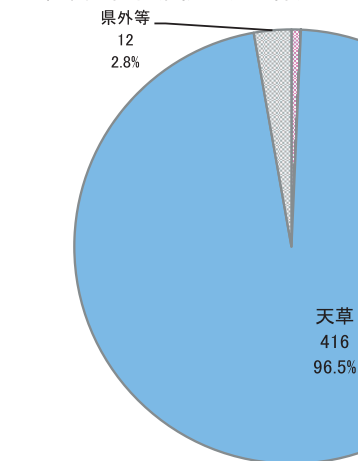
診断年別登録件数(参考)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

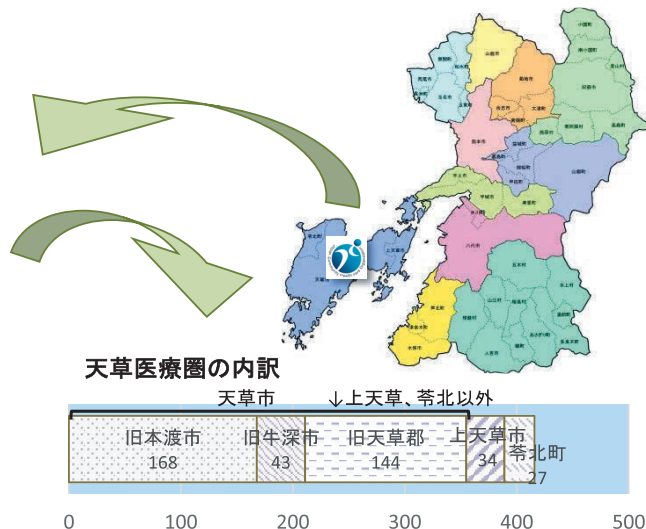
① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

天草中央総合病院 (431件)



※ 熊・上(熊本)は1~3件

※ 全般において3件以下は*又は非表示



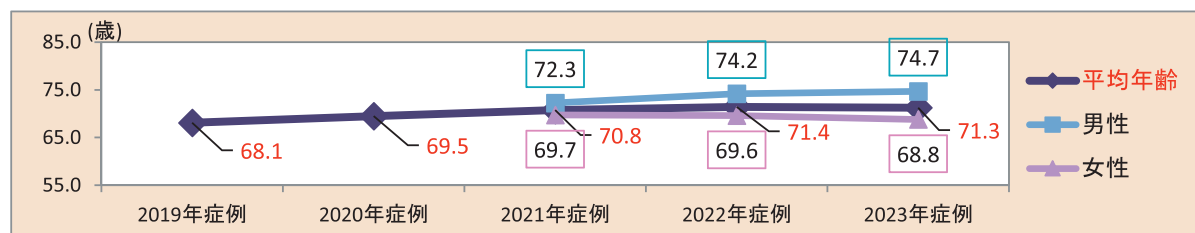
◇ 医療圏別上位5部位

医療圏	該当部位	各*	有明	阿蘇	球磨
熊・上(熊本)					
熊・上(上益城)			鹿本	八代	天草
宇城			菊池	芦北	県外等

乳房	98
肺	67
悪性血液	59
その他	26
大腸	24
該当部位	各*

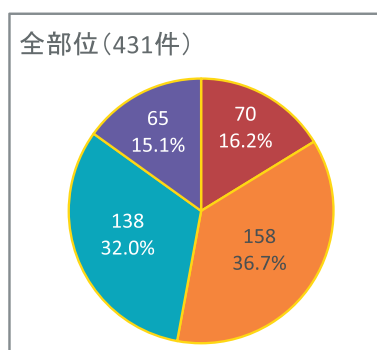
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

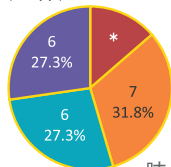


③ 発見経緯 5大部位の内訳

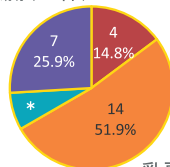
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



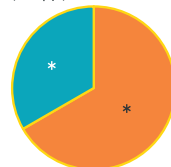
胃(22件)



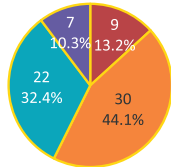
大腸(27件)



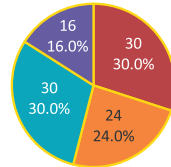
肝(*件)



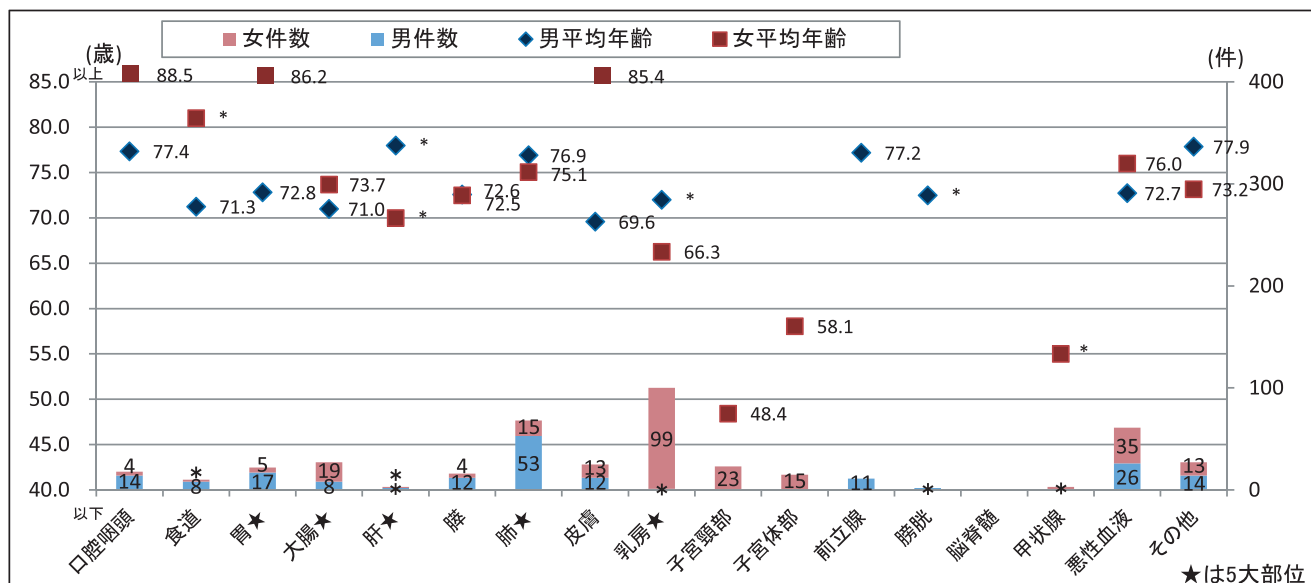
肺(68件)



乳房(100件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

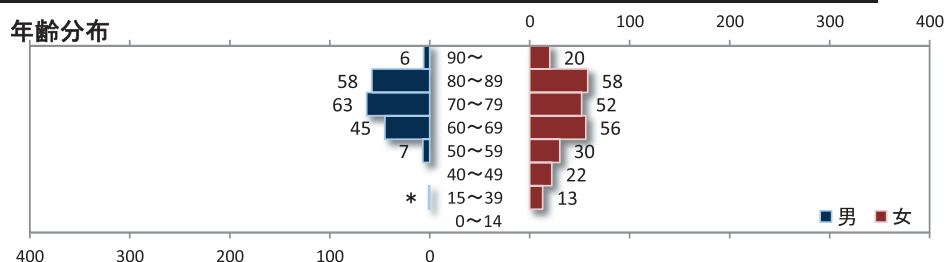


男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
肺	53			該当部位	*			該当部位	各*
悪性血液	26								
胃	17								
口腔咽頭	14								
その他	14								
脾	12								
皮膚	12			計	*			計	7
前立腺	11								
		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
食道	8	肺	9	肺	22	肺	18	該当部位	各*
大腸	8	悪性血液	8	悪性血液	10	悪性血液	7		
肝	*	胃	6	前立腺	6	口腔咽頭	6		
膀胱	*	食道	4	脾	5	その他	6		
乳房	*	脾	4	その他	5	胃	5		
子宮頸部		該当部位	各*	など		など			
子宮体部		計	45	計	63	計	58	計	6
脳脊髄									
甲状腺									
計	180								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	99			子宮頸部	8	乳房	10	乳房	15
悪性血液	35			該当部位	各*	子宮頸部	7	該当部位	各*
子宮頸部	23					子宮体部	4		
大腸	19					該当部位	*		
肺	15								
子宮体部	15			計	13	計	22	計	30
皮膚	13								
その他	13								
		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
胃	5	乳房	36	乳房	25	悪性血液	18	皮膚	6
口腔咽頭	4	悪性血液	6	大腸	6	乳房	10	該当部位	各*
脾	4	子宮体部	4	悪性血液	6	大腸	7		
甲状腺	*	該当部位	各*	肺	5	肺	5		
食道	*			その他	4	該当部位	各4		
肝	*			該当部位	各*	該当部位	各*		
前立腺		計	56	計	52	計	58	計	20
膀胱									
脳脊髄									
計	251								

年齢分布



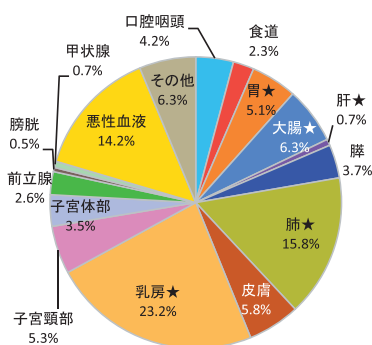
Ⅱ 施設別統計

天草中央総合病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	14	9	8	8	18
食道	4	6	11	11	10
胃★	10	23	24	24	22
大腸★	11	23	15	26	27
肝★	*	6	*	9	*
膵	6	5	13	17	16
肺★	22	58	59	60	68
皮膚	27	44	41	46	25
乳房★	62	96	70	82	100
子宮頸部	24	13	23	19	23
子宮体部	12	21	16	19	15
前立腺	6	6	9	6	11
膀胱	*	7	*	4	*
脳脊髄	*	*	8	*	
甲状腺		*	*	*	*
悪性血液疾患	25	37	64	46	61
その他	15	30	27	39	27
計	244	388	394	419	431

2023年診断症例 主要部位別割合



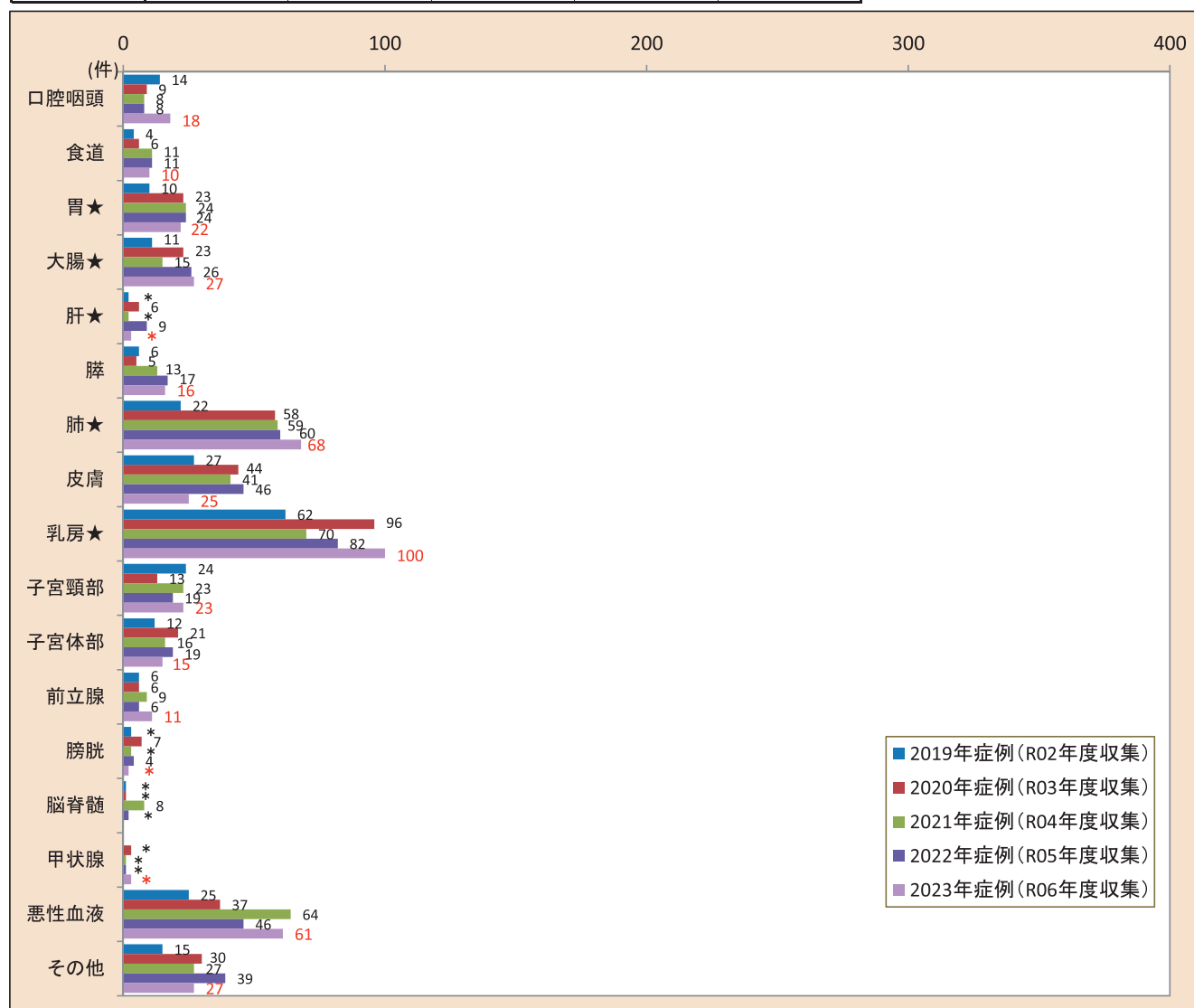
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

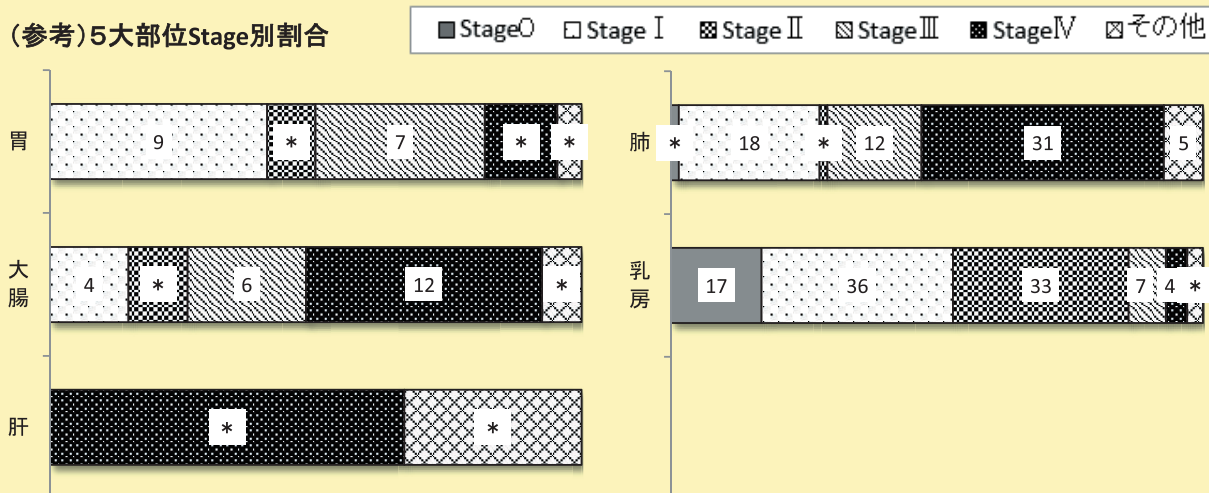
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



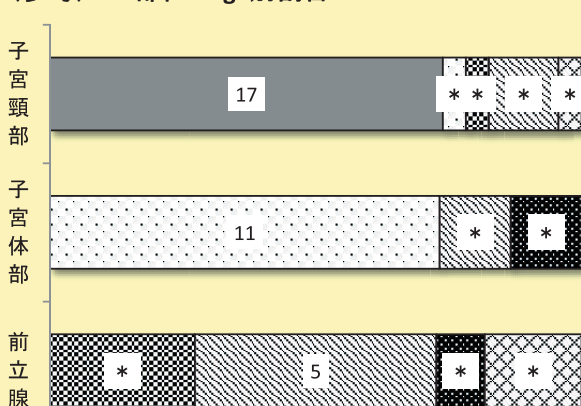
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	18	*	7	*	*	4	*
食道	10		*	*	*	*	4
胃★	22		9	*	7	*	*
大腸★	27		4	*	6	12	*
肝★	*					*	*
膵	16		*	5	*	4	*
肺★	68	*	18	*	12	31	5
皮膚	25	9	9	4		*	*
乳房★	100	17	36	33	7	4	*
子宮頸部	23	17	*	*	*		*
子宮体部	15		11		*	*	
前立腺	11			*	5	*	*
膀胱	*					*	
脳脊髄	0						
甲状腺	*		*	*			
悪性血液疾患	61		7	*	9	7	35
その他	27		5	5	7	*	8
計	431	45	114	65	63	76	68

(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合

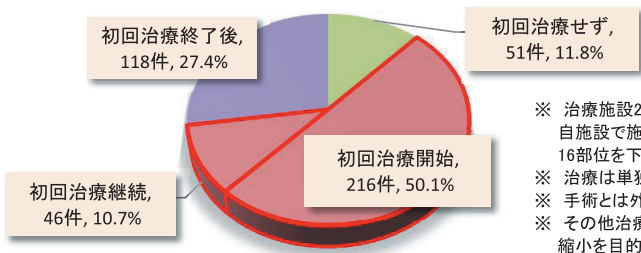
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

天草中央総合病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

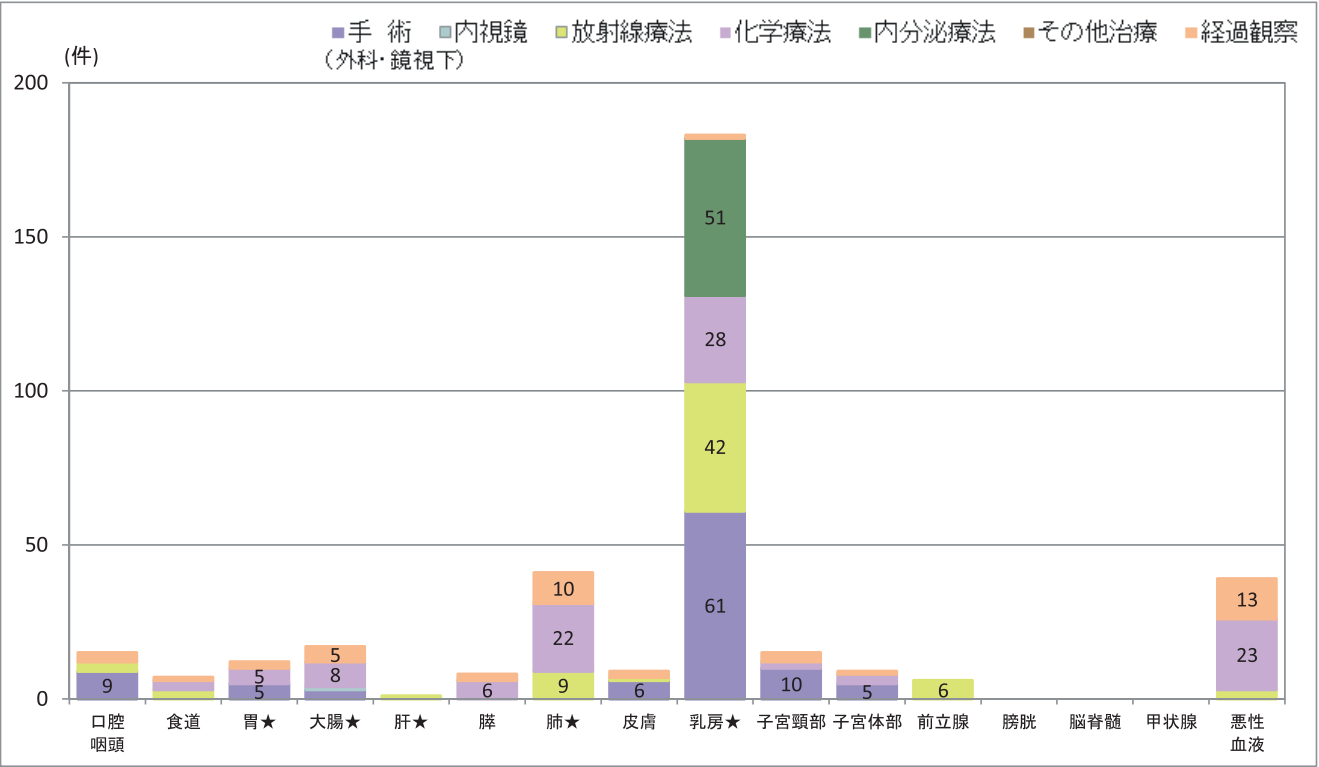
治療施設	件数
1初回治療せず	51
2初回治療開始	216
3初回治療継続	46
4初回治療終了後	118
8その他	
計	431



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

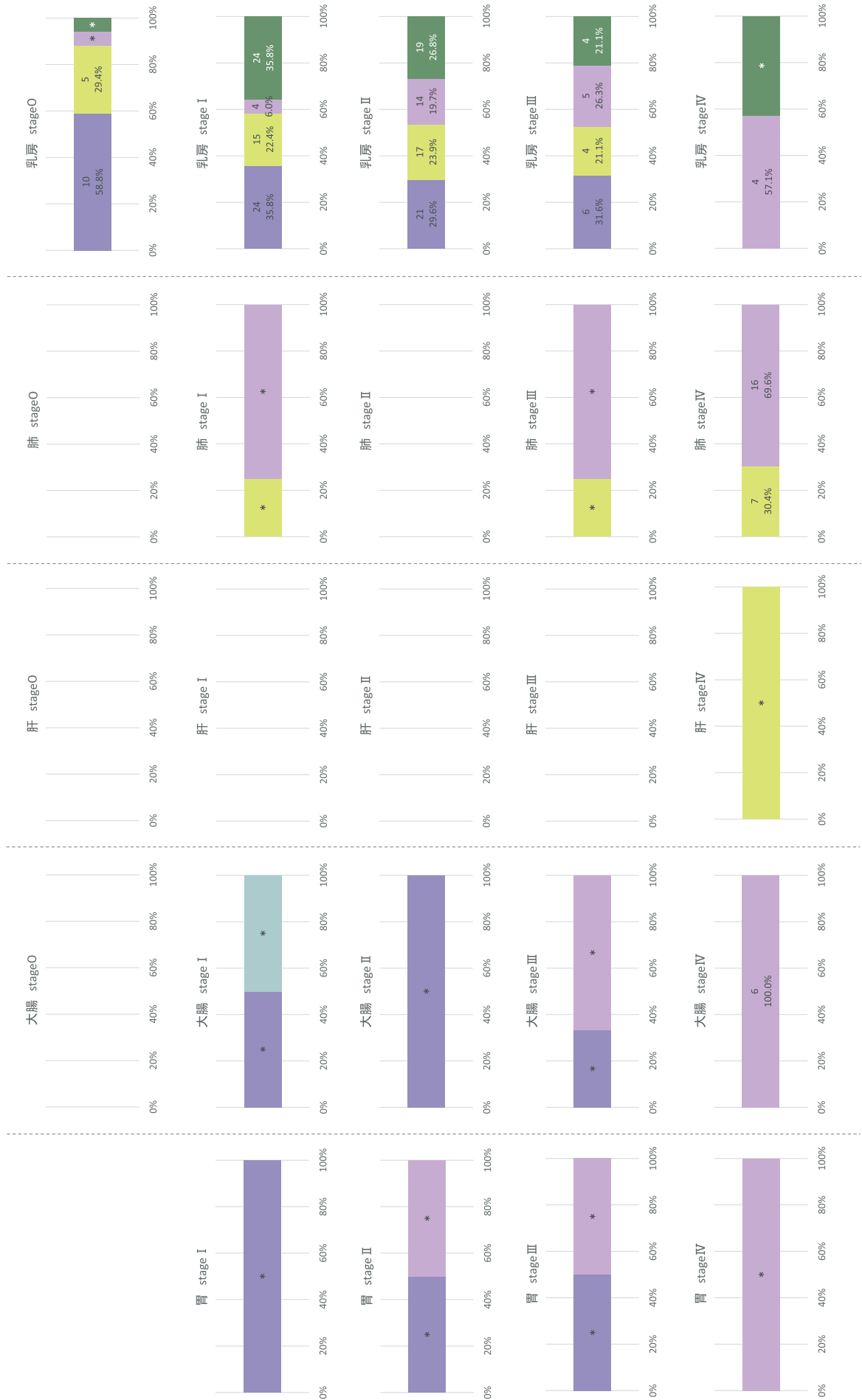
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	9		*				*	15	55.6%	44.4%	0.0%
食道			*	*			*	7			
胃★	5			5			*	12	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	*	*		8			5	17	100.0%	0.0%	0.0%
肝★			*					*			
膵				6			*	8			
肺★			9	22			10	41			
皮膚	6		*				*	9	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	61		42	28	51		*	183	90.2%	9.8%	0.0%
子宮頸部	10			*			*	15	80.0%	20.0%	0.0%
子宮体部	5			*			*	9	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺			6					6			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患			*	23			13	39			
計	99	*	68	100	51	0	43	362			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法
 ■ 化学療法 ■ 内分泌療法 ■ その他治療



Ⅱ 施設別統計
 天草中央総合病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター
-------	---	----------------------------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

所在地	合志市須屋2659番地		
病床数	446床(一般446床)		
追加情報			
診療科数	17科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2009.11.01
平均在院日数	33.3(日)		
入院患者数	3,650(人)		
外来患者延数	53,764(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 480(件)		
院内がん登録件数	185(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

【登録件数】 2023年は外来症例を含め185症例で、2022年に比べ21例増加していました。

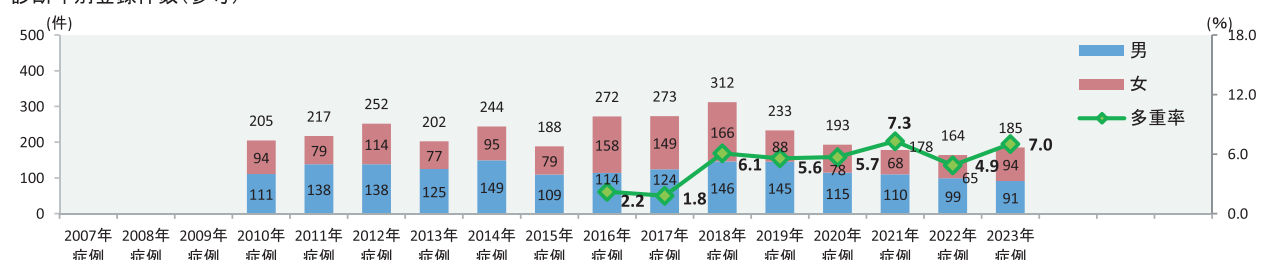
【当院の特徴】 国立病院機構熊本再春医療センターは合志市須屋に位置し、菊池郡市医療圏に属しています。平成22年8月に熊本県から、「がん診療連携拠点病院」へ指定されました。平成24年8月から地域医療支援病院の指定を受けました。県北の中核病院として救急急性期一般医療と政策医療(神経筋疾患、重症心身障害、成育医療、運動器疾患など)を受け持っています。がん診療に関しては肺癌・大腸癌・胃癌・肝癌・膵癌・乳癌などの診断と治療を行っています。診断機能としては、CT、MRI、シンチグラム(核医学)、マンモグラフィ、超音波、内視鏡を始めとする断装置を有しています。がん治療に関しては外科手術(大部分は胸腔鏡、腹腔鏡による鏡視下手術)、抗癌化学療法、緩和医療を行い、外来化学療法、も併せて行っております。平成23年から当院でも年一回の緩和ケア講習会を医師・看護師・薬剤師を含めた医療従事者30名前後の参加のもとに開催しております。また、「がんサロン再春」を院内に設け、がん患者さん同士の交流の場を提供しており、桜の花見会、クリスマス会などを行っています。

【部位別症例件数】 肺癌80例(6例増加)、大腸癌27例(18例減少)、胃癌12例(2例減少)、食道癌2例(不変)、乳癌32例(23例増加)、その他です。がん発生部位は肺癌43.2%・大腸癌14.6%・胃癌6.5%・肝・胆、膵臓を含め9.9%・乳癌17.3%となっています。

【医療圏】 本院で診療を受けるがん患者が居住する医療圏は担当医療圏である菊池が74.1%、熊本市20.5%、鹿本3.8%となっています。また、70歳以上の高齢者が占める割合が高いことが特徴です。

【今後の抱負】 がん診療連携拠点病院として、がん診療の地域連携を進め、「私のカルテ」の導入を促進して参りたいと考えています。

診断年別登録件数(参考)

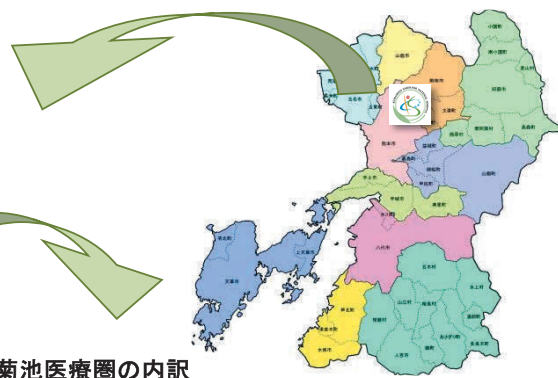
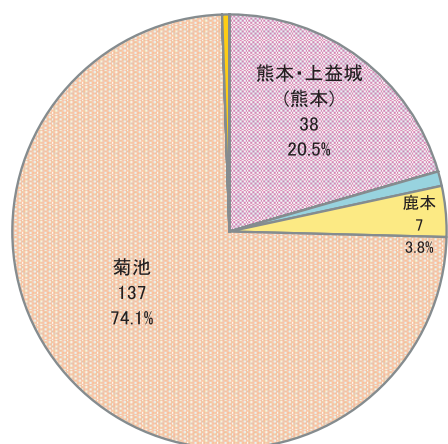


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

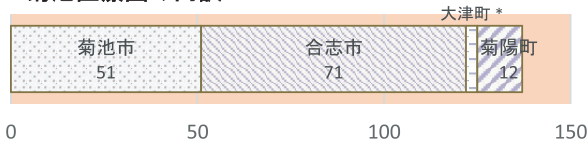
① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

熊本再春医療センター (185件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示



菊池医療圏の内訳



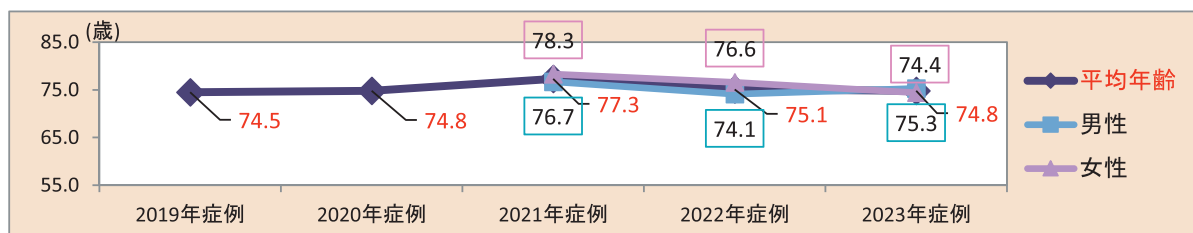
※有明、芦北は1~3件

◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	肺	16	有明	該当部位	各*	阿蘇			球磨		
	乳房	9									
	大腸	4									
	該当部位	各*									
熊・上 (上益城)			鹿本	肺	5	八代			天草		
				該当部位	*						
宇城			菊池	肺	57	芦北	該当部位	*	県外等		
				乳房	23						
				大腸	21						
				胃	11						
				膵	8						

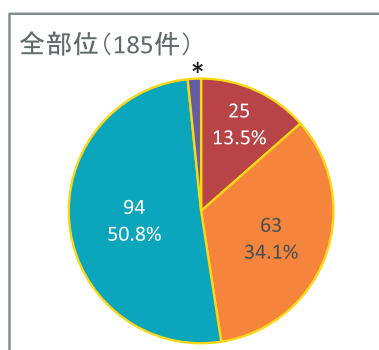
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

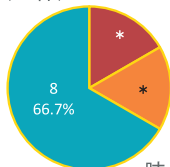


③ 発見経緯 5大部位の内訳

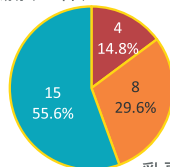
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



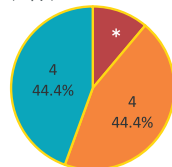
胃(12件)



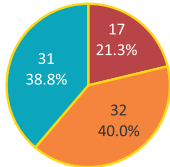
大腸(27件)



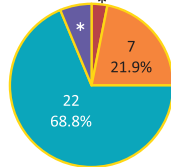
肝(9件)



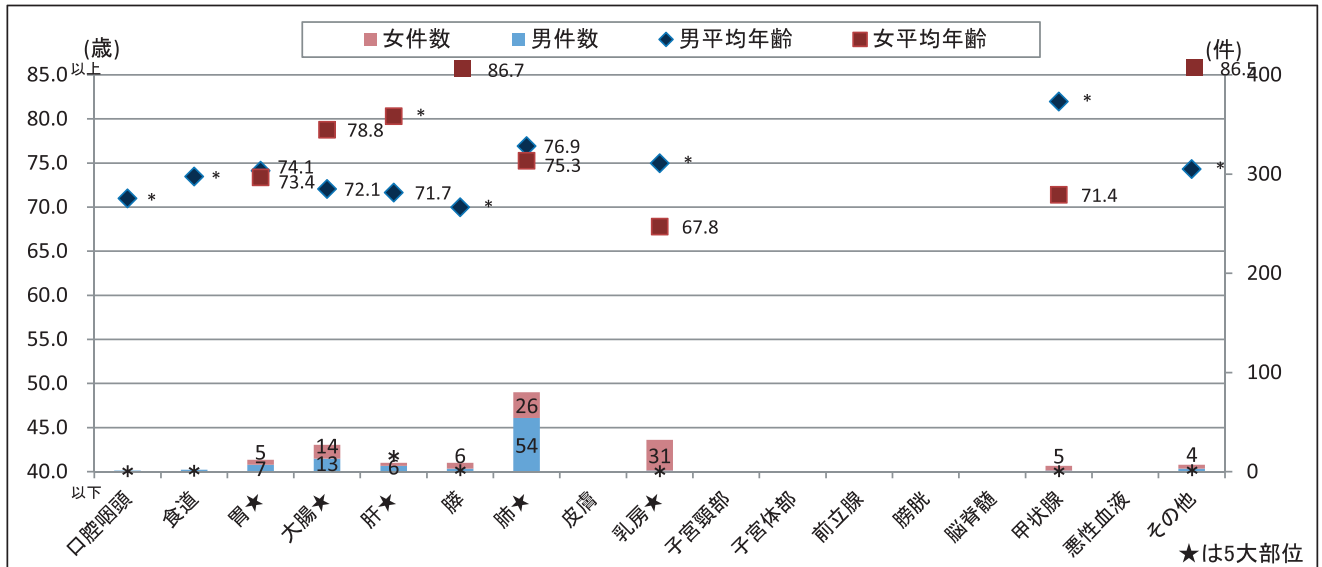
肺(80件)



乳房(32件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



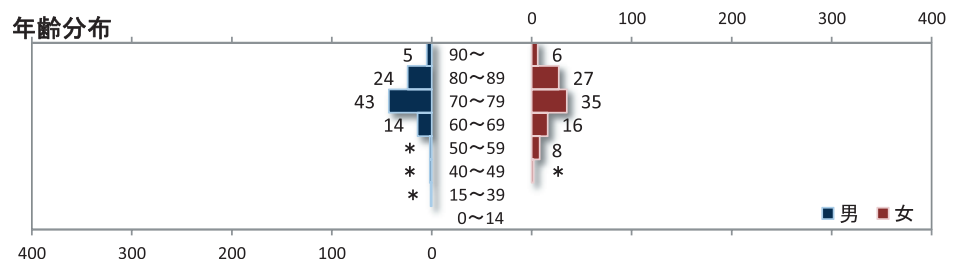
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
肺	54			該当部位	*	該当部位	各*	該当部位	*
大腸	13								
胃	7								
肝	6								
膵	*								
その他	*								
食道	*								
口腔咽頭	*								
計					*		*		*
		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	*	肺	5	肺	29	肺	15	該当部位	各*
甲状腺	*	該当部位	各*	大腸	7	胃	4		
皮膚				該当部位	各*	該当部位	各*		
子宮頸部									
子宮体部									
前立腺									
膀胱									
計			14		43		24		5
脳脊髄									
悪性血液									
計	91								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	31					該当部位	*	乳房	6
肺	26							該当部位	各*
大腸	14								
膵	6								
胃	5								
甲状腺	5								
その他	4								
肝	*								
計							*		8
		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
口腔咽頭		乳房	7	肺	11	肺	8	該当部位	各*
食道		肺	6	乳房	11	乳房	5		
皮膚		該当部位	各*	大腸	7	大腸	4		
子宮頸部				該当部位	各*	該当部位	各*		
子宮体部									
前立腺									
膀胱									
計			16		35		27		6
脳脊髄									
悪性血液									
計	94								



熊本再春医療センター

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭					*
食道	*	*	*	*	*
胃★	20	21	10	14	12
大腸★	47	34	40	45	27
肝★	6	6	*	*	9
膵	10	14	11	5	9
肺★	122	96	96	74	80
皮膚					
乳房★	14	8	8	9	32
子宮頸部					
子宮体部					
前立腺	*				
膀胱					
脳脊髄					
甲状腺		*	*		6
悪性血液疾患		*			
その他	9	9	8	12	7
計	233	193	178	164	185

癌種	割合 (%)
肺★	43.2%
乳房★	17.3%
大腸★	14.6%
胃★	6.5%
肝★	4.9%
脾	4.9%
食道	1.1%
口腔咽頭	0.5%
甲状腺	3.2%
その他	3.8%

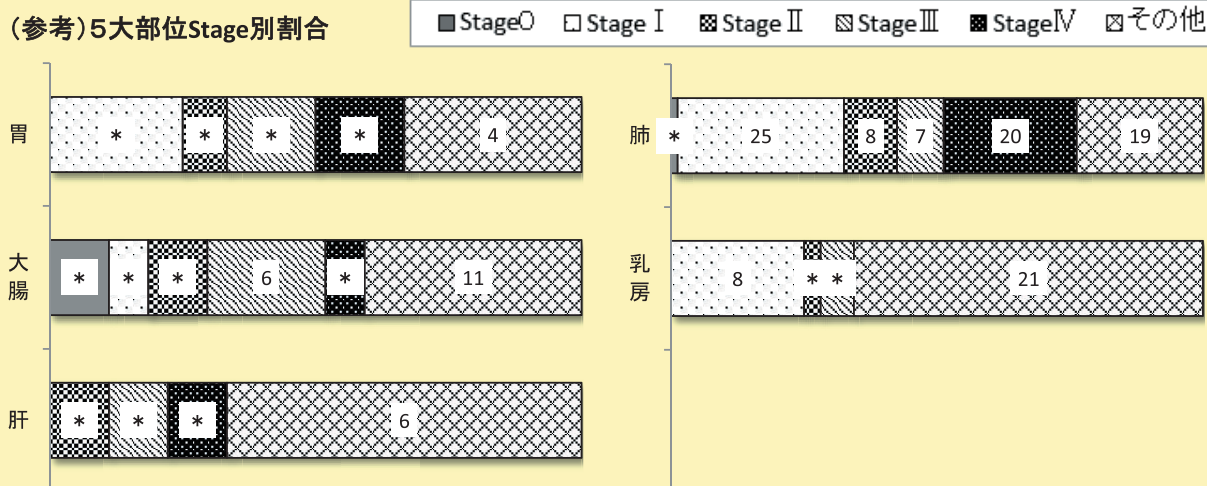
- 2019年病例(R02年度収集)
- 2020年病例(R03年度収集)
- 2021年病例(R04年度収集)
- 2022年病例(R05年度収集)
- 2023年病例(R06年度収集)



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	*						*
食道	*		*			*	
胃★	12		*	*	*	*	4
大腸★	27	*	*	*	6	*	11
肝★	9			*	*	*	6
膵	9						9
肺★	80	*	25	8	7	20	19
皮膚	0						
乳房★	32		8	*	*		21
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	0						
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	6			*			5
悪性血液疾患	0						
その他	7		*	*		*	4
計	185	4	40	16	18	27	80

(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合

子宮頸部
子宮体部
前立腺

(参考)+各施設追加部位Stage別割合

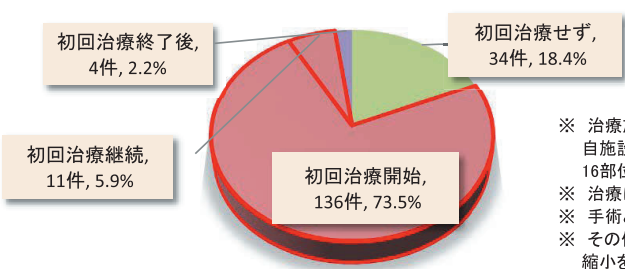
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

熊本再春医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

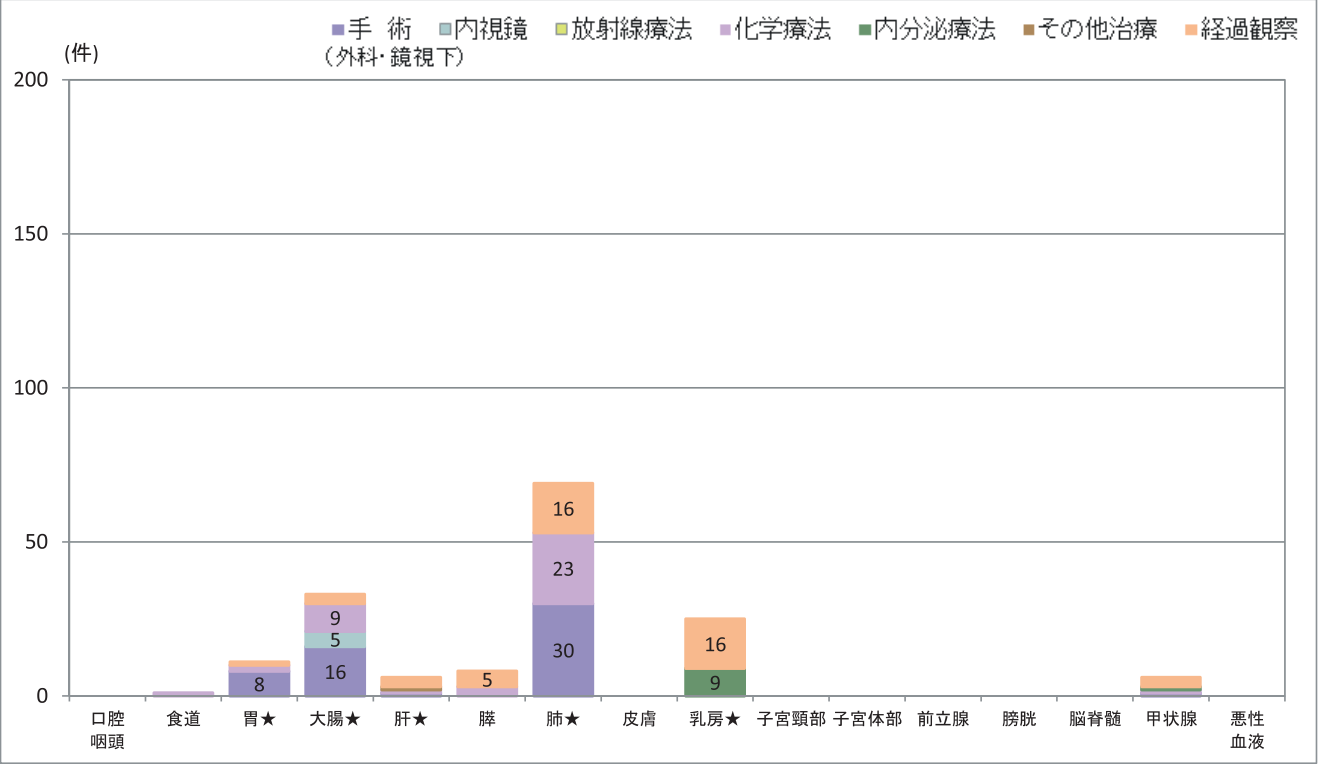
治療施設	件数
1初回治療せず	34
2初回治療開始	136
3初回治療継続	11
4初回治療終了後	4
8その他	
計	185



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

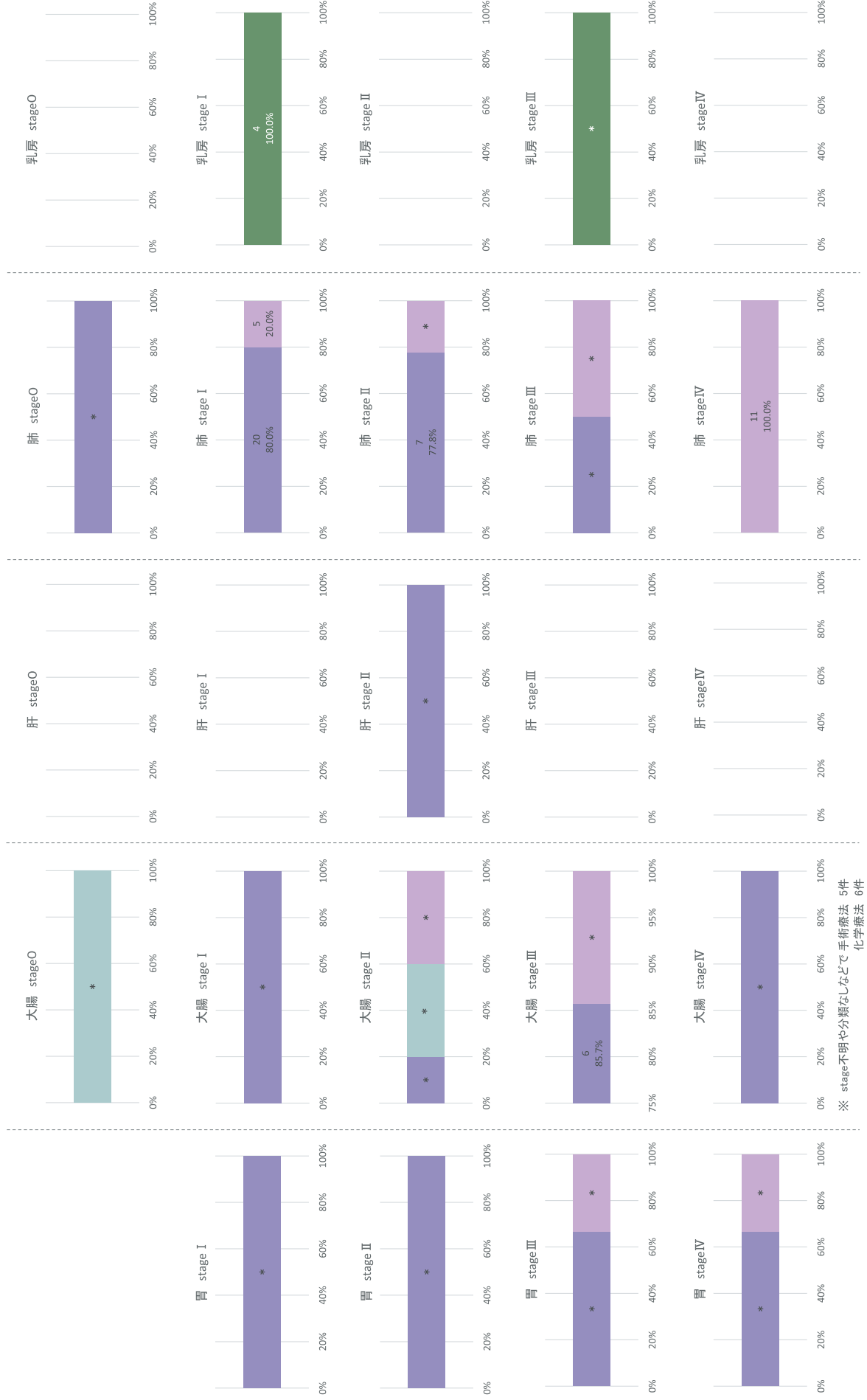
	(外科・手術 鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道				*				*			
胃★	8			*			*	11	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	16	5		9			*	33	90.5%	9.5%	0.0%
肝★	*			*		*	*	6	100.0%	0.0%	0.0%
膵				*			5	8			
肺★	30			23			16	69	93.1%	6.9%	0.0%
皮膚								0			
乳房★					9		16	25			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺	*			*	*		*	6	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患								0			
計	56	5	0	40	10	*	47	159			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

手術 内視鏡 放射線療法
 化学療法 内分泌療法 その他治療



Ⅱ 施設別統計
 熊本再春医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医 療 機 関 名		独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院
-----------	---	----------------------------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

所 在 地	八代市通町10番10号		
病 床 数	420床(一般416床;感染症4床)		
追加情報	地域包括ケア病棟56床;無菌室8床		
診 療 科 数	46科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2007.04.01
平均在院日数	14.8 (日)		
入院患者数	7,454 (人)		
外来患者延数	134,674 (人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 3,656 (件/概算)		
院内がん登録件数	755(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 0 (名)		

○医療機関からのコメント

当院は2006年からがんセンターを設立し、特にがん治療に力を入れている。

1. 症例件数
当院における2023年の症例件数は755件(前年比+17件)であり、男女比としては男性が54. 8%(414件)、女性が45. 2%(341件)であった。また八代医療圏における患者の割合は80. 3%となっている。

2. 平均年齢
症例の平均年齢は72. 3歳(前年比+0. 2)であり、年齢層では男性は70歳代、女性は80歳代が最も多かった。

3. 部位別症例件数
部位別では、悪性血液疾患141件(18. 7%)、大腸がん115件(15. 2%)、前立腺がん82件(10. 9%)、胃がん48件(6. 4%)の順で多かった。登録部位の順は前年と同様に、悪性血液疾患、大腸がん、前立腺がんが上位3位であった。また上位4部位で全体の51. 1%を占めていた。

4. 治療
2020年から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、ワンフロアを専用病棟とし受け入れを行っていたが、2023年4月で終了とした。

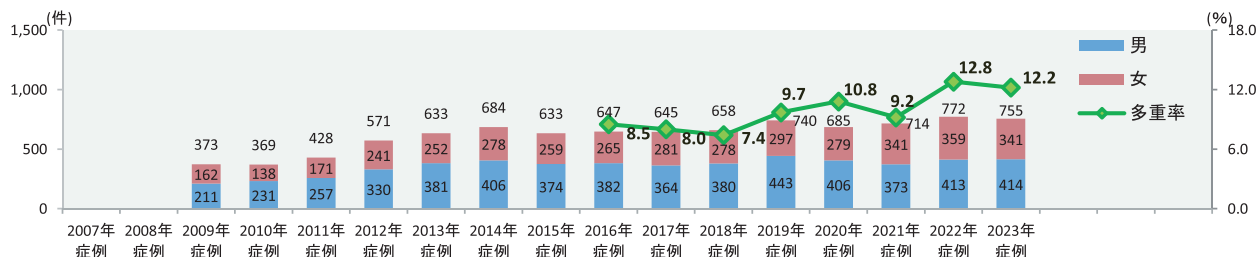
2020年9月より大規模増築ならびに改修に着工し、外来・化学療法部門、健康管理センター、内視鏡センター、人工透析センター、手術センター等が含まれており、2023年2月に竣工した。さらに本館の改修・拡張を完了した。また10月より産科を再開することとなり外来、入院・分娩施設の工事も完了した。

治療件数の内訳は、手術が治療全体の33. 1%、化学療法32. 2%、内視鏡10. 5%、内分泌療法7. 9%、放射線療法6. 6%の順になっていた。

胃や大腸は進行癌であっても薬物療法を行い、癌の進行度に応じた術式を選択し、個々の症例に最も適切な手術を行うようにしており、可能な限り根治術を目指している。

当院は最新の質の高いがん治療を行っているが、今後も継続しながら更なる地域医療や施設との連携を図って行く必要がある。

診断年別登録件数(参考)

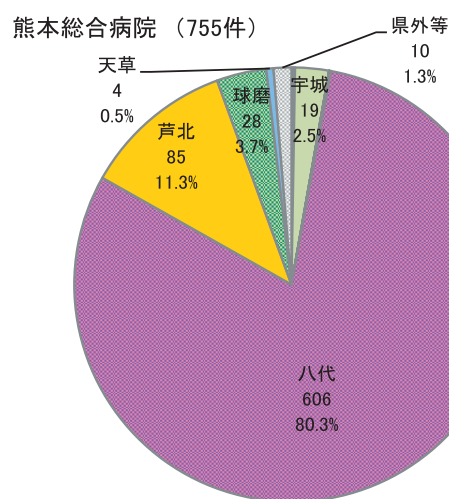


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

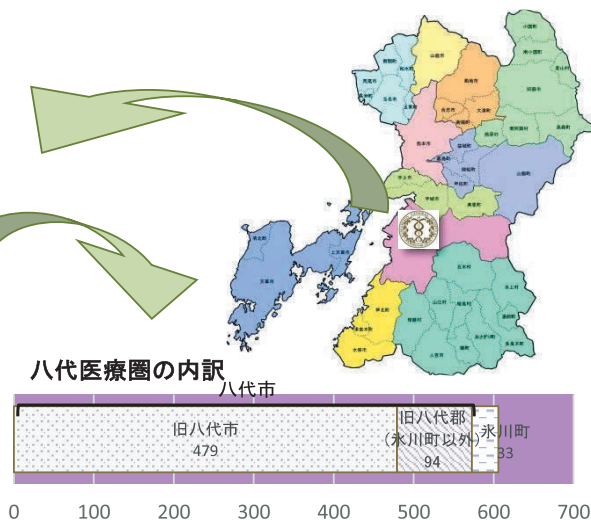
Ⅱ 施設別統計

熊本総合病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)



※ 全般において3件以下は*又は非表示



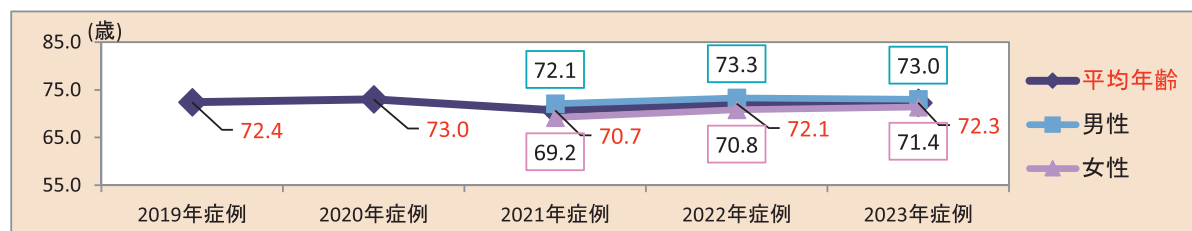
※ 熊・上(熊本・上益城)、菊池は1~3件

◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	該当部位	*	有明		阿蘇		球磨	悪性血液	9		
						前立腺		4			
						該当部位		各*			
熊・上 (上益城)	該当部位	*	鹿本		八代	大腸	105	天草	該当部位	各*	
						悪性血液	83				
						その他	68				
						前立腺	64				
						胃	45				
宇城	大腸	5	菊池	該当部位	*	芦北	悪性血液	県外等	悪性血液	5	
	該当部位	各*					前立腺		12	該当部位	各*
							その他		8		
							肝		4		
							該当部位		各*		

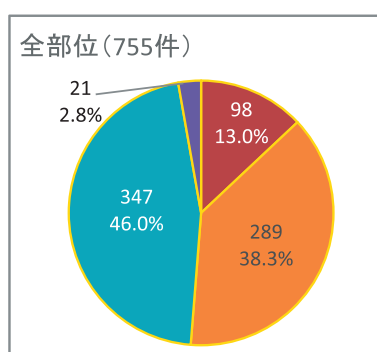
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

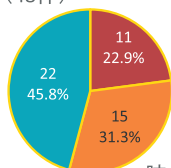


③ 発見経緯 5大部位の内訳

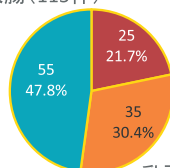
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



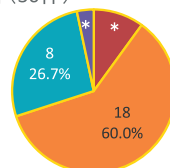
胃(48件)



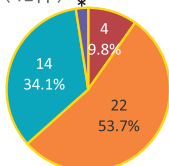
大腸(115件)



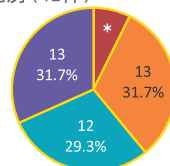
肝(30件)



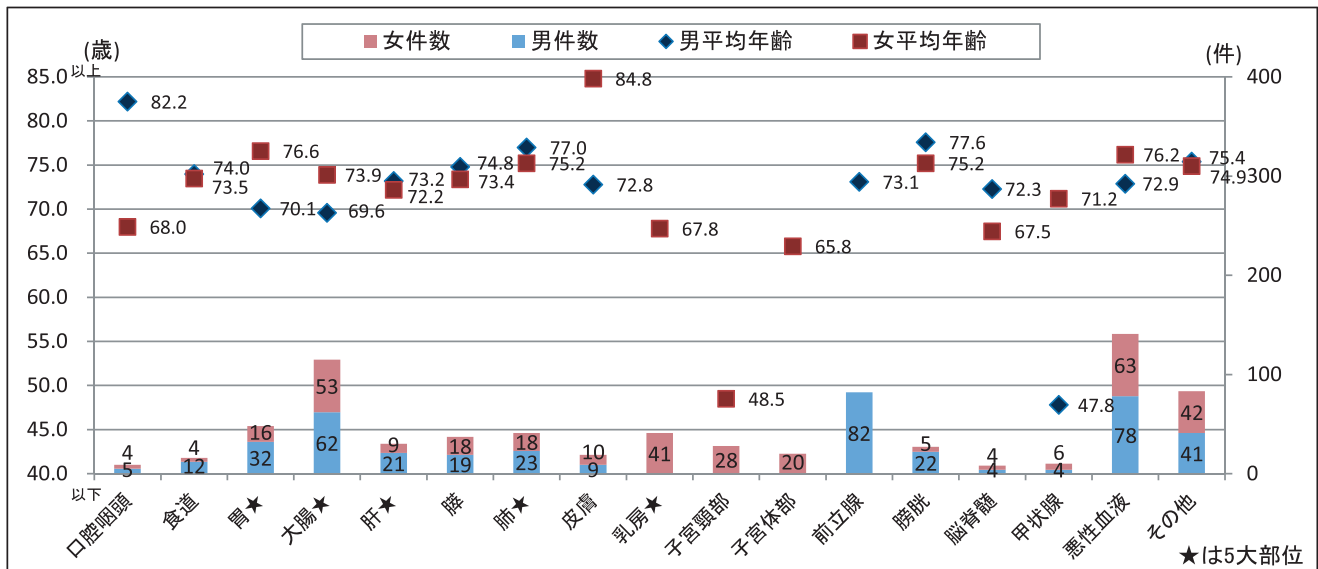
肺(41件)



乳房(41件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



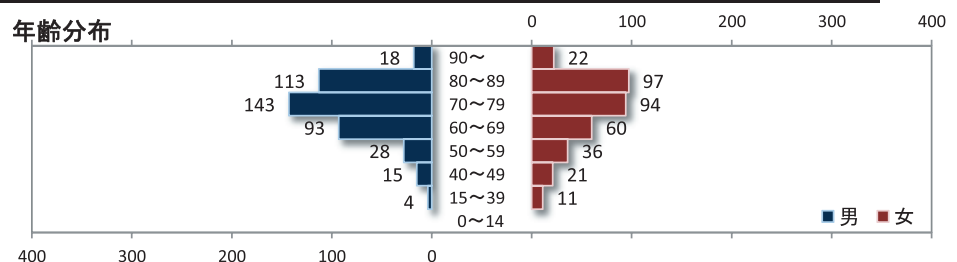
男性全体	0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
前立腺	82		該当部位	各*	大腸	5	大腸	5
悪性血液	78				該当部位	各*	悪性血液	5
大腸	62						胃	4
その他	41						該当部位	各*
胃	32							
肺	23							
膀胱	22		計	4	計	15	計	28
肝	21							
膵	19							
食道	12							
皮膚	9							
口腔咽頭	5							
脳脊髄	4							
甲状腺	4							
乳房								
子宮頸部								
子宮体部								
計	414							

	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
前立腺	25		前立腺	35	悪性血液	29	該当部位	各*
悪性血液	18		大腸	22	前立腺	18		
大腸	14		悪性血液	20	大腸	13		
胃	10		その他	16	その他	12		
その他	9		該当部位	各9	肺	8		
など			など		など			
計	93		計	143	計	113	計	18



女性全体	0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
悪性血液	63		子宮頸部	7	子宮頸部	10	大腸	9
大腸	53		該当部位	各*	乳房	5	乳房	5
その他	42				該当部位	各*	子宮頸部	5
乳房	41						子宮体部	4
子宮頸部	28						悪性血液	4
子宮体部	20						該当部位	各*
膵	18		計	11	計	21	計	36
肺	18							
胃	16							
皮膚	10							
肝	9							
甲状腺	6							
膀胱	5							
口腔咽頭	4							
食道	4							
脳脊髄	4							
前立腺								
計	341							

	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
悪性血液	12		悪性血液	21	大腸	23	その他	7
乳房	10		乳房	14	悪性血液	21	悪性血液	5
大腸	8		大腸	12	その他	13	該当部位	各*
その他	7		その他	9	膵	6		
子宮体部	5		膵	8	乳房	6		
など			など		など			
計	60		計	94	計	97	計	22



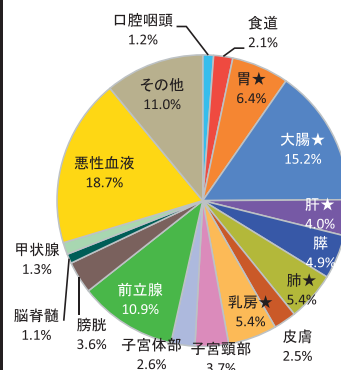
Ⅱ 施設別統計

熊本総合病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	16	18	13	17	9
食道	18	17	14	19	16
胃★	76	63	80	54	48
大腸★	118	115	104	117	115
肝★	29	27	23	31	30
膵	41	41	30	43	37
肺★	30	41	34	56	41
皮膚	21	16	26	28	19
乳房★	37	46	50	44	41
子宮頸部	20	10	34	31	28
子宮体部	7	*	26	24	20
前立腺	106	61	60	60	82
膀胱	33	34	35	29	27
脳脊髄	8	9	5	5	8
甲状腺	10	5	7	5	10
悪性血液疾患	115	124	101	120	141
その他	55	56	72	89	83
計	740	685	714	772	755

2023年診断症例 主要部位別割合



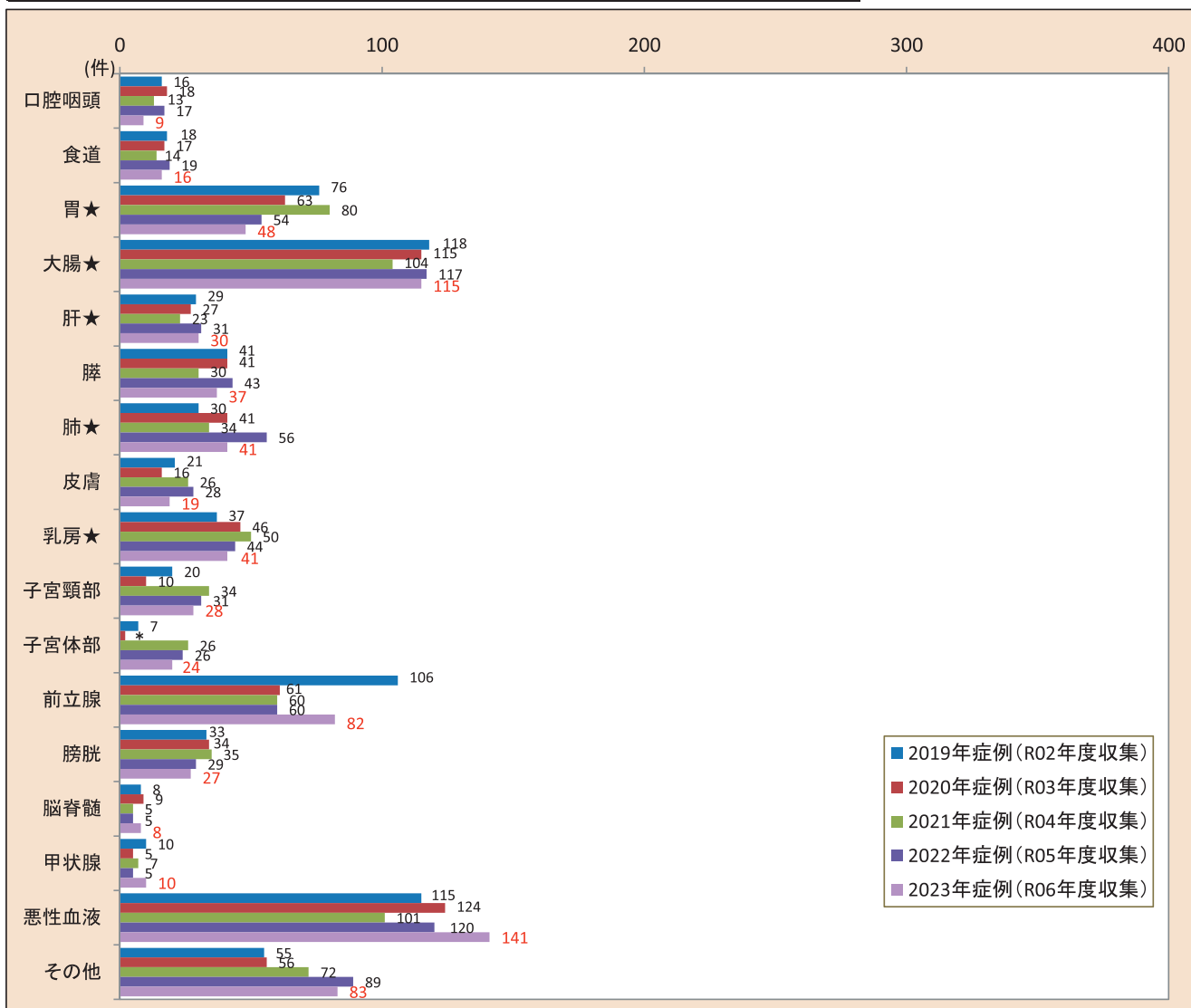
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

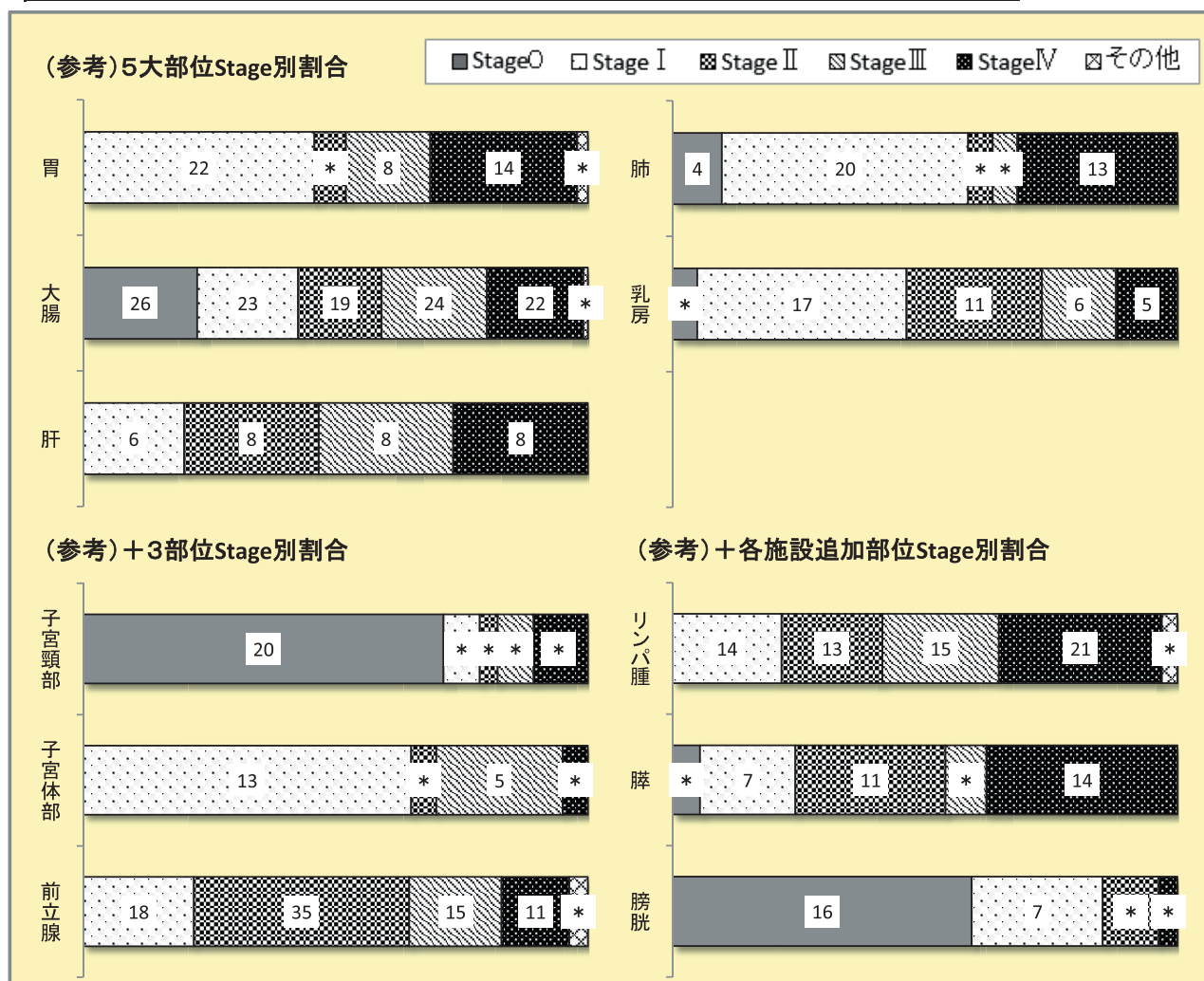
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	9		*		4	*	*
食道	16	*	6	*	*	4	
胃★	48		22	*	8	14	*
大腸★	115	26	23	19	24	22	*
肝★	30		6	8	8	8	
膵	37	*	7	11	*	14	
肺★	41	4	20	*	*	13	
皮膚	19	5	9	4	*		
乳房★	41	*	17	11	6	5	
子宮頸部	28	20	*	*	*	*	
子宮体部	20		13	*	5	*	
前立腺	82		18	35	15	11	*
膀胱	27	16	7	*		*	
脳脊髄	8						8
甲状腺	10		6	*		*	
悪性血液疾患	141		14	13	15	21	78
その他	83	10	16	5	20	18	14
計	755	86	189	120	116	138	106



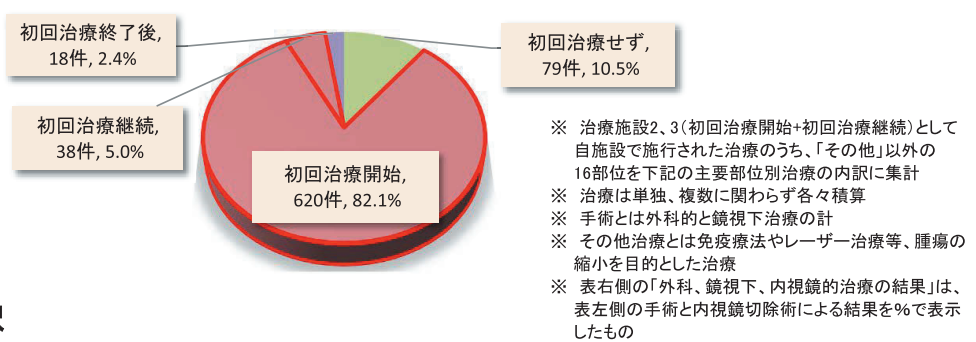
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

熊本総合病院

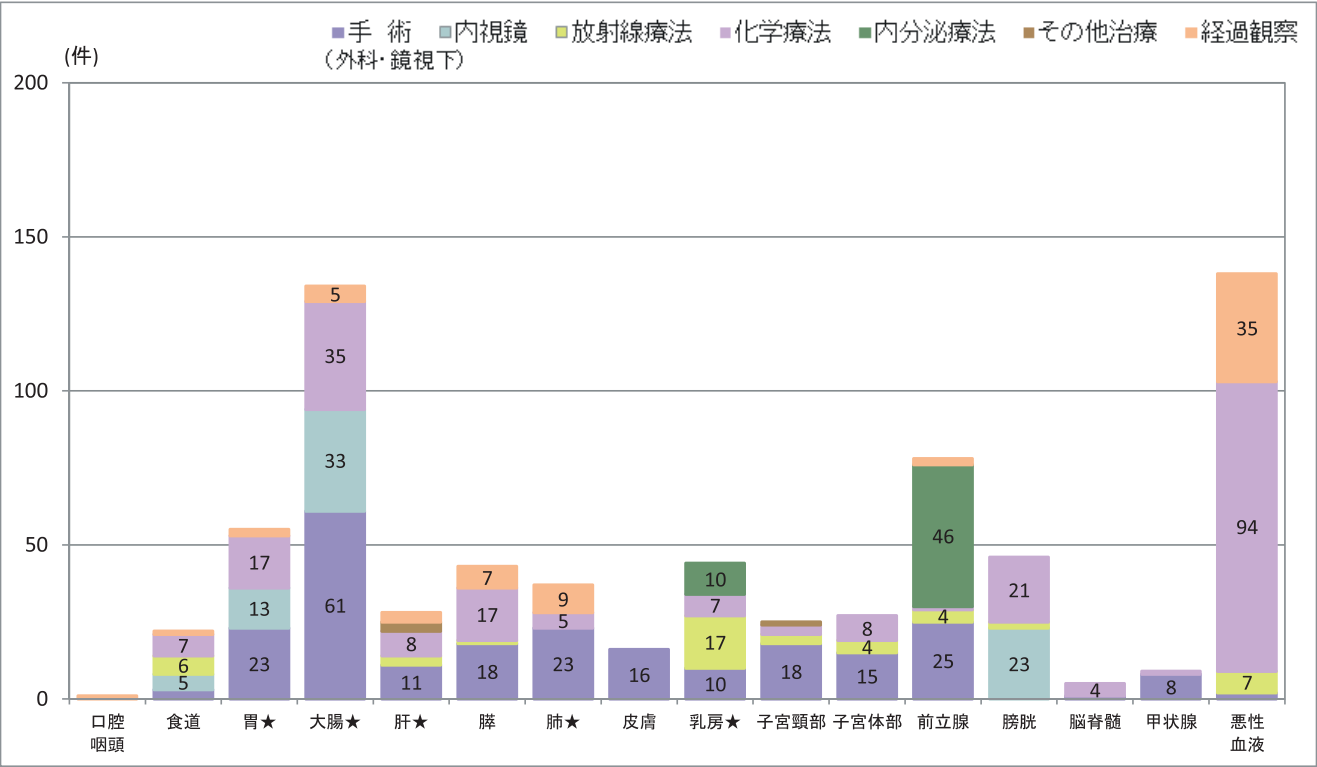
⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	79
2初回治療開始	620
3初回治療継続	38
4初回治療終了後	18
8その他	
計	755



⑨ 主要部位別治療の内訳

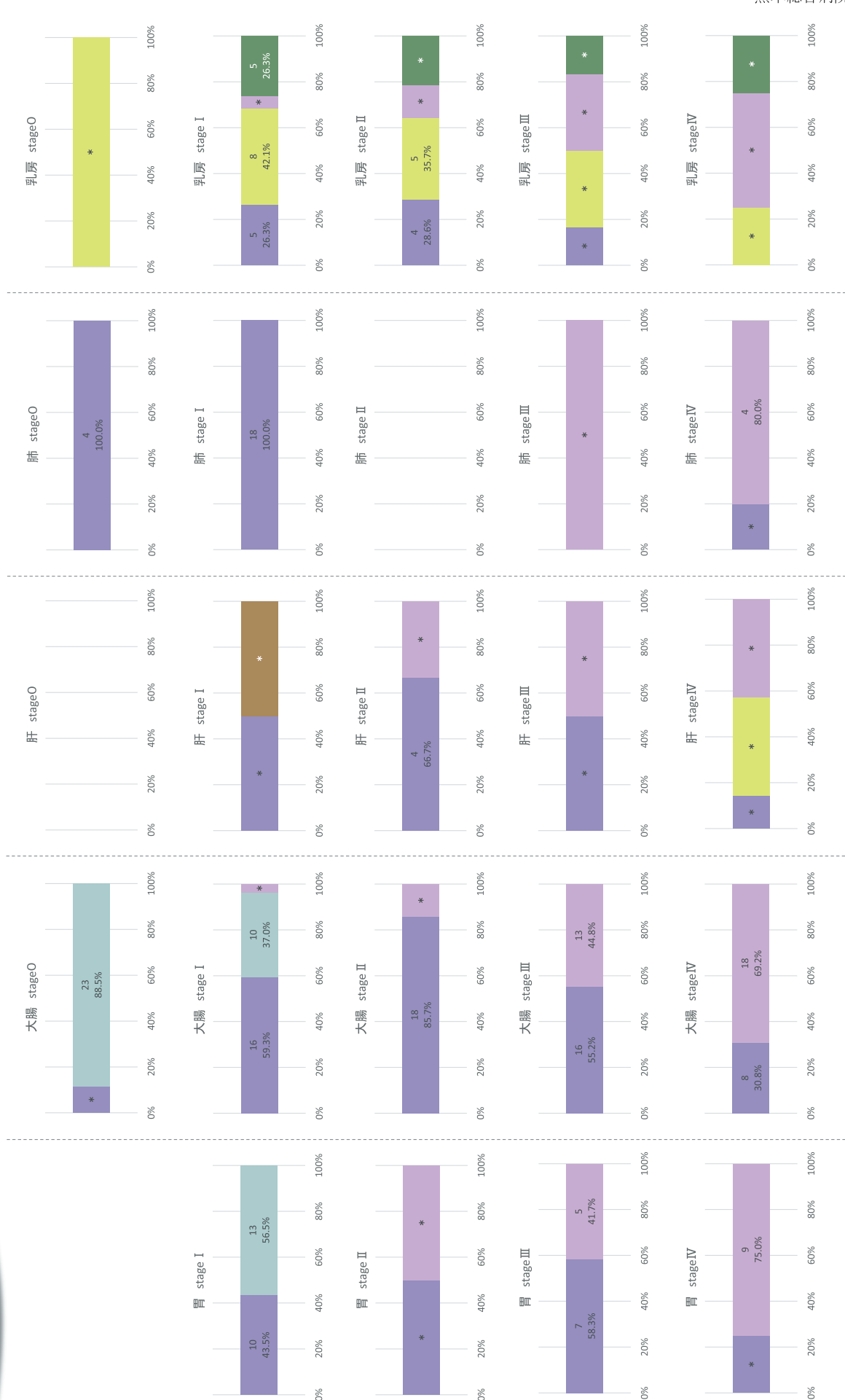
	(外科・手術 ・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭							*	*			
食道	*	5	6	7			*	22	87.5%	12.5%	0.0%
胃★	23	13		17			*	55	91.4%	8.6%	0.0%
大腸★	61	33		35			5	134	91.1%	8.9%	0.0%
肝★	11		*	8		*	*	28	90.9%	9.1%	0.0%
膵	18		*	17			7	43	83.3%	16.7%	0.0%
肺★	23			5			9	37	95.7%	4.3%	0.0%
皮膚	16							16	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	10		17	7	10			44	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部	18		*	*		*		25	94.4%	5.6%	0.0%
子宮体部	15		4	8				27	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺	25		4	*	46		*	78	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱		23	*	21				46	60.9%	39.1%	0.0%
脳脊髄	*			4				5	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	8			*				9	87.5%	12.5%	0.0%
悪性血液疾患	*		7	94			35	138	50.0%	50.0%	0.0%
計	234	74	47	228	56	4	65	708			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 化学療法 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法 ■ その他治療



Ⅱ 施設別統計
熊本総合病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医 療 機 関 名		国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院
-----------	---	---------------------

○基本情報

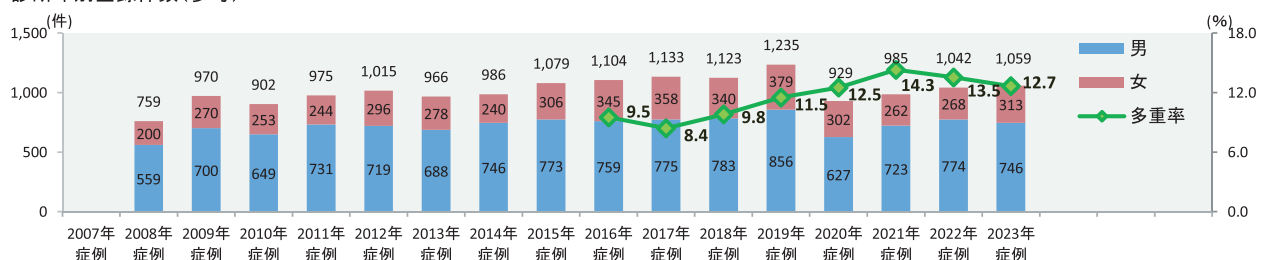
【令和5(2023)年12月現在】

所 在 地	熊本市南区田井島1丁目5番1号		
病 床 数	361床(一般361床)		
追加情報			
診 療 科 数	20科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2008.01.01
平均在院日数	11.7 (日)		
入院患者数	7,964 (人)		
外来患者延数	122,325 (人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 5,940 (件)		
院内がん登録件数	1,059 (件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 4 / 他 0 (名)		

○医療機関からのコメント

[件数] 当院の症例数は1059件であり、昨年と比べ約1.6%の増加となっている(昨年1042件)。 [男女比・平均年齢] 男女比率は男性70.4%(746件)、女性29.6%(313件)、平均年齢は72.4歳であり、ほぼ前年同様である。 [患者住所医療圏] 熊本市が53.0%を占め、続いて上益城(12.3%)、宇城(10.5%)、菊池(7.2%)と、熊本市に限らず複数の医療圏をカバーしており、くまちゅう画像ネットの利用など地域連携に取り組んでいる結果といえる。 [当院の特徴] 当院症例の特徴としては、前立腺と肺で全体の半数(48.5%)を占めていることが挙げられ、前立腺の手術、内分泌療法等を主とする泌尿器系の治療と、肺の手術、化学療法、放射線療法等を主とする呼吸器系の治療に特化している。 主要部位別件数の上位からみると、前立腺(267件)、肺(247件)、大腸(166件)、膀胱(103件)、乳房(81件)となり、上位5部位に5大がんのうち3部位が入っている。 また、統計上では「部位区分:その他」に含まれているが、腎、尿路等の症例数も多く、前立腺、膀胱と合わせると、泌尿器系の症例数は412件に上る。同様に消化器系の症例数は292件となる。 治療に関しては、例年どおり手術の中でも体腔鏡的手術(胸腔鏡、腹腔鏡)の症例数が多く、QOLを考慮した治療を行っていると言える。また、消化器系の症例においては、胃(35件)、大腸(82件)、食道(6件)と内視鏡的治療の症例数も多く、進行度に合わせた治療の選択が可能である。 手術以外では、外来化学療法室での化学療法、放射線科での放射線療法と、内科的治療の体制も整備されており、集学的治療を行うことができる。
--

診断年別登録件数(参考)

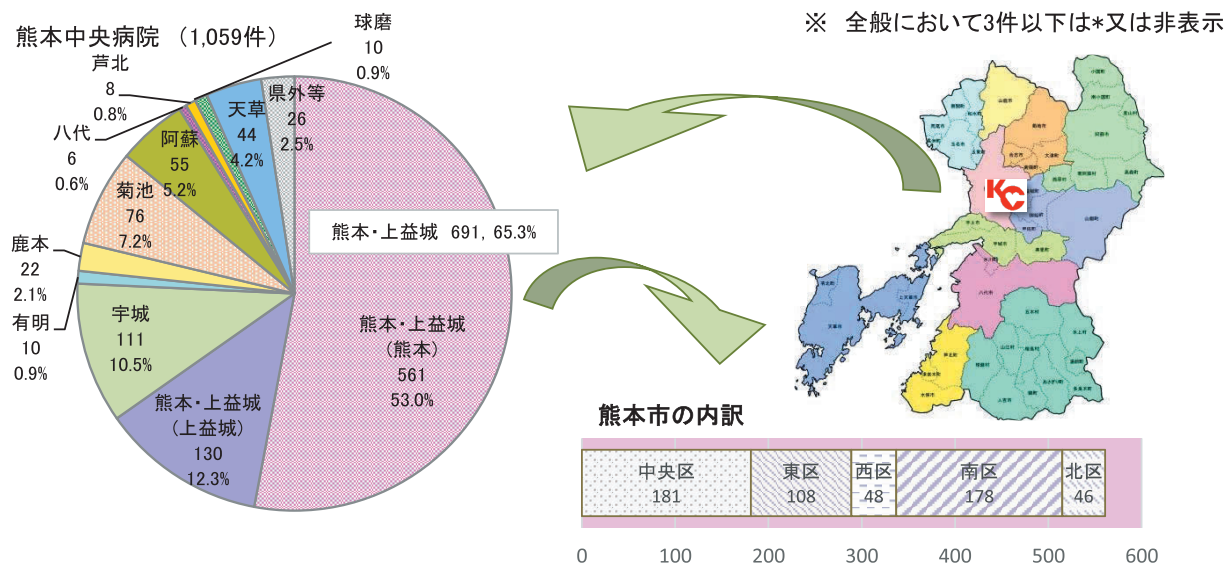


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

Ⅱ 施設別統計

熊本中央病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

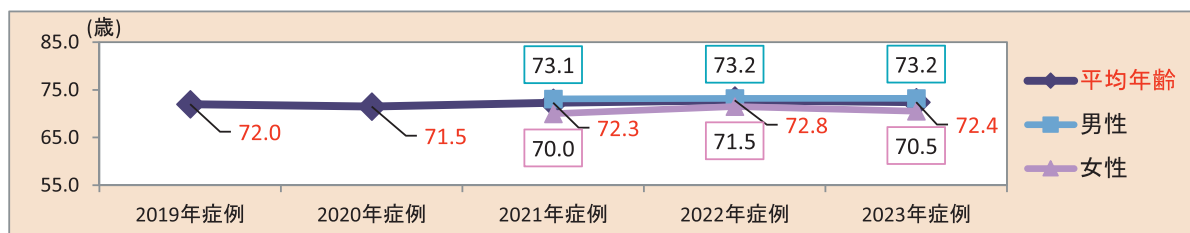


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	肺	137	有明	肺	5	阿蘇	前立腺	22	球磨	肺	5
	前立腺	114		該当部位	各*		肺	13		該当部位	各*
	大腸	111					膀胱	10			
	乳房	52					その他	4			
	胃	45					該当部位	各*			
熊・上 (上益城)	前立腺	37	鹿本	前立腺	8	八代	該当部位	各*	天草	肺	14
	肺	22		肺	7					前立腺	9
	大腸	18		膀胱	5					大腸	6
	膀胱	15		該当部位	各*					膀胱	6
	その他	13								該当部位	各*
宇城	前立腺	43	菊池	前立腺	21	芦北	肺	5	県外等	肺	12
	大腸	17		膀胱	16		該当部位	各*		乳房	5
	肺	16		肺	10					前立腺	4
	膀胱	11		大腸	9					該当部位	各*
	その他	8		その他	7						

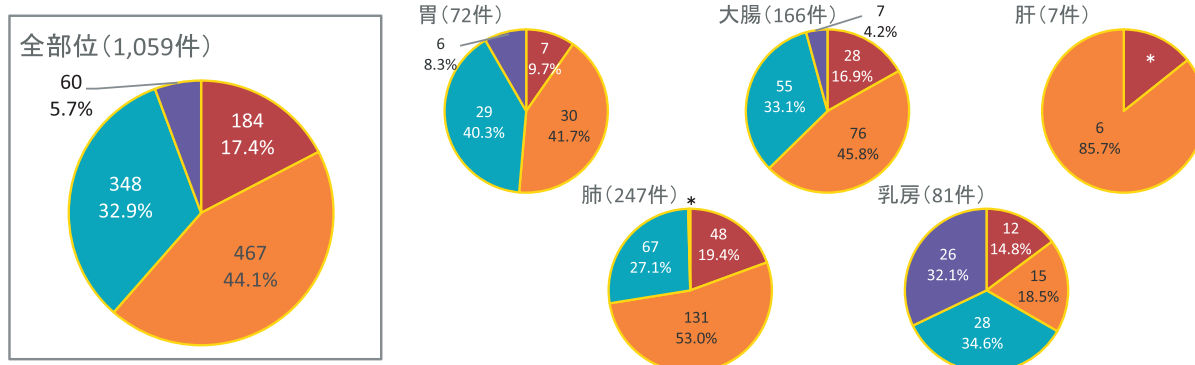
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

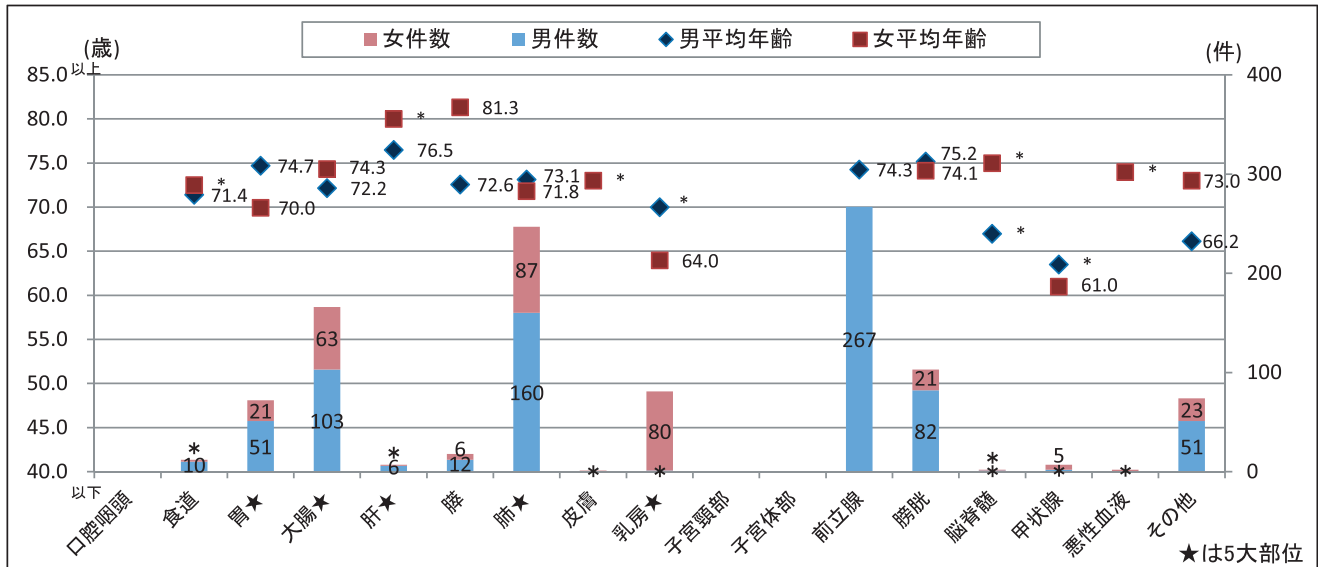


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

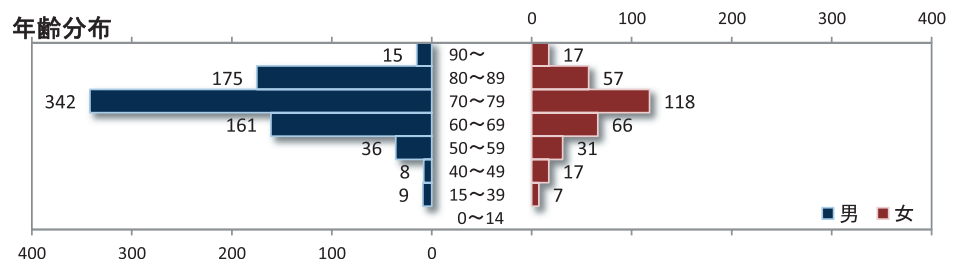


男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
前立腺	267			その他	6	該当部位	各*	大腸	8
肺	160			該当部位	各*			肺	8
大腸	103							前立腺	8
膀胱	82							膀胱	4
胃	51							該当部位	各*
その他	51								
膵	12			計	9	計	8	計	36
食道	10	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
肝	6	前立腺	55	前立腺	139	前立腺	63	肺	6
甲状腺	*	肺	34	肺	73	肺	35	該当部位	各*
乳房	*	大腸	24	大腸	46	大腸	23		
脳脊髄	*	膀胱	19	膀胱	32	膀胱	24		
口腔咽頭		該当部位	各11	胃	23	胃	14		
皮膚		該当部位	各*	など		など			
子宮頸部		計	161	計	342	計	175	計	15
子宮体部									
悪性血液									
計	746								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
肺	87			乳房	4	乳房	8	乳房	17
乳房	80			該当部位	各*	該当部位	各*	大腸	7
大腸	63							該当部位	各*
その他	23								
胃	21								
膀胱	21								
膵	6			計	7	計	17	計	31
甲状腺	5	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
食道	*	肺	23	肺	43	肺	14	大腸	7
悪性血液	*	乳房	23	大腸	30	大腸	12	該当部位	各*
肝	*	その他	6	乳房	16	乳房	9		
皮膚	*	大腸	5	胃	10	その他	8		
脳脊髄	*	該当部位	各*	膀胱	8	膵	5		
口腔咽頭				など		など			
子宮頸部		計	66	計	118	計	57	計	17
子宮体部									
前立腺									
計	313								

年齢分布



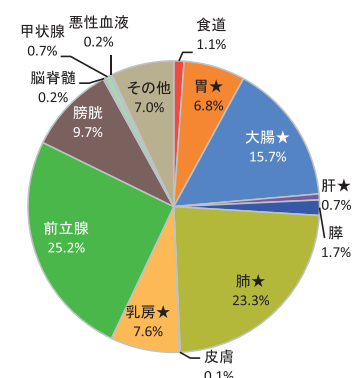
Ⅱ 施設別統計

熊本中央病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	*				
食道	18	8	12	20	12
胃★	69	88	72	72	72
大腸★	148	122	104	141	166
肝★	5	9	8	6	7
膵	16	14	20	20	18
肺★	303	223	263	245	247
皮膚	4	*	*	*	*
乳房★	92	87	60	63	81
子宮頸部					
子宮体部					
前立腺	320	215	262	285	267
膀胱	112	80	80	85	103
脳脊髄	*	4	4	*	*
甲状腺	12	7	*	5	7
悪性血液疾患	29	9	6	13	*
その他	105	60	90	83	74
計	1,235	929	985	1,042	1,059

2023年診断症例 主要部位別割合



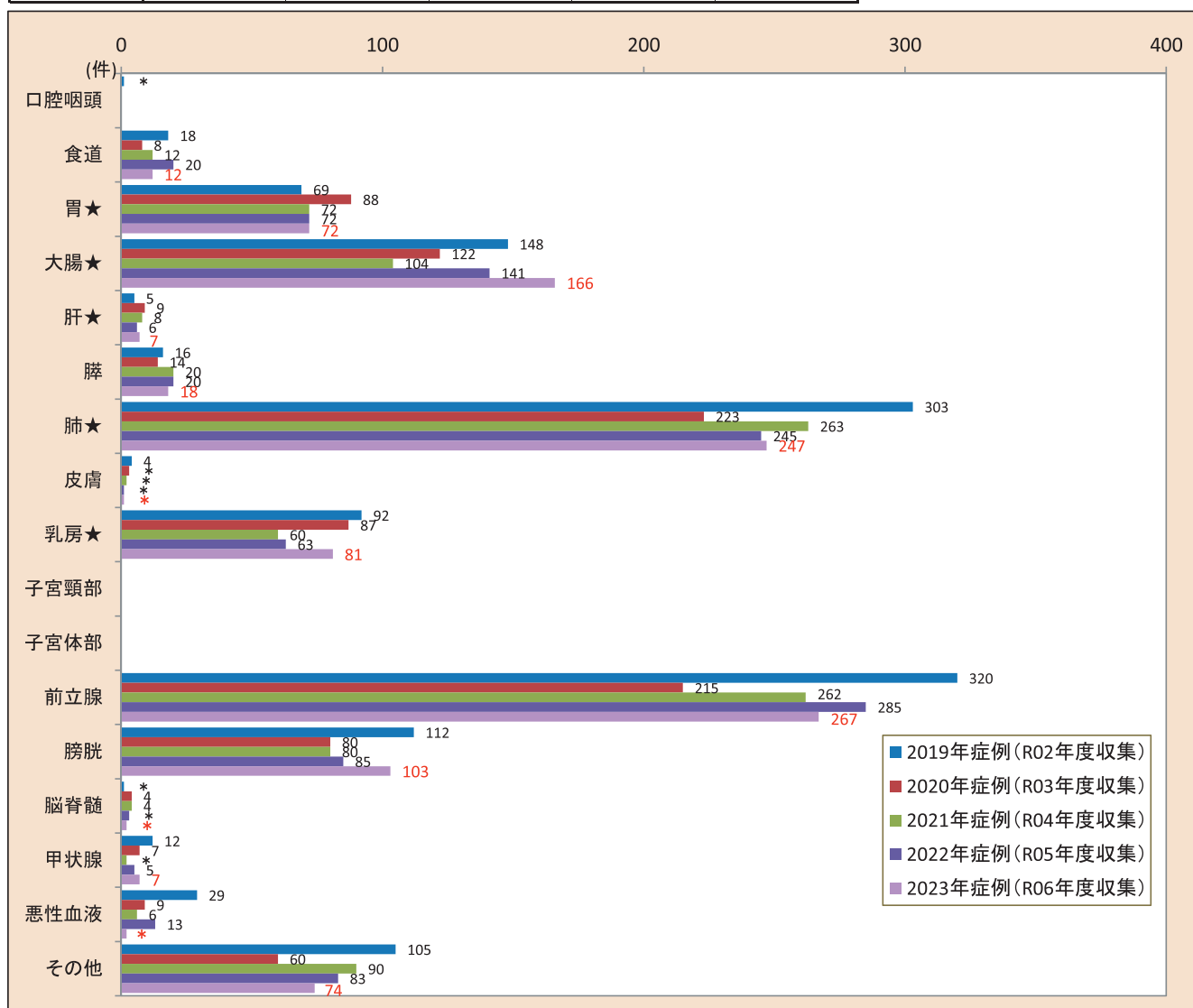
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

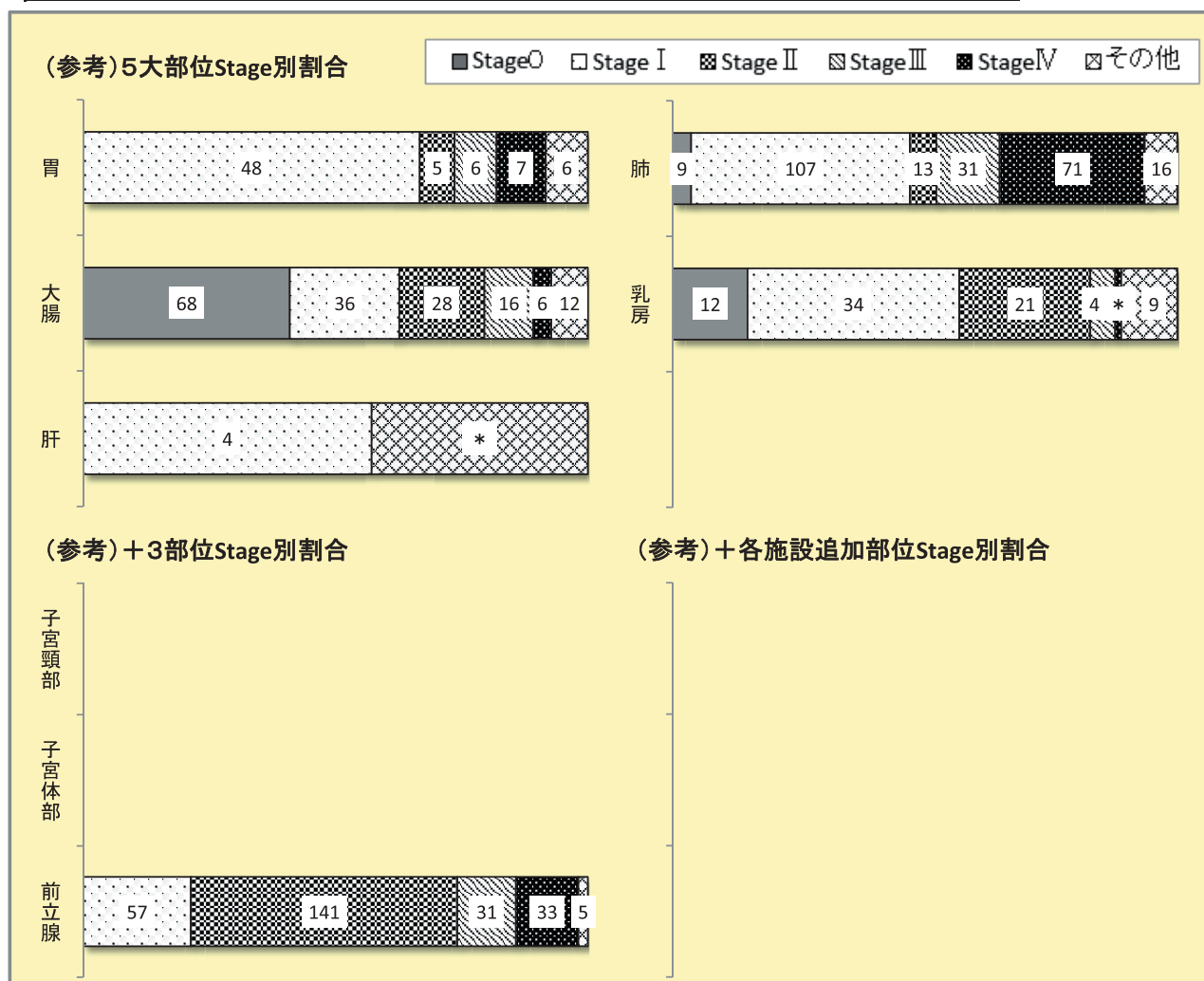
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	0						
食道	12	*	4			*	4
胃★	72		48	5	6	7	6
大腸★	166	68	36	28	16	6	12
肝★	7		4				*
膵	18				*	8	8
肺★	247	9	107	13	31	71	16
皮膚	*						*
乳房★	81	12	34	21	4	*	9
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	267		57	141	31	33	5
膀胱	103	61	*	*	*	*	34
脳脊髄	*						*
甲状腺	7		*	*		*	*
悪性血液疾患	*						*
その他	74	*	28	*	4	9	27
計	1,059	156	324	215	96	138	130



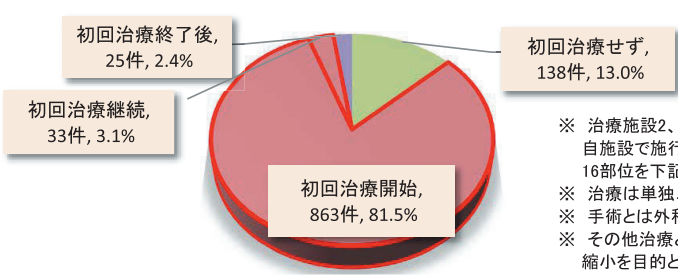
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

熊本中央病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

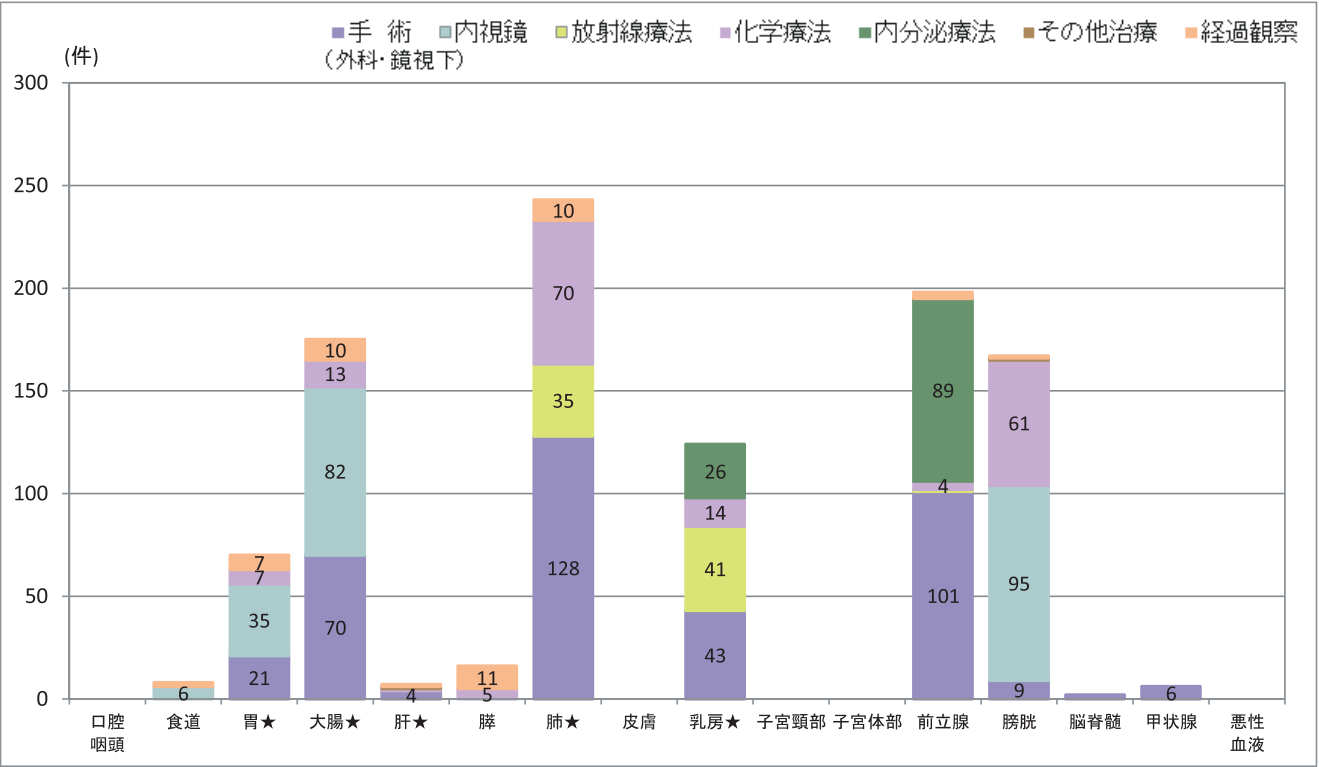
治療施設	件数
1初回治療せず	138
2初回治療開始	863
3初回治療継続	33
4初回治療終了後	25
8その他	
計	1,059



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として
自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の
16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の
縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、
表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示
したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

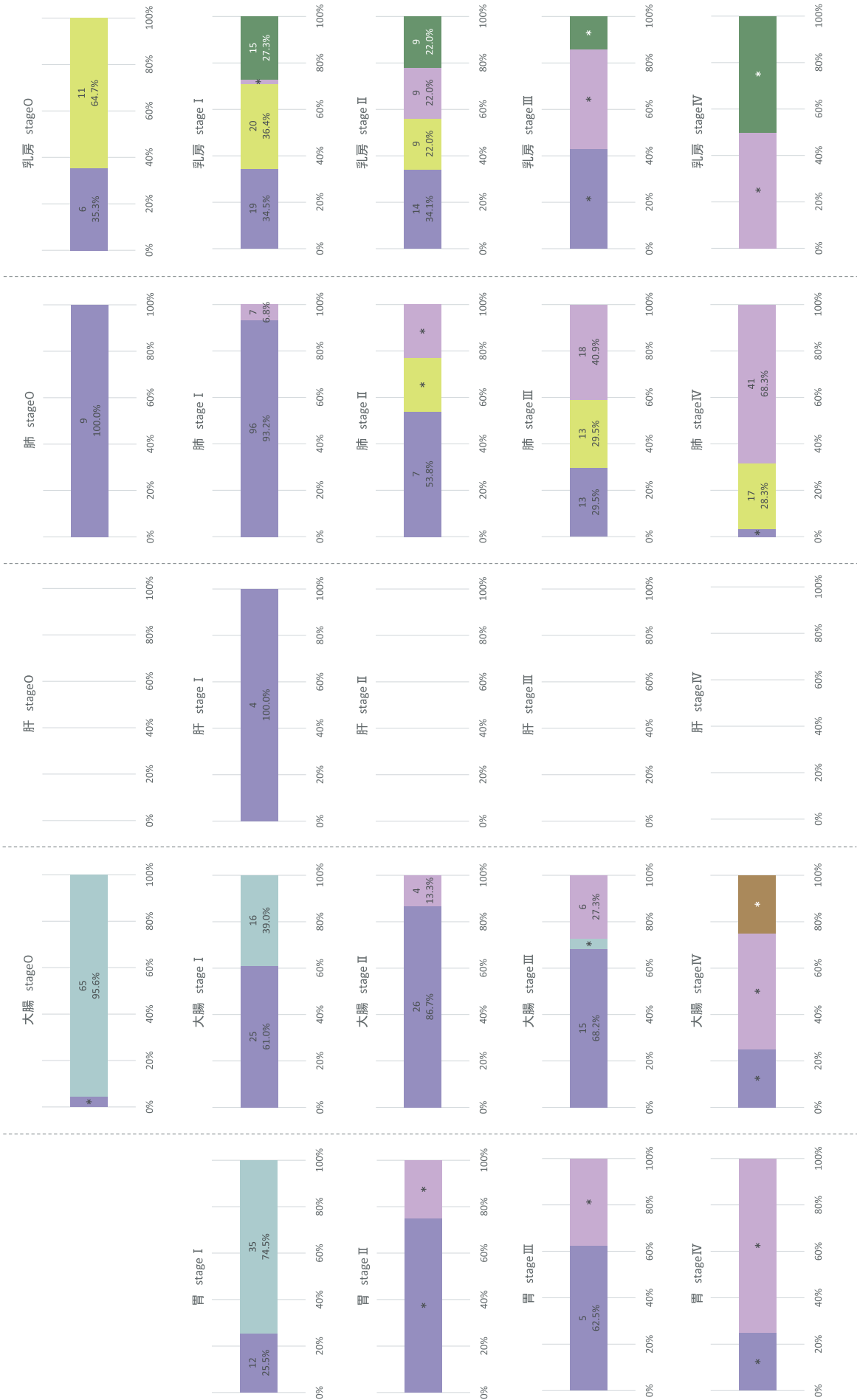
	(外科・手術 ・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道		6					*	8	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	21	35		7			7	70	98.1%	1.9%	0.0%
大腸★	70	82		13			10	175	99.3%	0.7%	0.0%
肝★	4			*		*	*	7	100.0%	0.0%	0.0%
膵				5			11	16			
肺★	128		35	70			10	243	97.7%	2.3%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	43		41	14	26			124	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺	101		*	4	89		*	198	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	9	95		61		*	*	167	74.5%	25.5%	0.0%
脳脊髄	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	6							6	83.3%	16.7%	0.0%
悪性血液疾患								0			
計	384	218	77	175	115	*	45	1,016			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUIC08版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■化学療法 ■内視鏡 ■放射線療法 ■その他治療



Ⅱ 施設別統計
熊本中央病院

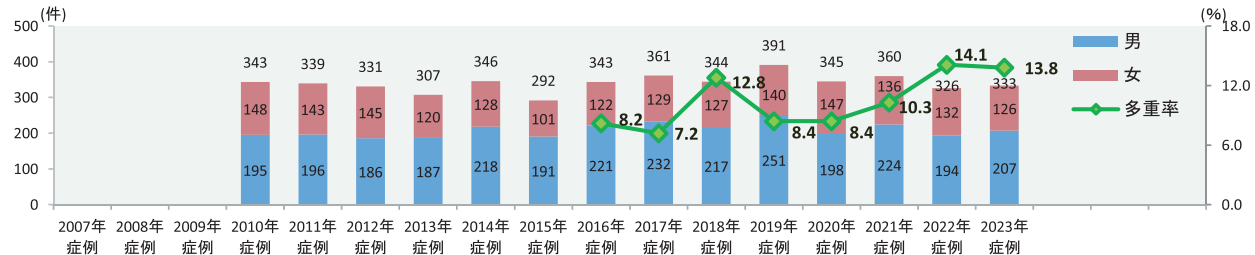
熊本県院内がん登録データに係る統計 ―2023年診断症例―

医療機関名	 国保 水俣市立総合医療センター		
○基本情報			
【令和5(2023)年12月現在】			
所在地	水俣市天神町1丁目2番1号		
病床数	361床(一般357床;感染症4床)		
追加情報	HCU10床;回復期リハ病棟95床		
診療科数	19科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	17.7(日)		
入院患者数	4,307(人)		
外来患者延数	154,949(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 1,726(件)		
院内がん登録件数	333(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

〈登録件数〉全体で333件であり、前年の326件と比べて横ばいであった。
〈患者住所医療圏〉主な医療圏は担当である芦北(水俣・津奈木・芦北)の219件(65.8%)で、県外である鹿児島県から来院する患者が113件(34.1%)であった。例年通り県外からの来院は3割以上を占めていた。
〈平均年齢 男女比〉登録症例の全体の平均年齢は74.1歳で前年の75.1歳より低いものの、依然として登録症例の高齢化は継続している。男女比は男性207件(62.2%)、女性126件(37.8%)であり、例年通りの割合であった。
〈部位別登録件数〉5大癌は肺癌52件(15.6%)、大腸癌50件(15.0%)、乳癌31件(9.3%)、胃癌32件(9.6%)、肝癌13件(3.9%)であり、例年通りの件数であった。
〈5大癌の発見経緯〉有症状による受診が契機の件数が146件(43.8%)と前年よりさらに割合が増加しており、前年まで一番多かった他疾患観察中契機の137件(41.1%)よりも多かった。がん検診が契機の件数は50件(15.0%)であり減少が大きかった前年(27件 12.5%)より増加し、例年通りとなっていた。
〈Stageと治療内容〉全体のStage別の割合は0期は11.7%、Ⅰ期は35.7%、Ⅱ-Ⅲ期は27.9%、Ⅳ期は21.0%と例年通りの割合であった。当院で施行した初回治療の割合は、手術+内視鏡による治療が139件(49.1%)であり主に胃癌、大腸癌、皮膚癌、乳癌、膀胱癌が占めていた。化学療法および内分泌療法は117件(41.3%)であり、主に肺癌、前立腺癌、膝癌、大腸癌、乳癌が占めていた。
〈特徴〉芦北水俣医療圏の人口減少もある一方、全体の登録件数は横ばいであった。癌の発見経緯は検診が増えているものの、さらに有症状時の受診の割合が増えている傾向が特徴的であった。
当院は県南端のがん診療連携拠点病院であり、県境の病院である。鹿児島県出水市、伊佐市と接しているため、熊本県内だけではなく鹿児島県から来院されていることが多い。また当院をかりつけとする患者や併存疾患を有する高齢のがん患者が多い状況である。地域に根付いた総合病院の強みを活かし、幅広い専門診療科によるがん診療と、多職種連携によるチーム医療で安全で確実ながん診療を行い、在宅復帰に向けての地域支援センター・地域包括ケアシステムを用いて、安心して退院できるようにサポートしている。
さらに「くまもとメディカルネットワーク」にも積極的に参加し、熊本大学病院との連携をすすめることで情報を交換し、地域でも最新の質の高いがん医療が提供できるように努めている。

診断年別登録件数(参考)

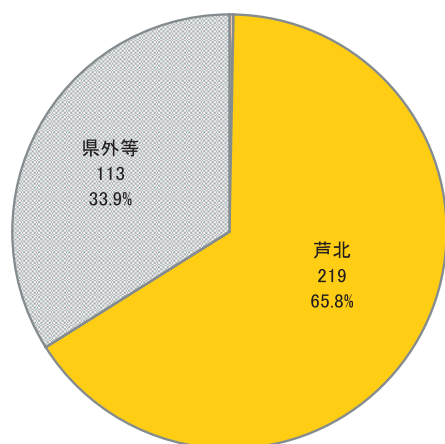


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

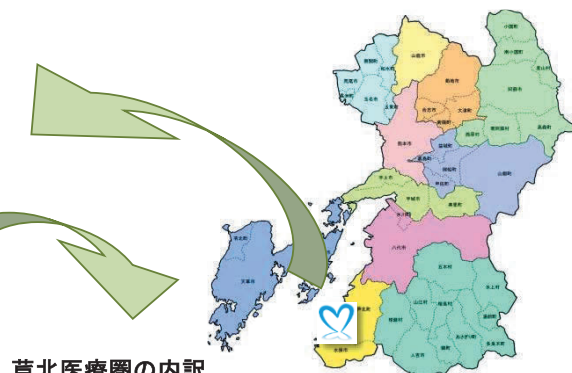
① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

水俣市立総合医療センター (333件)

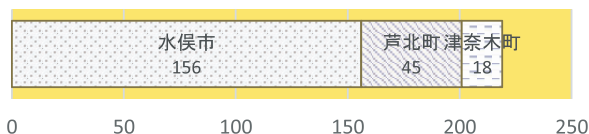
※ 全般において3件以下は*又は非表示



※ 菊池は1~3件



芦北医療圏の内訳

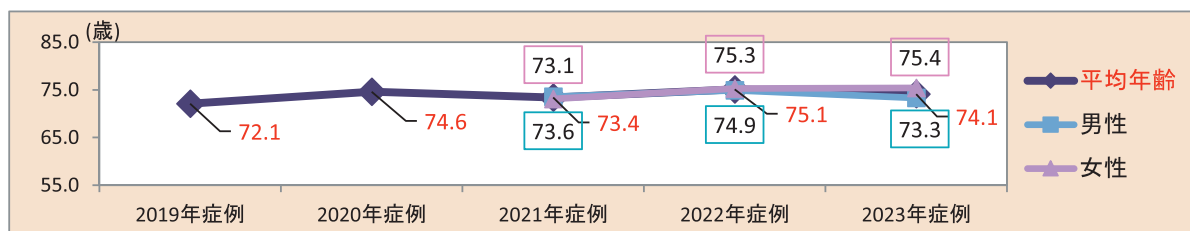


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)			有明			阿蘇			球磨		
熊・上 (上益城)			鹿本			八代			天草		
宇城			菊池	該当部位	*	芦北	大腸	36	県外等	皮膚	25
							肺	28		肺	24
							乳房	26		大腸	14
							胃	23		前立腺	10
							その他	21		胃	9

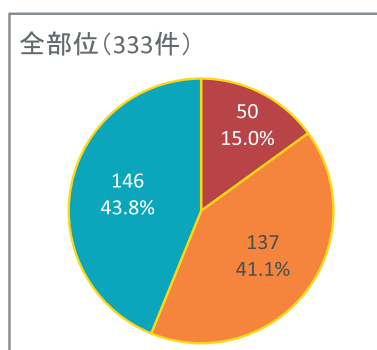
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

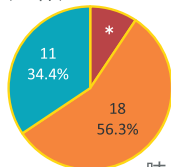


③ 発見経緯 5大部位の内訳

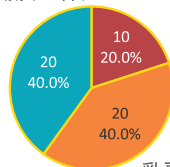
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



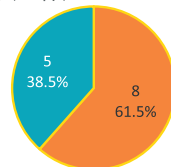
胃(32件)



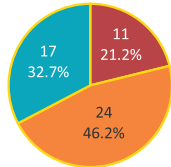
大腸(50件)



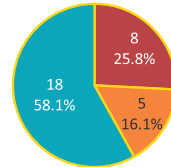
肝(13件)



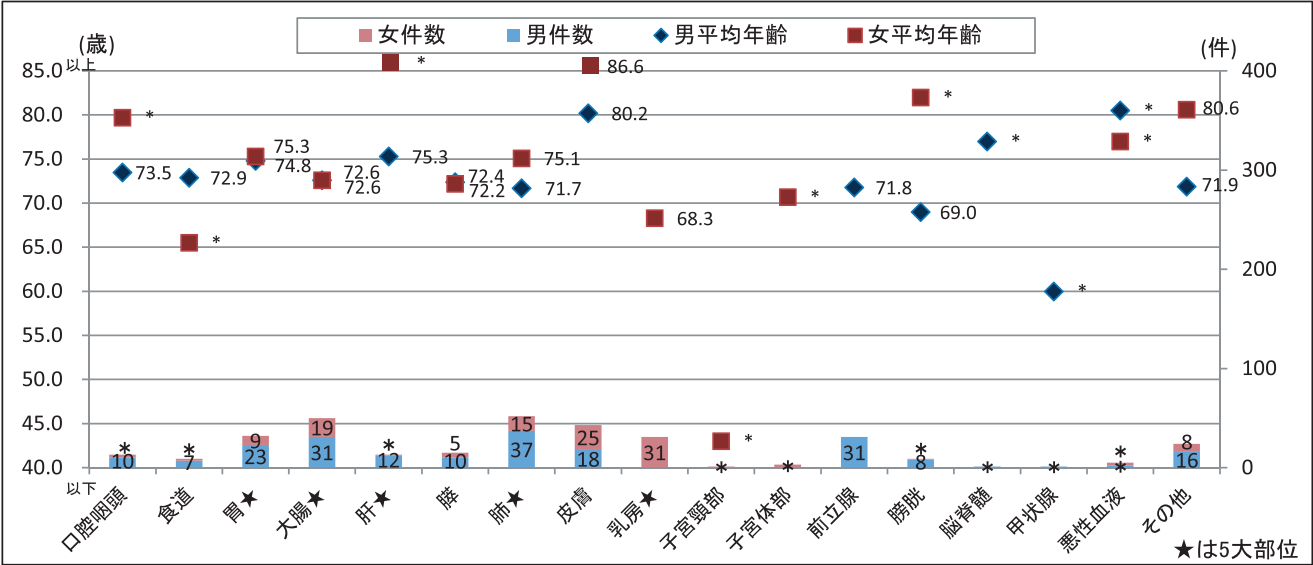
肺(52件)



乳房(31件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



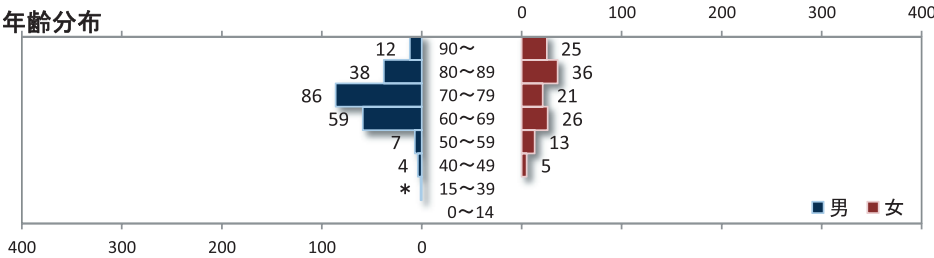
男性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
肺	37	該当部位	該当部位	該当部位
大腸	31		各*	各*
前立腺	31			
胃	23			
皮膚	18			
その他	16			
肝	12	計	4	計
口腔咽頭	10			7
膵	10			
膀胱	8			
食道	7			
悪性血液	*			
脳脊髄	*			
甲状腺	*			
乳房				
子宮頸部				
子宮体部				
計	207			

60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
肺	13	大腸	7
前立腺	13	肺	7
大腸	8	前立腺	6
胃	5	胃	5
その他	5	肝	4
該当部位	各*	該当部位	各*
計	59	計	38



女性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
乳房	31		該当部位	該当部位
皮膚	25		各*	乳房
大腸	19			該当部位
肺	15			各*
胃	9			
その他	8			
膵	5			
口腔咽頭	*			
子宮体部	*			
悪性血液	*			
食道	*			
肝	*			
子宮頸部	*			
膀胱	*			
前立腺	*			
脳脊髄	*			
甲状腺	*			
計	126			

60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
乳房	6	皮膚	13
大腸	5	乳房	7
該当部位	各*	肺	5
計	26	計	36



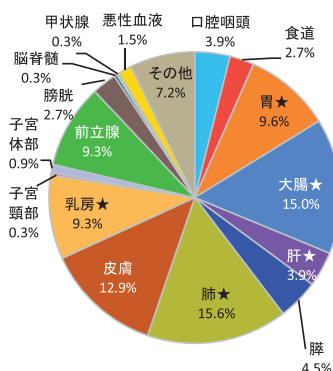
Ⅱ 施設別統計

水俣市立総合医療センター

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	15	17	10	14	13
食道	7	9	6	11	9
胃★	31	26	21	28	32
大腸★	55	64	51	45	50
肝★	17	16	11	7	13
膵	22	16	8	16	15
肺★	71	49	77	57	52
皮膚	36	19	39	25	43
乳房★	35	29	32	35	31
子宮頸部	*	7	6	*	*
子宮体部	4	*	6	*	*
前立腺	49	31	34	26	31
膀胱	22	20	19	17	9
脳脊髄	*	7	7	*	*
甲状腺	*				*
悪性血液疾患	*	4	4	10	5
その他	20	28	29	28	24
計	391	345	360	326	333

2023年診断症例 主要部位別割合



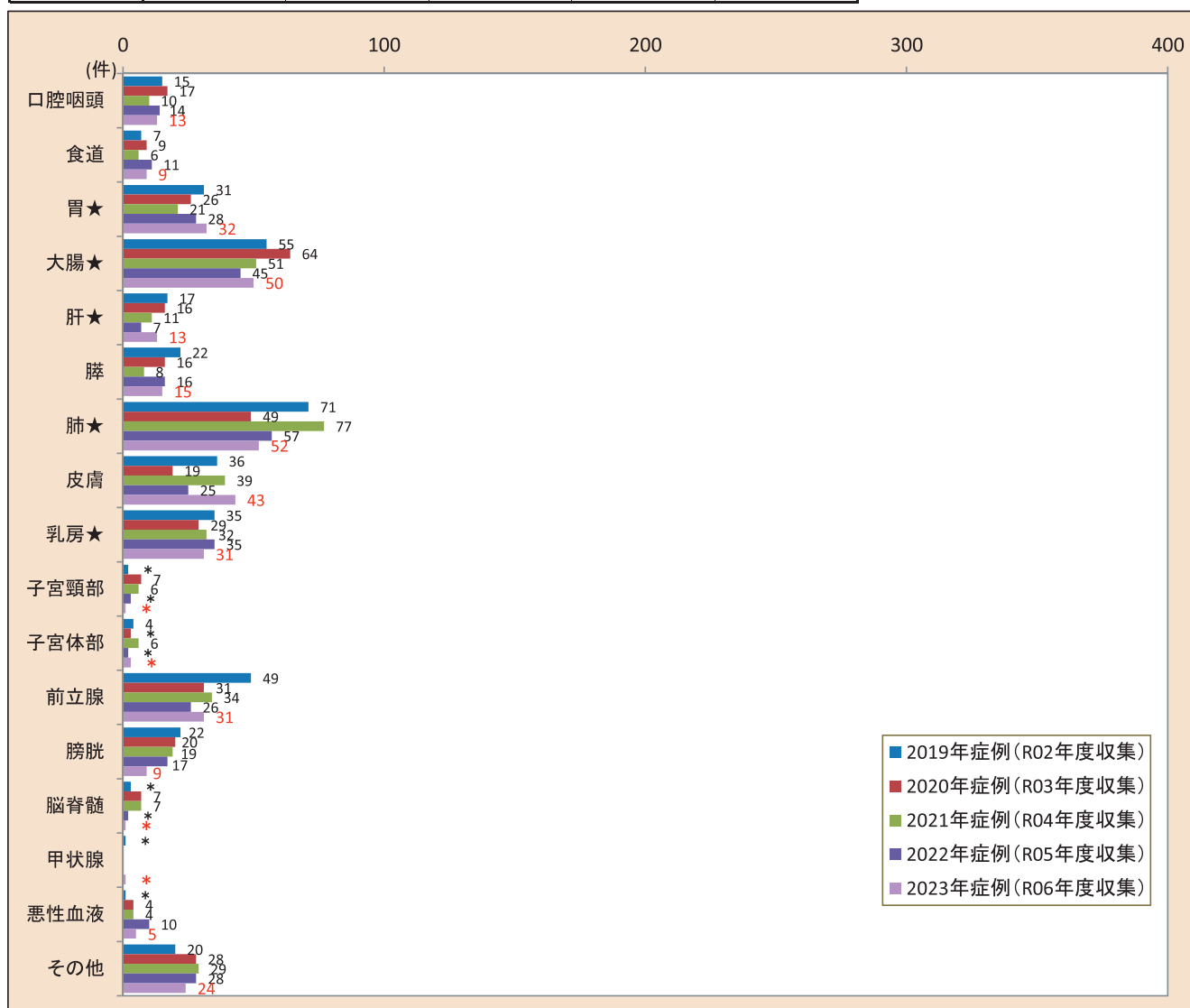
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

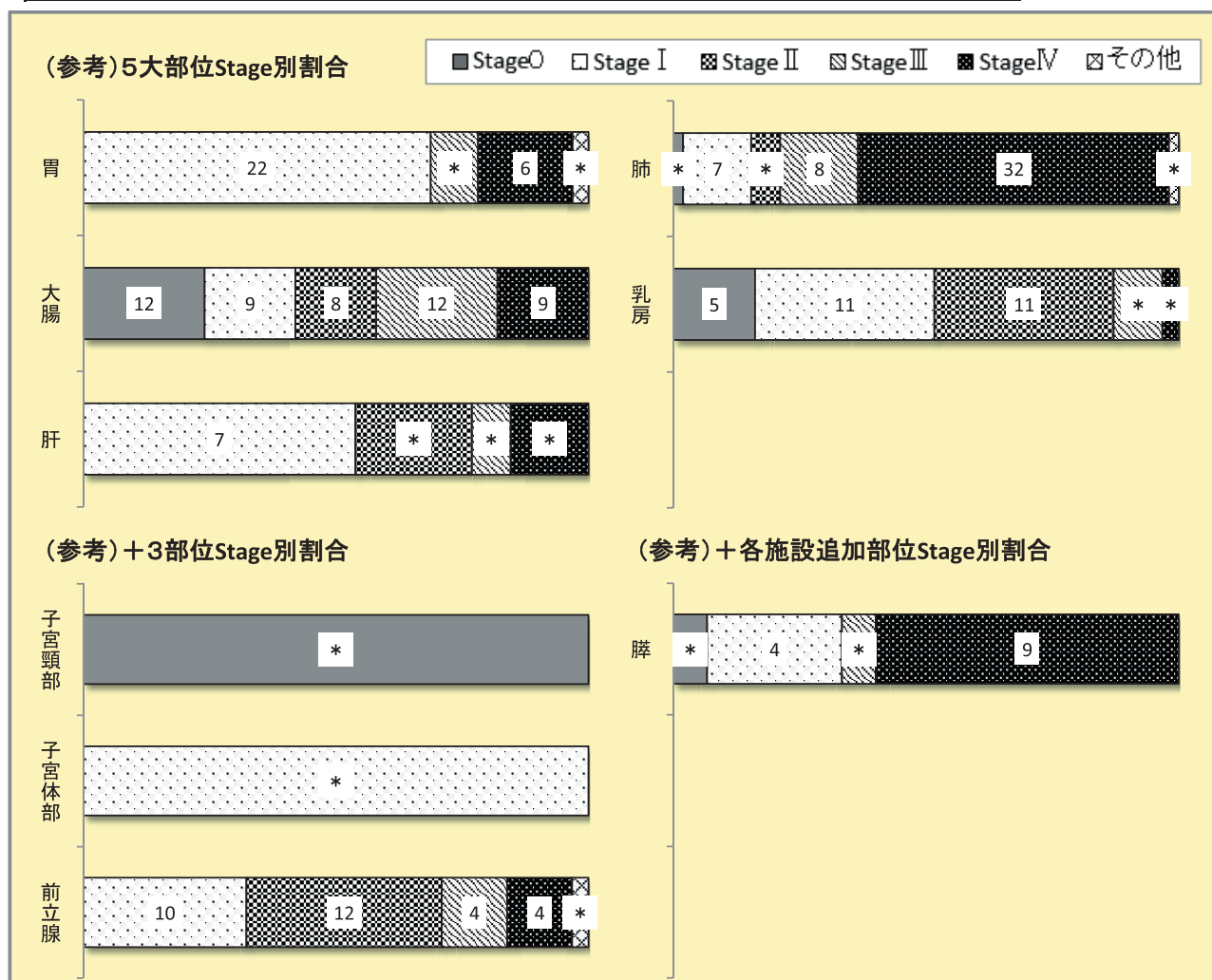
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	13	*	4	*	*	*	*
食道	9		*	*	*	*	*
胃★	32		22		*	6	*
大腸★	50	12	9	8	12	9	
肝★	13		7	*	*	*	
膵	15	*	4		*	9	
肺★	52	*	7	*	8	32	*
皮膚	43	7	29	6		*	
乳房★	31	5	11	11	*	*	
子宮頸部	*	*					
子宮体部	*		*				
前立腺	31		10	12	4	4	*
膀胱	9	6		*			
脳脊髄	*						*
甲状腺	*			*			
悪性血液疾患	5		*		*		*
その他	24	4	8	*	*	*	4
計	333	39	119	52	41	70	12



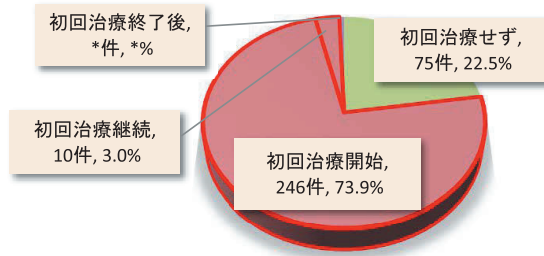
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

水俣市立総合医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	75
2初回治療開始	246
3初回治療継続	10
4初回治療終了後	*
8その他	
計	333



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計

※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

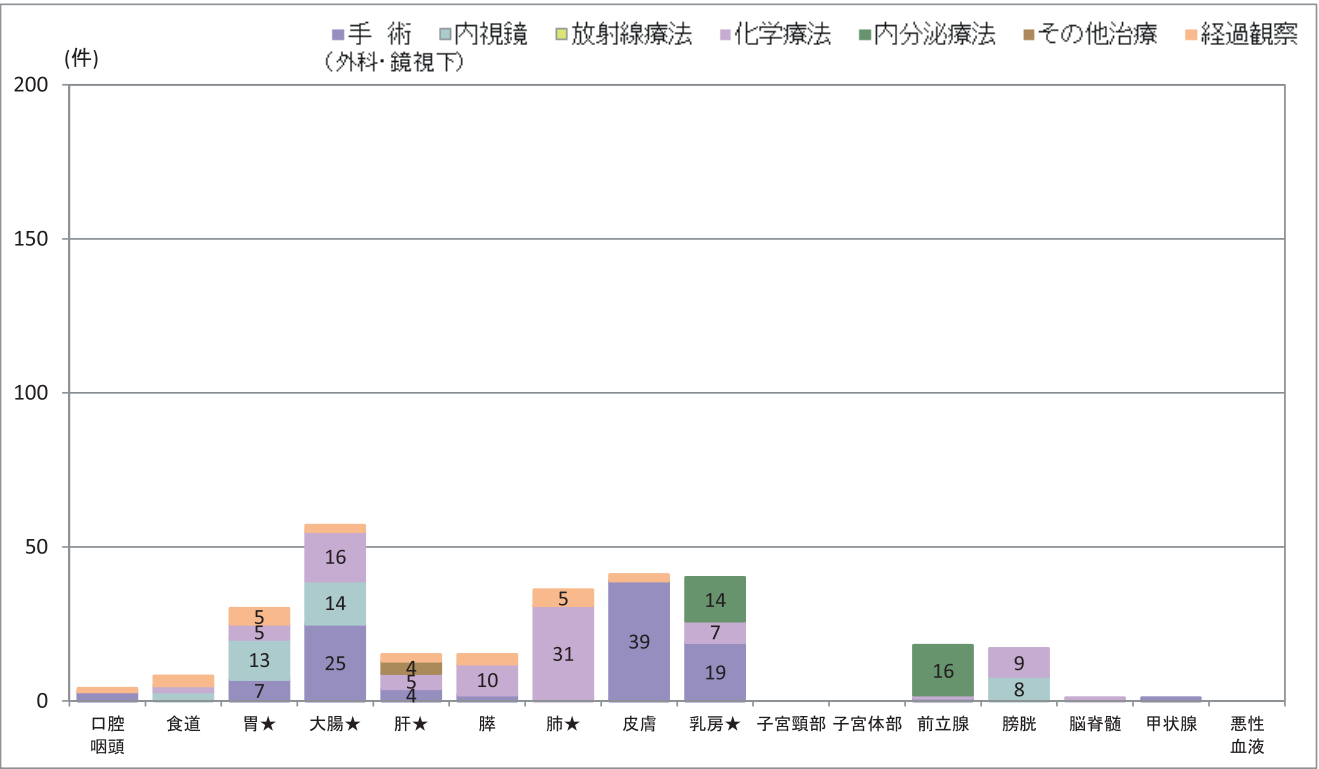
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

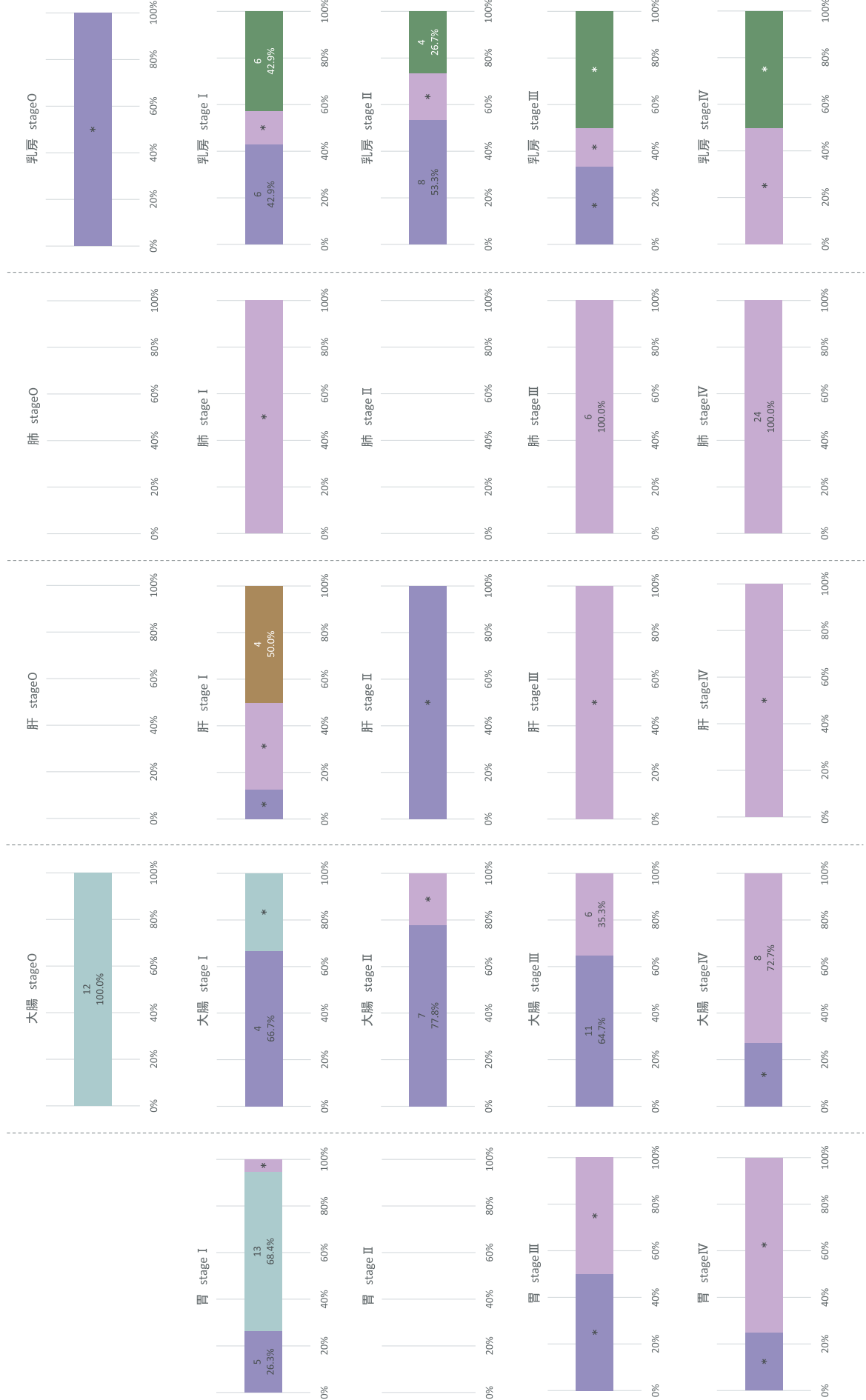
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	*						*	4	66.7%	33.3%	0.0%
食道		*		*			*	8	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	7	13		5			5	30	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	25	14		16			*	57	97.4%	2.6%	0.0%
肝★	4			5		4	*	15	100.0%	0.0%	0.0%
膵	*			10			*	15	100.0%	0.0%	0.0%
肺★				31			5	36			
皮膚	39						*	41	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	19			7	14			40	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺	*			*	16			18	0.0%	100.0%	0.0%
膀胱		8		9				17	75.0%	25.0%	0.0%
脳脊髄				*				*			
甲状腺	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患								0			
計	101	38	0	87	30	4	23	283			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUIC08版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法
 ■ 化学療法 ■ 内分泌療法 ■ その他治療



Ⅱ 施設別統計
 水俣市立総合医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名		医療法人創起会 くまもと森都総合病院
-------	---	--------------------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

所在地	熊本市中央区大江3-2-65		
病床数	199床(一般199床)		
追加情報			
診療科数	21科		
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07	がん登録開始基準日	2008.04.01
平均在院日数	9.2(日)		
入院患者数	4,885(人)		
外来患者延数	86,682(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	15
該当年の対象候補調査件数(ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 12,000(件/概算)		
院内がん登録件数	703(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

2023年診断症例として703件のがん登録を行った。

【当院の症例数】

2023年データでは、乳がんが276例(39.3%)と多く、悪性血液疾患131例(18.6%)、子宮頸がん97例(13.8%)、肝がん43例(6.1%)、大腸がん28例(4.0%)と合わせて全体のほぼ8割を占めている。その他は肺がん25例(3.6%)、皮膚がん25例(3.6%)、子宮体がん21例(3.0%)の順に多かった。

【患者の年齢層】

登録患者の平均年齢は65.2歳(男性73.6歳、女性62.6歳)。男女比は約2:8と女性が多い傾向にあった。主な内訳は乳がんが63.1歳、悪性血液疾患73.1歳、子宮頸がん43.0歳、肝がん73.2歳、大腸がん76.3歳であった。

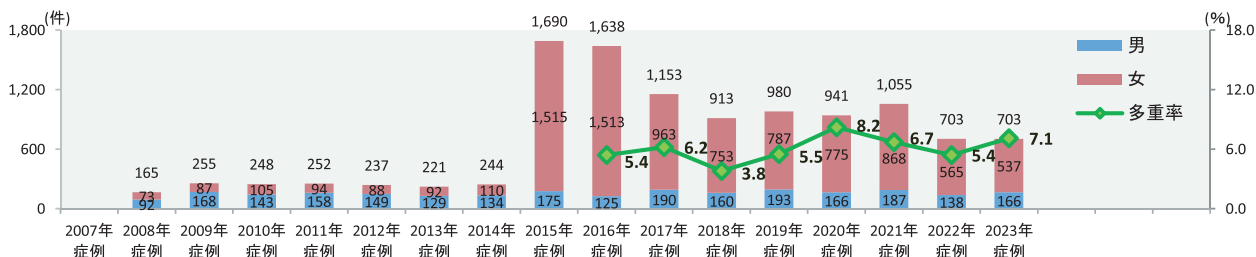
【患者の医療圏】

患者住所は、半数以上(63.9%)が熊本市内だったが、その他にも菊池11.1%、上益城5.1%、宇城4.3%、阿蘇3.4%、天草3.1%、有明2.3%などの医療圏からの受診が多い。

【部位別治療内容】

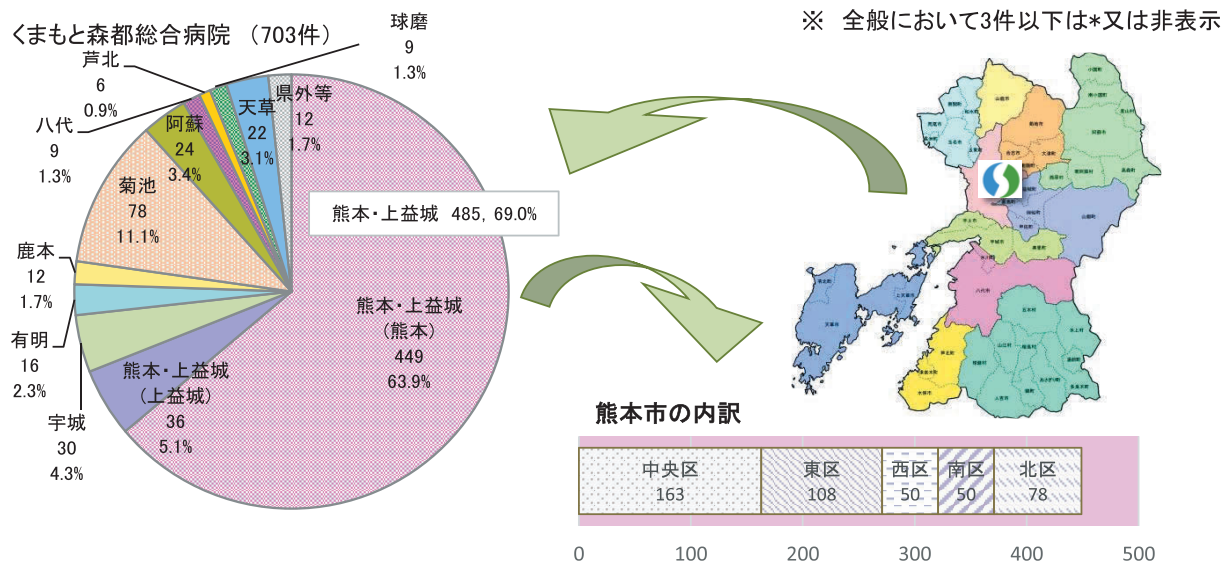
乳がんに対しては手術療法、化学療法、内分泌療法と集学的に治療が実施されている。造血器腫瘍は、化学療法が施行されており、自己血末梢血幹細胞移植を併用した大量化学療法も施行されている。皮膚がん、子宮がん、胃がん、大腸がんは手術療法を中心とした治療が行われている。肝臓がんについては他院で治療後の後治療目的にて紹介になる場合が多いため手術症例は少なく、TACEなどを含む化学療法を施行した症例が多くなっている。

診断年別登録件数(参考)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

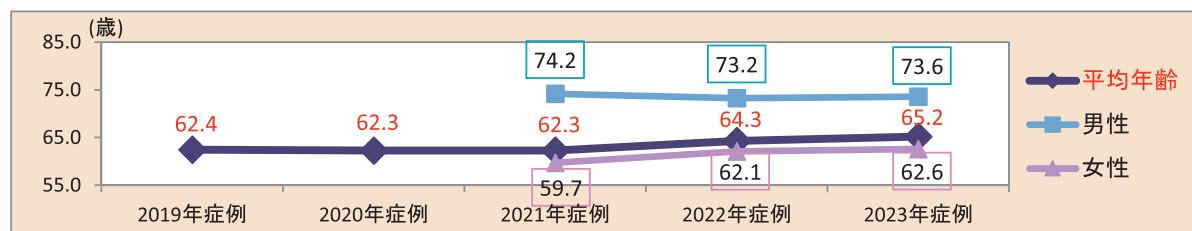


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	乳房	153	有明	乳房	10	阿蘇	悪性血液	13	球磨	乳房	8
	悪性血液	80		該当部位	各*		乳房	8		該当部位	*
	子宮頸部	76					該当部位	各*			
	肝	29									
	大腸	21									
熊・上 (上益城)	悪性血液	12	鹿本	乳房	8	八代	乳房	5	天草	乳房	8
	乳房	11		該当部位	各*		該当部位	各*		悪性血液	7
	該当部位	各*								該当部位	各*
宇城	乳房	19	菊池	乳房	35	芦北	該当部位	各*	県外等	乳房	8
	該当部位	各*		子宮頸部	13					該当部位	各*
				悪性血液	13						
				肝	5						
				該当部位	各*						

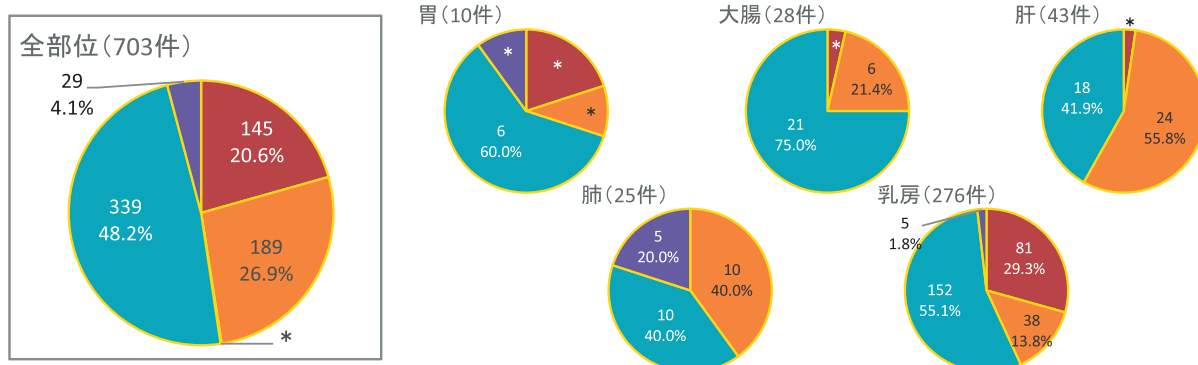
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

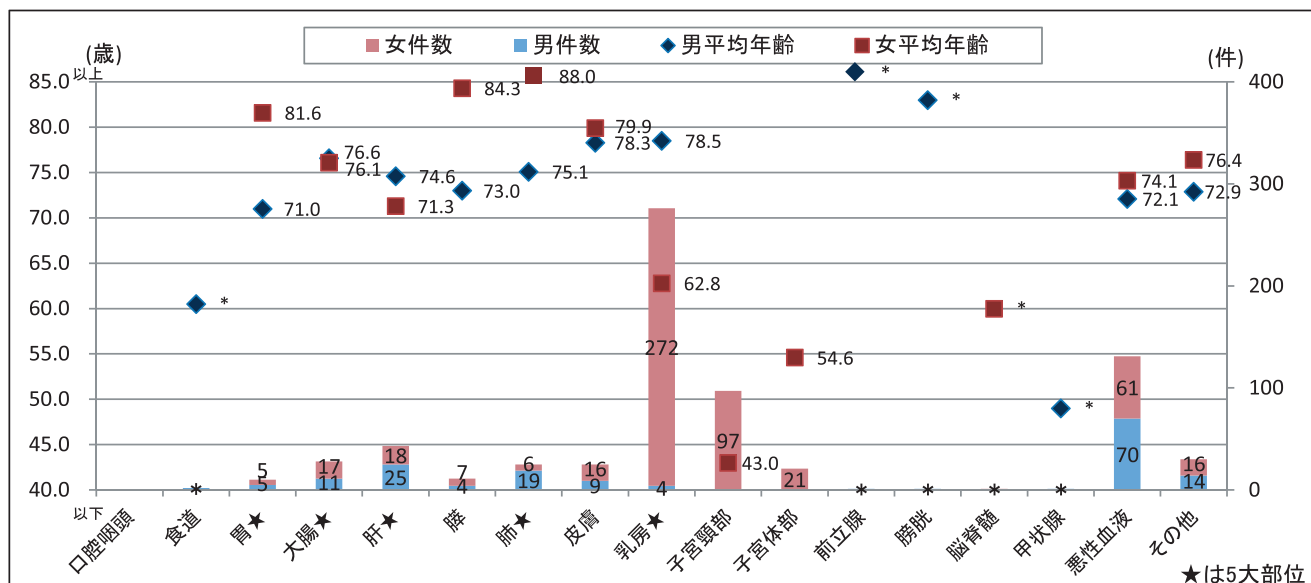


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

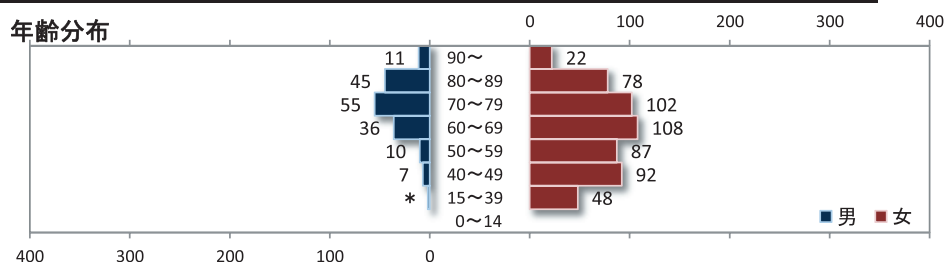


男性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
悪性血液	70	該当部位	各*	悪性血液
肝	25			該当部位
肺	19			各*
その他	14			
大腸	11			
皮膚	9			
胃	5	計	7	計
脾	4	*		10
乳房	4	60～69歳	70～79歳	80～89歳
食道	*	悪性血液	悪性血液	悪性血液
前立腺	*	肝	肝	肝
膀胱	*	該当部位	肺	該当部位
甲状腺	*	各*	皮膚	各*
口腔咽頭			5	
子宮頸部		該当部位	各4	
子宮体部		など		
脳脊髄		計	55	計
計	166	36	45	11



女性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
乳房	272	子宮頸部	41	乳房
子宮頸部	97	乳房	5	子宮体部
悪性血液	61	該当部位	各*	子宮頸部
子宮体部	21			該当部位
肝	18			各*
大腸	17			
皮膚	16	計	48	計
その他	16			87
脾	7	60～69歳	70～79歳	80～89歳
肺	6	乳房	58	乳房
胃	5	悪性血液	22	悪性血液
脳脊髄	*	子宮頸部	9	大腸
口腔咽頭		大腸	6	該当部位
食道		該当部位	各*	各6
前立腺				4
膀胱		計	102	計
甲状腺		108	78	22
計	537	36	48	11

年齢分布



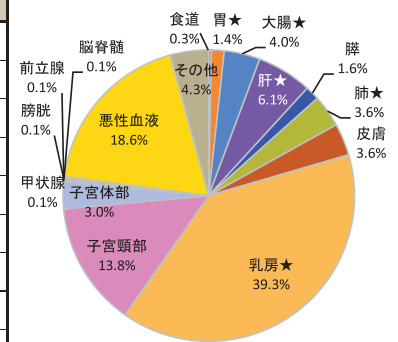
Ⅱ 施設別統計

くもと森都総合病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	*	4	5	*	
食道	*	*	6	*	*
胃★	23	18	26	15	10
大腸★	38	42	35	30	28
肝★	41	48	39	36	43
膵	14	19	9	14	11
肺★	13	13	14	19	25
皮膚	54	31	26	15	25
乳房★	502	502	468	311	276
子宮頸部	111	89	142	96	97
子宮体部	11	14	57	16	21
前立腺	*	*	*	*	*
膀胱	*	*	*	*	*
脳脊髄	*	*	*	*	*
甲状腺					*
悪性血液疾患	147	134	129	111	131
その他	18	23	93	36	30
計	980	941	1,055	703	703

2023年診断症例 主要部位別割合



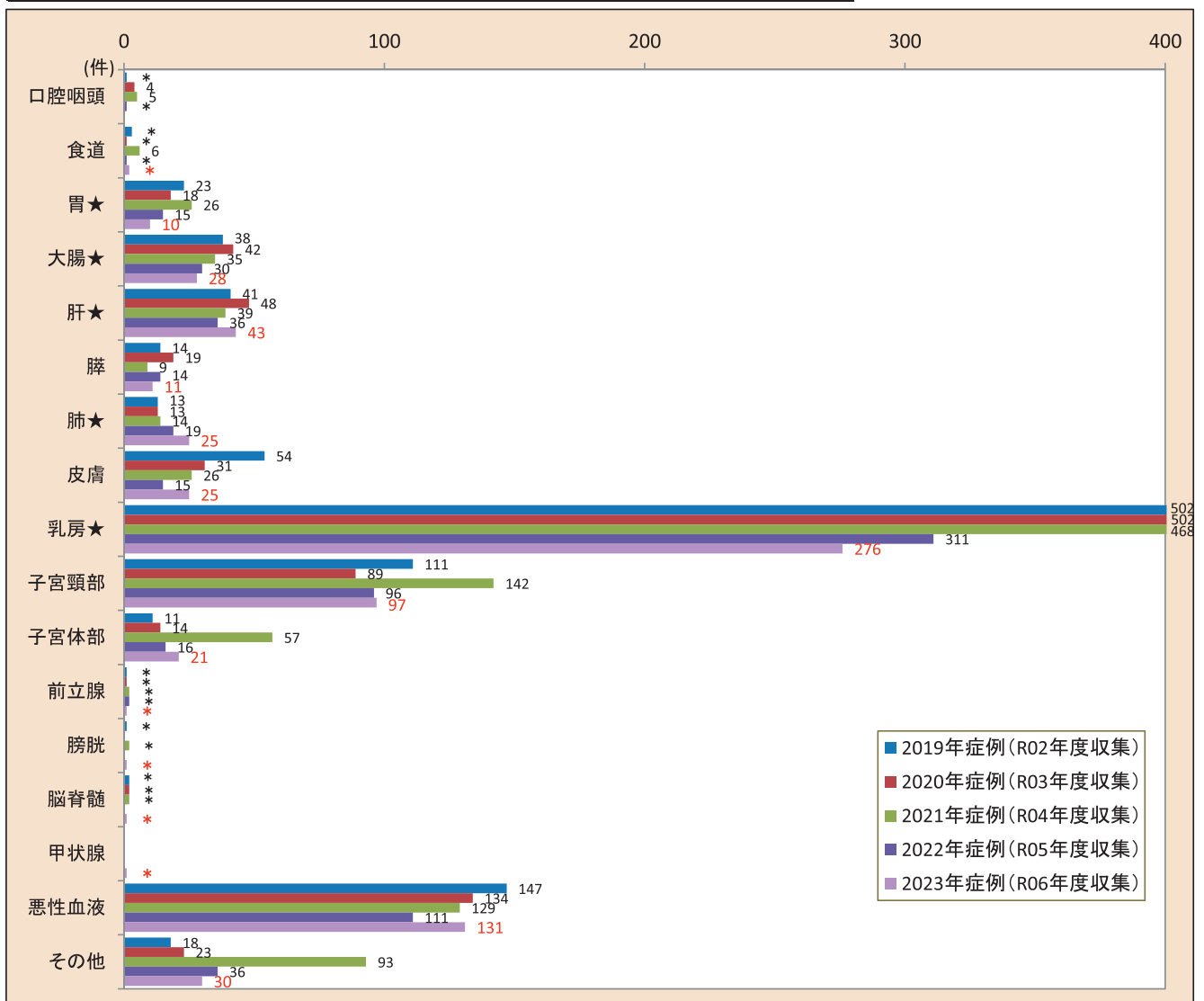
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

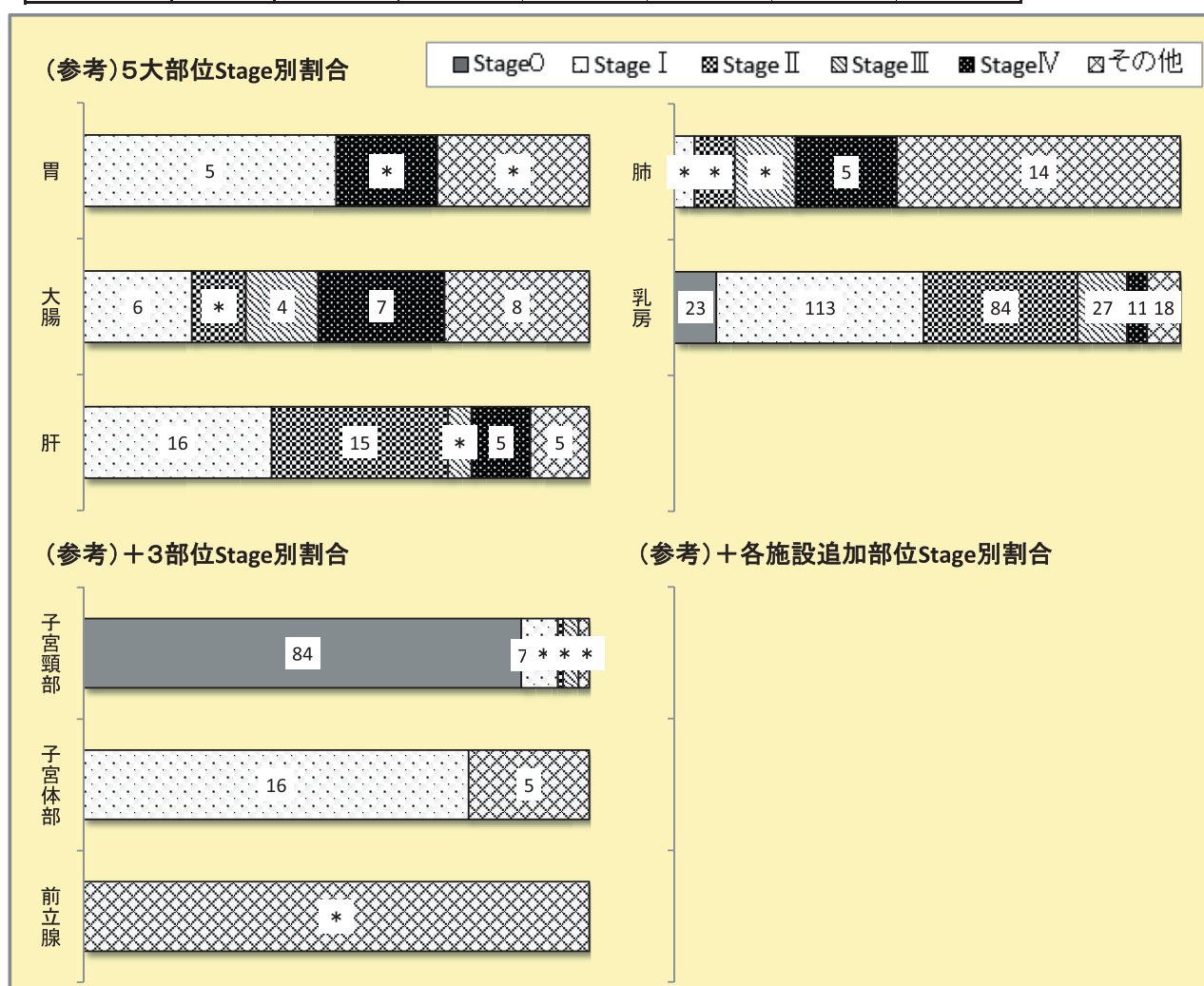
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	0						
食道	*						*
胃★	10		5			*	*
大腸★	28		6	*	4	7	8
肝★	43		16	15	*	5	5
膵	11		*			5	5
肺★	25		*	*	*	5	14
皮膚	25	5	8	*	*		9
乳房★	276	23	113	84	27	11	18
子宮頸部	97	84	7	*	*		*
子宮体部	21		16				5
前立腺	*						*
膀胱	*						*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*						*
悪性血液疾患	131		8	10	10	10	93
その他	30	*		*	*	*	22
計	703	113	181	120	51	48	190



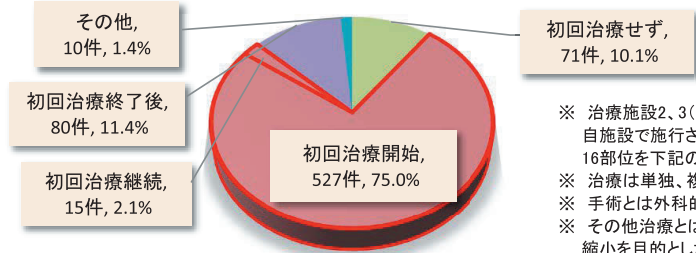
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

くまもと森都総合病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	71
2初回治療開始	527
3初回治療継続	15
4初回治療終了後	80
8その他	10
計	703



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計

※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

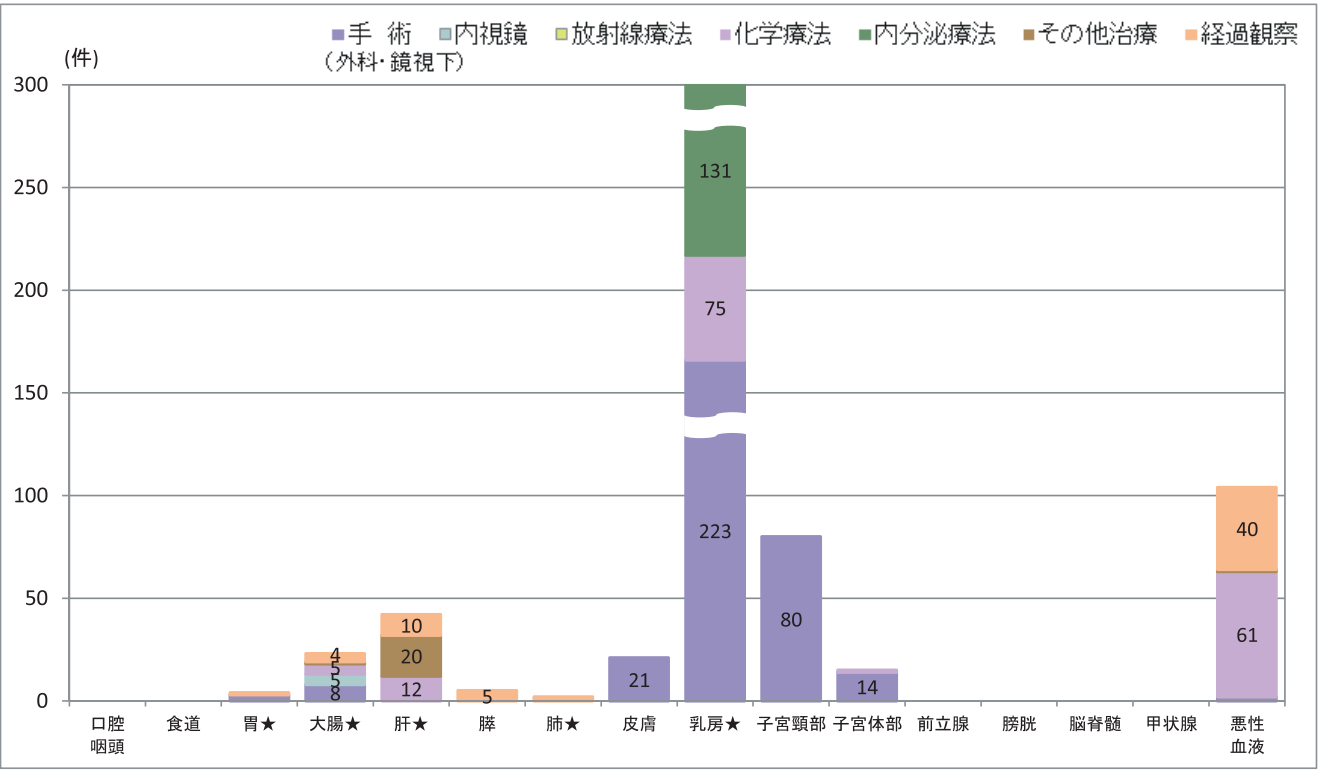
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

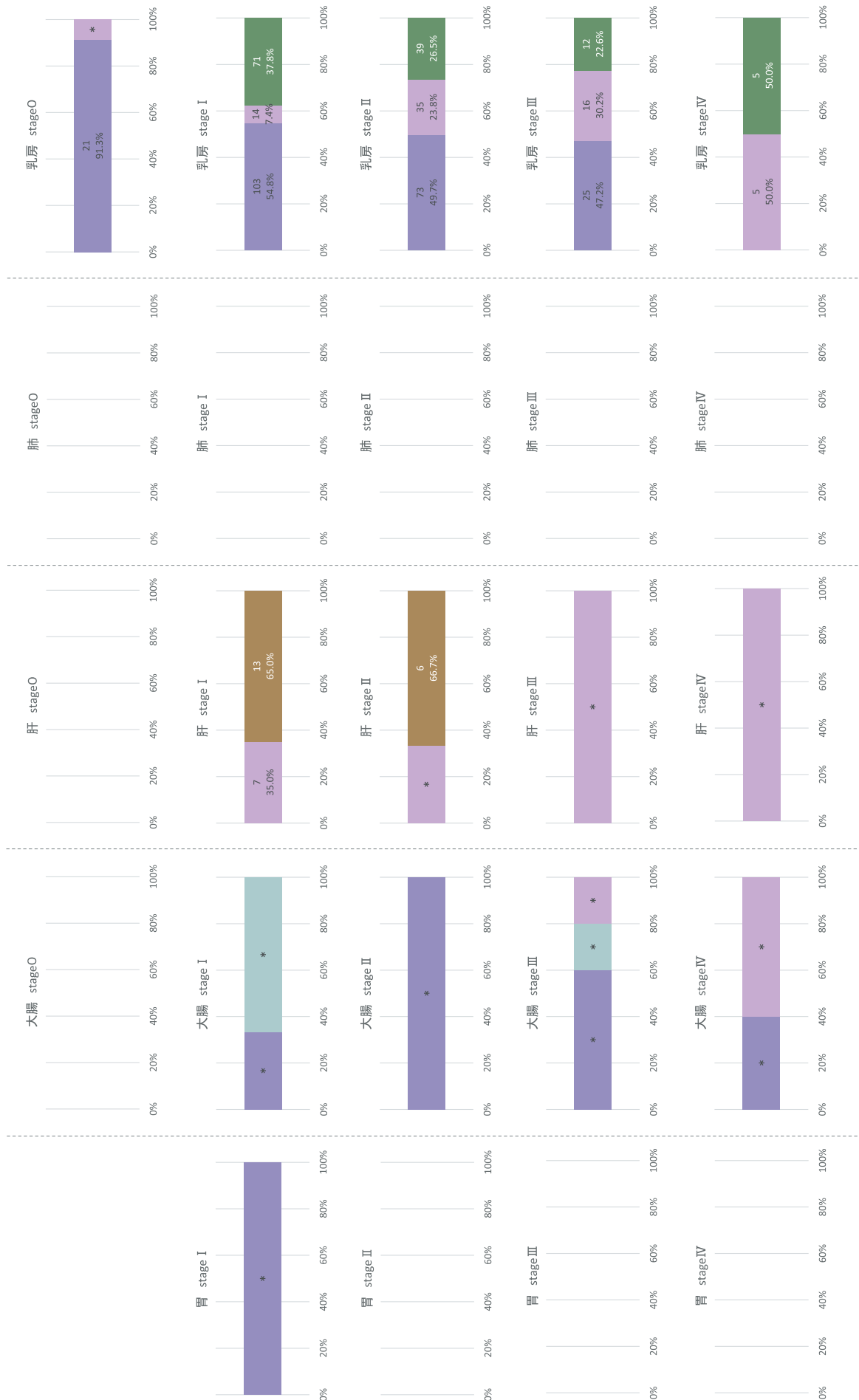
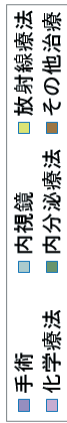
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・手術 鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★	*						*	4	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	8	5		5		*	4	23	84.6%	15.4%	0.0%
肝★				12		20	10	42			
膵							5	5			
肺★							*	*			
皮膚	21							21	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	223			75	131			429	99.1%	0.4%	0.4%
子宮頸部	80							80	96.3%	2.5%	1.3%
子宮体部	14			*				15	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患	*			61		*	40	104	100.0%	0.0%	0.0%
計	351	5	0	154	131	22	62	725			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

- ※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



Ⅱ 施設別統計
くまもと森都総合病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 ―2023年診断症例―

医 療 機 関 名	一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター		
○基本情報			
【令和5(2023)年12月現在】			
所 在 地	熊本市中央区本荘5丁目16-10		
病 床 数	227床(一般227床)		
追加情報	地域包括ケア病棟28床		
診 療 科 数	15科		
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07	がん登録開始基準日	2011.01.01
平均在院日数	10.0(日)		
入院患者数	5,419 (人)		
外来患者延数	50,775 (人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	14
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 7,827 (件)		
院内がん登録件数	510 (件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 2 / 他 1 (名)		

○医療機関からのコメント

【症例数】

2023年の症例数は510件であり、前年より101件増加した。コロナ禍の影響もあり例年より症例数・外来患者延数が減少した年が続いていたが、今回は新型コロナウイルス感染症も5類へ移行したこと等の影響もあり、症例数・外来患者延数ともに増加していた。男女別では、男性273件(前年195件)、女性237件(前年214件)で、男女ともに件数は増加していた。

【年齢】

全体の平均年齢は、73.9歳(男性73.4歳、女性74.5歳)であった。年齢分布では、前年と同様に男女ともに70歳代の罹患数が多かった。

【診断時住所】

熊本市が全体の86.7%を占め、次いで菊池(5.3%)、上益城(3.1%)となった。当院は熊本市医師会病院であり、医師会員からの紹介患者が主体であり、熊本市が大半を占めている。

【上位5部位】

大腸(32.7%)、肺(17.5%)、胃(11.6%)、膵(8.6%)、乳房(8.2%)であった。前年と比較すると、がん登録症例数増加に比例して各部位の症例数も増加しており、特に大腸と肺が増加していた。上位5部位の順位は、前年と変わらない順位であった。その他の部位の割合も10.4%あり、胆道系の割合が一番高かった。また当院では、膵が上位5部位に入るのが特徴的である。

【初回治療、上位5部位別病期分類(初回治療開始、継続症例)】

初回治療の44.7%(前年50.9%)を手術が占め、化学療法30.6%(前年32.4%)、内視鏡治療18.9%(前年11.6%)の割合であった。

＜大腸＞手術の内、83.2%が腹腔鏡下で行われ前年より高い割合であった。術後化学療法を施行している症例も多くあった。また、内視鏡治療の件数は前年より倍の件数であり、ステージ0～Ⅰの割合が高かった。

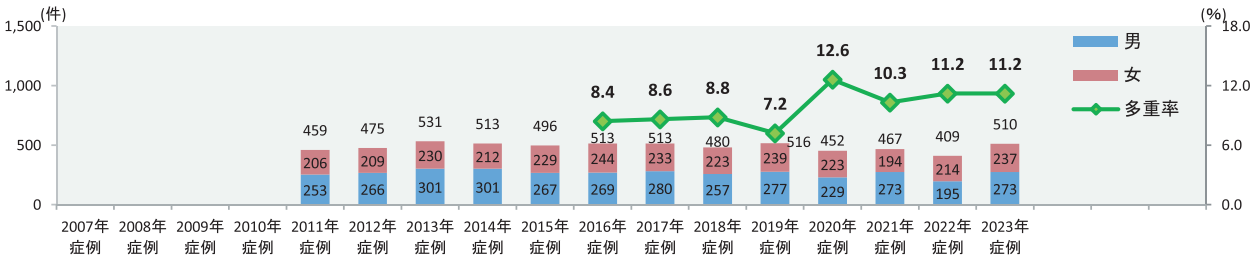
＜肺＞初回治療は化学療法が行われており、ステージⅣの割合が71.0%と一番高かった。

＜胃＞手術や内視鏡治療が多く行われており、手術の内、80.0%が腹腔鏡下で行われ前年より高い割合であった。また、内視鏡治療の件数は前年より倍の件数であり、すべてステージⅠであった。

＜膵＞手術では、SSPPDやDPが多く施行されており、術後化学療法としてS-1療法が施行されていた。ステージⅢ～Ⅳに対する化学療法では、FOLFIRINOX療法やアブラキサン+GEM療法が施行されていた。

＜乳房＞前年より症例数増加に比例し手術件数も増加しており、地域医療機関との連携が深く関わっていると考えられる。

診断年別登録件数(参考)

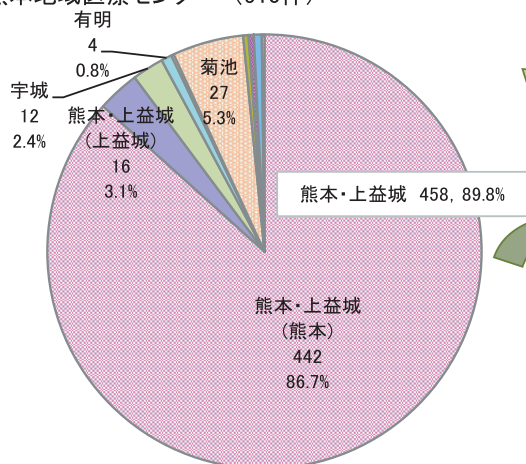


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

熊本地域医療センター (510件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示



熊本市の内訳

中央区	東区	西区	南区	北区
177	50	98	62	55

※ 鹿本、阿蘇、八代、天草、県外等は1~3件

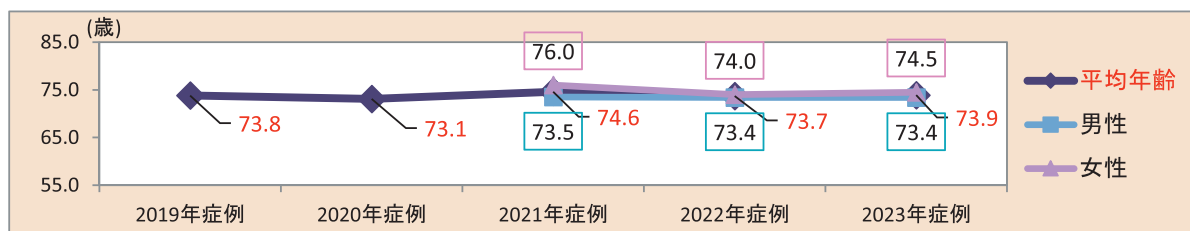
0 100 200 300 400 500

◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	大腸	149	有明	該当部位	各*	阿蘇	該当部位	各*	球磨		
	肺	78									
	胃	53									
	その他	50									
	膵	34									
熊・上 (上益城)	大腸	5	鹿本	該当部位	*	八代	該当部位	*	天草	該当部位	各*
	該当部位	各*									
宇城	大腸	4	菊池	乳房	9	芦北			県外等	該当部位	*
	該当部位	各*		大腸	7						
				肺	4						
				該当部位	各*						

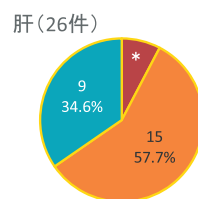
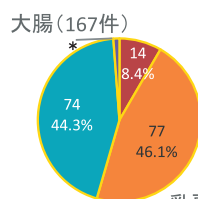
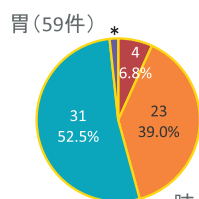
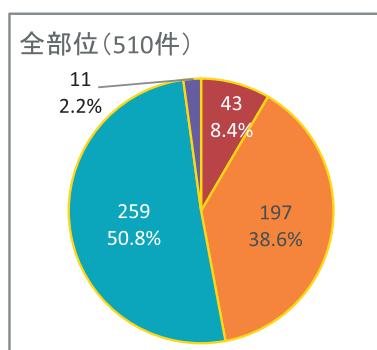
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

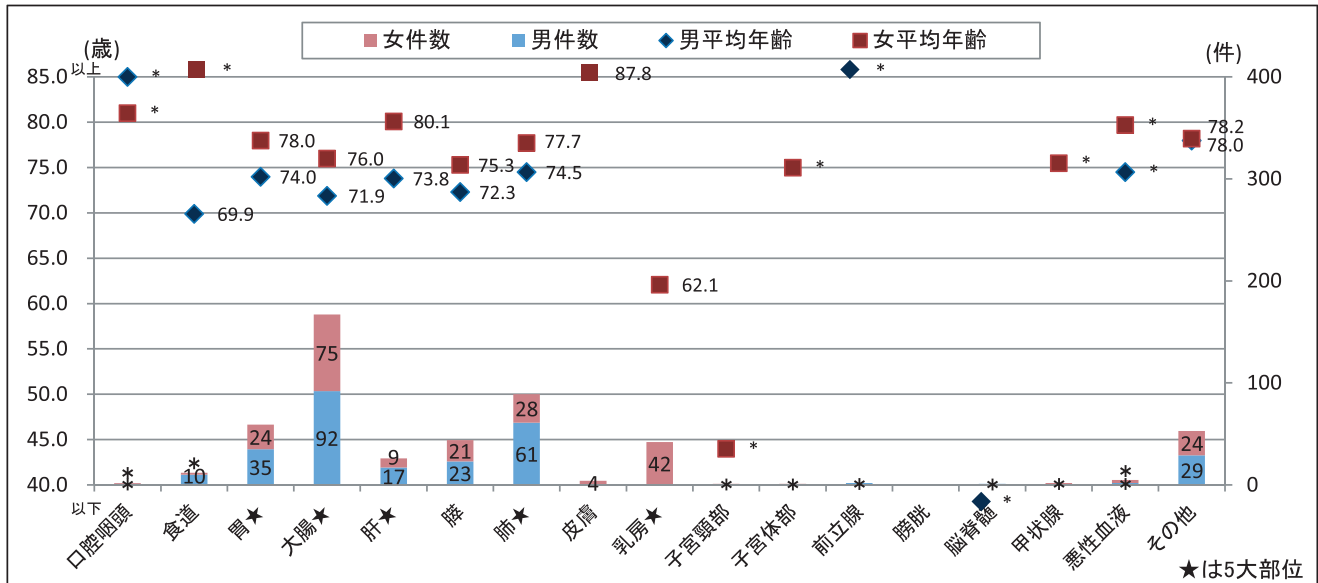


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



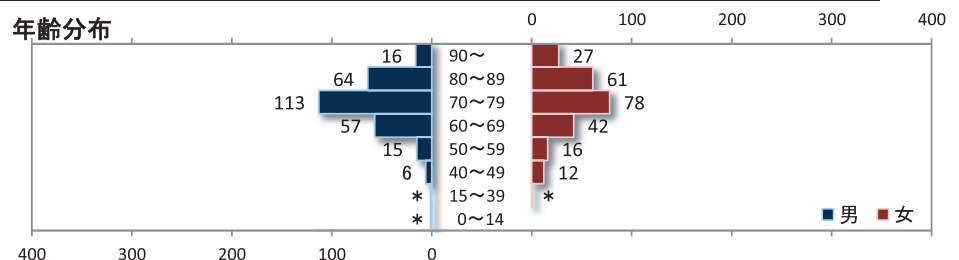
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
大腸	92	該当部位	各*	肺
肺	61	該当部位	各*	該当部位
胃	35			各*
その他	29			
膵	23			
肝	17			
食道	10	計	6	計
前立腺	*			15
悪性血液	*	60～69歳	70～79歳	80～89歳
口腔咽頭	*	大腸	大腸	大腸
脳脊髄	*	膵	肺	肺
皮膚	*	胃	胃	その他
乳房	*	肺	その他	該当部位
子宮頸部	*	該当部位	肝	各*
子宮体部	*	計	など	
膀胱	*	57	113	計
甲状腺	*			16
計	273			



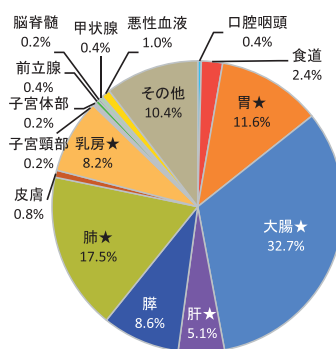
女性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
大腸	75	該当部位	乳房	乳房
乳房	42	該当部位	各*	大腸
肺	28			該当部位
胃	24			*
その他	24			
膵	21			
肝	9	計	12	計
皮膚	4			16
悪性血液	*	60～69歳	70～79歳	80～89歳
食道	*	乳房	大腸	大腸
甲状腺	*	大腸	肺	大腸
口腔咽頭	*	その他	胃	その他
子宮頸部	*	胃	肝	該当部位
子宮体部	*	膵	膵	各*
前立腺	*	該当部位	など	
膀胱	*	計	61	計
脳脊髄	*	42	78	27
計	237			



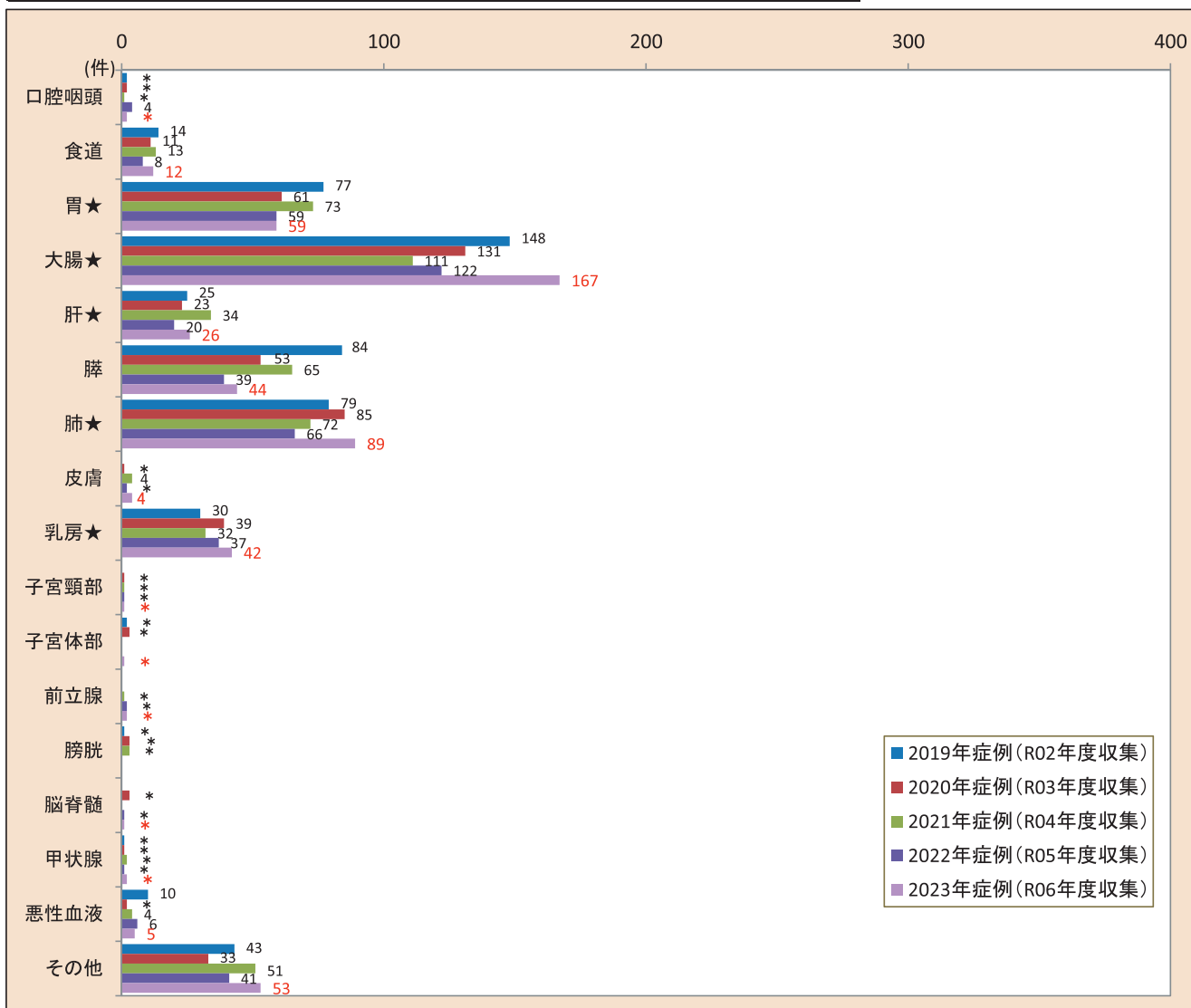
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	*	*	*	4	*
食道	14	11	13	8	12
胃★	77	61	73	59	59
大腸★	148	131	111	122	167
肝★	25	23	34	20	26
膵	84	53	65	39	44
肺★	79	85	72	66	89
皮膚		*	4	*	4
乳房★	30	39	32	37	42
子宮頸部		*	*	*	*
子宮体部	*	*			*
前立腺			*	*	*
膀胱	*	*	*		
脳脊髄		*		*	*
甲状腺	*	*	*	*	*
悪性血液疾患	10	*	4	6	5
その他	43	33	51	41	53
計	516	452	467	409	510

2023年診断症例 主要部位別割合

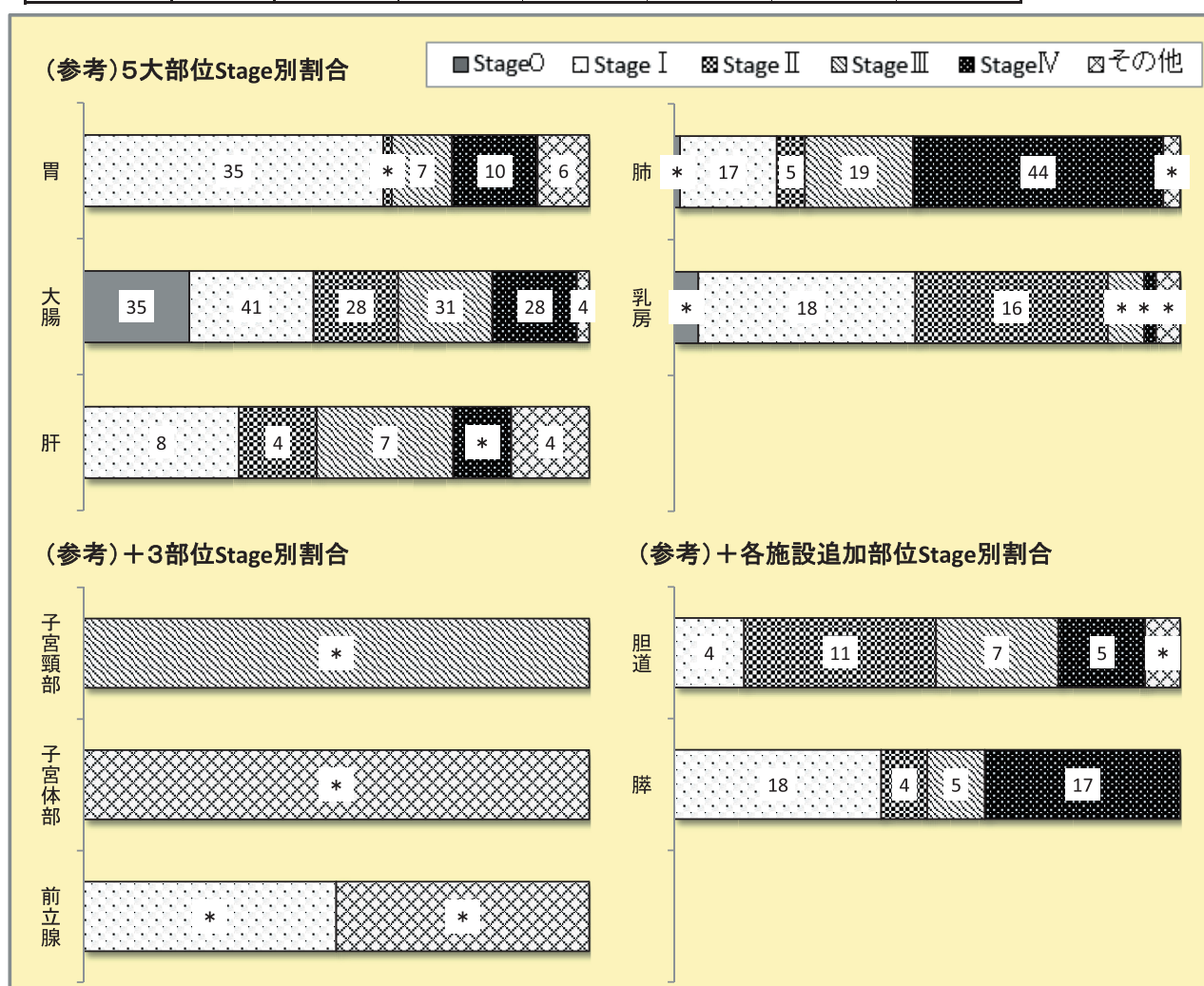


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

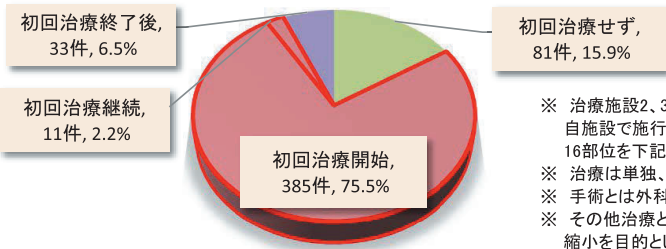
全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	*	*				*	
食道	12	*	*			*	4
胃★	59		35	*	7	10	6
大腸★	167	35	41	28	31	28	4
肝★	26		8	4	7	*	4
膵	44		18	4	5	17	
肺★	89	*	17	5	19	44	*
皮膚	4	*	*	*		*	
乳房★	42	*	18	16	*	*	*
子宮頸部	*				*		
子宮体部	*						*
前立腺	*		*				*
膀胱	0						
脳脊髄	*						*
甲状腺	*				*		*
悪性血液疾患	5		*	*		*	*
その他	53		7	12	14	9	11
計	510	43	150	72	88	118	39



※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

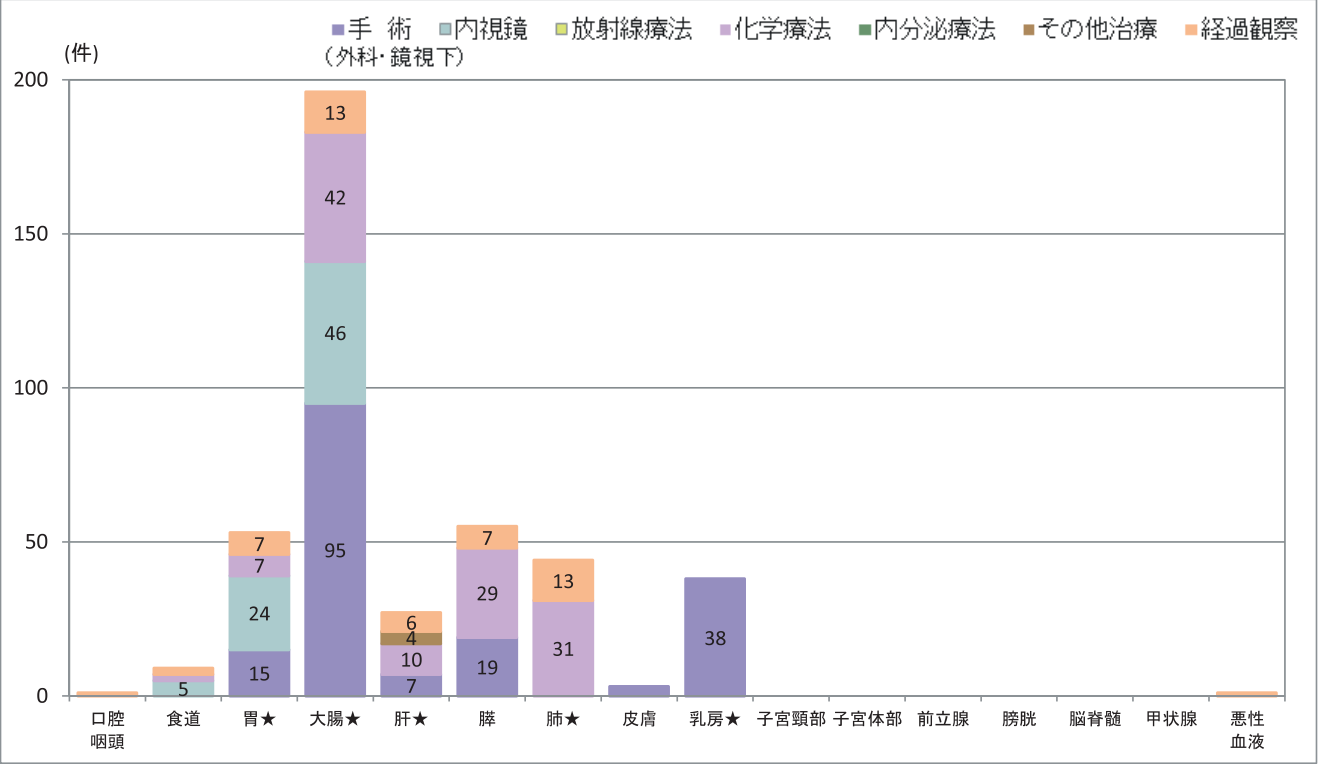
治療施設	件数
1初回治療せず	81
2初回治療開始	385
3初回治療継続	11
4初回治療終了後	33
8その他	
計	510



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

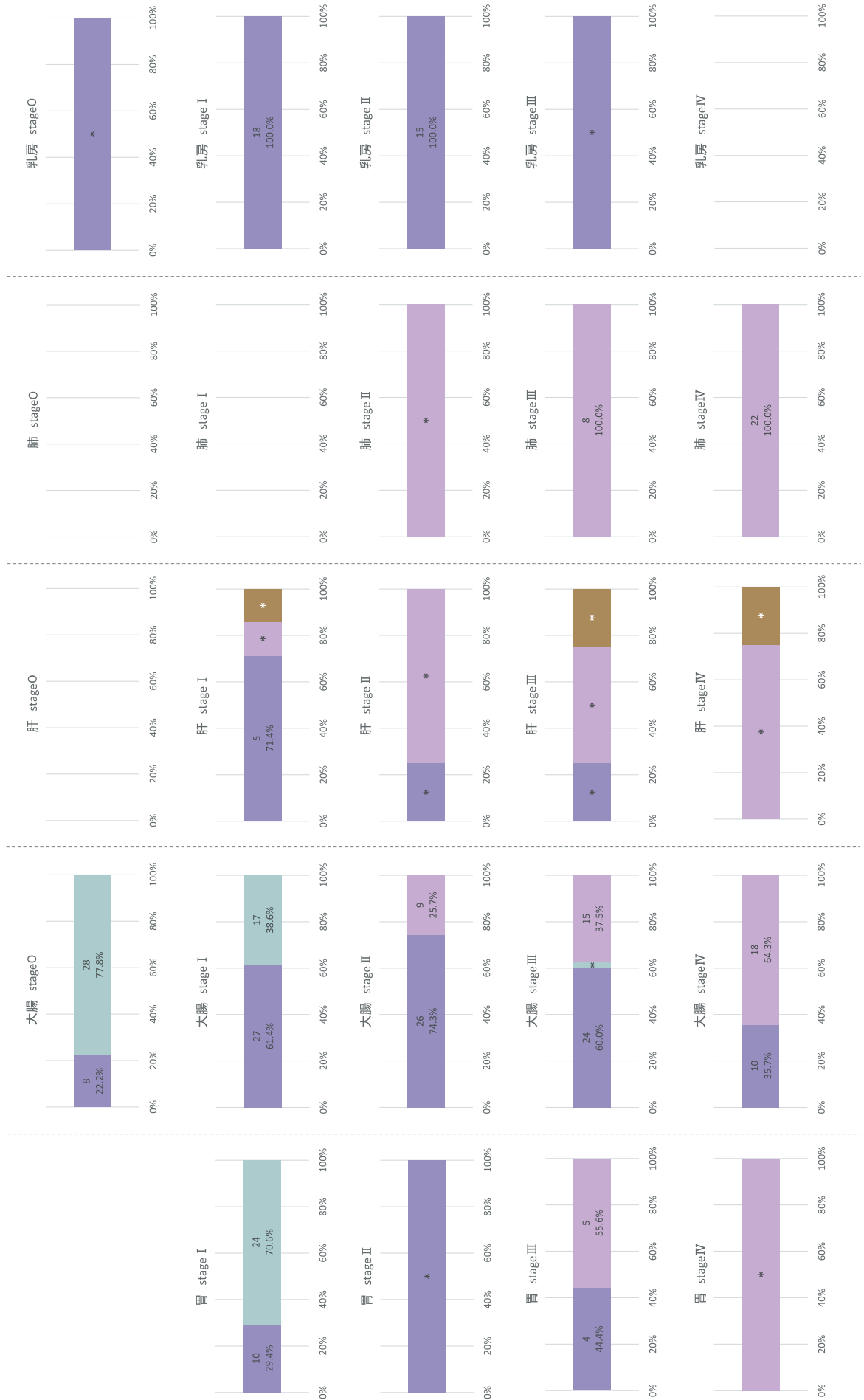
	(外科・手術 ・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭							*	*			
食道		5		*			*	9	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	15	24		7			7	53	97.3%	2.7%	0.0%
大腸★	95	46		42			13	196	93.9%	6.1%	0.0%
肝★	7			10		4	6	27	85.7%	14.3%	0.0%
膵	19			29			7	55	73.7%	26.3%	0.0%
肺★				31			13	44			
皮膚	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	38							38	92.1%	7.9%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患							*	*			
計	177	75	0	121	0	4	50	427			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の 主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUIC08版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法
 ■ 化学療法 ■ 内分泌療法 ■ その他治療



Ⅱ 施設別統計 熊本地域医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名		社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院
-------	---	------------------------------

○基本情報

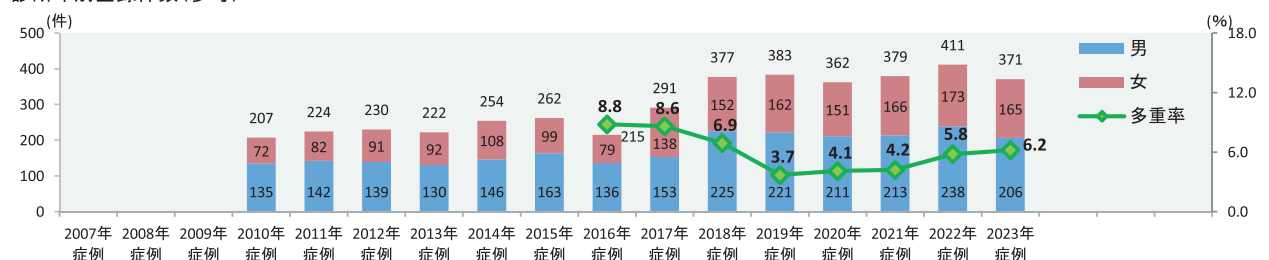
【令和5(2023)年12月現在】

所在地	熊本市中央区大江3丁目2番55号		
病床数	166床(一般166床)		
追加情報			
診療科数	10科		
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07	がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	12.8(日)		
入院患者数	3,948(人)		
外来患者延数	61,800(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	20
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 785(件)		
院内がん登録件数	371(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

【登録件数】院内がん登録を2010年症例より開始し、2023年は371件を登録した(前年比90.3%)。
【発生病位】当院は大腸肛門の専門病院であるため大腸が194件(52.3%)と多くを占める。次いで、その他(肛門管など)が51件(13.7%)である。
【医療圏】熊本市が242件(65.2%)と最も多く、次いで県北部地域(有明、鹿本、菊池、阿蘇)で64件(17.3%)、上益城で24件(6.5%)と3つの地域で88.9%を占めている。また、県外からの受診は14件(3.8%)であった。熊本・上益城医療圏では、当院所在地である熊本市中央区83件(34.3%)、および熊本市東区82件(33.9%)が多い。
【性・年齢】男性は70代が最も多く、女性は70代と80代が最も多い。また、診断時の平均年齢は71.7歳(男性71.3歳、女性72.1歳)と男女ともに昨年より上昇した。
【発見経緯】大腸194件の内訳は自主受診を含むその他が109件(56.2%)と最も多く、次いでがん検診・健診・ドックが67件(34.5%)であった。
【病期分類】大腸においてStage0期が32件(16.5%)、StageI期が54件(27.8%)、StageII期が37件(19.1%)、StageIII期が27件(13.9%)、StageIV期が30件(15.5%)、その他が14件(7.2%)となっている。
【治療】主要部位別治療の大腸において、手術107件(55.2%)、内視鏡57件(29.4%)と観血的治療の割合が高い。ただし、前年より手術件数は増加し(前年比111.5%)、内視鏡件数は減少した(前年比73.1%)。また観血的治療において、原発巣切除(遺残なし)が142件(94.7%)とほとんどを占めている。
【部位】大腸がんの件数194件のうち直腸が97件(50.0%)と多く半数を占めているが、これは当院が大腸がん術後のQOLを保つ肛門括約筋温存術を多く行っていることでその治療を希望し、受診する患者が多いことが要因の一つと考えられる。

診断年別登録件数(参考)

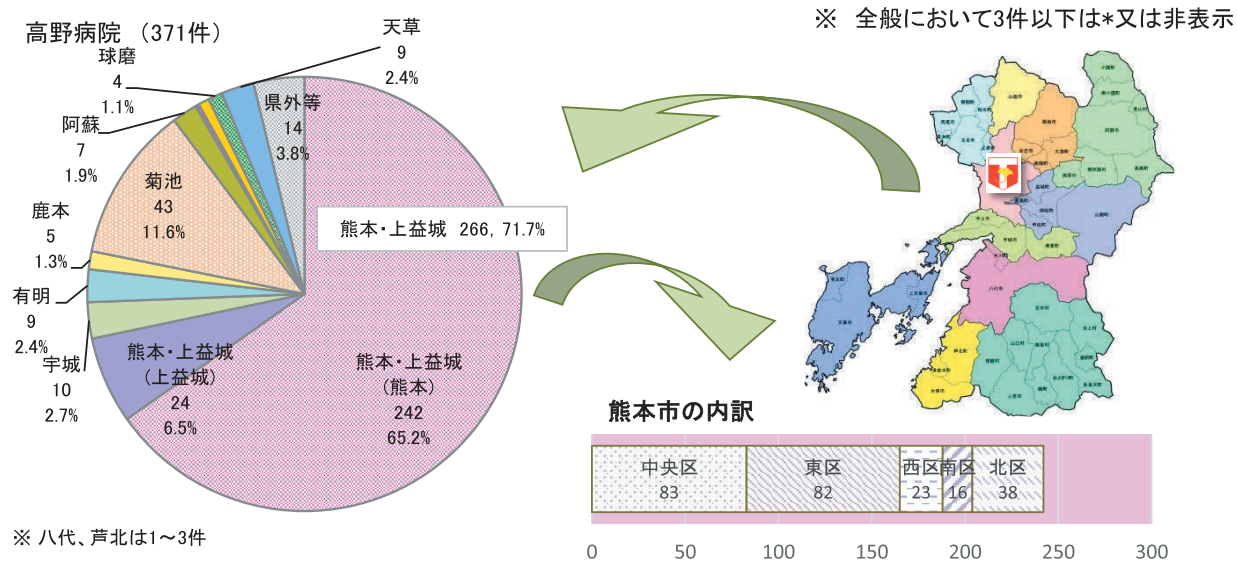


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

高野病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

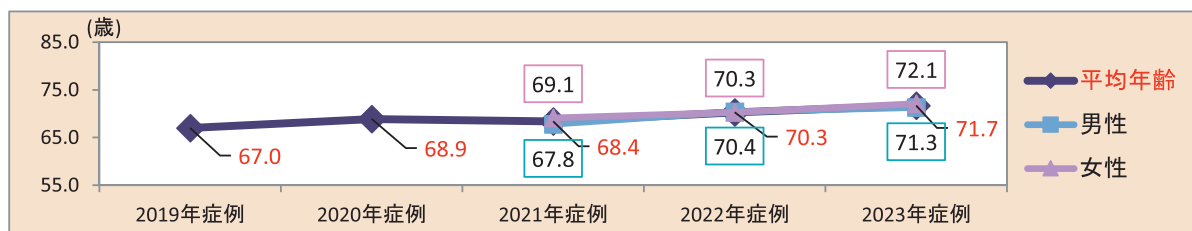


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	大腸	110	有明	大腸	7	阿蘇	該当部位	各*	球磨	大腸	4
	その他	38		該当部位	各*						
	肺	23									
	膵	19									
	前立腺	10									
熊・上 (上益城)	大腸	9	鹿本	大腸	4	八代	該当部位	*	天草	大腸	7
	該当部位	各*		該当部位	*					該当部位	各*
宇城	大腸	8	菊池	大腸	28	芦北	該当部位	各*	県外等	大腸	12
	該当部位	各*		その他	7					該当部位	*
				該当部位	各*						

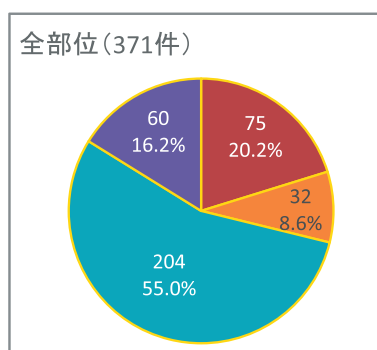
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

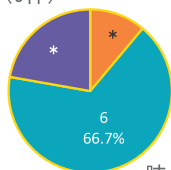


③ 発見経緯 5大部位の内訳

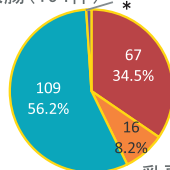
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



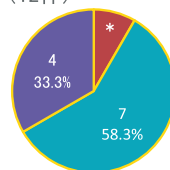
胃(9件)



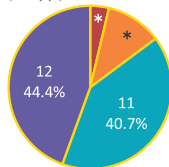
大腸(194件)



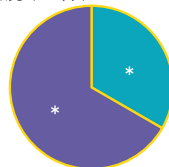
肝(12件)



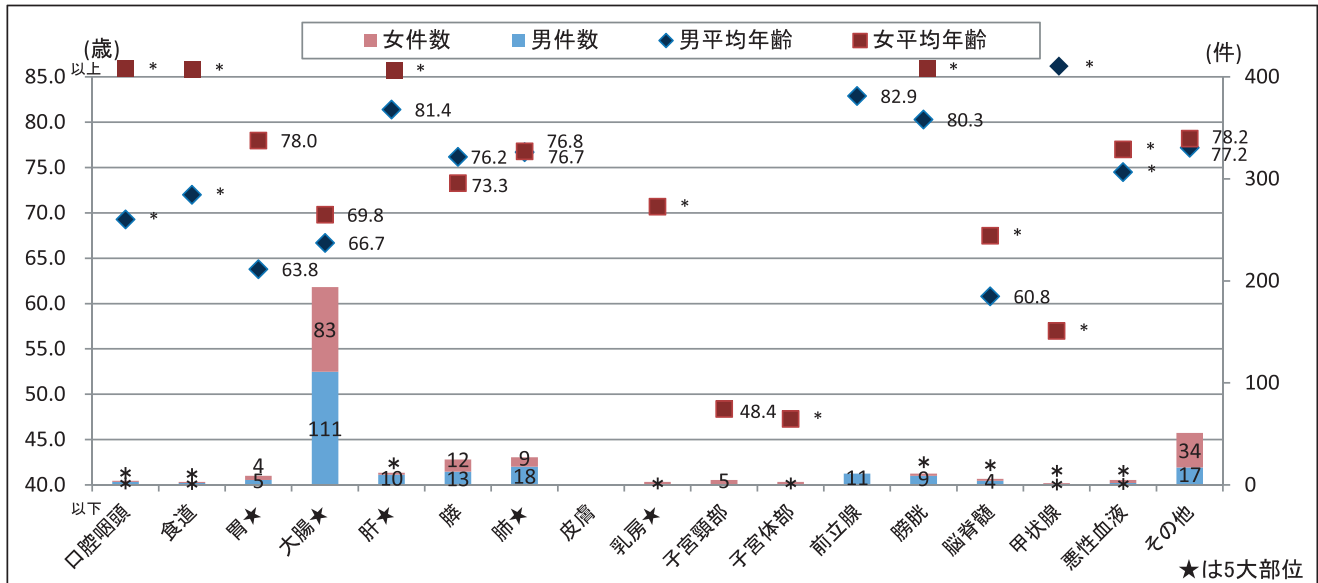
肺(27件)



乳房(*件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



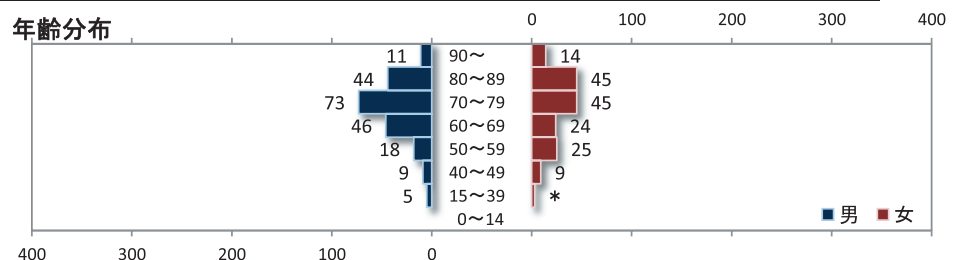
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
大腸	111	大腸 4	大腸 8	大腸 15
肺	18	該当部位 *	該当部位 *	該当部位 各*
その他	17			
膵	13			
前立腺	11			
肝	10			
膀胱	9	計 5	計 9	計 18
胃	5			
脳脊髄	4	60～69歳	70～79歳	80～89歳
口腔咽頭	*	大腸 31	大腸 36	大腸 14
食道	*	該当部位 各*	その他 8	該当部位 各*
悪性血液	*	肺 7	肺 8	
甲状腺	*	該当部位 各4	その他 6	
皮膚		該当部位 各*	膵 5	
乳房		計 46	該当部位 各4	
子宮頸部			計 44	計 11
子宮体部				
計	206			



女性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
大腸	83	該当部位 各*	大腸 4	大腸 16
その他	34		該当部位 各*	該当部位 各*
膵	12			
肺	9			
子宮頸部	5			
胃	4			
乳房	*	計 *	計 9	計 25
子宮体部	*			
悪性血液	*	60～69歳	70～79歳	80～89歳
肝	*	大腸 14	大腸 23	大腸 19
膀胱	*	該当部位 各*	その他 12	大腸 5
脳脊髄	*	膵 4	膵 4	その他 5
口腔咽頭	*	該当部位 各*	該当部位 各*	該当部位 各*
食道	*			
甲状腺	*	計 24	計 45	計 14
皮膚				
前立腺				
計	165			



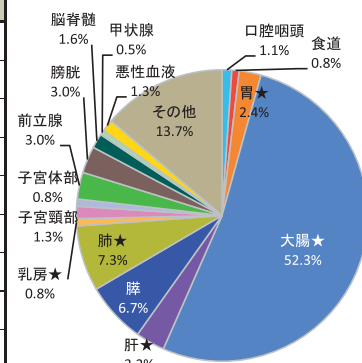
Ⅱ 施設別統計

高野病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	8	8	5	4	4
食道	*	*	4	5	*
胃★	19	14	14	22	9
大腸★	248	211	215	206	194
肝★	8	9	9	13	12
膵	12	14	25	21	25
肺★	21	29	31	44	27
皮膚	*		*	*	
乳房★	*	10	*	8	*
子宮頸部	*	5	4	*	5
子宮体部	*	*	5	6	*
前立腺	6	4	7	*	11
膀胱	5	*	5	5	11
脳脊髄	*		*	4	6
甲状腺	*		*	*	*
悪性血液疾患	4	*	4	9	5
その他	41	49	40	56	51
計	383	362	379	411	371

2023年診断症例 主要部位別割合



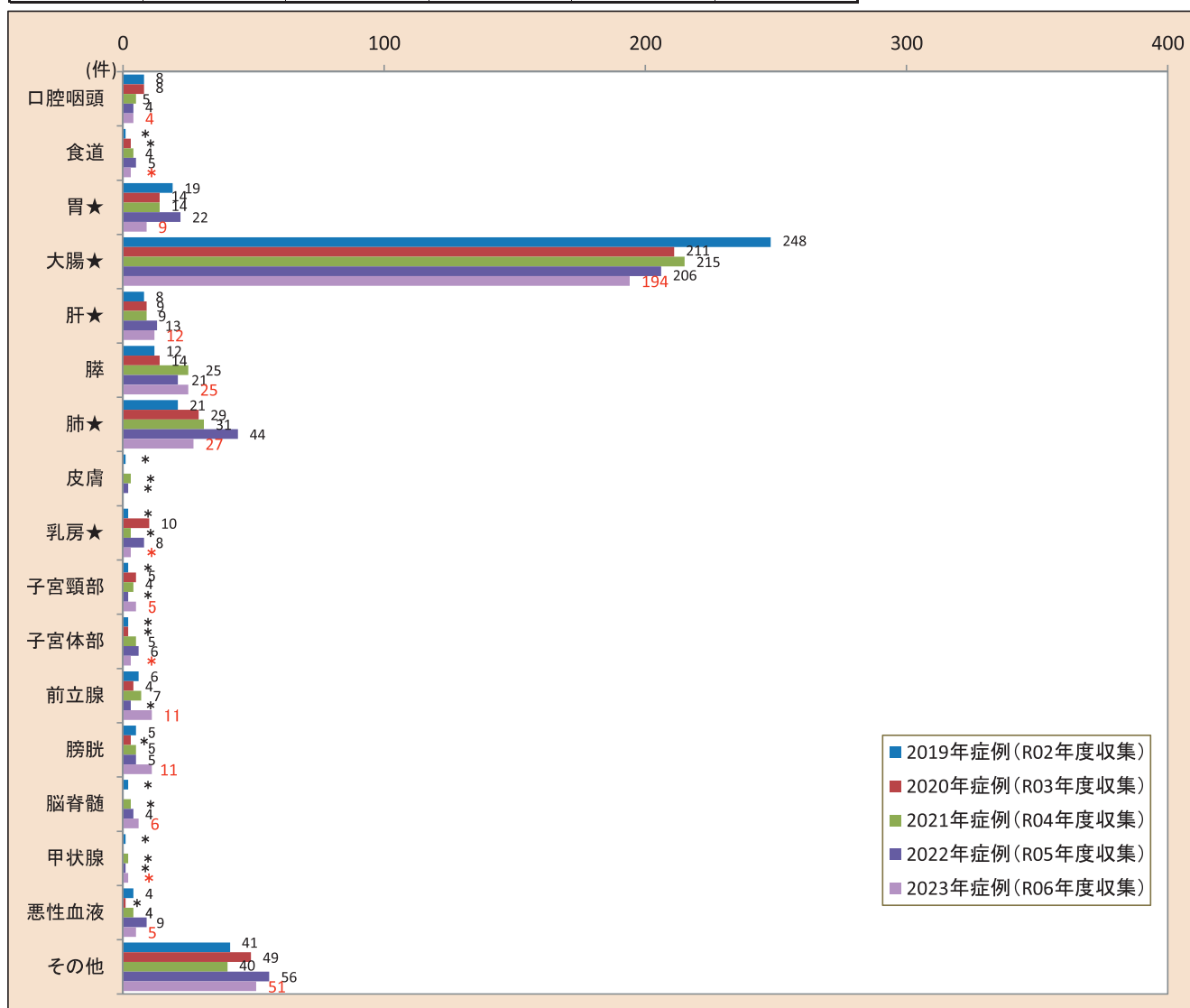
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

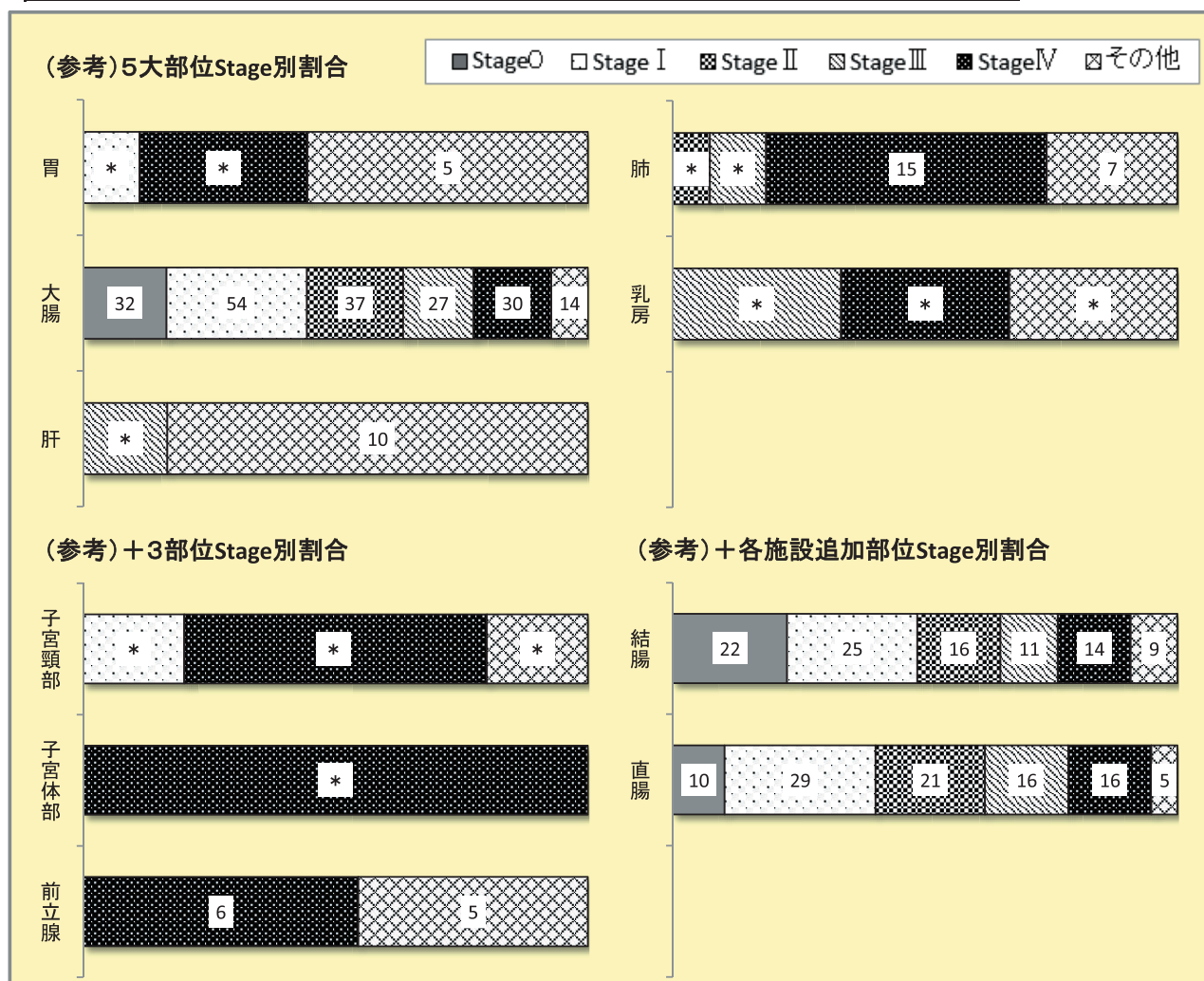
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	4					*	*
食道	*						*
胃★	9		*			*	5
大腸★	194	32	54	37	27	30	14
肝★	12				*		10
膵	25			*	*	10	11
肺★	27			*	*	15	7
皮膚	0						
乳房★	*				*	*	*
子宮頸部	5		*			*	*
子宮体部	*					*	
前立腺	11					6	5
膀胱	11			*		*	8
脳脊髄	6						6
甲状腺	*					*	*
悪性血液疾患	5						5
その他	51	*	*	4	5	12	28
計	371	33	57	47	40	88	106



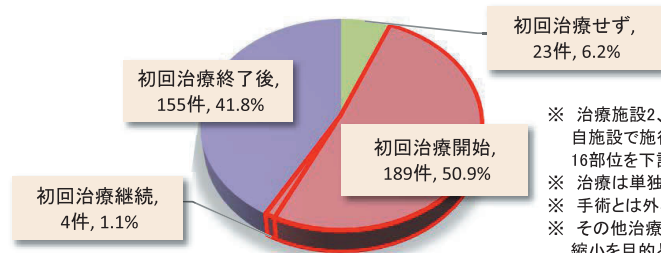
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

高野病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

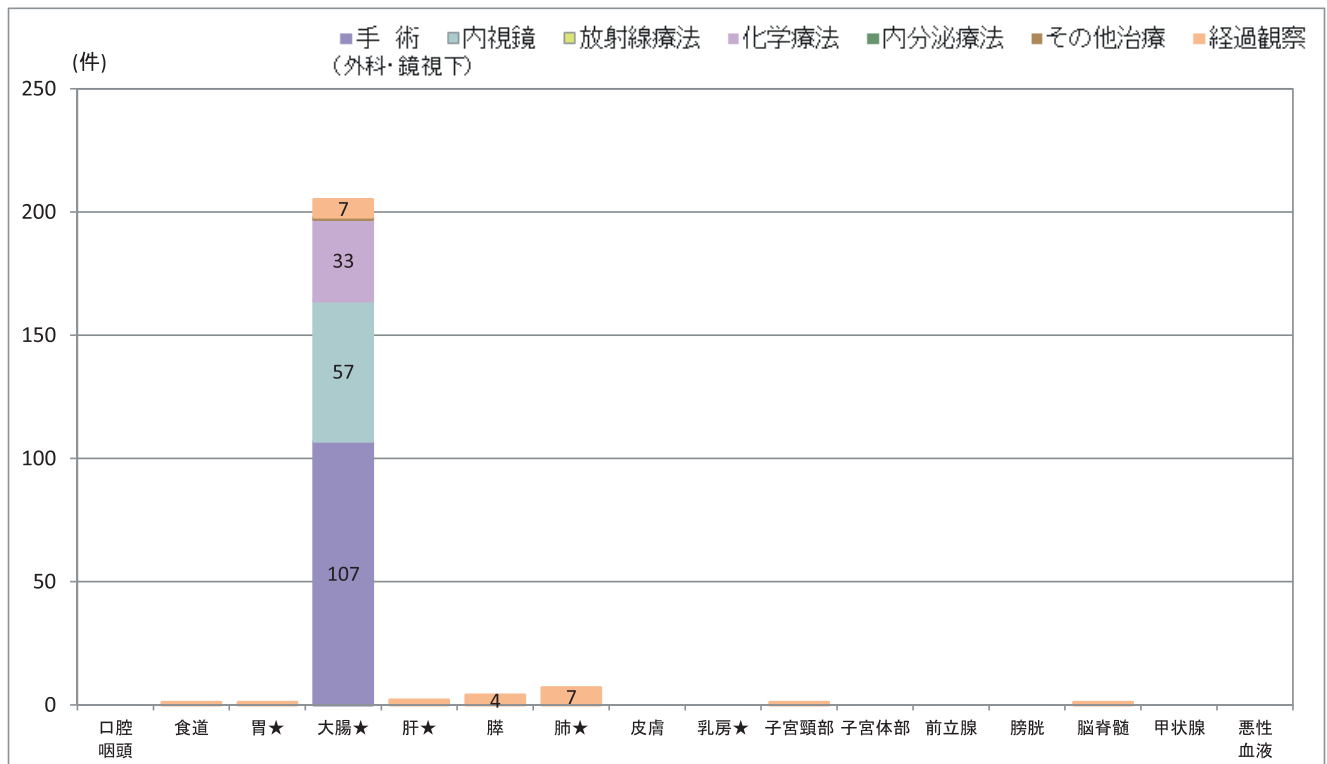
治療施設	件数
1初回治療せず	23
2初回治療開始	189
3初回治療継続	4
4初回治療終了後	155
8その他	
計	371



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
 ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・手術 鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道							*	*			
胃★							*	*			
大腸★	107	57		33		*	7	205	94.7%	5.3%	0.0%
肝★							*	*			
膵							4	4			
肺★							7	7			
皮膚								0			
乳房★								0			
子宮頸部							*	*			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄							*	*			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	107	57	0	33	0	*	24	222			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※初回治療+継続治療症例のみ集計

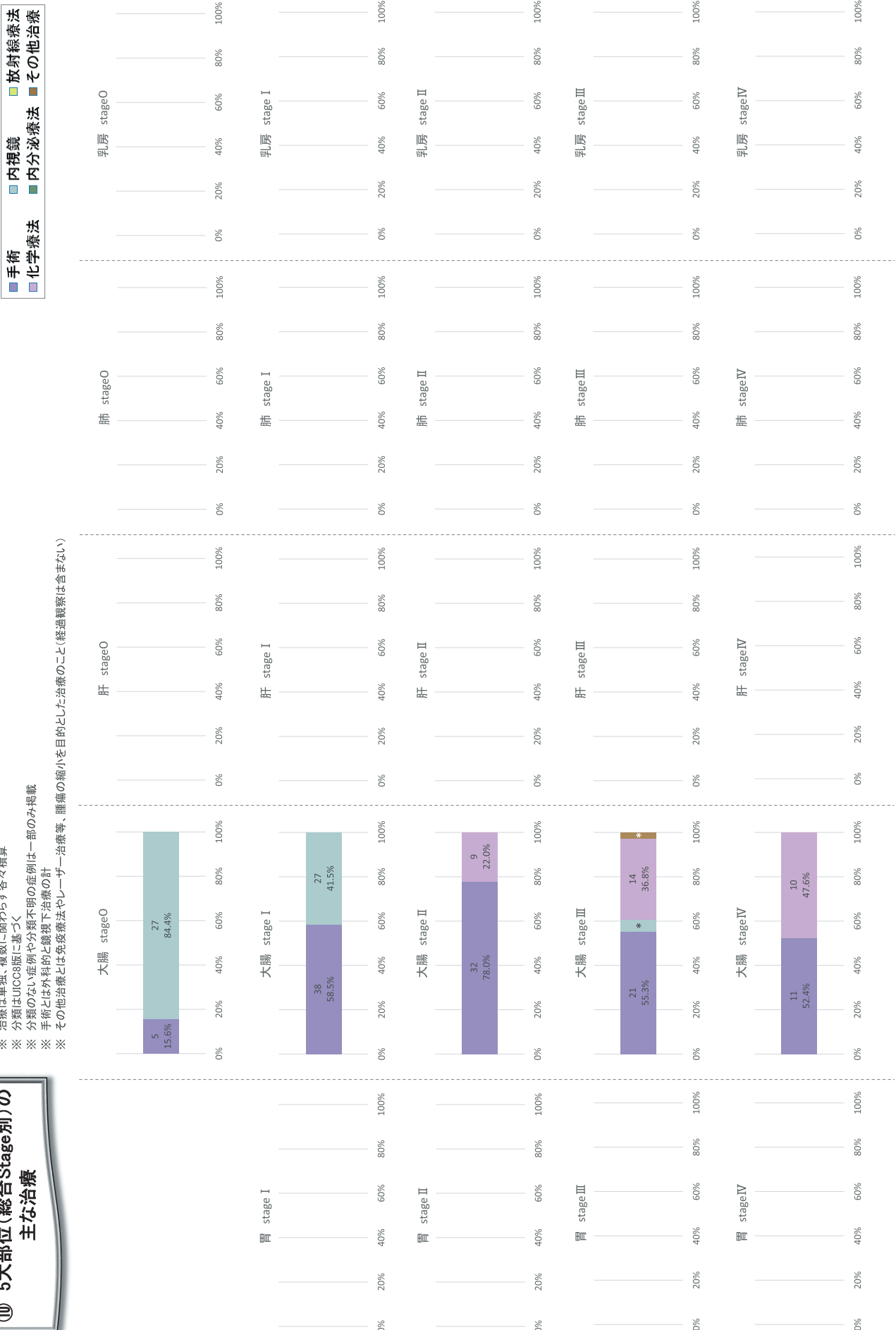
※※治療は単独、複数に関わらず各々積算

※分類はUICC8版に基づく

※※分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載

※手術とは外科的と鏡視下治療の計

※その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと(経過観察は含まない)



Ⅱ 施設別統計

高野病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名	 山鹿市民医療センター		
○基本情報		【令和5(2023)年12月現在】	
所在地	山鹿市山鹿511		
病床数	201床(一般197床;感染症4床)		
追加情報	地域包括ケア病棟38床		
診療科数	20科		
がん診療連携拠点病院指定日	2012.11.16	がん登録開始基準日	2010.04.01
平均在院日数	17.1(日)		
入院患者数	2,263(人)		
外来患者延数	47,801(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	13
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 1,000(件/概算)		
院内がん登録件数	313(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 1 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

当施設では院内がん登録を2010年診断入院症例から開始し、2016年の全国がん登録の開始とともに外来分の登録も開始しました。2023年は、院内がん登録件数を5大部位別に見ると大腸が62件と最も多く、次いで乳房の58件、胃の32件、膵臓の27件、肺の24件と続いています。前年と比較し、胃・大腸・肝臓・肺は微減しました。胃癌の内視鏡治療が増加しています。2022年診断症例以降、乳がんの登録件数が多く初回治療継続症例が増加しました。

性別では、男性が152件、女性が161件です。昨年に続き、乳がんが増加したことで女性が多くなりました。

年齢は、男性平均76.2歳、女性平均73.7歳で例年通りでした。

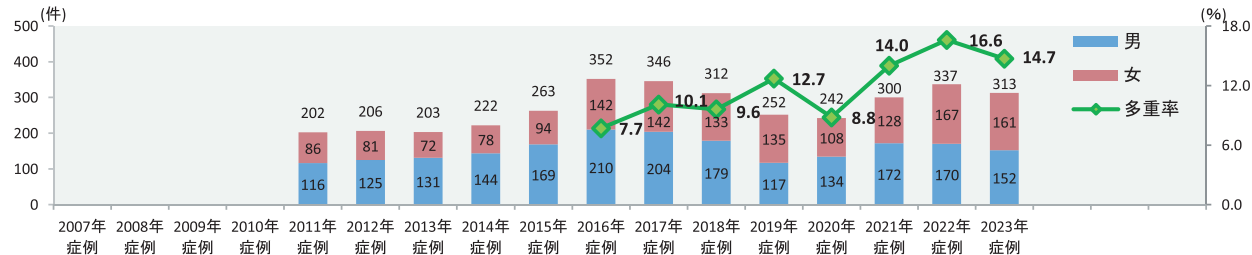
当施設は、鹿本医療圏で唯一の拠点病院ということもあり、医療圏別の割合は鹿本が77.0%、その他が23.0%となっています。

「わたしのカルテ」の運用や化学療法の充実、2011年7月にがん相談支援センターを開設し、がん情報の発信や患者様とその家族の様々な相談に対応できるようになったこと、2012年4月には緩和ケア病棟の開棟、さらに、2016年には肝胆膵外科・肝がん集学的治療グループの立ち上げ、2019年4月にはがん総合的診療チームの立ち上げが行われたことによって、がんの発見から治療、その後のフォローまで一貫して行える医療機関として地域の医療機関との更なる連携を図れるようになったからではないかと考えます。

また、緩和ケア病棟の開棟は、終末期を地元で過ごしたいという要望に応えられるようになったことから、治療開始後の症例が増加していることにも繋がっていると考えます。

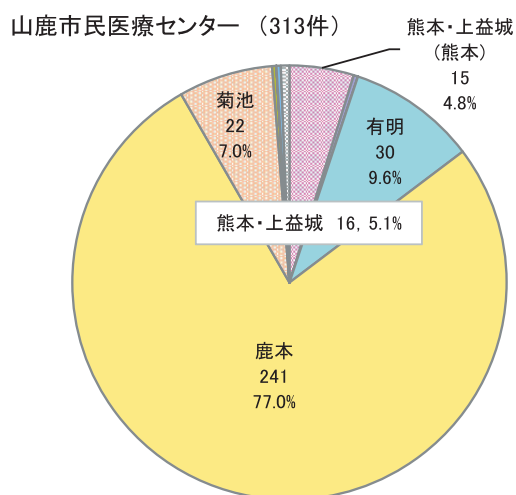
今後も地域のがん拠点病院として、がん治療の質の向上、患者様のQOL向上に貢献していきたいと考えています。

診断年別登録件数(参考)

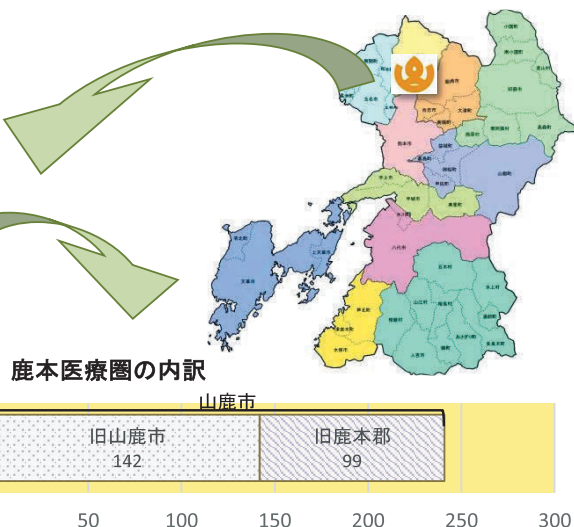


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)



※ 全般において3件以下は*又は非表示



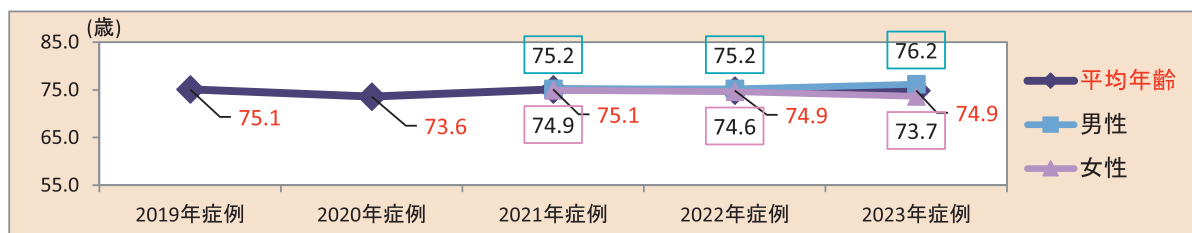
※ 熊・上(上益城)、阿蘇、天草、県外等は1~3

◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	膵	4	有明	大腸	9	阿蘇	該当部位	*	球磨		
	該当部位	各*		その他	5						
				該当部位	各*						
熊・上 (上益城)	該当部位	*	鹿本	乳房	48	八代			天草	該当部位	*
				大腸	46						
				その他	31						
				胃	26						
宇城			菊池	肺	19	芦北			県外等	該当部位	各*
				膵	5						
				胃	4						
				大腸	4						
				該当部位	各*						

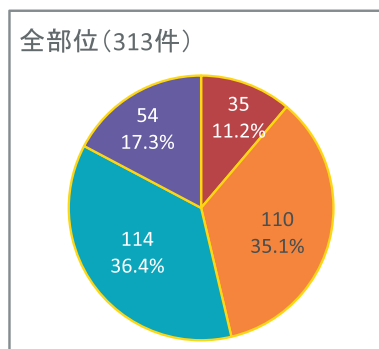
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

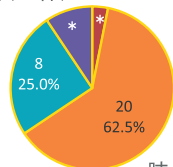


③ 発見経緯 5大部位の内訳

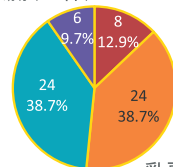
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



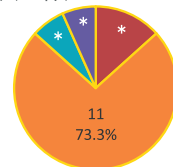
胃(32件)



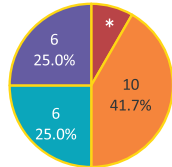
大腸(62件)



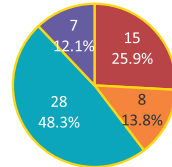
肝(15件)



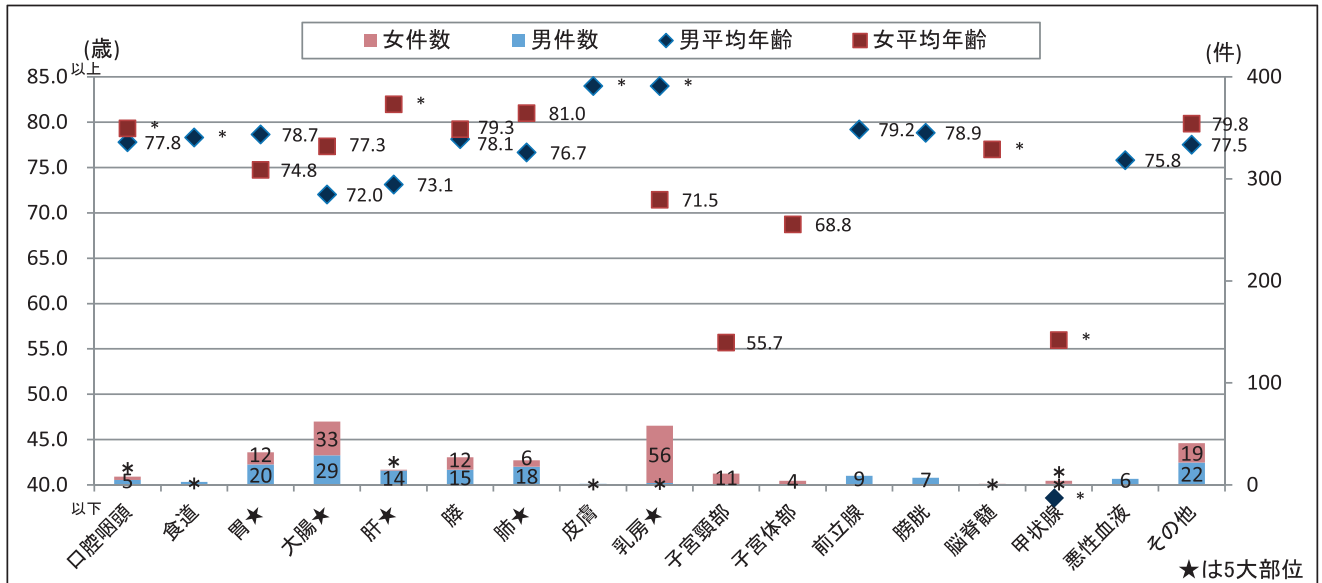
肺(24件)



乳房(58件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



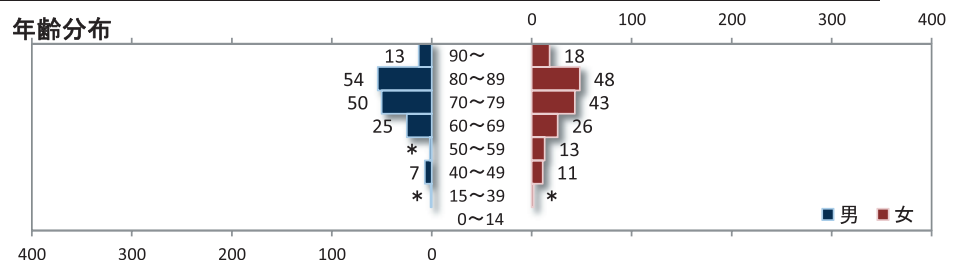
男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
大腸	29			該当部位	*	該当部位	各*	該当部位	各*
その他	22								
胃	20								
肺	18								
膵	15								
肝	14								
前立腺	9			計	*	計	7	計	*
膀胱	7								
悪性血液	6								
口腔咽頭	5								
食道	*								
乳房	*								
皮膚	*								
甲状腺	*								
子宮頸部									
子宮体部									
脳脊髄									
計	152								

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
大腸	6	その他	9	大腸	11	該当部位	各*
胃	4	大腸	8	胃	9		
膵	4	胃	7	肺	7		
肺	4	肝	5	その他	7		
該当部位	各*	前立腺	5	膵	6		
計	25	など		など		計	13



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	56			該当部位	*	乳房	6	乳房	7
大腸	33					該当部位	各*	該当部位	各*
その他	19								
胃	12								
膵	12								
子宮頸部	11								
肺	6			計	*	計	11	計	13
子宮体部	4								
口腔咽頭	*								
甲状腺	*								
肝	*								
脳脊髄	*								
食道									
皮膚									
前立腺									
膀胱									
悪性血液									
計	161								

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
大腸	8	乳房	14	乳房	16	大腸	6
乳房	8	大腸	8	大腸	10	乳房	5
該当部位	各*	胃	4	その他	8	該当部位	各*
膵	4	膵	4	該当部位	各*		
その他	4	該当部位	各*				
計	26	計	43	計	48	計	18



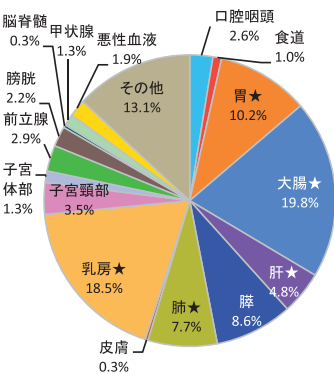
Ⅱ 施設別統計

山鹿市民医療センター

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	5	6	*	4	8
食道	4	6	8	7	*
胃★	39	19	46	38	32
大腸★	58	73	81	76	62
肝★	23	25	23	23	15
膵	18	11	16	26	27
肺★	25	20	24	30	24
皮膚					*
乳房★	35	29	28	57	58
子宮頸部	*	*	7	5	11
子宮体部	4	5	*	*	4
前立腺	*	6	12	8	9
膀胱	5	4	*	7	7
脳脊髄		*	*	*	*
甲状腺		*	6	6	4
悪性血液疾患	4	5	8	*	6
その他	26	28	33	45	41
計	252	242	300	337	313

2023年診断症例 主要部位別割合



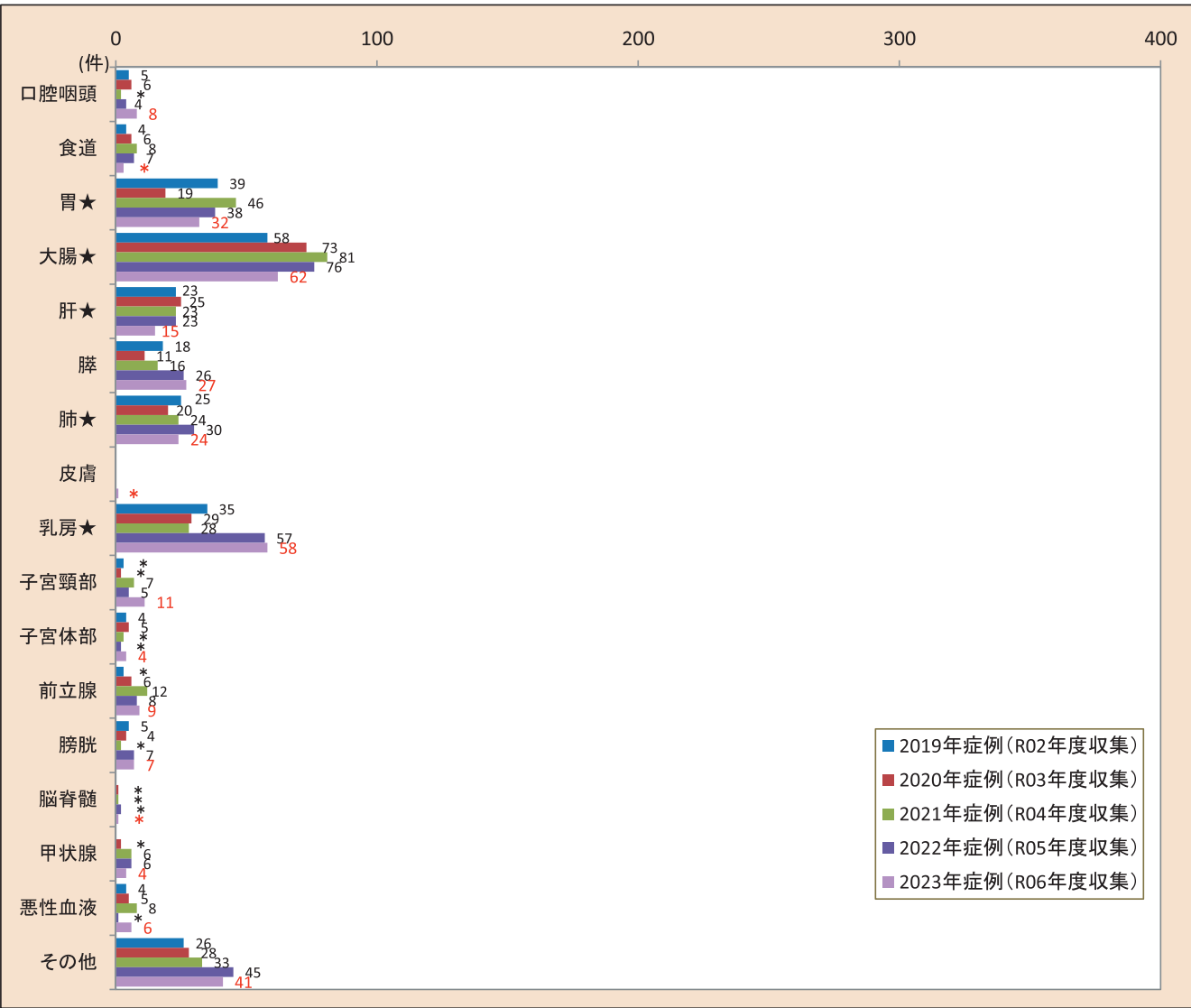
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

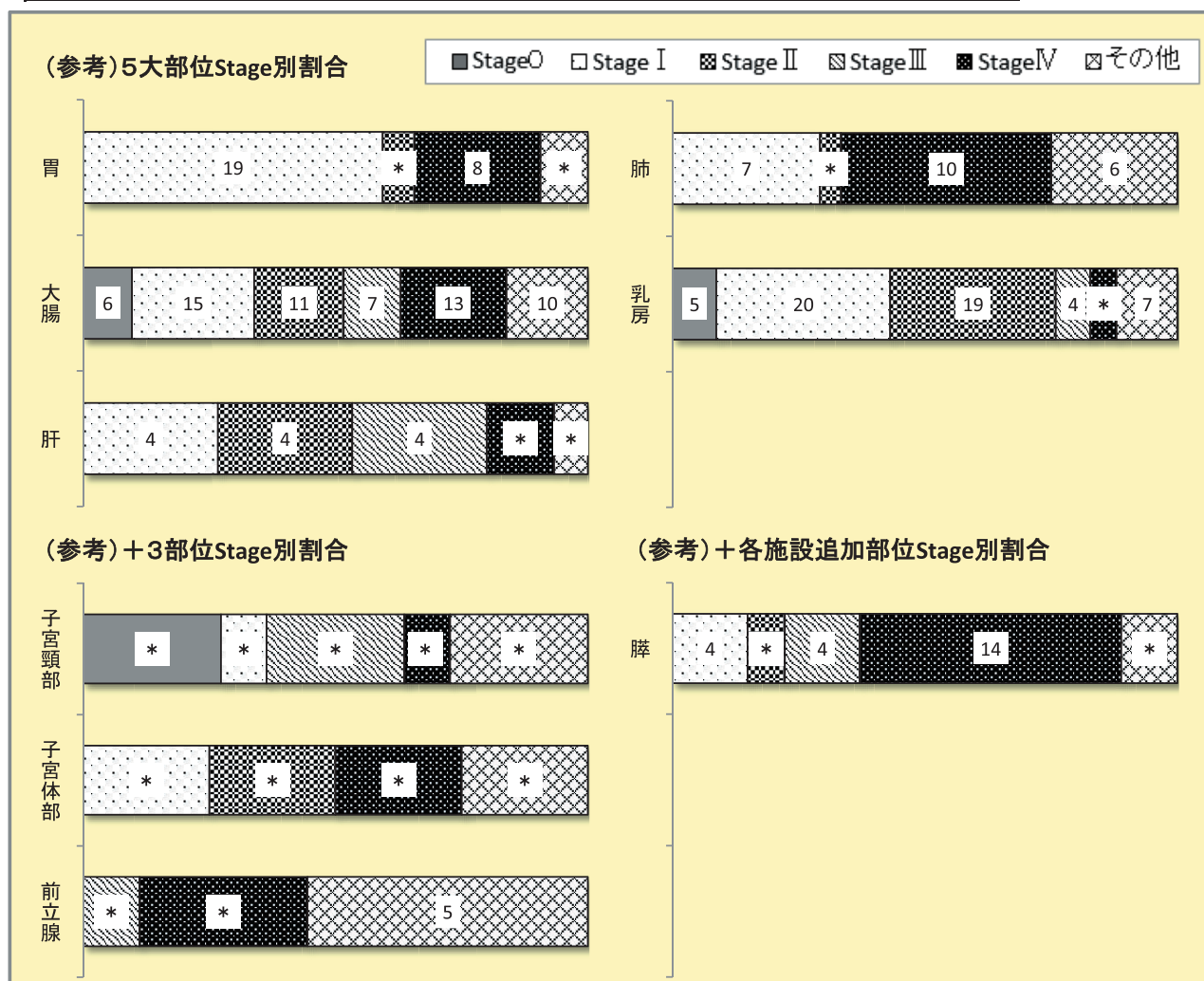
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

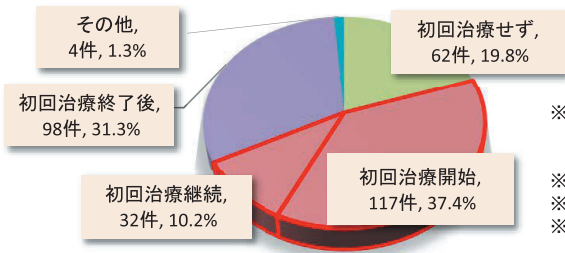
全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	8			*		*	5
食道	*	*	*				*
胃★	32		19	*		8	*
大腸★	62	6	15	11	7	13	10
肝★	15		4	4	4	*	*
膵	27		4	*	4	14	*
肺★	24		7	*		10	6
皮膚	*					*	
乳房★	58	5	20	19	4	*	7
子宮頸部	11	*	*		*	*	*
子宮体部	4		*	*		*	*
前立腺	9				*	*	5
膀胱	7	*	*			*	4
脳脊髄	*						*
甲状腺	4		*				*
悪性血液疾患	6			*		*	*
その他	41	*	5	*	4	10	17
計	313	18	81	46	27	70	71



※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

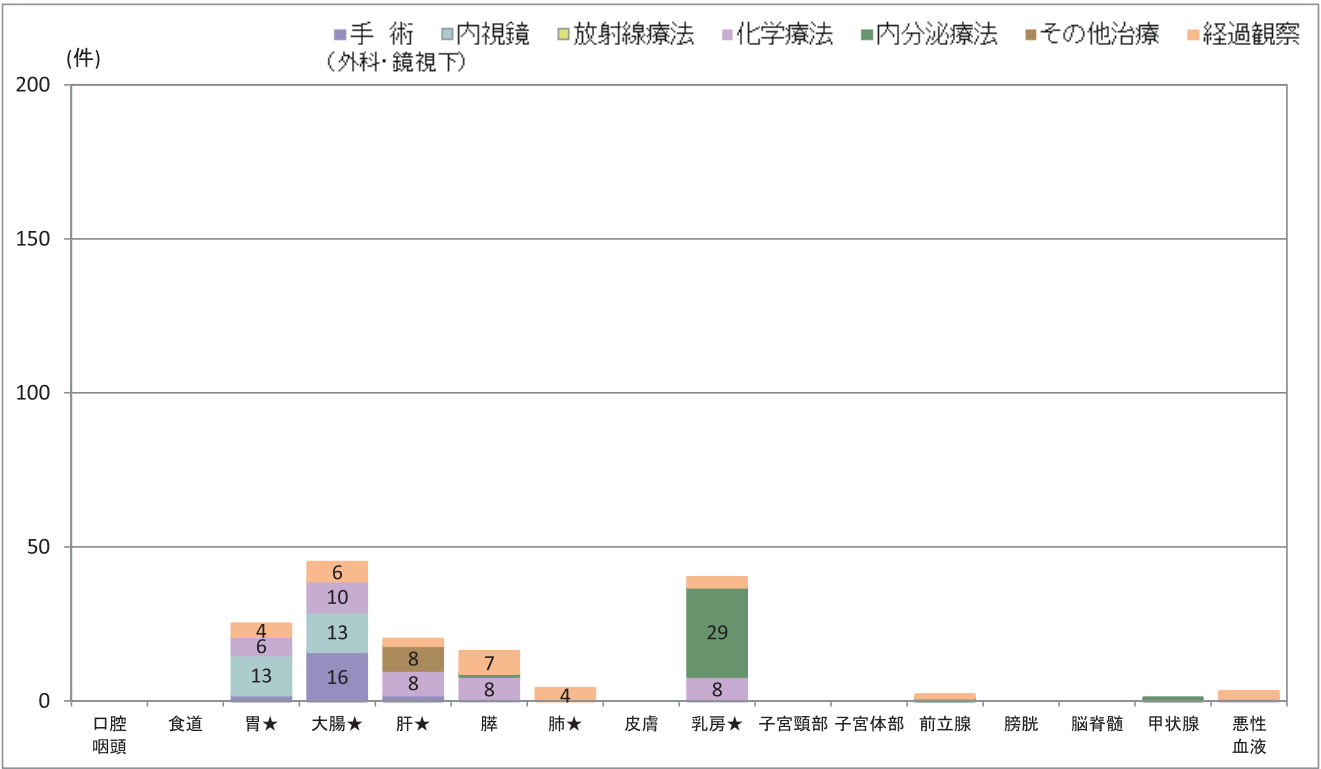
治療施設	件数
1初回治療せず	62
2初回治療開始	117
3初回治療継続	32
4初回治療終了後	98
8その他	4
計	313



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

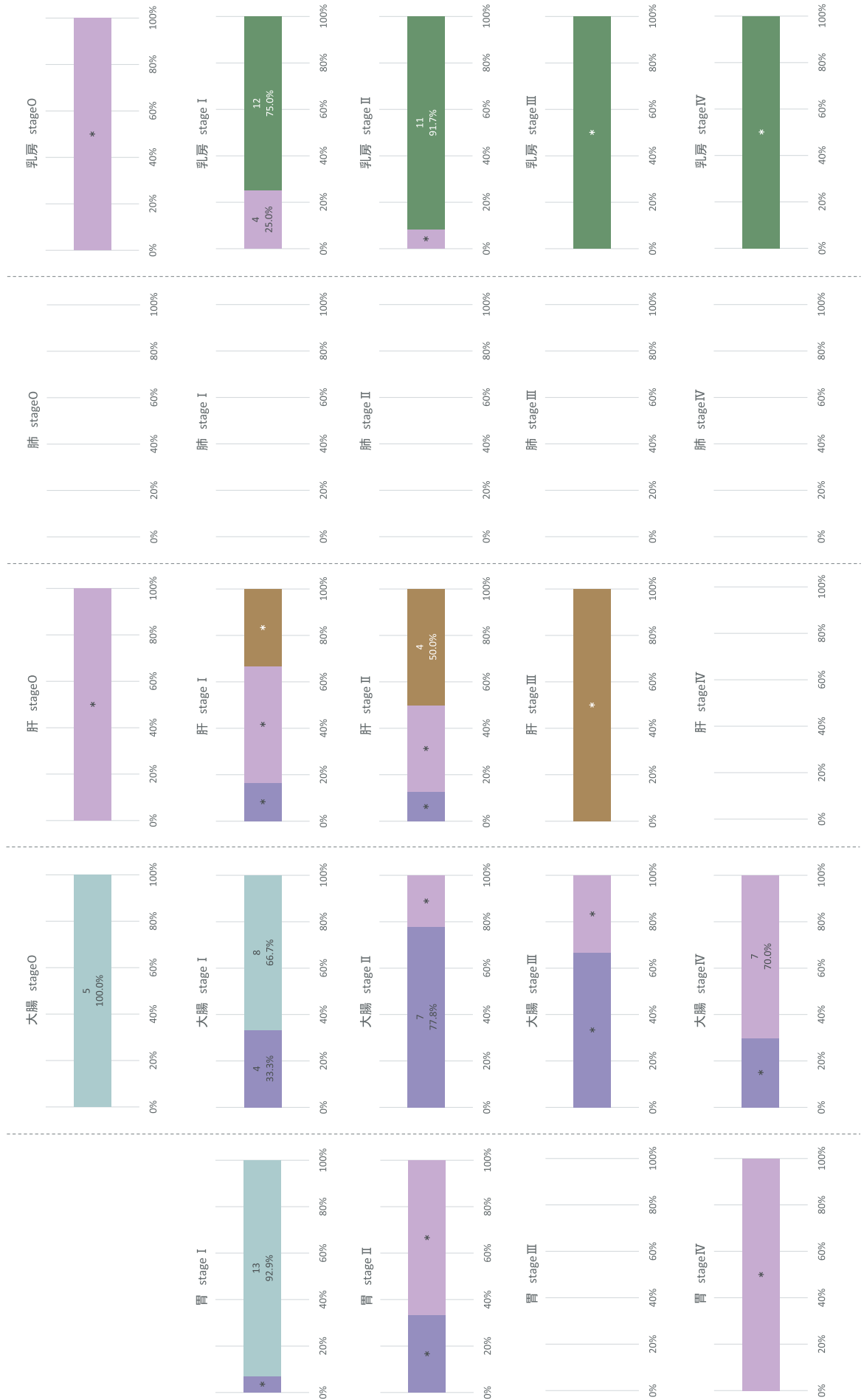
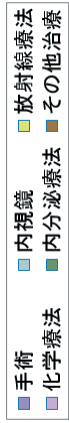
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★	*	13		6			4	25	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	16	13		10			6	45	96.2%	3.8%	0.0%
肝★	*			8		8	*	20	50.0%	50.0%	0.0%
膵				8	*		7	16			
肺★							4	4			
皮膚								0			
乳房★				8	29		*	40			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺					*		*	*			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺					*			*			
悪性血液疾患				*			*	*			
計	20	26	0	41	32	8	29	156			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

- ※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUIC08版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



Ⅱ 施設別統計
山鹿市民医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本南病院
-------	---	--------------------

○基本情報

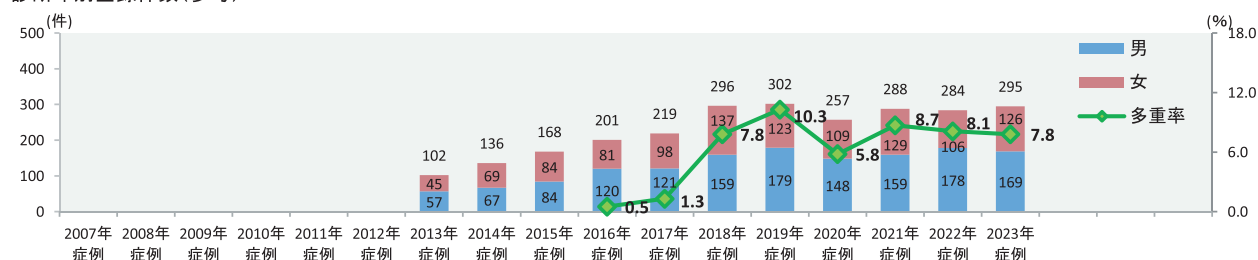
【令和5(2023)年12月現在】

所在地	宇城市松橋町豊福2338番地		
病床数	172床(一般150床;結核22床)		
追加情報			
診療科数	17科		
がん診療連携拠点病院指定日	2014.02.28	がん登録開始基準日	2012.04.01
平均在院日数	26.9 (日)		
入院患者数	1,363 (人)		
外来患者延数	26,830 (人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	16
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 692 (件)		
院内がん登録件数	295 (件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0 (名)		

○医療機関からのコメント

《登録件数》 ・当院の2023年登録件数は、295件であり前年より11件増加となった。 《患者住所医療圏》 ・宇城80.7%(前年85%)、八代7.1%、熊本6.4%、天草3%と宇城が全患者の8割以上を占めている。 《平均年齢・男女比》 ・登録症例の全体の平均年齢は76.4歳であり、年齢分布で一番多い70歳代男性は全患者の約21%、70歳代女性が約12%、80歳代男性が全患者の約16%、80歳代女性が約14%となっている。男女比は、男性57.3%(169件)、女性42.7%(126件)となっている。 《部位別登録件数》 ・肺63件(21.4%)、悪性血液疾患60件(20.3%)、大腸33件(11.2%)、膵27件(9.2%)、胃21件(7.1%)、乳房18件(6.1%)、前立腺12件(4.1%)、その他61件(20.7%)となった。 《部位別病期分類の割合》 ・Stage0期(1.4%)、StageⅠ期(9.2%)、StageⅡ期(2.4%)、StageⅢ期(8.1%)、StageⅣ期(31.9%)、その他(47.1%)となった。当院は悪性血液疾患が多いため、その他の割合が多いと考えられる。 《特徴》 ・宇城地域医療圏からの患者がもっとも多い。高齢者(70歳以上)が7割以上を占めている。 ・「がん」治療においては、外科治療、化学療法、緩和ケアを組み合わせ集学的治療を行い、診断から終末期までの手厚い医療提供ができる病院として、宇城医療圏唯一の「熊本県がん診療連携拠点病院」の指定を受けたとともに「緩和ケア病棟」を開設し、「がんの診断から治療、緩和治療」までがんの全治療にたずさわっている。 また、地域ケア連携研修会を毎月行うことで、地域医療の質の向上と市民公開講座の開催や出張健康教室など市民に向けた情報発信に努めている。「私のカルテ」による連携をさらに進め、「宇城がんサロン〜ほっとカフェ〜」を関係者に利用しやすくなることにも取り組んでいく。 今後もがん診療連携拠点病院の役割として、がん治療の質の向上を目指していく。
--

診断年別登録件数(参考)

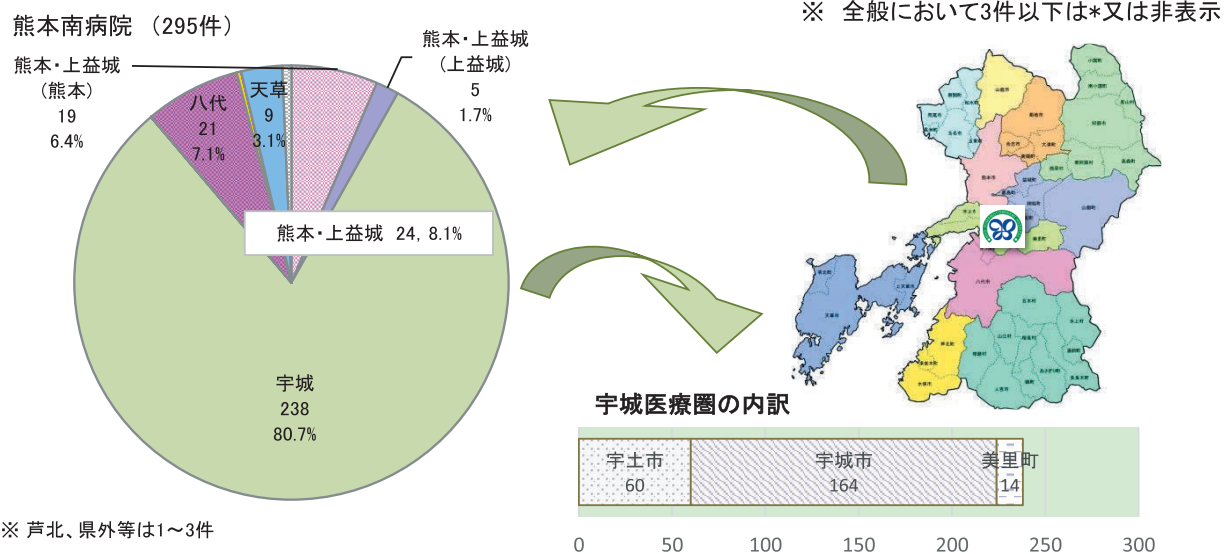


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

Ⅱ 施設別統計

熊本南病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

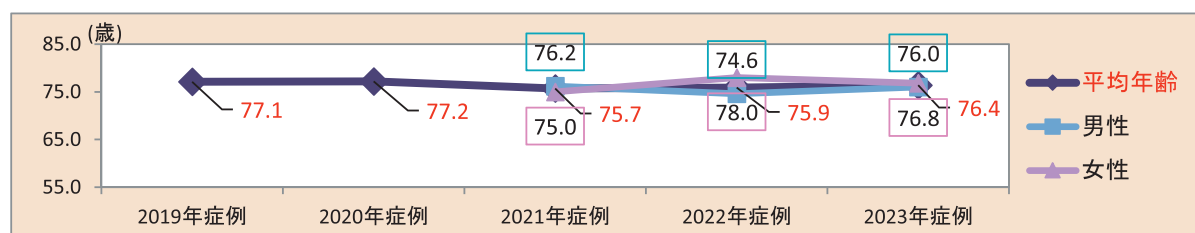


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	悪性血液	6	有明		阿蘇		球磨			
	肺	5								
	該当部位	各*								
熊・上 (上益城)	該当部位	各*	鹿本		八代	その他	5	天草	該当部位	各*
				該当部位		各*				
宇城	肺	50	菊池		芦北	該当部位	*	県外等	該当部位	各*
	悪性血液	50								
	大腸	27								
	膵	25								
	乳房	18								

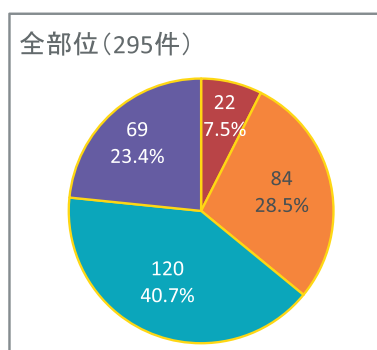
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

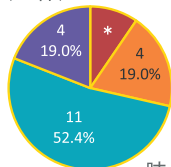


③ 発見経緯 5大部位の内訳

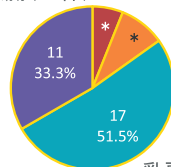
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



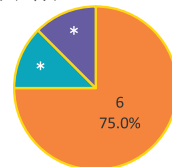
胃(21件)



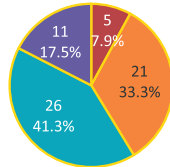
大腸(33件)



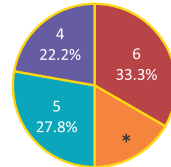
肝(8件)



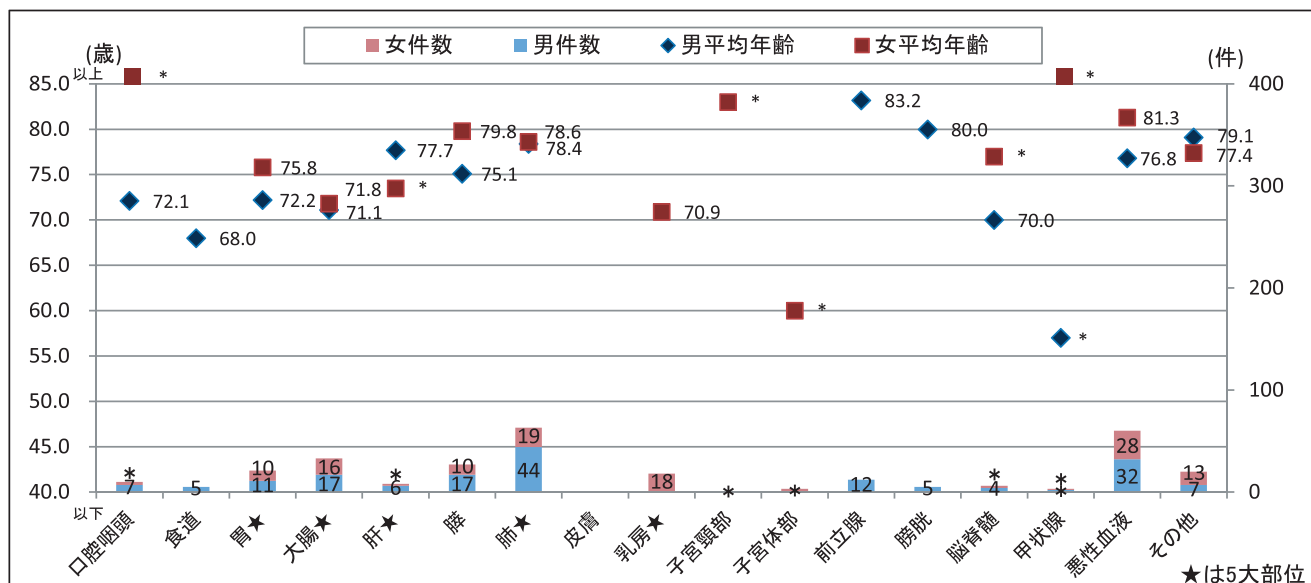
肺(63件)



乳房(18件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

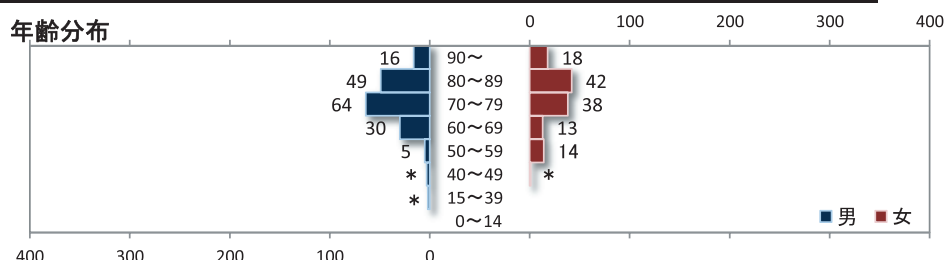


男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
肺	44			該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*
悪性血液	32								
大腸	17								
脾	17								
前立腺	12								
胃	11								
口腔咽頭	7			計	*	計	*	計	5
その他	7	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
肝	6	口腔咽頭	4	肺	22	肺	16	該当部位	各*
食道	5	食道	4	悪性血液	13	悪性血液	10		
膀胱	5	胃	4	大腸	8	前立腺	6		
脳脊髄	4	大腸	4	脾	6	脾	5		
甲状腺	*	脾	4	胃	5	該当部位	各*		
皮膚		該当部位	各*	該当部位	各*				
乳房		計	30	計	64	計	49	計	16
子宮頸部									
子宮体部									
計	169								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
悪性血液	28					該当部位	*	乳房	5
肺	19							大腸	4
乳房	18							該当部位	各*
大腸	16								
その他	13								
胃	10								
脾	10					計	*	計	14
口腔咽頭	*	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
子宮体部	*	大腸	4	肺	11	悪性血液	16	悪性血液	4
肝	*	該当部位	各*	悪性血液	6	肺	7	その他	4
脳脊髄	*			脾	5	乳房	5	該当部位	各*
子宮頸部	*			乳房	5	該当部位	各*		
甲状腺	*			胃	4				
食道				該当部位	各*				
皮膚		計	13	計	38	計	42	計	18
前立腺		年齢分布							

年齢分布

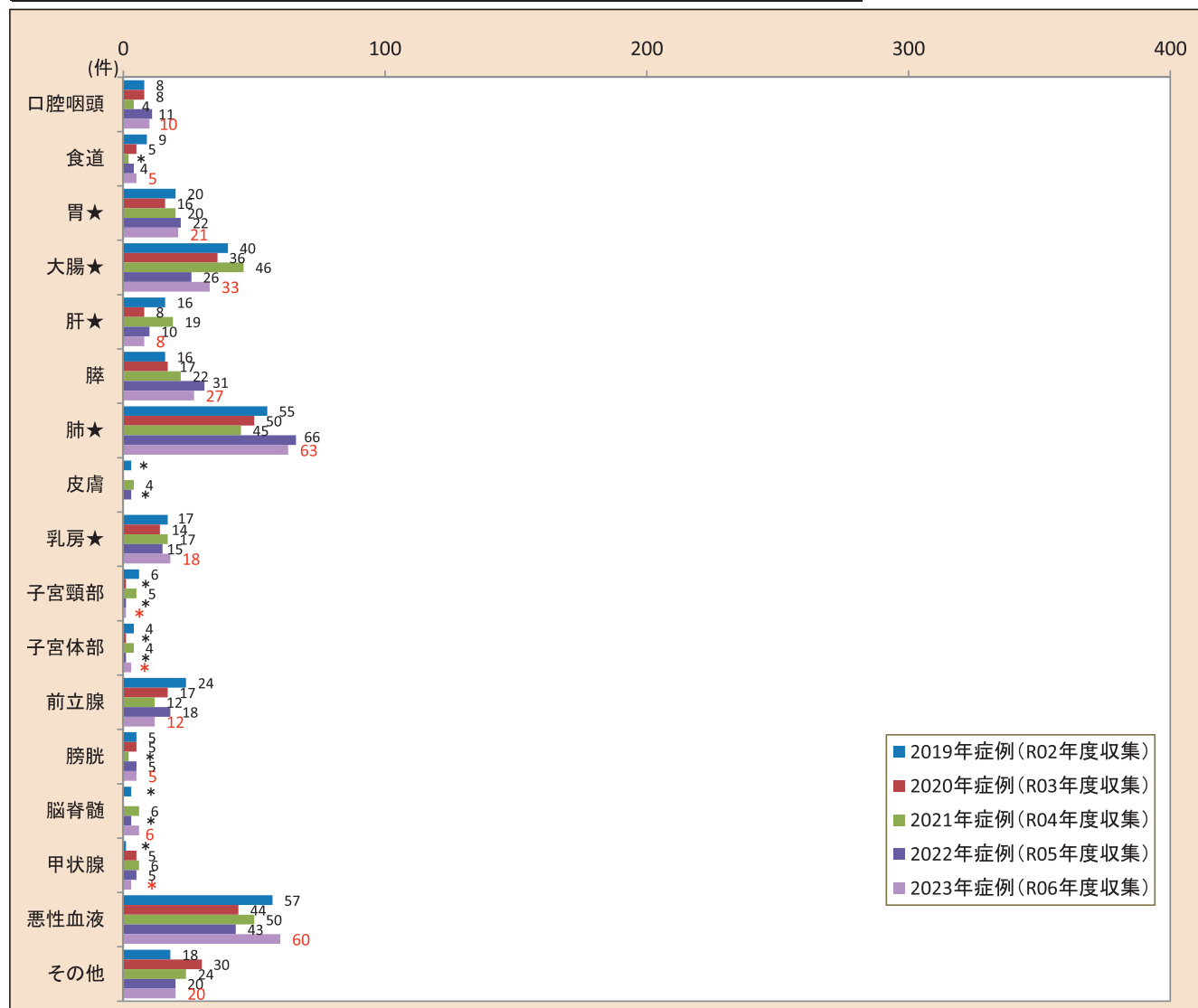


熊本南病院

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	8	8	4	11	10
食道	9	5	*	4	5
胃★	20	16	20	22	21
大腸★	40	36	46	26	33
肝★	16	8	19	10	8
膵	16	17	22	31	27
肺★	55	50	45	66	63
皮膚	*		4	*	
乳房★	17	14	17	15	18
子宮頸部	6	*	5	*	*
子宮体部	4	*	4	*	*
前立腺	24	17	12	18	12
膀胱	5	5	*	5	5
脳脊髄	*		6	*	6
甲状腺	*	5	6	5	*
悪性血液疾患	57	44	50	43	60
その他	18	30	24	20	20
計	302	257	288	284	295

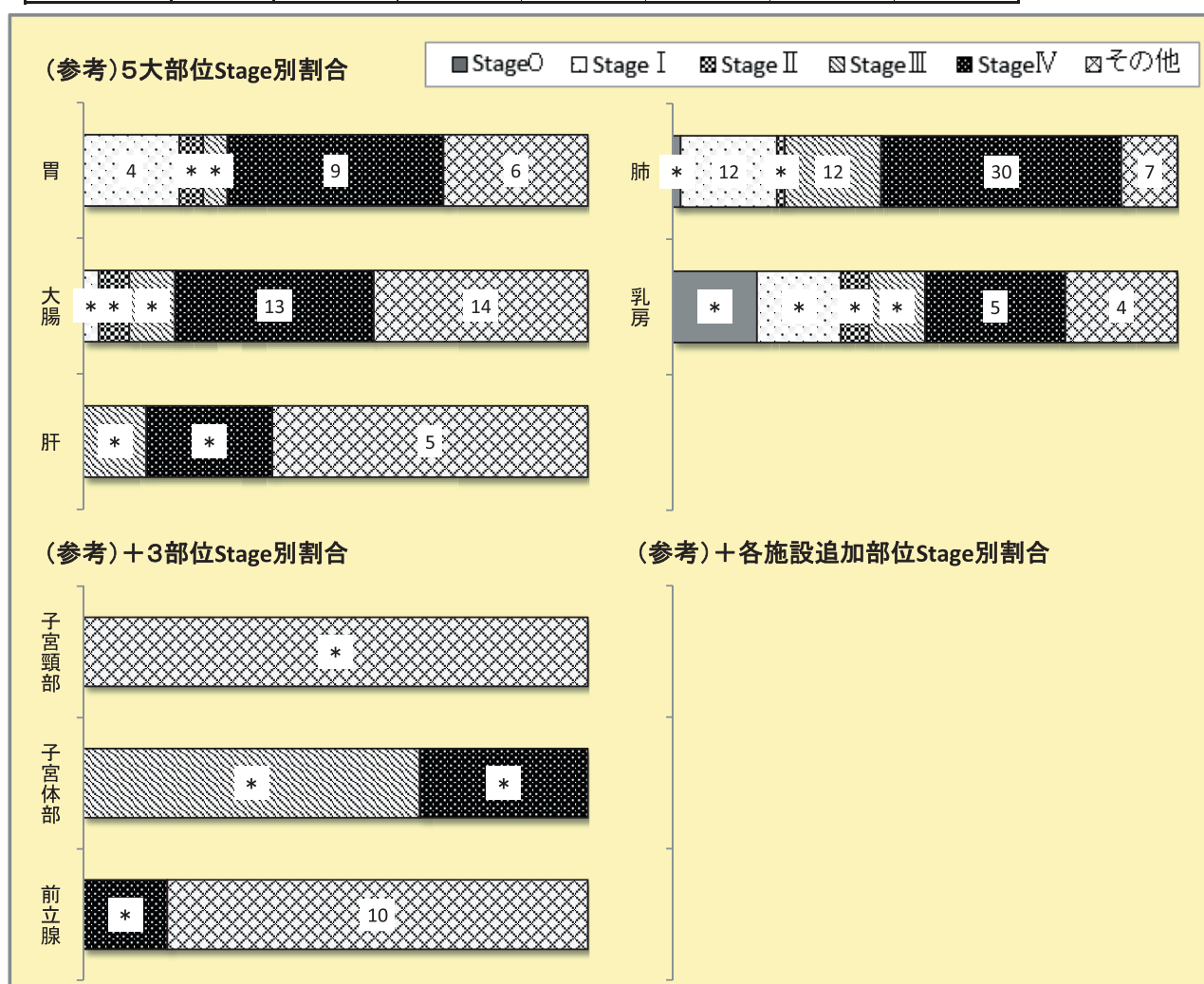
癌種	割合 (%)
肺	21.4
大腸	11.2
肝	2.7
膵	9.2
胃	7.1
食道	1.7
口腔咽喉頭	3.4
その他	6.8
悪性血液	20.3
甲状腺	1.0
脳脊髄	2.0
膀胱	1.7
子宮体部	1.0
子宮頸部	0.3
前立腺	4.1
乳房	6.1

※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類しないもの全て
(胆管、卵巣、骨軟部など)
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	10			*		*	6
食道	5		*				4
胃★	21		4	*	*	9	6
大腸★	33		*	*	*	13	14
肝★	8				*	*	5
膵	27		*		*	18	7
肺★	63	*	12	*	12	30	7
皮膚	0						
乳房★	18	*	*	*	*	5	4
子宮頸部	*						*
子宮体部	*				*	*	
前立腺	12					*	10
膀胱	5					*	*
脳脊髄	6						6
甲状腺	*		*			*	*
悪性血液疾患	60		*	*	*	*	51
その他	20		*			5	14
計	295	4	27	7	24	94	139



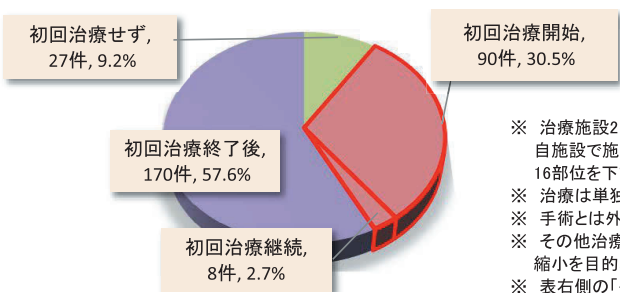
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

熊本南病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

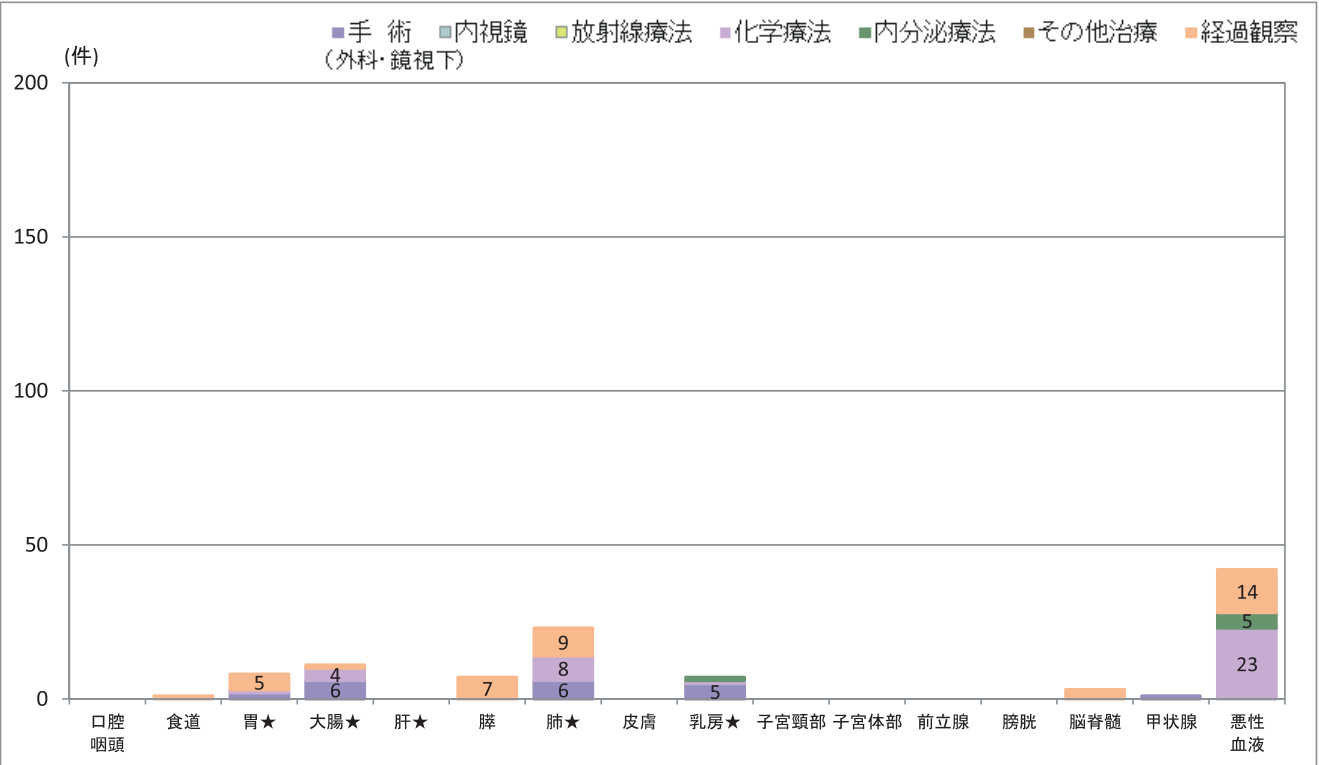
治療施設	件数
1初回治療せず	27
2初回治療開始	90
3初回治療継続	8
4初回治療終了後	170
8その他	
計	295



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

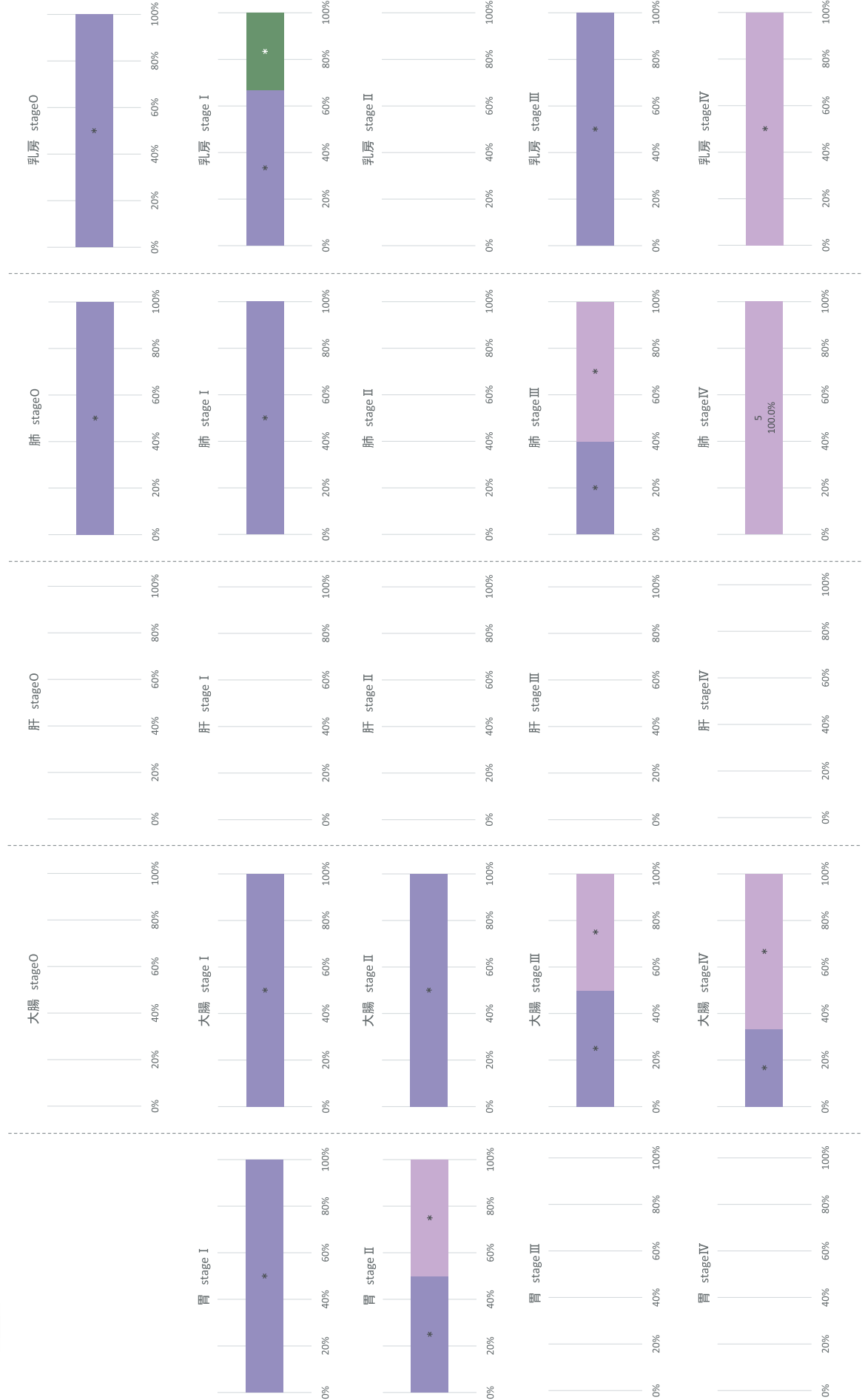
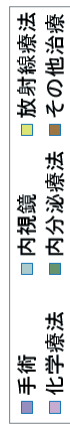
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・手術 鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道							*	*			
胃★	*			*			5	8	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	6			4			*	11	66.7%	33.3%	0.0%
肝★								0			
膵							7	7			
肺★	6			8			9	23	66.7%	0.0%	33.3%
皮膚								0			
乳房★	5			*	*			7	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄							*	*			
甲状腺	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患				23	5		14	42			
計	20	0	0	37	6	0	40	103			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



Ⅱ 施設別統計
熊本南病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名	阿蘇医療センター
-------	----------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

所在地	阿蘇市黒川1266番地		
病床数	124床(一般120床;感染症4床)		
追加情報	地域包括ケア病床21床		
診療科数	21科		
がん診療連携拠点病院指定日	2020.04.01	がん登録開始基準日	2020.01.01
平均在院日数	16.1(日)		
入院患者数	1,350(人)		
外来患者延数	55,537(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数(ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 1,620(件)		
院内がん登録件数	88(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

当院は、令和2年4月に阿蘇医療圏で唯一の「熊本県指定がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。以前から阿蘇医療圏内の患者さんは、がんと診断されると、熊本市内などの病院で受診または入院治療を行い、急性期および急性期後の外来通院をせざるを得ない状況でした。さらに熊本地震以降は主要幹線道路やJR等の交通インフラも不便になり患者さんや家族にとって遠距離の通院が負担となっていました。そういった地域の課題に対応するため、当院は平成26年の開院以来、医師の招聘、診療科の拡充等を図ってきたところです。

現在、がん関係の診療科は消化器外科、脳神経外科、歯科口腔外科、乳腺外科、婦人科、腫瘍内科、血液内科等を中心に診療を行っております。地域の医療機関からの紹介や、当院でがんを疑われた患者さんの診断から治療、熊本市内等での手術を受けられた患者さんの退院後のフォローや化学療法を行っています。

主要がん以外の「その他」については、胆道系、腎尿管など多岐に渡り、主に継続治療や治療後のフォローを行っています。

診断年別登録件数(参考)

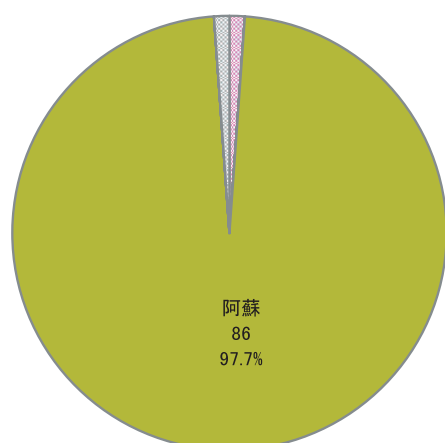


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

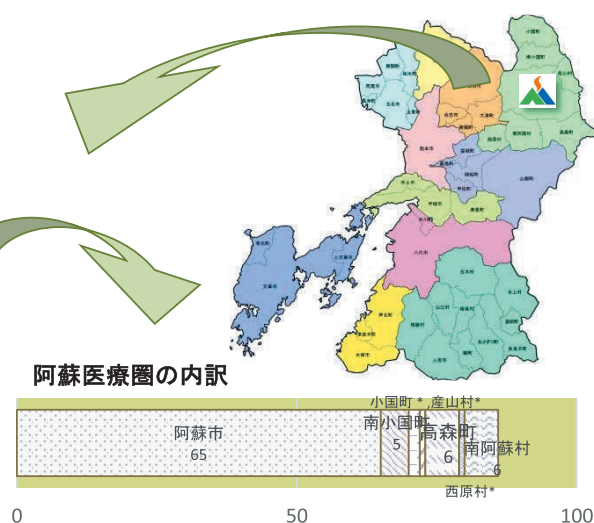
阿蘇医療センター

阿蘇医療センター（88件）

※ 全般において3件以下は*又は非表示

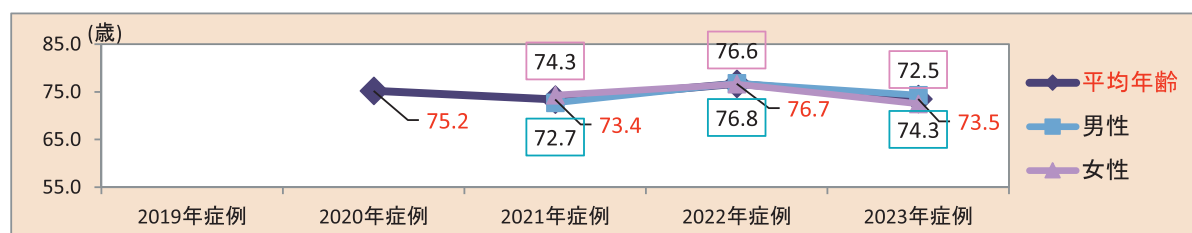


※ 熊・上(熊本)、県外等は1~3件

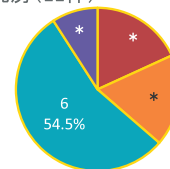
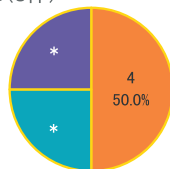
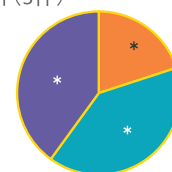
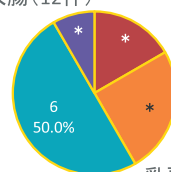
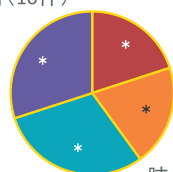
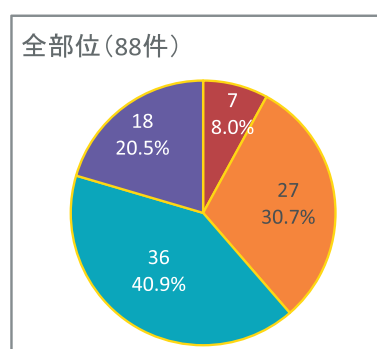


熊・上(熊本)		該当部位	*	有明	阿蘇	大腸 その他 乳房 胃 該当部位	12 12 11 10 各7	球磨		
熊・上(上益城)				鹿本	八代			天草		
宇城				菊池	芦北			県外等	該当部位	*

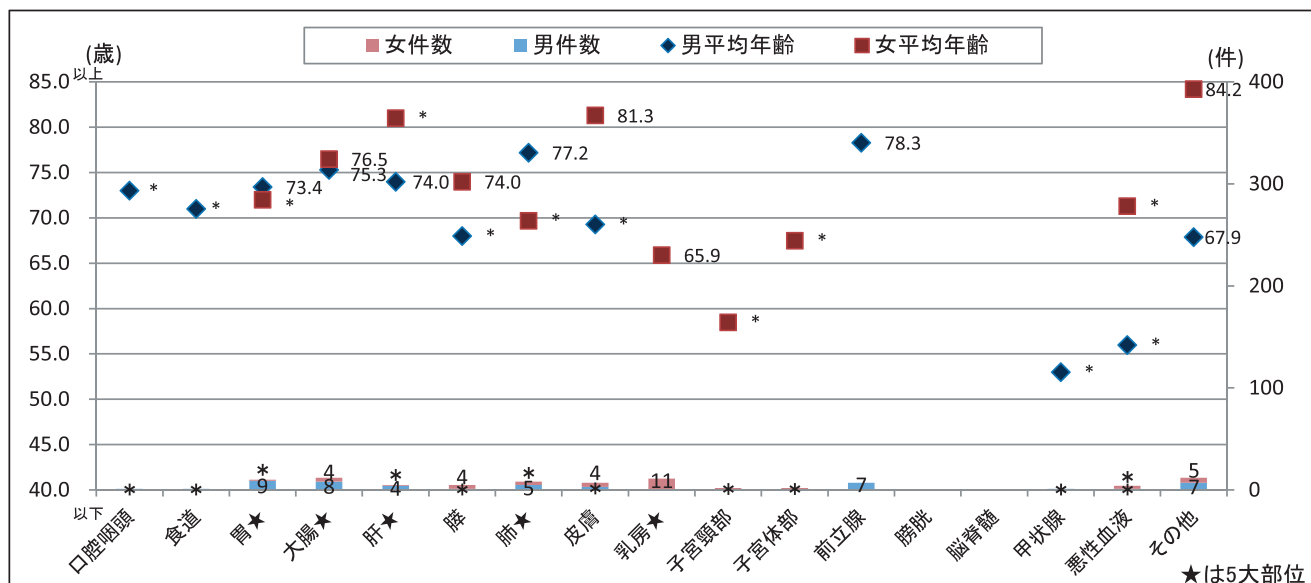
※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計



■1がん検診/健診/ドック ■3他疾患経過観察 ■4剖検(Ai含) ■8その他(自ら受診含) ■9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

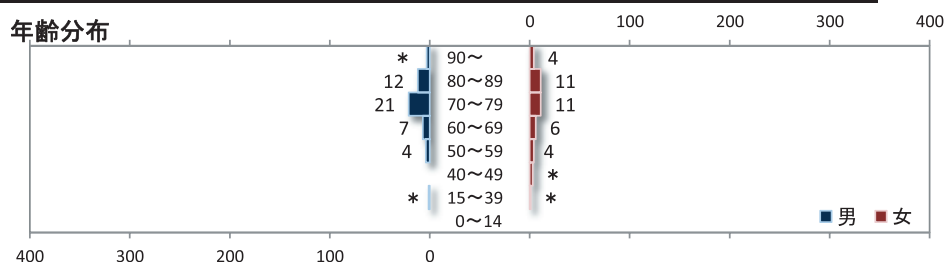


男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
胃	9			該当部位	*			該当部位	各*
大腸	8								
前立腺	7								
その他	7								
肺	5								
肝	4								
皮膚	*			計	*			計	4
口腔咽頭	*	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
食道	*	該当部位	各*	大腸	4	前立腺	4	該当部位	各*
脾	*			その他	4	該当部位	各*		
甲状腺	*			該当部位	各*				
悪性血液	*								
乳房									
子宮頸部									
子宮体部		計	7	計	21	計	12	計	*
膀胱									
脳脊髄									
計	48								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	11			該当部位	*	該当部位	*	該当部位	各*
その他	5								
大腸	4								
脾	4								
皮膚	4								
肺	*								
悪性血液	*			計	*	計	*	計	4
子宮頸部	*	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
子宮体部	*	該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*
胃	*								
肝	*								
口腔咽頭									
食道									
前立腺									
膀胱		計	6	計	11	計	11	計	4
脳脊髄									
甲状腺									
計	40								

年齢分布



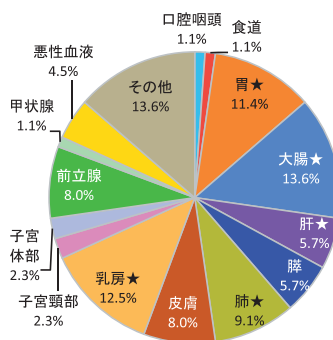
Ⅱ 施設別統計

阿蘇医療センター

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭		4	7	*	*
食道		9	*	*	*
胃★		8	17	6	10
大腸★		19	25	15	12
肝★		9	7	*	5
膵		11	4	6	5
肺★		18	17	10	8
皮膚		*		5	7
乳房★		12	16	13	11
子宮頸部					*
子宮体部		*	*	*	*
前立腺		10	7	*	7
膀胱		*	*		
脳脊髄		*	*		
甲状腺		*	*	*	*
悪性血液疾患		*	4	*	4
その他		23	10	7	12
計		131	125	77	88

2023年診断症例 主要部位別割合



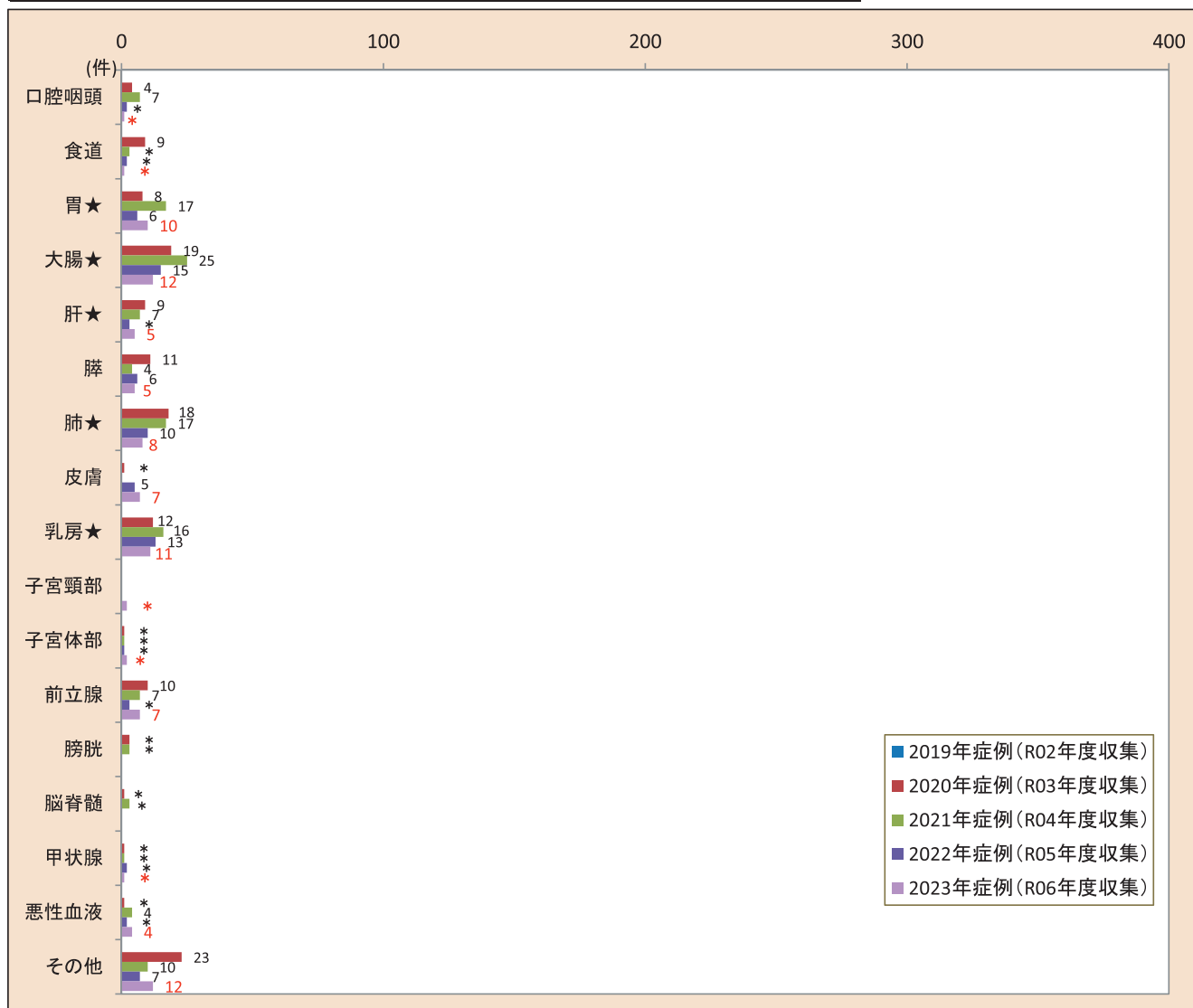
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

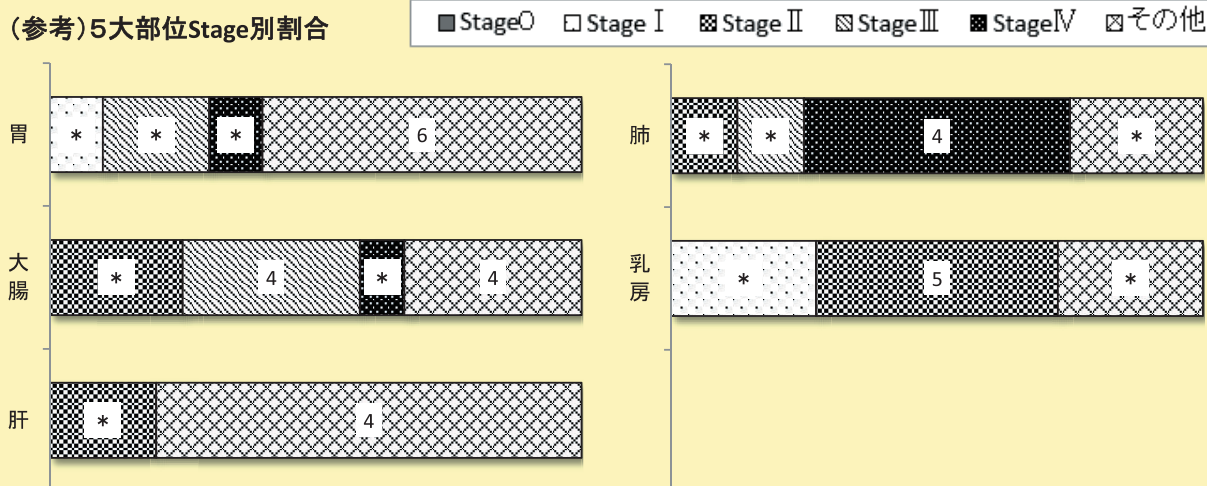
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



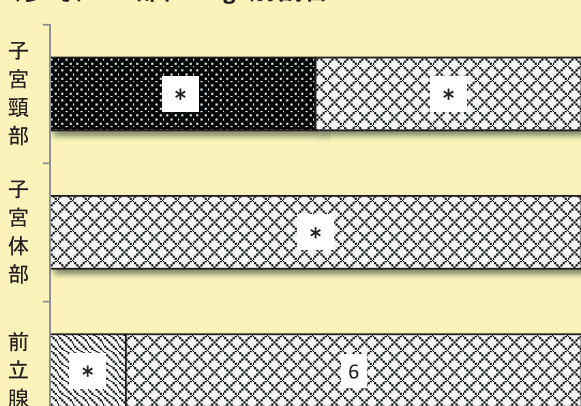
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	*						*
食道	*				*		
胃★	10		*		*	*	6
大腸★	12			*	4	*	4
肝★	5			*			4
膵	5			*		*	*
肺★	8			*	*	4	*
皮膚	7						7
乳房★	11		*	5			*
子宮頸部	*					*	*
子宮体部	*						*
前立腺	7				*		6
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	*						*
悪性血液疾患	4						4
その他	12			*		*	10
計	88	0	4	12	9	10	53

(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合

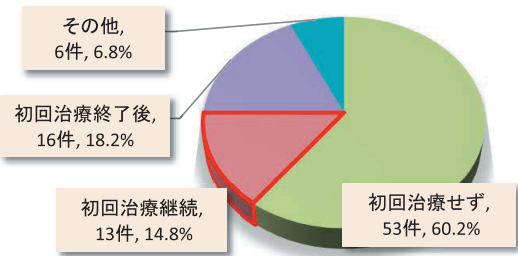
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

阿蘇医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

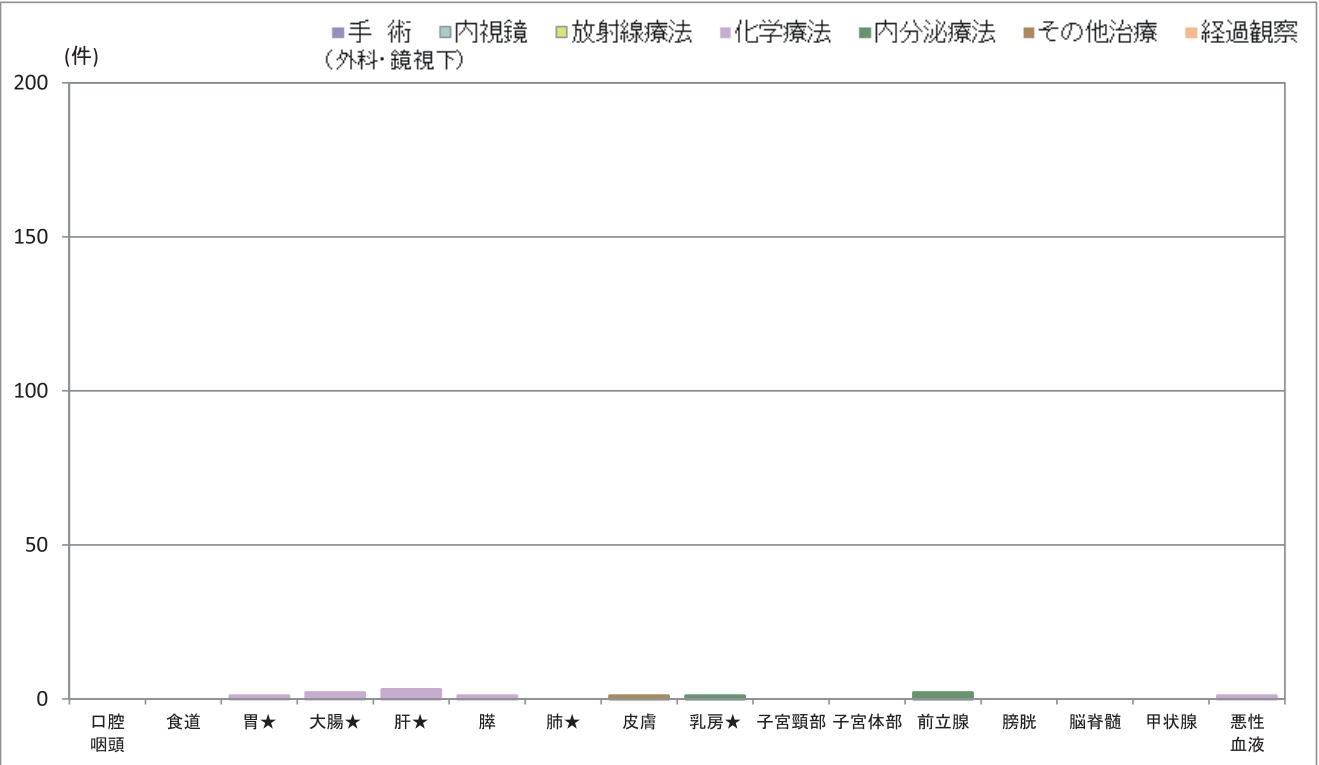
治療施設	件数
1初回治療せず	53
2初回治療開始	
3初回治療継続	13
4初回治療終了後	16
8その他	6
計	88



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として
自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の
16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の
縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、
表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示
したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

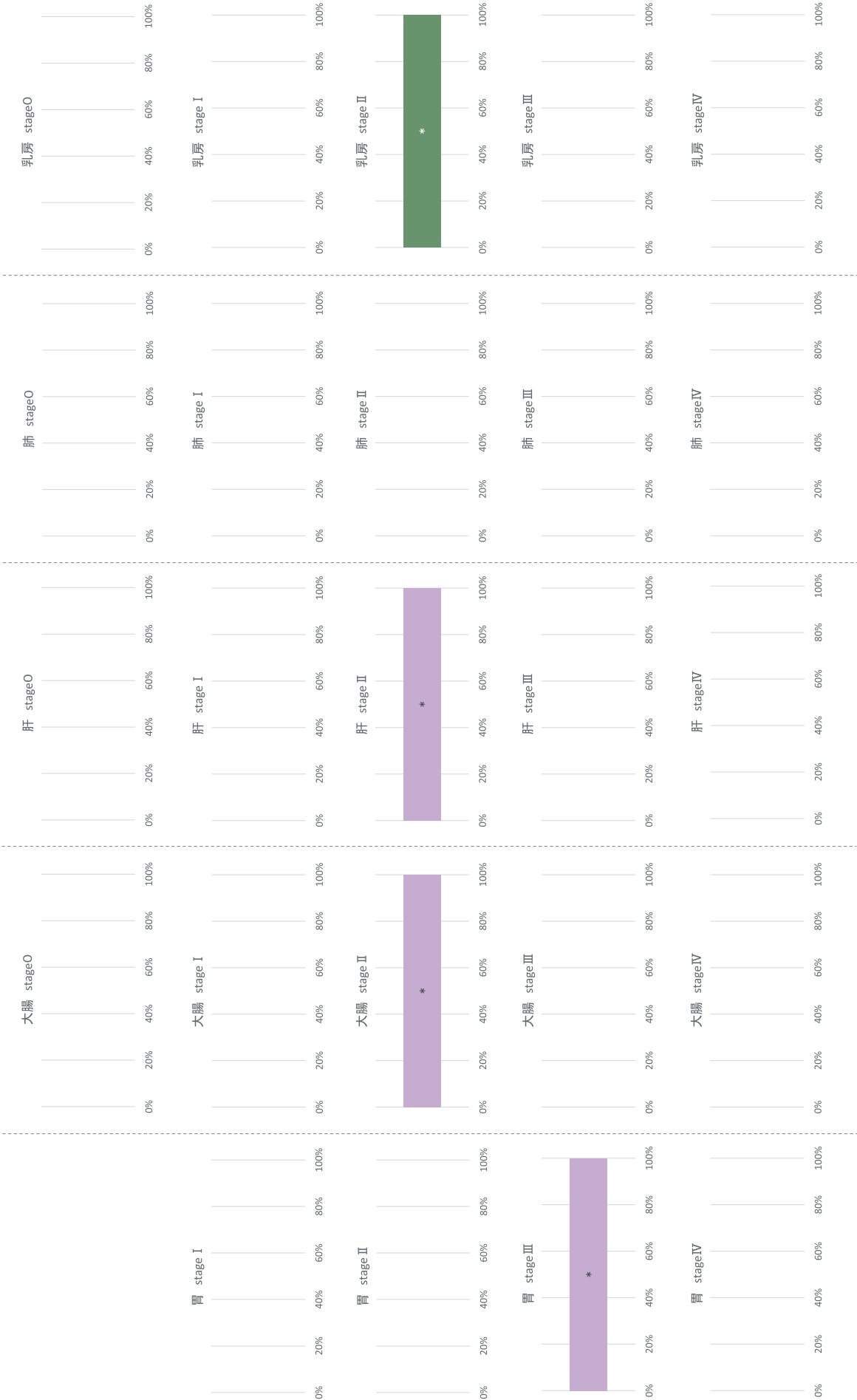
	(外科・ 手術 鏡視下)	内 視 鏡	放 射 線 療 法	化 学 療 法	内 分 泌 療 法	そ の 他 治 療	経 過 観 察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺 残 な し (原 発 巣 切 除)	遺 残 あ り (原 発 巣 残 転 移 巣 の み 切 除 な ど)	不 明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★				*				*			
大腸★				*				*			
肝★				*				*			
膵				*				*			
肺★								0			
皮膚						*		*			
乳房★					*			*			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺					*			*			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患				*				*			
計	0	0	0	8	*	*	0	12			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■化学療法 ■内視鏡 ■放射線療法 ■内分泌療法 ■その他治療



Ⅱ 施設別統計
阿蘇医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名		熊本市立熊本市民病院
-------	---	------------

○基本情報

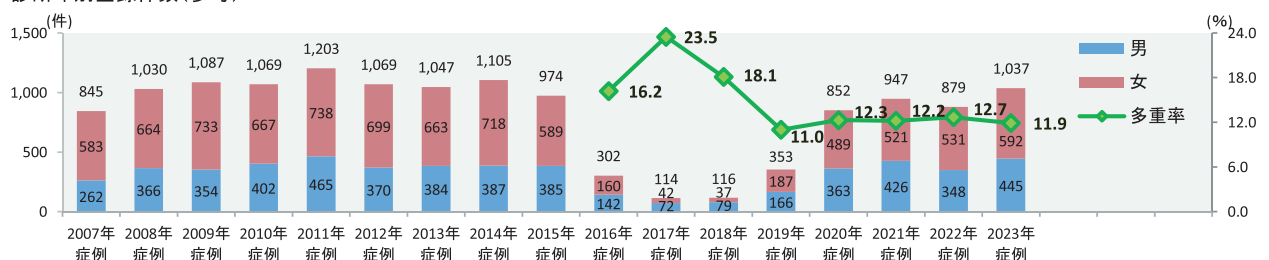
【令和5(2023)年12月現在】

所在地	熊本市東区東町4丁目1-60		
病床数	388床(一般380床;感染症8床)		
追加情報	無菌室4床		
診療科数	32科		
がん診療連携拠点病院指定日	2020.04.01	がん登録開始基準日	1981.01.01
平均在院日数	11.6(日)		
入院患者数	10,012(人)		
外来患者延数	117,008(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数(ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること 141,897(件)		
院内がん登録件数	1,037(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 1(名)		

○医療機関からのコメント

【症例件数】 2023年は1,037件で前年(879件)と比較して158件増加。 2022年症例のうち、特に男性症例が減少した原因は不明だが、開院後の件数は順調に増加している。 【性別】 男性445件(42.9%)、女性592件(57.1%)で女性が多い。 乳房疾患、子宮頸部および子宮体部がんが多いためと考えられる。 【年齢】 平均年齢68.5歳で年々上昇傾向。平均年齢は男女ともに前年より上がっている。 【医療圏】 熊本市東区396件(38.2%)、上益城213件(20.5%)、熊本市中央区122件(11.8%)であった。これは、当院が担当する医療圏を示しており、今後も地域の医療機関との連携を深めて行きたい。 【部位別状況】 前年に比べて乳房と前立腺はそれぞれ30件以上増えており、年々増加傾向である。 乳房の件数増加は、地域の医療機関からの流出による紹介増加と考えられる。 2022年症例で減少していた部位のほとんどは本来の件数に戻っているが、皮膚と子宮体部と甲状腺については減少傾向である。 【治療】 新病院が開院後、手術、化学療法、放射線治療の3つが可能となり、当院で治療完結出来る患者が増えた。 特に乳房においては、手術、化学療法、放射線治療による治療が昨年と比べて増加している。
--

診断年別登録件数(参考)

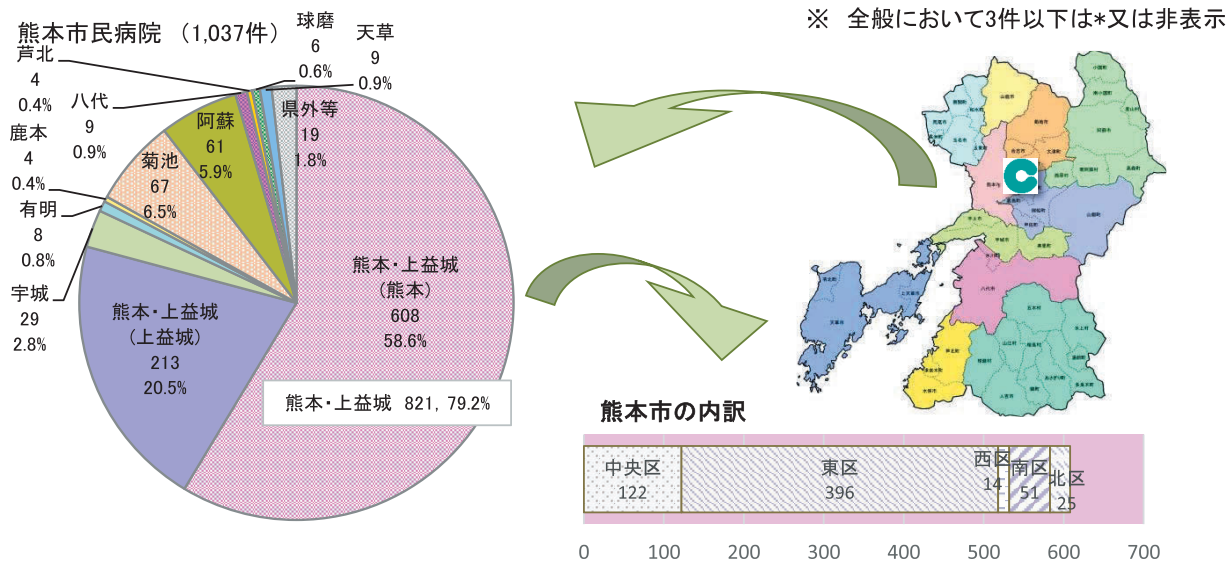


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

Ⅱ 施設別統計

熊本市市民病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

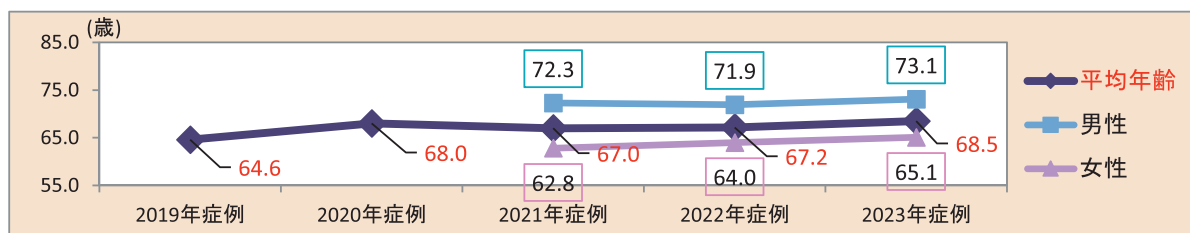


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	乳房	86	有明	該当部位	各*	阿蘇	乳房	19	球磨	該当部位	各*
	その他	58					子宮体部	6			
	前立腺	56					悪性血液	6			
	大腸	55					前立腺	5			
	肺	55					子宮頸部	4			
熊・上 (上益城)	大腸	34	鹿本	該当部位	各*	八代	子宮頸部	4	天草	該当部位	各*
	乳房	24					該当部位	各*			
	悪性血液	24									
	前立腺	23									
	その他	17									
宇城	胃	6	菊池	乳房	18	芦北	該当部位	各*	県外等	乳房	6
	大腸	4		子宮頸部	9					該当部位	各*
	その他	4		肺	8						
	該当部位	各*		その他	7						
				該当部位	各5						

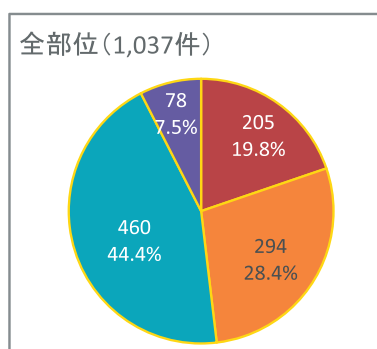
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

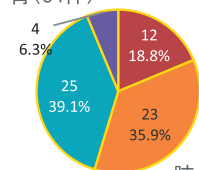


③ 発見経緯 5大部位の内訳

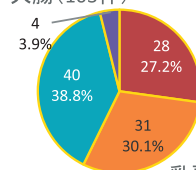
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



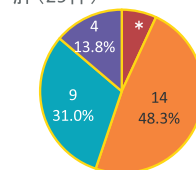
胃(64件)



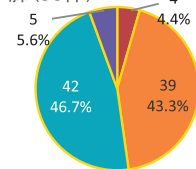
大腸(103件)



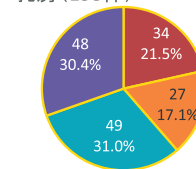
肝(29件)



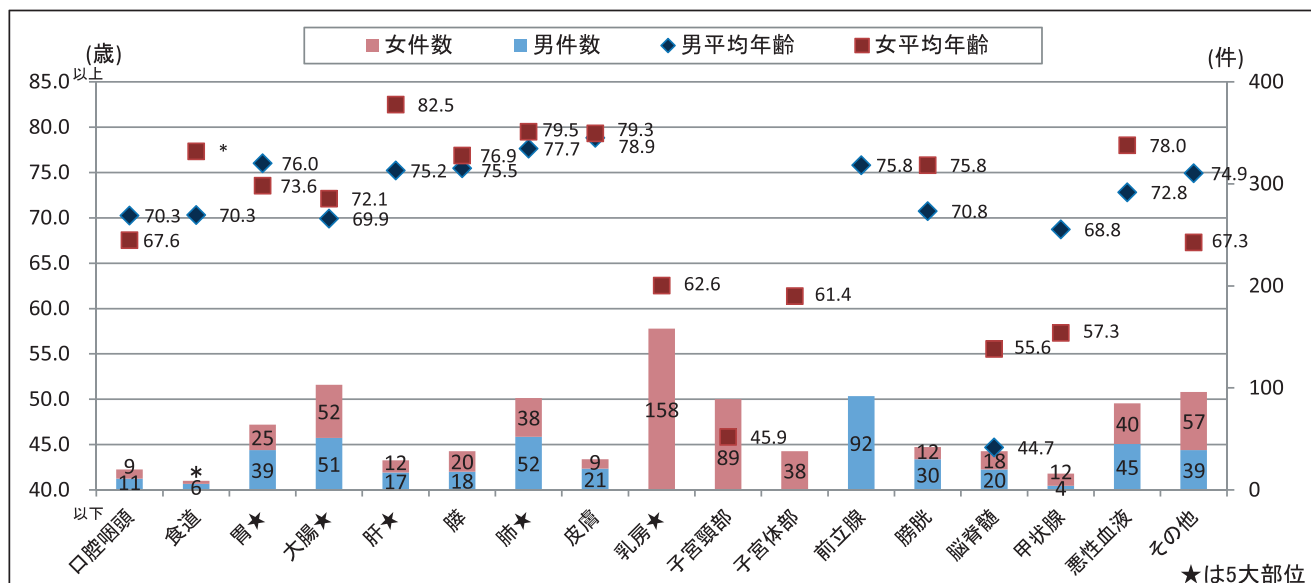
肺(90件)



乳房(158件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

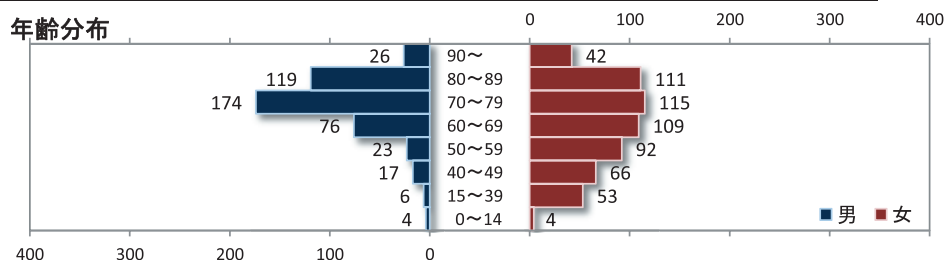


男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
前立腺	92	脳脊髄	4	脳脊髄	4	悪性血液	4	大腸	4
肺	52			該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*
大腸	51								
悪性血液	45								
胃	39								
その他	39								
膀胱	30	計	4	計	6	計	17	計	23
皮膚	21	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
脳脊髄	20	大腸	15	前立腺	52	前立腺	25	肺	6
膵	18	前立腺	11	肺	24	悪性血液	17	皮膚	6
肝	17	胃	8	大腸	22	肺	15	該当部位	各*
口腔咽頭	11	悪性血液	8	その他	16	その他	13		
食道	6	膀胱	7	胃	15	胃	12		
甲状腺	4	など		など		など			
乳房		計	76	計	174	計	119	計	26
子宮頸部									
子宮体部									
計	445								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	158	脳脊髄	4	子宮頸部	36	乳房	25	乳房	35
子宮頸部	89			乳房	7	子宮頸部	22	子宮頸部	14
その他	57			子宮体部	4	その他	6	子宮体部	11
大腸	52			該当部位	各*	大腸	4	その他	11
悪性血液	40					該当部位	各*	大腸	7
肺	38							など	
子宮体部	38	計	4	計	53	計	66	計	92
胃	25	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
膵	20	乳房	39	乳房	28	乳房	20	悪性血液	7
脳脊髄	18	子宮頸部	12	大腸	16	大腸	14	大腸	5
肝	12	その他	11	肺	13	肺	14	その他	5
膀胱	12	子宮体部	10	悪性血液	13	悪性血液	14	乳房	4
甲状腺	12	該当部位	各6	その他	9	その他	12	肺	4
口腔咽頭	9	など		など		など		該当部位	各*
皮膚	9	計	109	計	115	計	111	計	42
食道	*								
前立腺									
計	592								

年齢分布



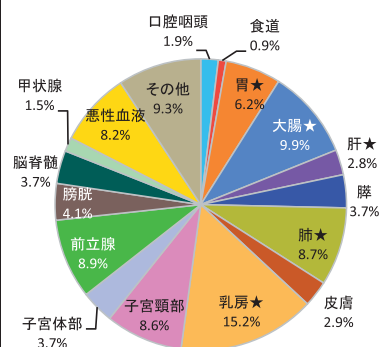
Ⅱ 施設別統計

熊本市市民病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	10	21	17	18	20
食道	4	6	5	10	9
胃★	13	53	39	44	64
大腸★	24	79	88	90	103
肝★	6	19	21	12	29
膵	6	25	31	23	38
肺★	29	72	84	69	90
皮膚	24	37	40	32	30
乳房★	48	93	102	126	158
子宮頸部	22	79	103	88	89
子宮体部	7	43	47	41	38
前立腺	19	57	83	54	92
膀胱	15	42	53	36	42
脳脊髄	49	38	30	49	38
甲状腺	5	6	18	17	16
悪性血液疾患	36	88	84	67	85
その他	36	94	102	103	96
計	353	852	947	879	1,037

2023年診断症例 主要部位別割合



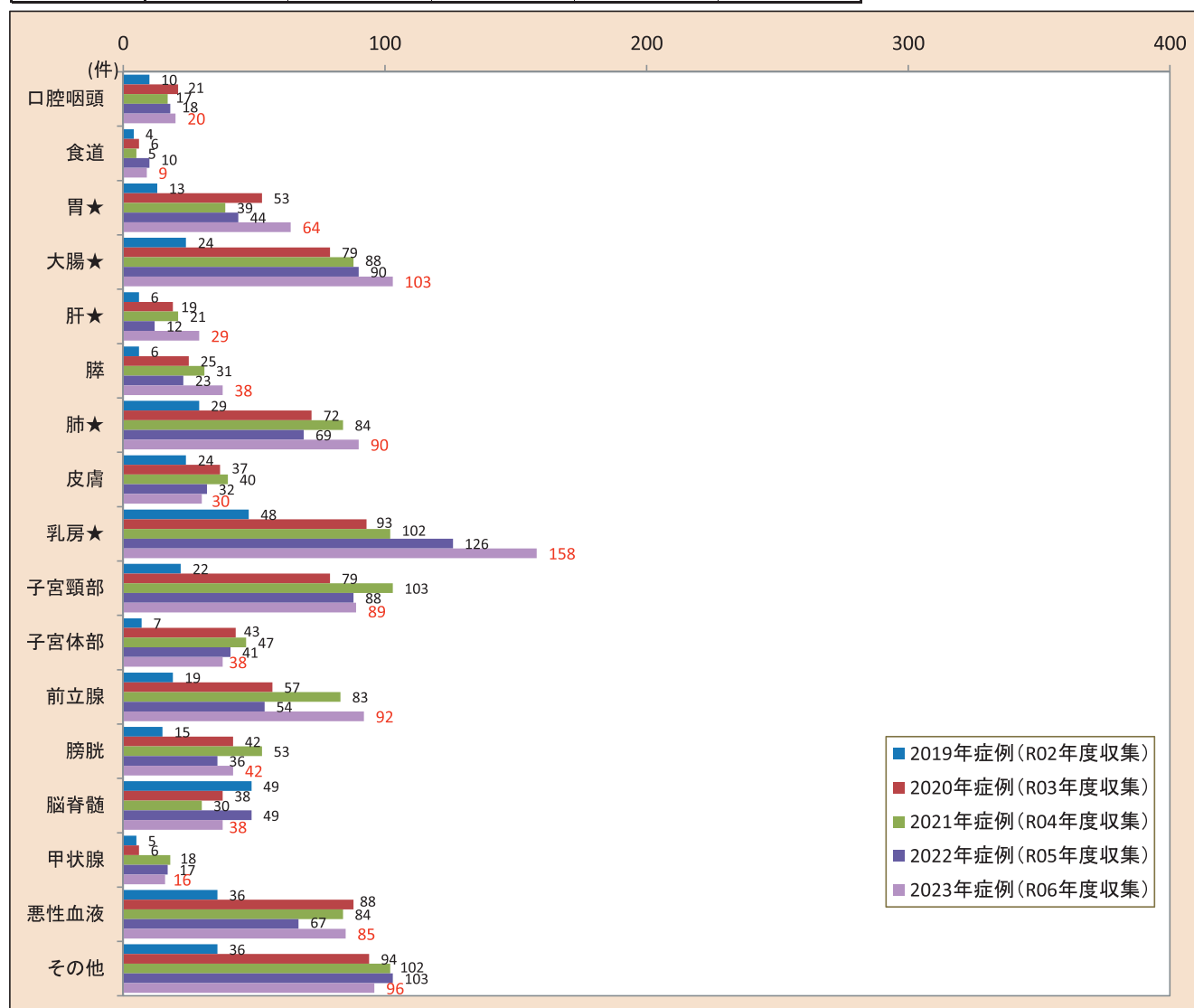
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

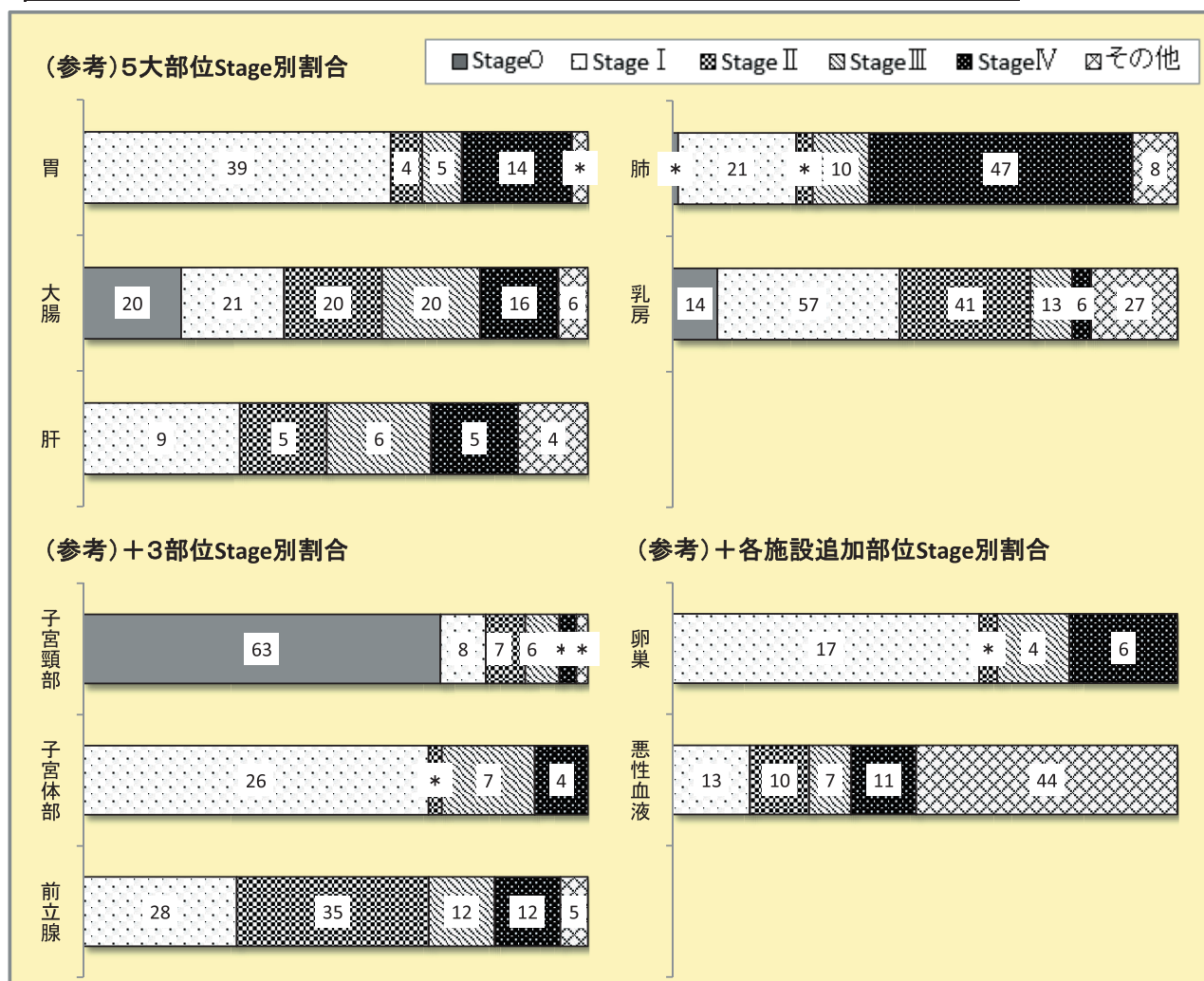
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	20		7	4	*	5	*
食道	9		*	*	*	4	*
胃★	64		39	4	5	14	*
大腸★	103	20	21	20	20	16	6
肝★	29		9	5	6	5	4
膵	38	*	16	*	5	13	*
肺★	90	*	21	*	10	47	8
皮膚	30	9	16	*		*	*
乳房★	158	14	57	41	13	6	27
子宮頸部	89	63	8	7	6	*	*
子宮体部	38		26	*	7	4	
前立腺	92		28	35	12	12	5
膀胱	42	26	5	7	*		*
脳脊髄	38						38
甲状腺	16		8	*		*	4
悪性血液疾患	85		13	10	7	11	44
その他	96	*	37	16	12	23	5
計	1,037	137	313	161	108	165	153



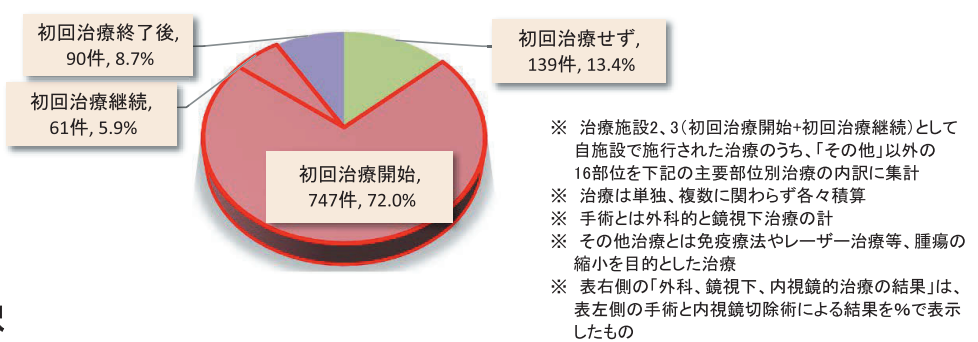
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

熊本市民病院

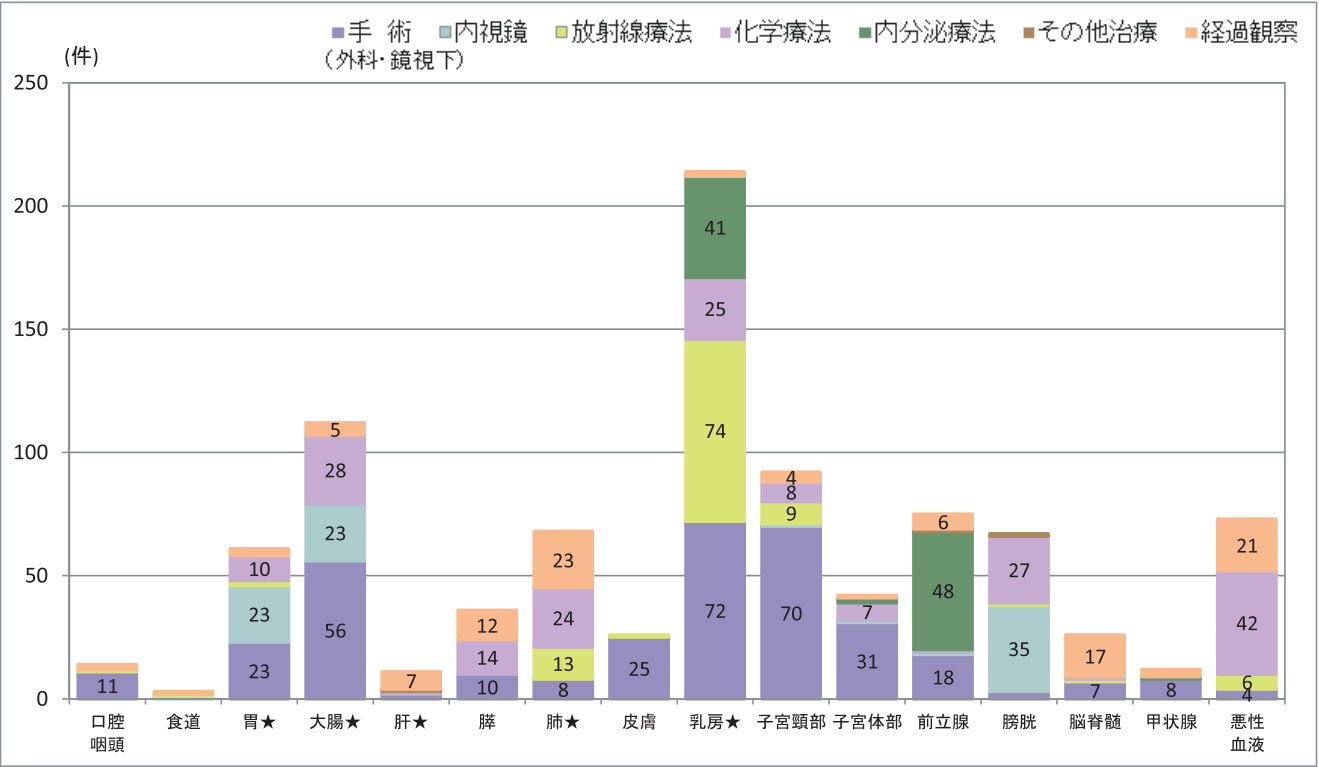
⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	139
2初回治療開始	747
3初回治療継続	61
4初回治療終了後	90
8その他	
計	1,037



⑨ 主要部位別治療の内訳

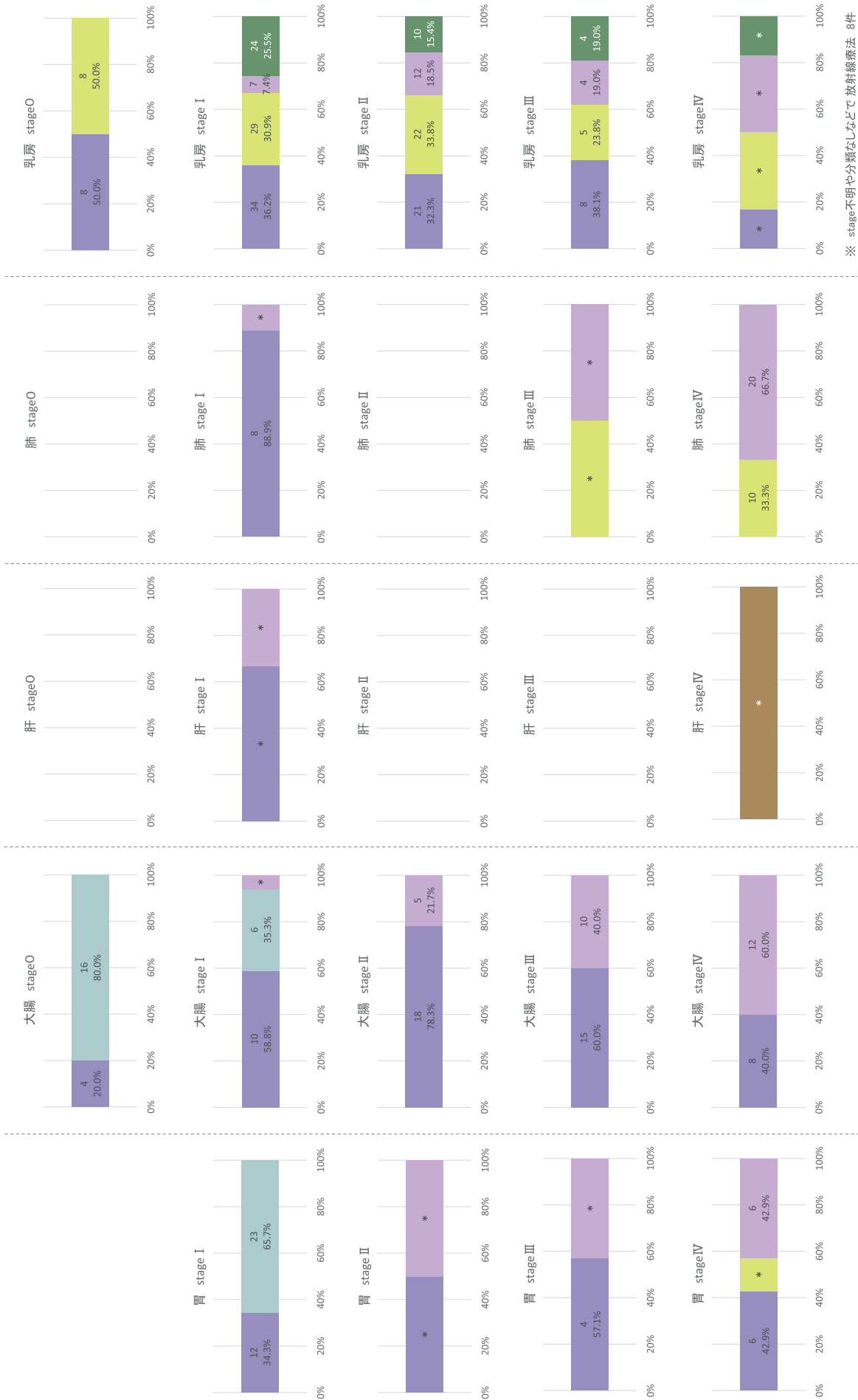
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	11		*				*	14	100.0%	0.0%	0.0%
食道		*	*				*	*	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	23	23	*	10			*	61	93.2%	4.5%	2.3%
大腸★	56	23		28			5	112	89.6%	3.9%	6.5%
肝★	*			*		*	7	11	100.0%	0.0%	0.0%
膵	10			14			12	36	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	8		13	24			23	68	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	25		*					26	96.0%	4.0%	0.0%
乳房★	72		74	25	41		*	214	88.9%	2.8%	8.3%
子宮頸部	70	*	9	8			4	92	91.2%	4.4%	4.4%
子宮体部	31	*		7	*		*	42	87.5%	12.5%	0.0%
前立腺	18	*		*	48	*	6	75	52.6%	31.6%	15.8%
膀胱	*	35	*	27		*		67	75.7%	10.8%	13.5%
脳脊髄	7		*	*			17	26	57.1%	42.9%	0.0%
甲状腺	8				*		*	12	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	4		6	42			21	73	25.0%	25.0%	50.0%
計	348	85	109	188	92	*	107	932			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUIC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法
 ■ 化学療法 ■ 内分泌療法 ■ その他治療



※ stage不明や分類なしなどで放射線療法 8件

Ⅱ 施設別統計
熊本市市民病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名		地方独立行政法人 くまもと県北病院
-------	---	-------------------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

所在地	玉名市玉名550番地		
病床数	402床(一般402床)		
追加情報	回復期リハビリ病床45床;地域包括ケア病床45床		
診療科数	32科		
がん診療連携拠点病院指定日	2021.12.03	がん登録開始基準日	2021.01.01
平均在院日数	14.0(日)		
入院患者数	6,411(人)		
外来患者延数	97,856(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 4,500(件/概算)		
院内がん登録件数	814(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 2 / 他 1(名)		

○医療機関からのコメント

2023年の院内がん登録件数は814件(男性503件、女性311件)で、昨年より62件増加した。
部位別に比較すると、「前立腺」は前年に比べ36.8%増加し、130件となった。そのうち23件は初回治療として手術が施行されている。2023年2月に県北地域初となる手術支援ロボット「da Vinci Xi」が導入され、その効果と考えられる。他の部位については、前年との大きな差はなく、全体的に増加していた。
【住所医療圏別人数】
荒尾・玉名地区在住:全体の88%(716件)
(玉名市:476件(59%)、荒尾市:77件(9%)、和水町:49件(6%)、長洲町:48件(6%)、玉東町:38件(5%)、南関町:28件(3%))
県外からの受診は、隣接する福岡県大牟田市からの割合が約半分を占めている。
【がん病巣の広がり】
診断時に上皮内や限局にとどまっている割合は、多くのがんで5割を超えるが、「肺」や「膵臓」については、診断時に遠隔転移が多く見られる。
○取り組み
【がん登録データの活用】患者さんやその家族に安心感を提供し、がん治療や予防の理解を深めてもらうことを目的に患者向けリーフレットを作成。リーフレットは、がん相談支援センターや外来、健診等で活用予定であり、院内にとどまらず、院外(市町村の健診等)にも周知を進めている。10月には地域連携1市4町との意見交換会に参加し、情報提供を行った。
【私のカルテ】「肺」「胃」「大腸」で導入しており、2023年の実績は33件。
【医科歯科連携】2023年は手術前連携100件、化学療法前連携39件を実施した。
【たまな在宅ネットワーク】玉名で在宅医療を支える医師、薬局、訪問看護ステーション、ケアマネジャー等が連携している。月1回、定例会で在宅医療を受ける患者のカンファレンスを実施している。玉名地域には緩和ケア病棟はないが、連携により終末期患者を支援している。自施設では在宅医療のバックベッドとして、訪問診療や地域医師とのダブル主治医として活動している。
【緩和ケア】「疼痛と緩和ケアの勉強会」を月1回開催しており、緩和ケアに関するさまざまなテーマで、30名から40名程の医療福祉関係者が参加している。

診断年別登録件数(参考)



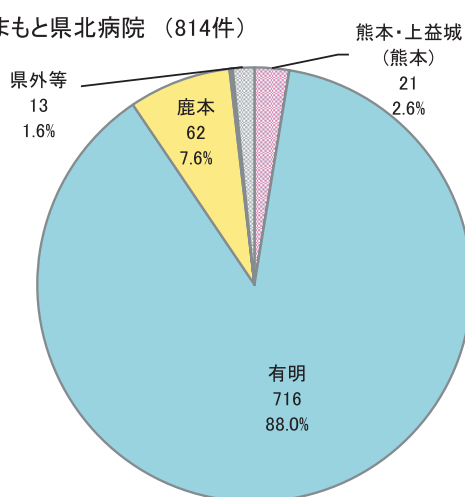
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

Ⅱ 施設別統計

くまもと県北病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

くまもと県北病院 (814件)



※ 全般において3件以下は*又は非表示

有明医療圏の内訳



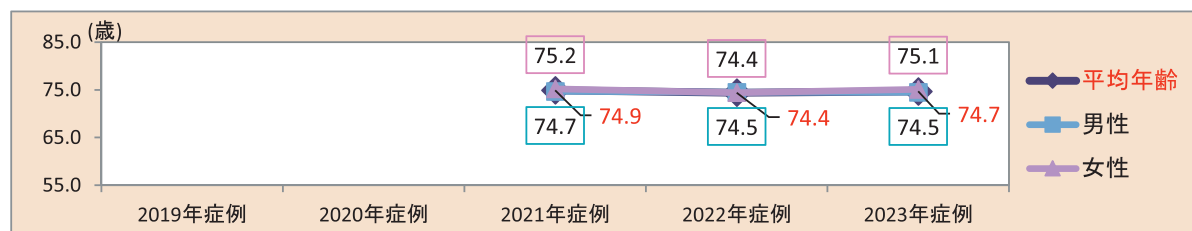
※ 菊池、八代は1~3件

◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	大腸	4	有明	前立腺	110	阿蘇		球磨	
	悪性血液	4		肺	108				
	該当部位	各*		その他	77				
				大腸	69				
				該当部位	各55				
熊・上 (上益城)			鹿本	肺	16	八代	該当部位	*	
				前立腺	15				
				膀胱	9				
				大腸	6				
				該当部位	各4				
宇城			菊池	該当部位	*	芦北			該当部位 各*

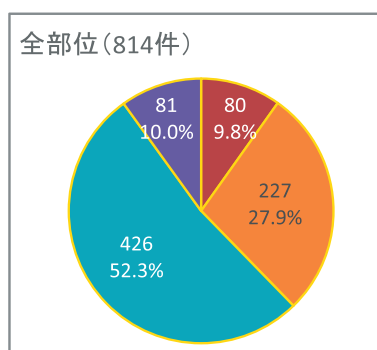
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

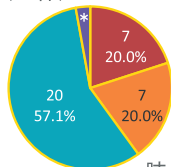


③ 発見経緯 5大部位の内訳

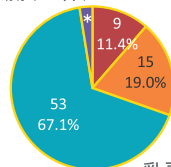
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



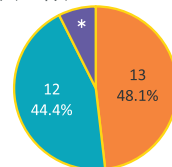
胃(35件)



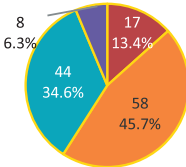
大腸(79件)



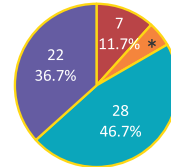
肝(27件)



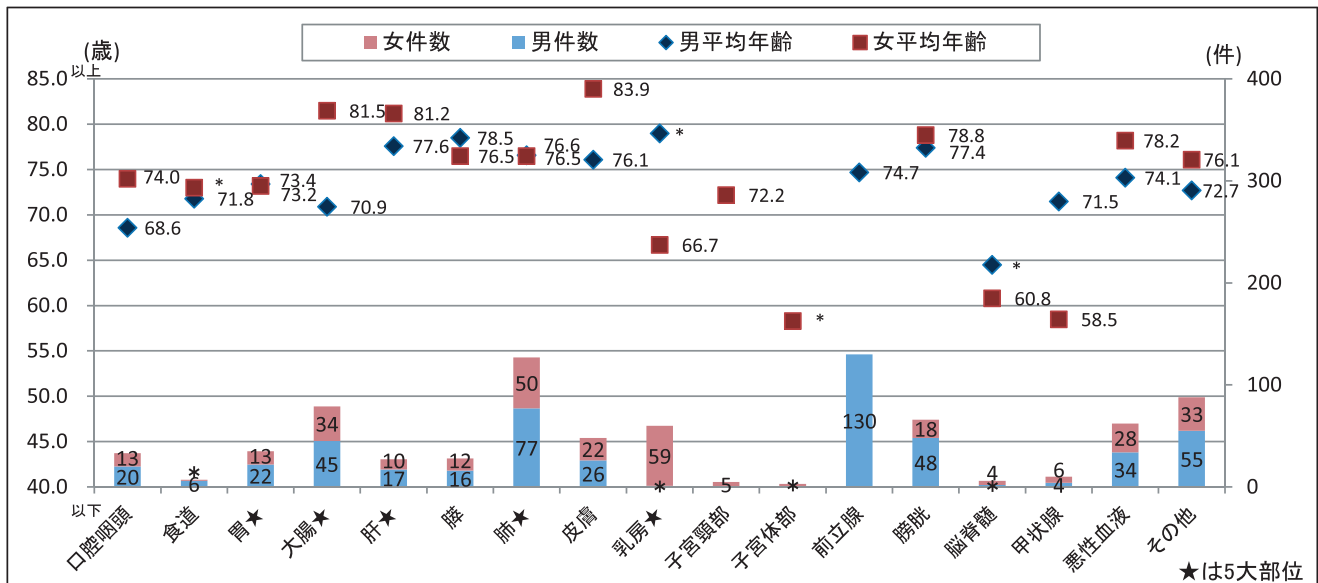
肺(127件)



乳房(60件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



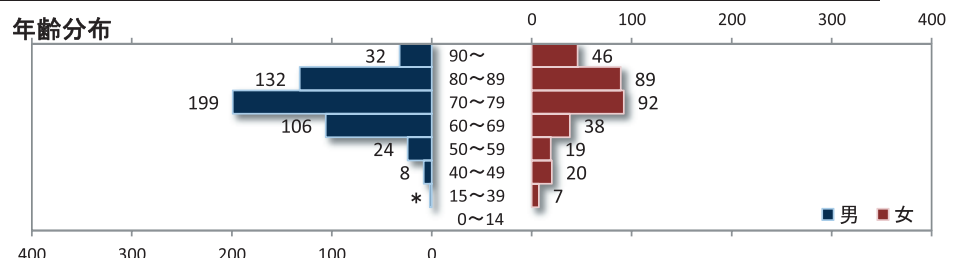
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
前立腺	130			該当部位	各*	該当部位	各*	その他	8
肺	77							前立腺	4
その他	55							該当部位	各*
膀胱	48								
大腸	45								
悪性血液	34								
皮膚	26			計	*	計	8	計	24
胃	22								
		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
口腔咽頭	20	前立腺	34	前立腺	54	前立腺	31	肺	7
肝	17	大腸	16	肺	30	肺	24	前立腺	7
膵	16	肺	14	膀胱	21	膀胱	17	その他	4
食道	6	該当部位	各7	その他	21	悪性血液	13	該当部位	各*
甲状腺	4	胃	6	大腸	15	その他	13		
脳脊髄	*	など		など		など			
乳房	*	計	106	計	199	計	132	計	32
子宮頸部									
子宮体部									
計	503								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
乳房	59			該当部位	各*	乳房	11	乳房	7
肺	50					該当部位	各*	口腔咽頭	4
大腸	34							該当部位	各*
その他	33								
悪性血液	28								
皮膚	22			計	7	計	20	計	19
膀胱	18								
口腔咽頭	13								
		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
胃	13	乳房	8	肺	17	肺	21	大腸	8
膵	12	その他	5	乳房	17	大腸	13	皮膚	8
肝	10	大腸	4	悪性血液	9	乳房	11	その他	7
甲状腺	6	肺	4	大腸	8	悪性血液	11	膀胱	5
子宮頸部	5	悪性血液	4	その他	8	その他	9	肺	4
脳脊髄	4	該当部位	各*	など		など		該当部位	各*
子宮体部	*	計	38	計	92	計	89	計	46
食道	*								
前立腺									
計	311								



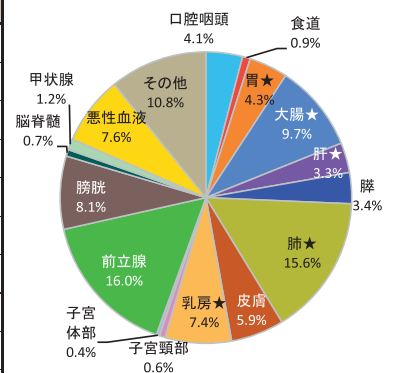
Ⅱ 施設別統計

くまもと県北病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭			10	27	33
食道			10	11	7
胃★			40	50	35
大腸★			82	75	79
肝★			21	22	27
膵			24	19	28
肺★			76	132	127
皮膚			24	34	48
乳房★			40	46	60
子宮頸部			5	13	5
子宮体部			*	4	*
前立腺			90	95	130
膀胱			42	71	66
脳脊髄			9	6	6
甲状腺			5	11	10
悪性血液疾患			37	52	62
その他			76	84	88
計			594	752	814

2023年診断症例 主要部位別割合



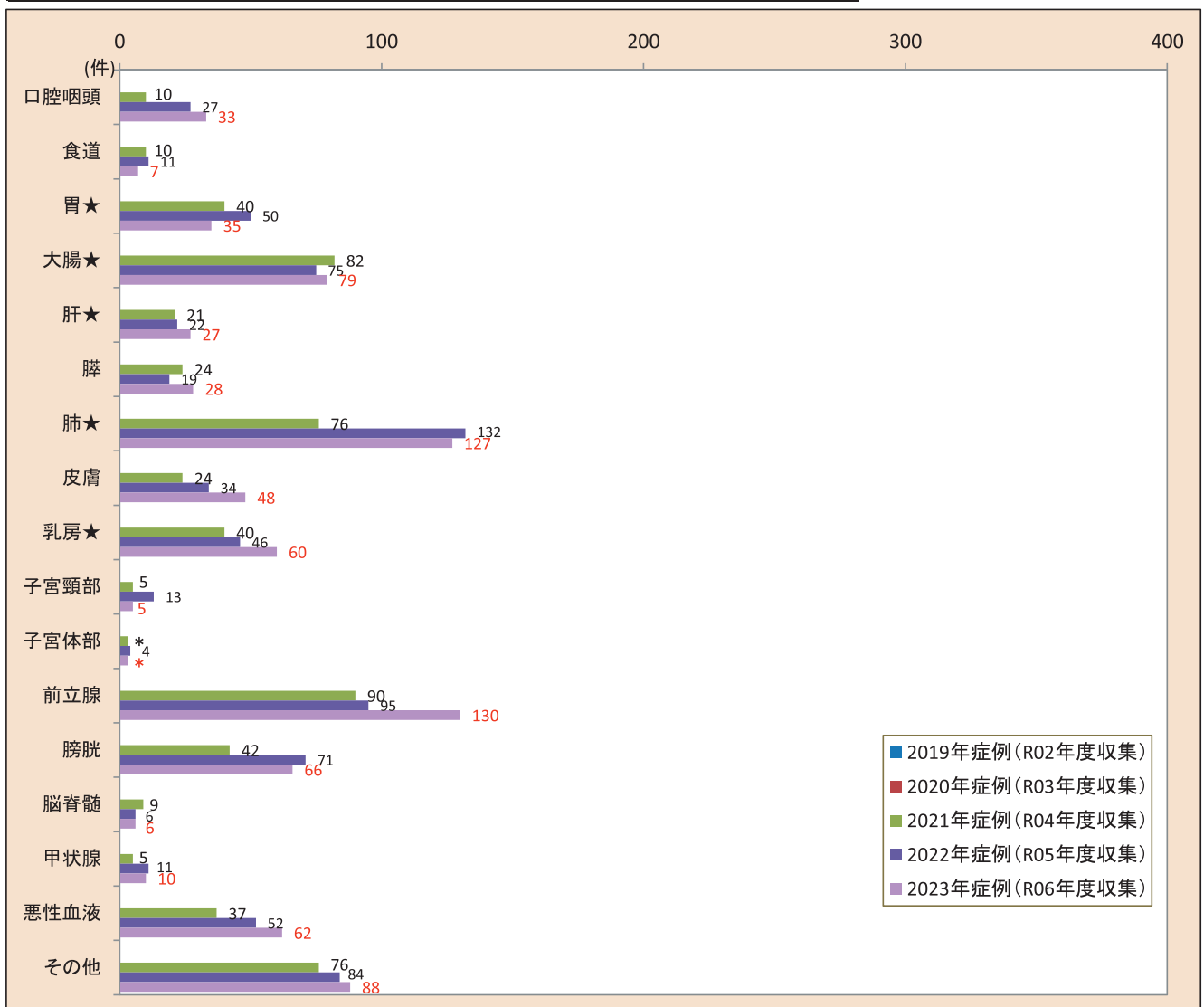
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

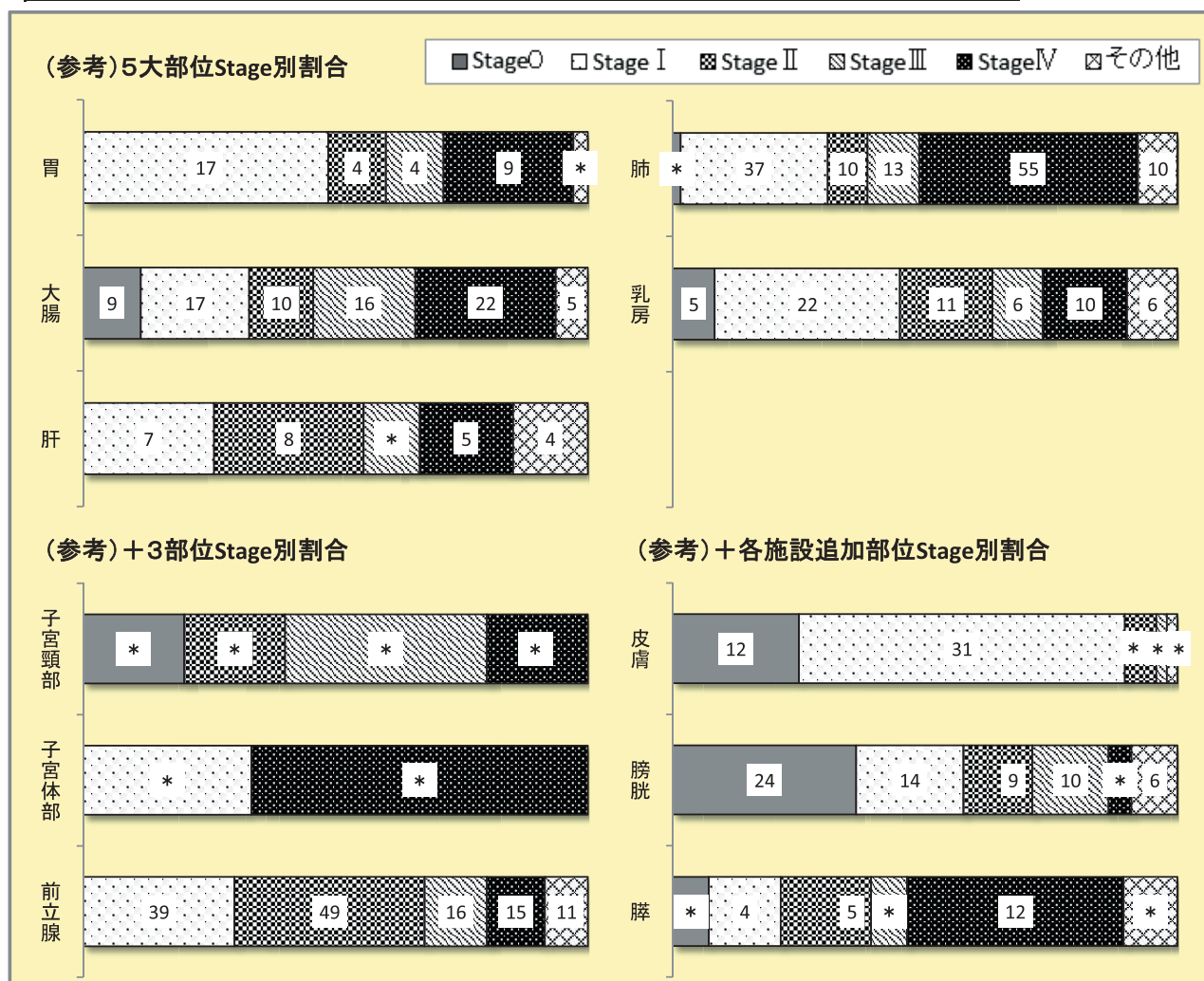
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	33		8	*	12	9	*
食道	7		6				*
胃★	35		17	4	4	9	*
大腸★	79	9	17	10	16	22	5
肝★	27		7	8	*	5	4
膵	28	*	4	5	*	12	*
肺★	127	*	37	10	13	55	10
皮膚	48	12	31	*	*		*
乳房★	60	5	22	11	6	10	6
子宮頸部	5	*		*	*	*	
子宮体部	*		*			*	
前立腺	130		39	49	16	15	11
膀胱	66	24	14	9	10	*	6
脳脊髄	6						6
甲状腺	10		6	*		*	*
悪性血液疾患	62		6	*	*	14	37
その他	88	6	29	13	12	16	12
計	814	61	244	127	100	174	108



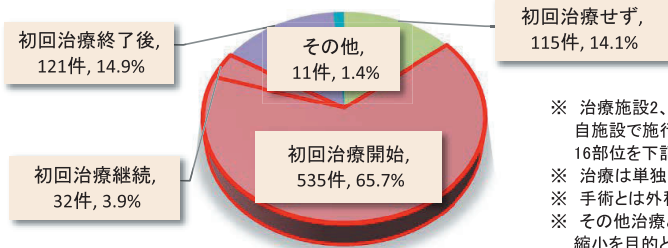
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

くまもと県北病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

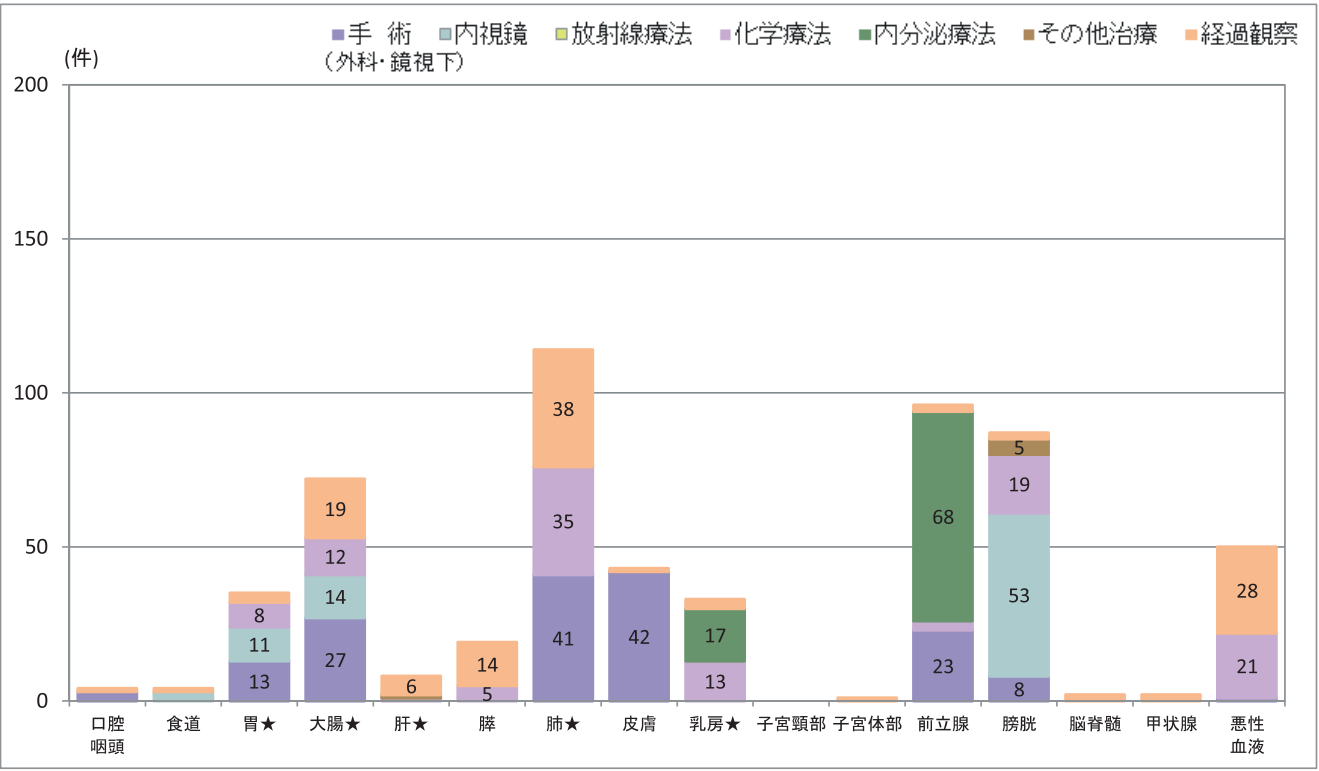
治療施設	件数
1初回治療せず	115
2初回治療開始	535
3初回治療継続	32
4初回治療終了後	121
8その他	11
計	814



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として
自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の
16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の
縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、
表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示
したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

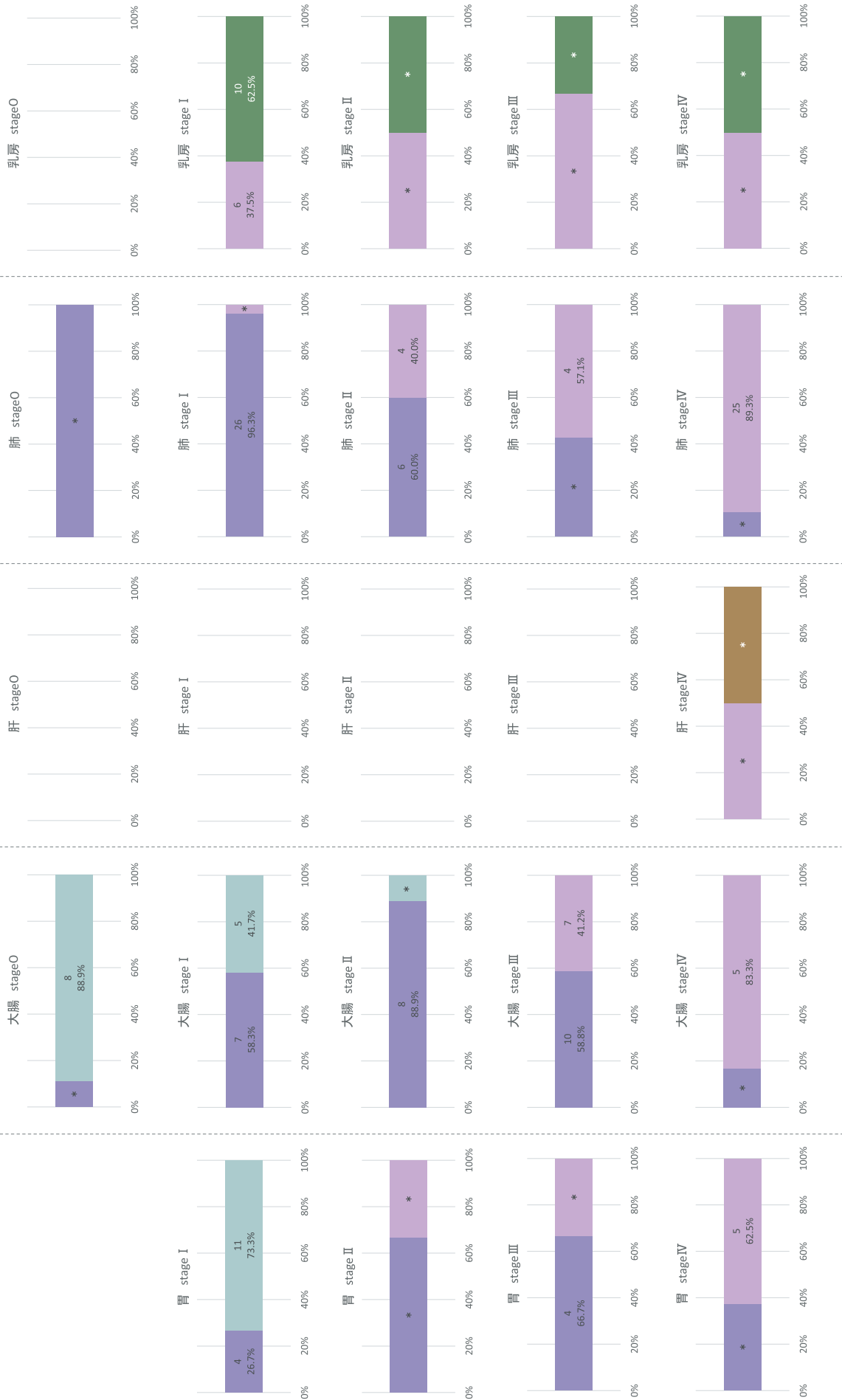
	(外科・ 手術・ 鏡視下)	内 視 鏡	放 射 線 療 法	化 学 療 法	内 分 泌 療 法	そ の 他 治 療	経 過 観 察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	*						*	4	100.0%	0.0%	0.0%
食道		*					*	4	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	13	11		8			*	35	87.5%	12.5%	0.0%
大腸★	27	14		12			19	72	97.5%	2.5%	0.0%
肝★				*		*	6	8			
膵				5			14	19			
肺★	41			35			38	114	95.1%	4.9%	0.0%
皮膚	42						*	43	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★				13	17		*	33			
子宮頸部								0			
子宮体部							*	*			
前立腺	23			*	68		*	96	69.6%	26.1%	4.3%
膀胱	8	53		19		5	*	87	51.9%	48.1%	0.0%
脳脊髄							*	*			
甲状腺							*	*			
悪性血液疾患	*			21			28	50	100.0%	0.0%	0.0%
計	158	81	0	117	85	6	123	570			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の 主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUIC08版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■ 手術 ■ 化学療法 ■ 内視鏡 ■ 放射線療法 ■ 内分泌療法 ■ その他治療



Ⅱ 施設別統計 くまもと県北病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名	社会医療法人黎明会 宇城総合病院
-------	------------------

○基本情報

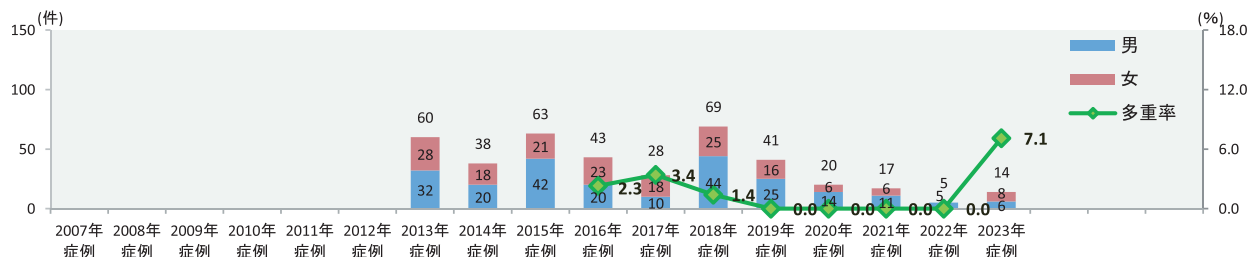
【令和5(2023)年12月現在】

所在地	宇城市松橋町久具691		
病床数	204床(一般200床;感染症4床)		
追加情報			
診療科数	17科		
がん診療連携拠点病院指定日	—	がん登録開始基準日	2010.04.01
平均在院日数	29.2(日)		
入院患者数	1,721(人)		
外来患者延数	43,826(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	×
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数(ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること 204(件)		
院内がん登録件数	14(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 0 / 他 2(名)		

○医療機関からのコメント

- 症例件数
当院における2023年の症例件数は14件(前年症例:5件)となった。
- 医療圏
宇城地区 100%
○宇城地区の内訳:宇城市 100.0%
- 平均年齢・男女比
平均年齢:73.5歳(男性平均:74.0歳 女性:73.1歳)
○男性 1位:80歳代 2位:60歳代
○女性 1位:80歳代 2位:60～70歳代
- 主要部位別割合
大腸:35.7%(前年:40%)、胃:35.7%(前年:40%)、乳房:14.3%(前年:該当なし)
- 特徴
2023年は当院での手術等も徐々に対応可能となり、登録対象者が昨年と比較して、増加傾向にある。しかし、2022年に当院で手術などの治療困難であったことが影響しているのか、対象者の医療圏も宇城市が100%となっている。
来院経路としてはがん検診・健診等 21.4%(前年:40.0%)、他疾患経過観察中 28.6%(前年:60.0%)、その他 42.9%(前年:該当なし)となっている。

診断年別登録件数(参考)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

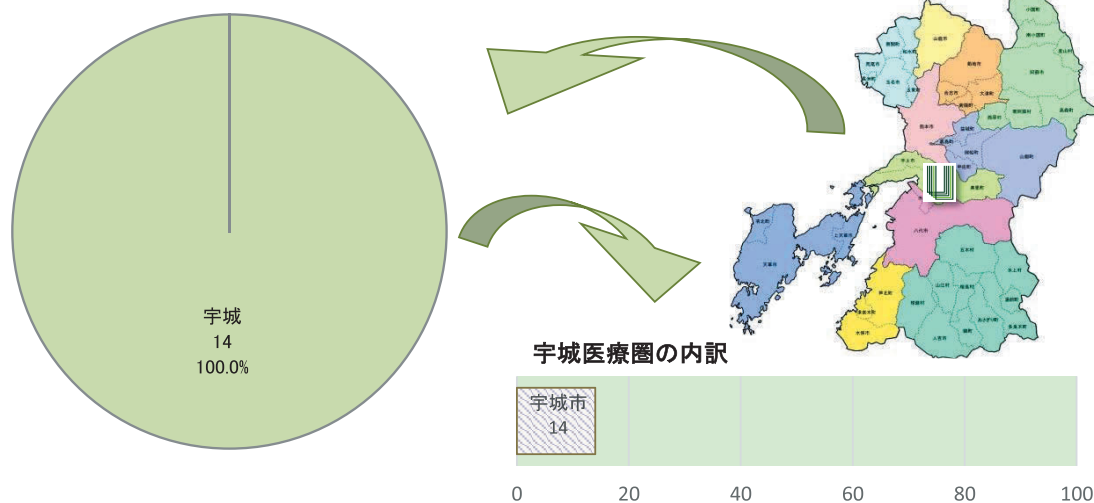
Ⅱ 施設別統計

宇城総合病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

宇城総合病院 (14件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示

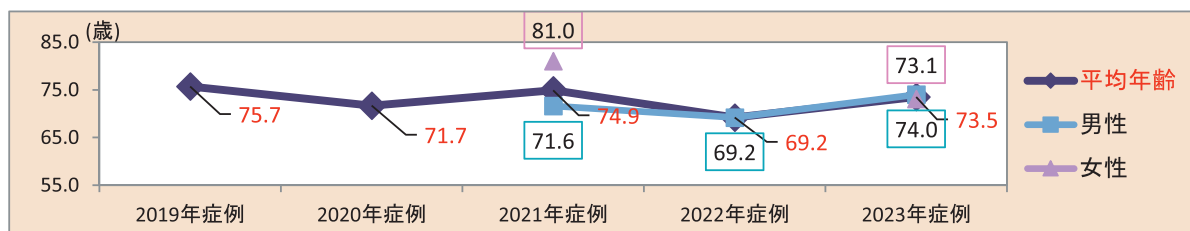


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)			有明			阿蘇			球磨		
熊・上 (上益城)			鹿本			八代			天草		
宇城	胃	5	菊池			芦北			県外等		
	大腸	5									
	該当部位	各*									

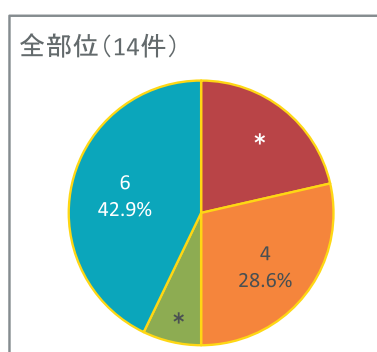
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

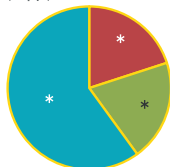


③ 発見経緯 5大部位の内訳

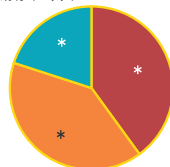
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



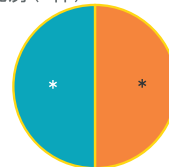
胃(5件)



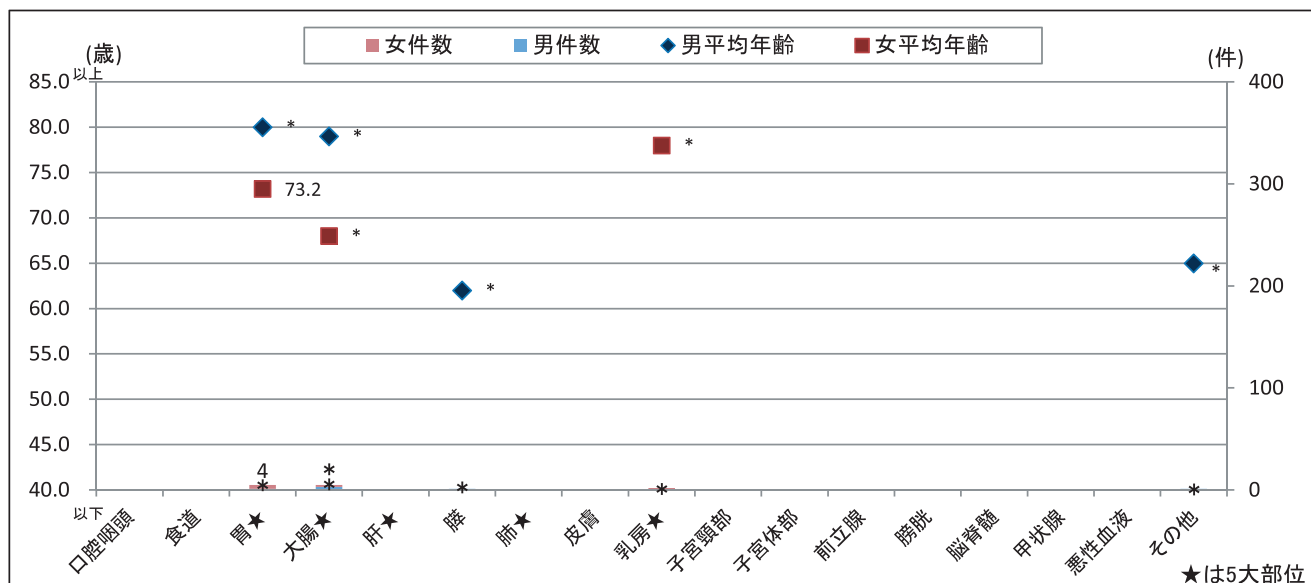
大腸(5件)



乳房(*件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

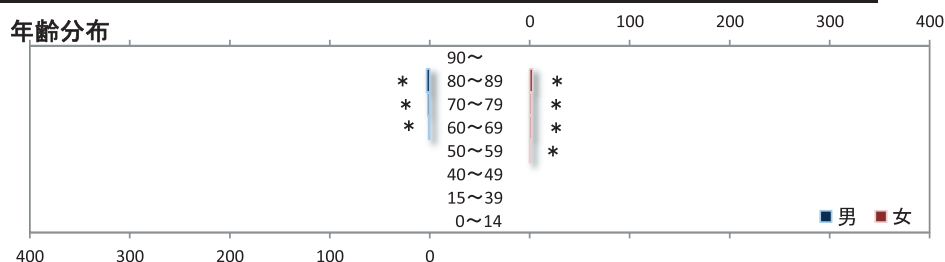


男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
大腸	*								
胃	*								
脾	*								
その他	*								
口腔咽頭									
食道									
肝									
肺									
皮膚		該当部位	*	該当部位	各*	該当部位	各*		
乳房									
子宮頸部									
子宮体部									
前立腺									
膀胱									
脳脊髄		計	*	計	*	計	*		
甲状腺									
悪性血液									
計	6								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
胃	4							該当部位	*
大腸	*								
乳房	*								
口腔咽頭									
食道									
肝									
脾								計	*
肺									
皮膚		該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*		
子宮頸部									
子宮体部									
前立腺									
膀胱									
脳脊髄		計	*	計	*	計	*		
甲状腺									
悪性血液									
その他									
計	8								

年齢分布



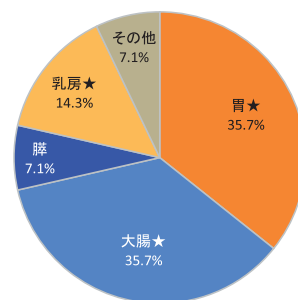
Ⅱ 施設別統計

宇城総合病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭					
食道	*		*	*	
胃★	7	8	5	*	5
大腸★	14	7	6	*	5
肝★	*		*		
膵	4				*
肺★	*		*		
皮膚					
乳房★	*	*	*		*
子宮頸部					
子宮体部					
前立腺	*	*	*		
膀胱		*	*		
脳脊髄					
甲状腺					
悪性血液疾患					
その他	*	*			*
計	41	20	17	5	14

2023年診断症例 主要部位別割合



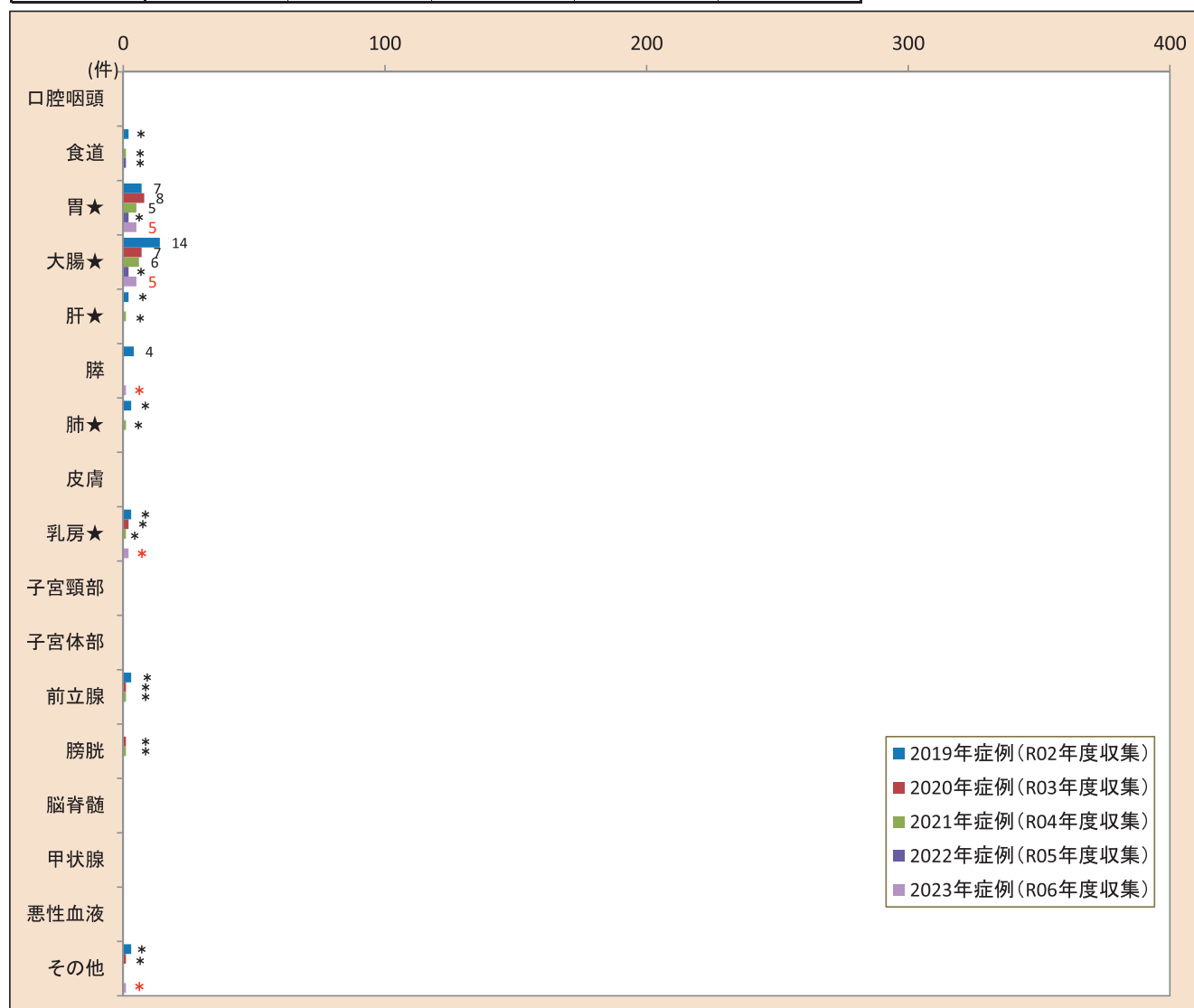
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

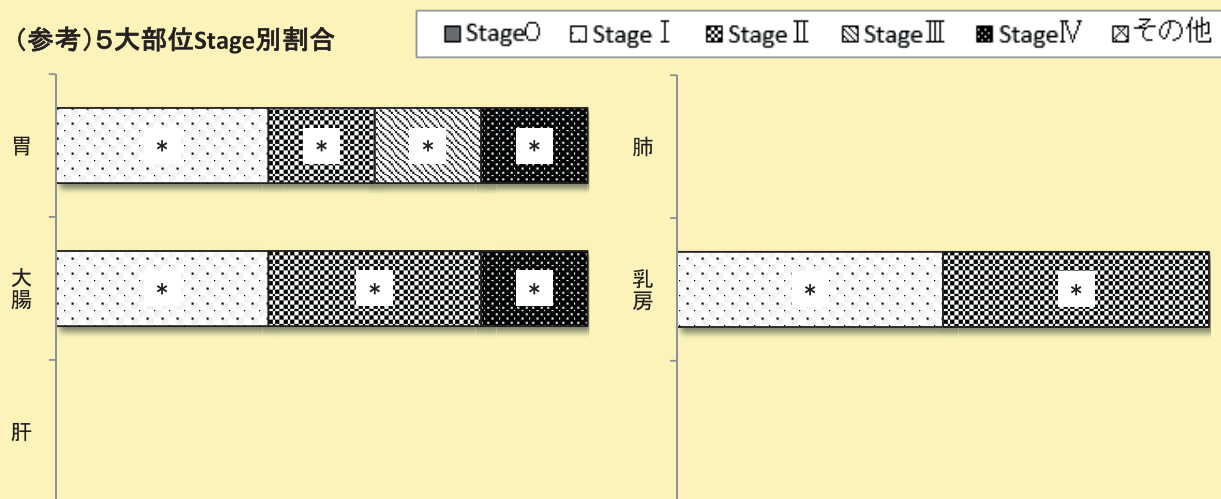
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



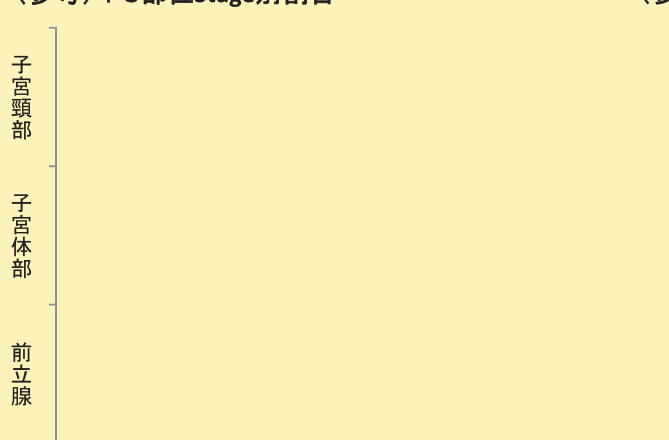
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	0						
食道	0						
胃★	5		*	*	*	*	
大腸★	5		*	*		*	
肝★	0						
膵	*					*	
肺★	0						
皮膚	0						
乳房★	*		*	*			
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	0						
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	0						
その他	*						*
計	14	0	5	4	*	*	*

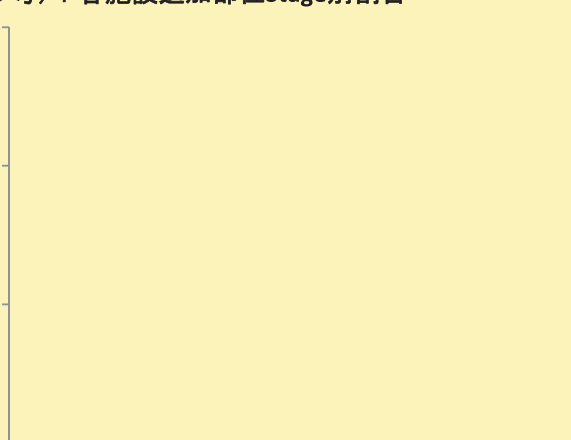
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



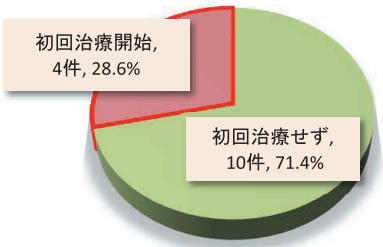
(参考)+各施設追加部位Stage別割合



- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

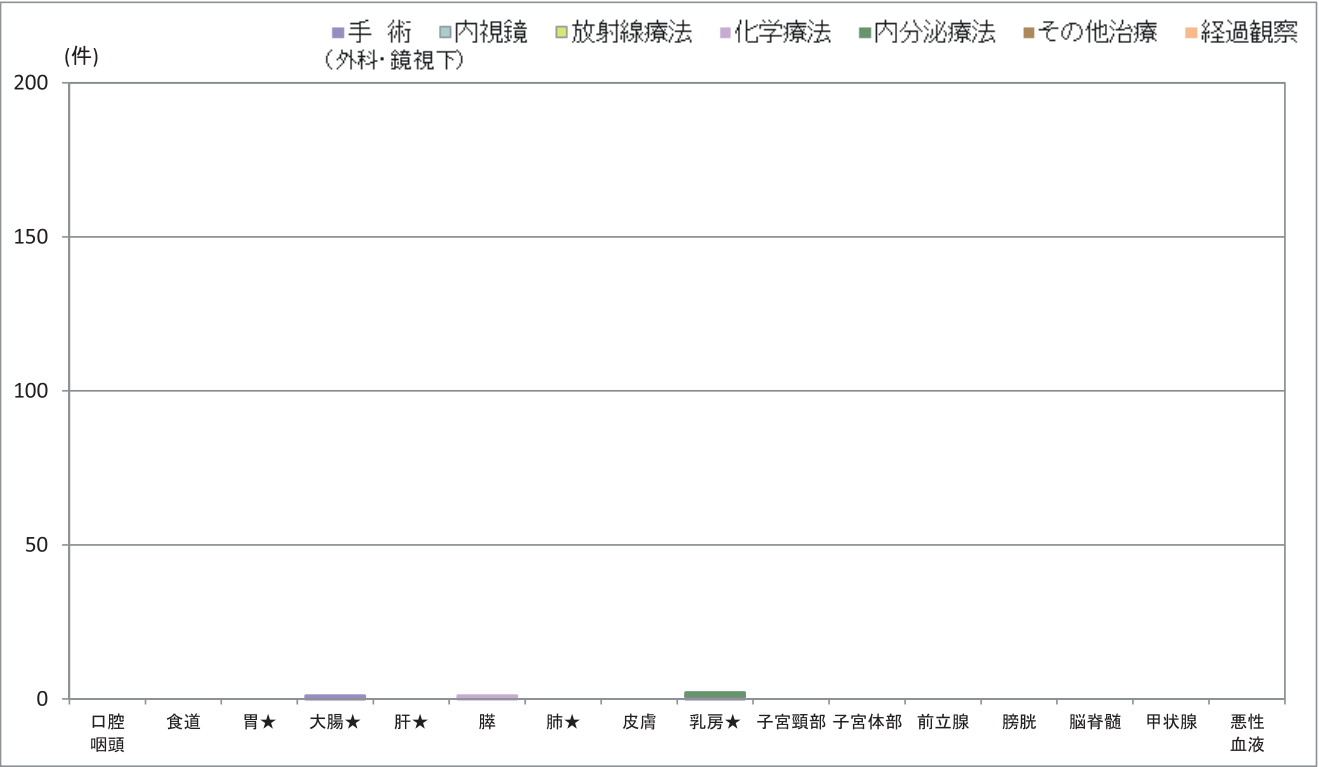
治療施設	件数
1初回治療せず	10
2初回治療開始	4
3初回治療継続	
4初回治療終了後	
8その他	
計	14



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として
自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の
16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の
縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、
表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示
したもの

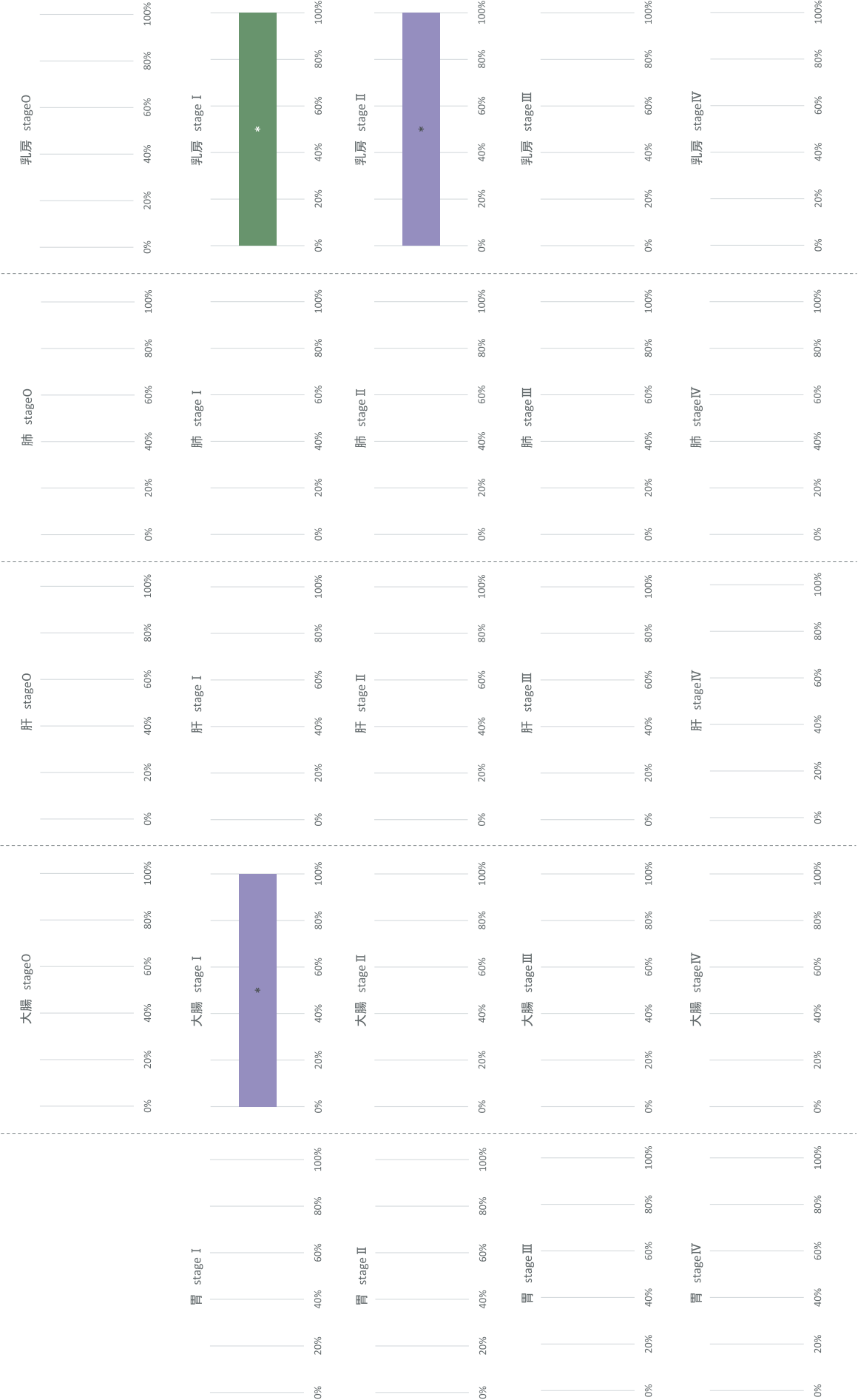
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・ 手術 鏡視下)	内 視 鏡	放 射 線 療 法	化 学 療 法	内 分 泌 療 法	そ の 他 治 療	経 過 観 察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺 残 な し (原 発 巣 切 除)	遺 残 あ り (原 発 巣 残 転 移 巣 の み 切 除 な ど)	不 明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★								0			
大腸★	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
肝★								0			
膵				*				*			
肺★								0			
皮膚								0			
乳房★	*				*			*	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	*	0	0	*	*	0	0	4			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



Ⅱ 施設別統計
宇城総合病院

熊本県院内がん登録データに係る統計 — 2023年診断症例 —

医療機関名		球磨郡公立多良木病院
-------	---	------------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

所在地	球磨郡多良木町大字多良木4210		
病床数	183床(一般183床)		
追加情報	地域包括ケア病床51床		
診療科数	16科		
がん診療連携拠点病院指定日	—	がん登録開始基準日	2014.04.01
平均在院日数	15.9(日)		
入院患者数	2,343(人)		
外来患者延数	99,667(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	×
該当年の対象候補調査件数(ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること		3,527(件)
院内がん登録件数	183(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

2023年診断症例として183件登録し、2022年診断症例より10件減でした。

【登録件数】 2023年登録件数 183件

【性別・年齢】 183件の内訳 男性105件、女性78件。男性の平均年齢は76.7歳、女性の平均年齢は80.6歳でした。

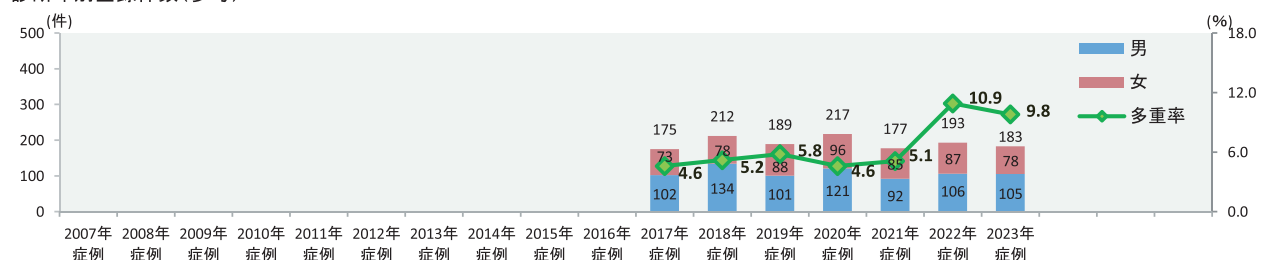
【発見経路】 自主的に受診されたもの70.5%、がん検診・人間ドックで発見されたもの13.7%。 昨年は健診後が16.6%でしたので少し減少しています。

【部位】 男性1位-前立腺、2位-大腸、3位-胃／女性1位-大腸、2位-乳房、3位-皮膚。 昨年男性は前立腺・大腸・胃、女性では乳房・皮膚・肺でした。手術件数が昨年30件でしたが、2023年は34件(鏡視下手術14件)となり、当院で初回治療を行われる割合が昨年55.4%から、2023年57.3%と増加しています。

当院には総合健診センターも併設していますので、総合健診センターと連携し早期発見・早期治療に努めます。さらに、がんの一次予防・二次予防に関する啓蒙活動も推進します。

当地域は高齢者率が高いため、多職種によるチーム医療を行い、行政や地域とも連携を取りながら医療・介護連携にも力を入れていきます。また、遠隔地に居住する家族との連携も大切にして、患者さまに最善で最適ながん医療を実践します。

診断年別登録件数(参考)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

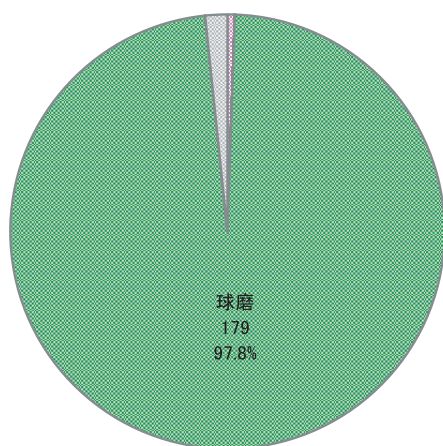
Ⅱ 施設別統計

多良木病院

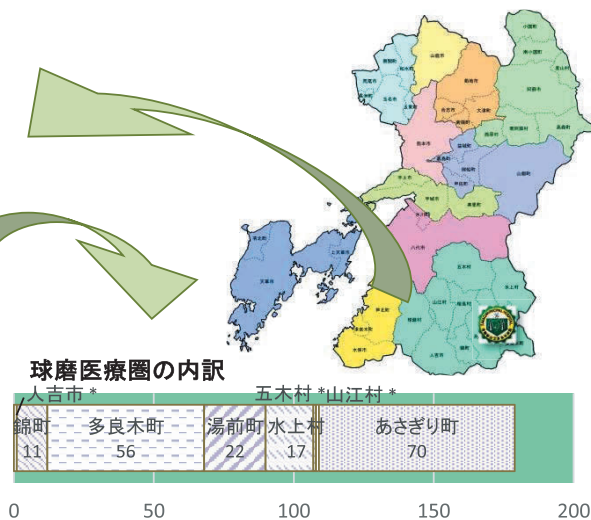
① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

多良木病院 (183件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示



※ 熊・上(熊本)、県外等は1~3件

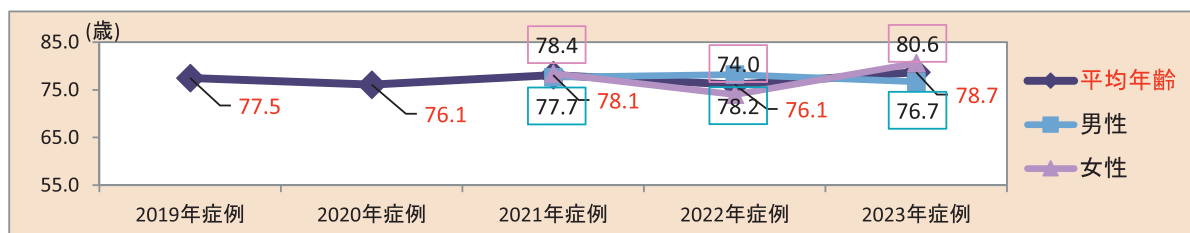


◇ 医療圏別上位5部位

医療圏	該当部位		件数
	熊・上(熊本)	有明	
	熊・上(上益城)	鹿本	
	宇城	菊池	
	阿蘇	八代	
医療圏	該当部位		件数
	球磨	大腸	
	天草	前立腺	
	球磨	胃	
	球磨	その他	
医療圏	該当部位		件数
	各13	各13	
	各13	各13	
	各13	各13	
	各13	各13	

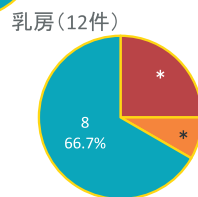
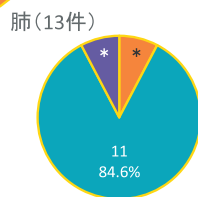
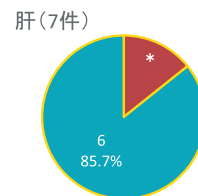
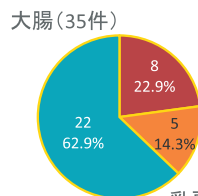
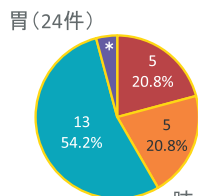
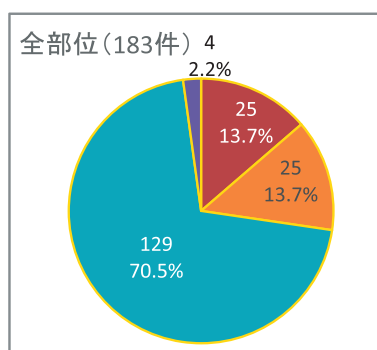
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

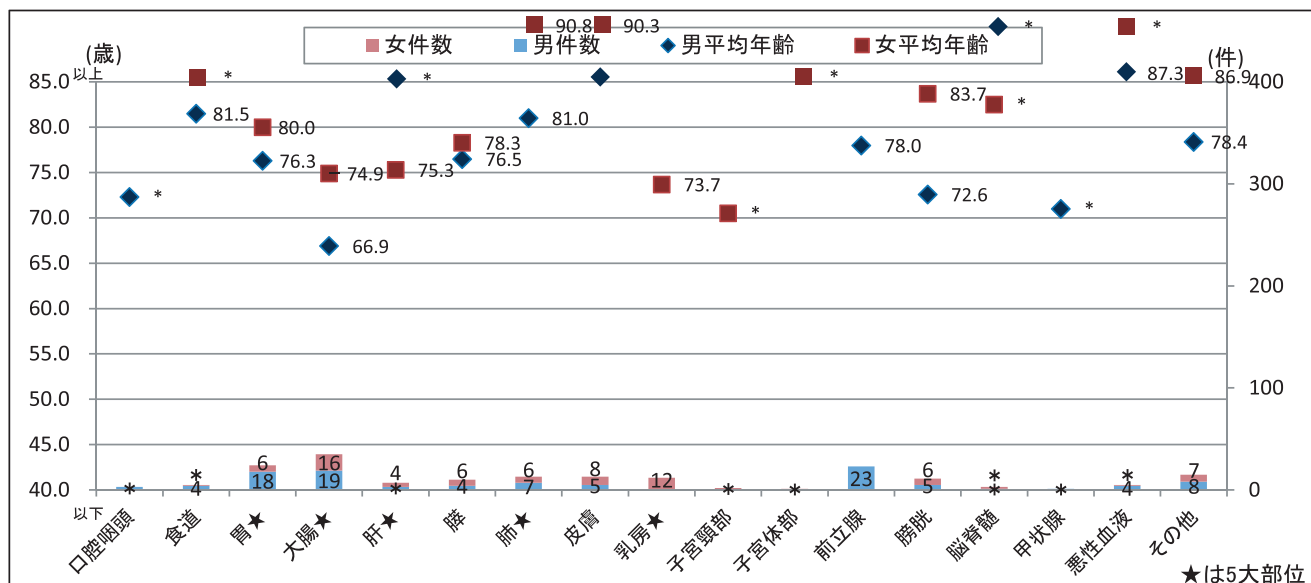


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

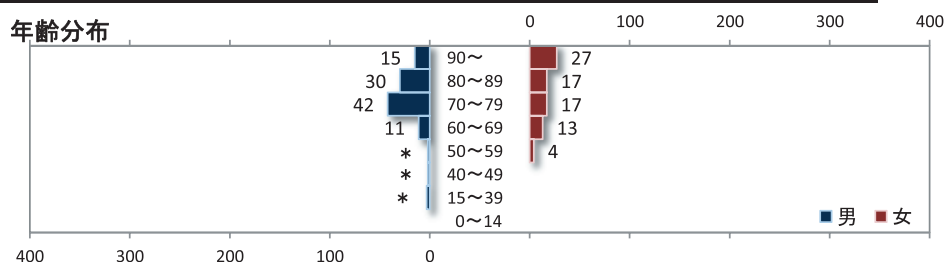


男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
前立腺	23			該当部位	各*	該当部位	*	該当部位	各*
大腸	19								
胃	18								
その他	8								
肺	7								
皮膚	5								
膀胱	5			計	*	計	*	計	*
食道	4								
膵	4	該当部位	各*	前立腺	13	前立腺	6	胃	4
悪性血液	4			胃	7	該当部位	各*	該当部位	各*
口腔咽頭	*			大腸	7				
肝	*			該当部位	各*				
脳脊髄	*								
甲状腺	*								
乳房		計	11	計	42	計	30	計	15
子宮頸部									
子宮体部									
計	105								



女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
大腸	16							該当部位	各*
乳房	12								
皮膚	8								
その他	7								
胃	6								
膵	6								
肺	6							計	4
膀胱	6								
肝	4	大腸	6	該当部位	各*	大腸	6	皮膚	6
子宮頸部	*	乳房	5			該当部位	各*	肺	5
脳脊髄	*	該当部位	各*					膀胱	4
食道	*							その他	4
子宮体部	*							該当部位	各*
悪性血液	*	計	13	計	17	計	17	計	27
口腔咽頭									
前立腺									
甲状腺									
計	78								

年齢分布



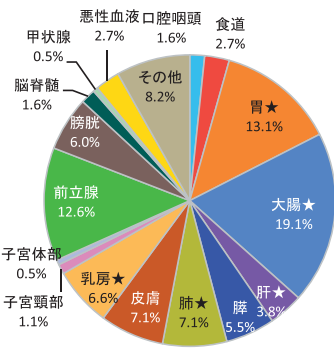
Ⅱ 施設別統計

多良木病院

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	4	6	*	*	*
食道	7	4		6	5
胃★	22	19	17	22	24
大腸★	22	43	29	33	35
肝★	13	11	12	9	7
膵	8	13	14	15	10
肺★	19	24	20	15	13
皮膚	15	16	10	19	13
乳房★	7	10	8	9	12
子宮頸部	6	10	5	4	*
子宮体部	4	4	*	*	*
前立腺	19	14	12	16	23
膀胱	7	12	11	8	11
脳脊髄	*	*	*	*	*
甲状腺	*	*	*	*	*
悪性血液疾患	5	7	4	6	5
その他	25	20	26	22	15
計	189	217	177	193	183

2023年診断症例 主要部位別割合



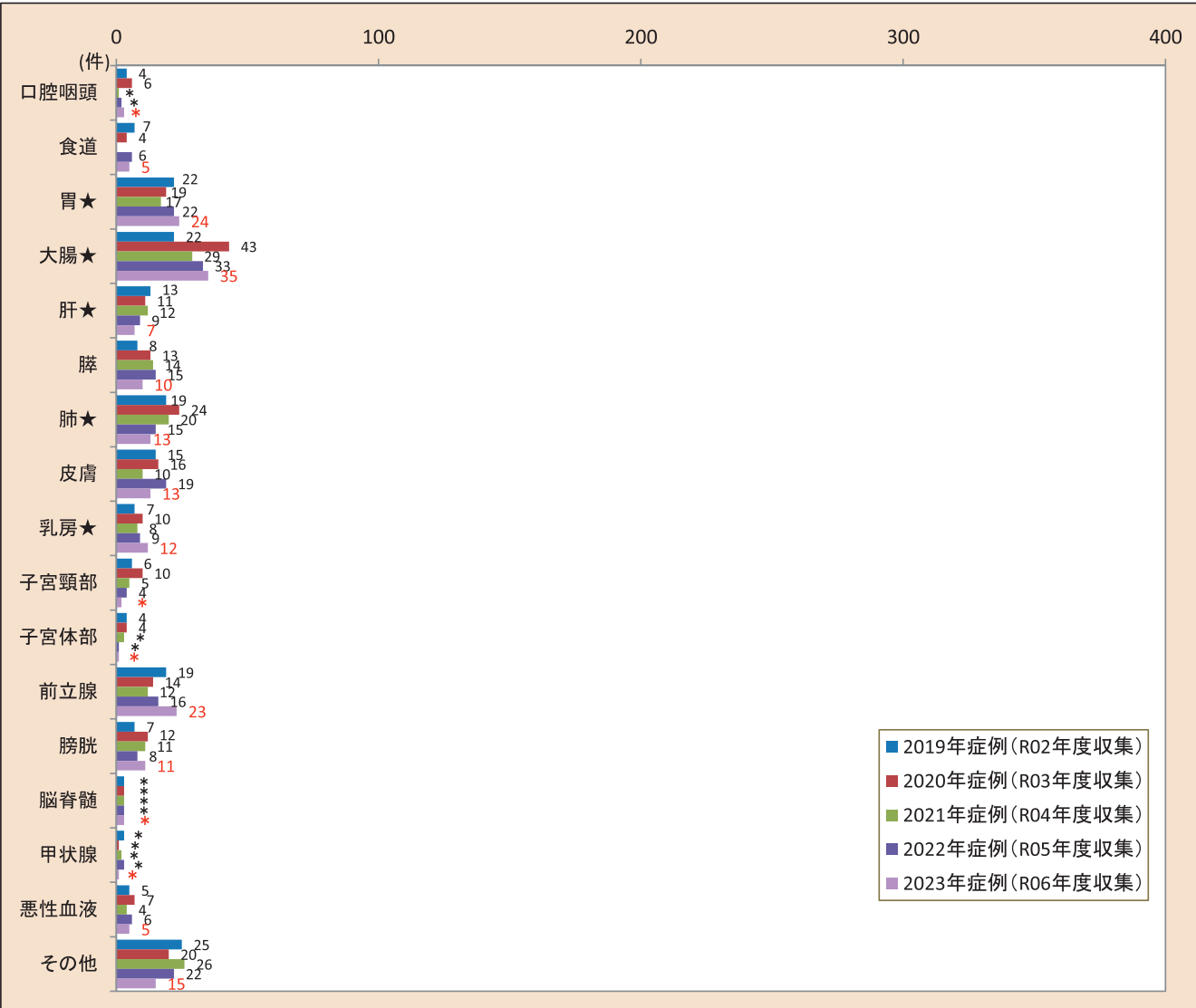
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

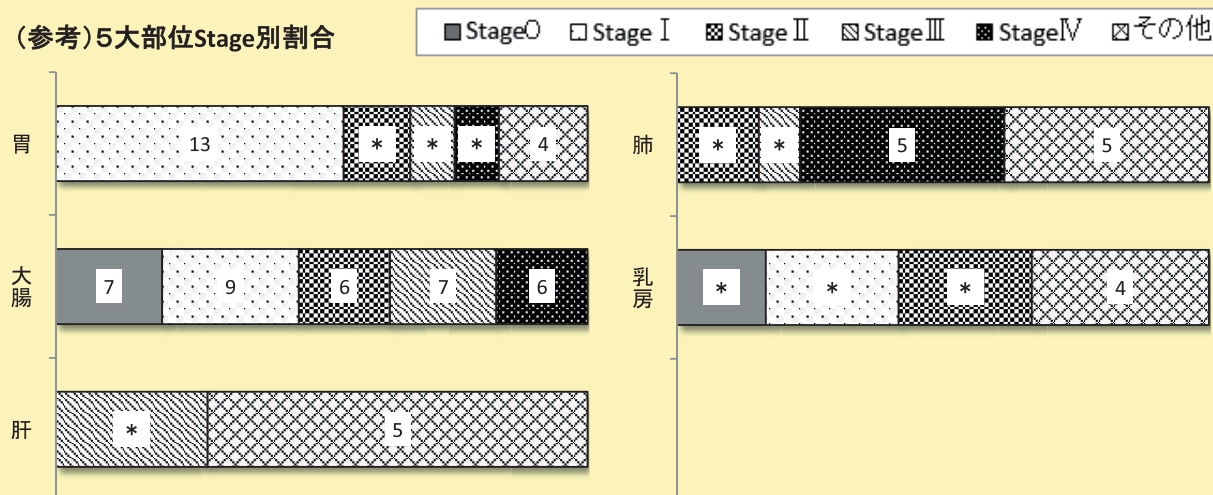
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



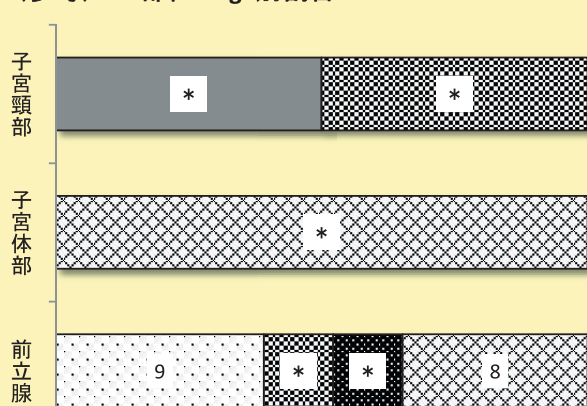
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	*				*		*
食道	5	*		*		*	*
胃★	24		13	*	*	*	4
大腸★	35	7	9	6	7	6	
肝★	7				*		5
膵	10		*	*	*	*	
肺★	13			*	*	5	5
皮膚	13	*	8	*	*		
乳房★	12	*	*	*			4
子宮頸部	*	*		*			
子宮体部	*						*
前立腺	23		9	*		*	8
膀胱	11	4	5	*			*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*			*			
悪性血液疾患	5			*			4
その他	15		6	*	*	*	*
計	183	17	54	27	21	23	41

(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合

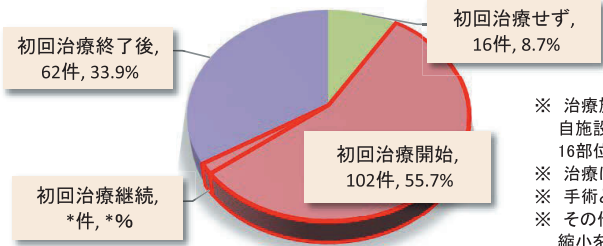
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

多良木病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

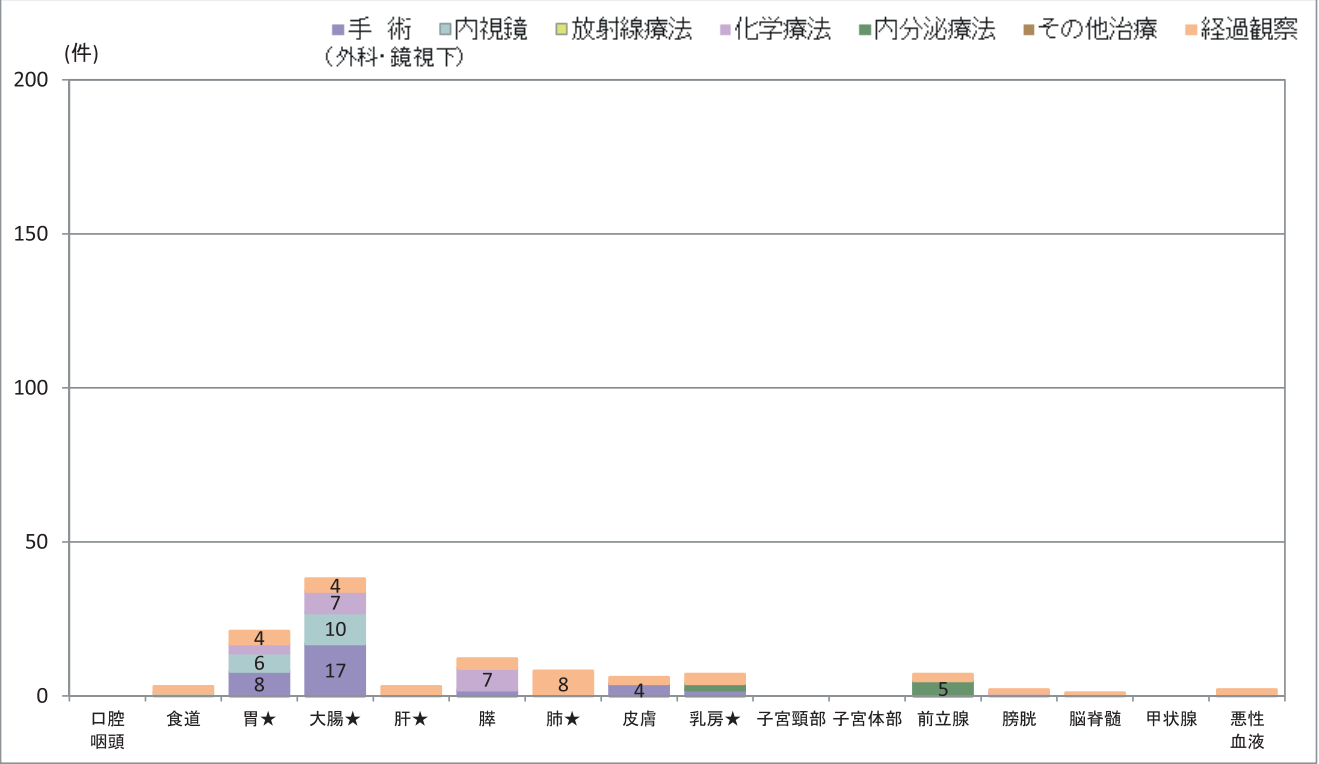
治療施設	件数
1初回治療せず	16
2初回治療開始	102
3初回治療継続	*
4初回治療終了後	62
8その他	
計	183



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として
自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の
16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の
縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、
表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示
したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

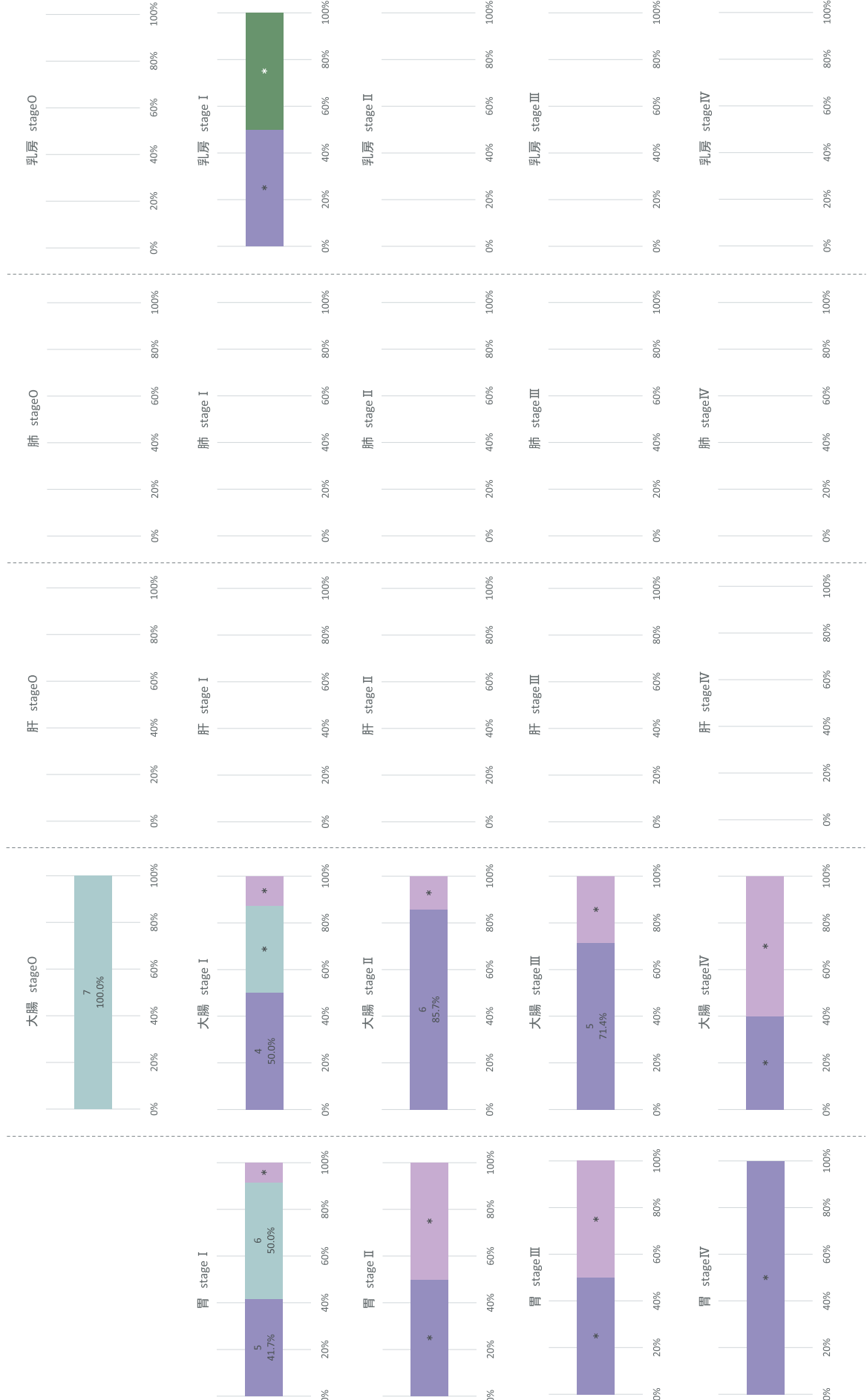
	(外科・ 手術 鏡視下)	内 視 鏡	放 射 線 療 法	化 学 療 法	内 分 泌 療 法	そ の 他 治 療	経 過 観 察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺 残 な し (原 発 巣 切 除)	遺 残 あ り (原 発 巣 残 転 移 巣 の み 切 除 等)	不 明
口腔咽頭								0			
食道		*					*	*	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	8	6		*			4	21	92.9%	7.1%	0.0%
大腸★	17	10		7			4	38	96.3%	3.7%	0.0%
肝★							*	*			
膵	*			7			*	12	100.0%	0.0%	0.0%
肺★							8	8			
皮膚	4						*	6	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	*				*		*	7	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺					5		*	7			
膀胱				*			*	*			
脳脊髄							*	*			
甲状腺								0			
悪性血液疾患							*	*			
計	33	17	0	18	7	0	35	110			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 分類はUIC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■化学療法 ■内視鏡 ■放射線療法 ■内分泌療法 ■その他治療



Ⅱ 施設別統計
多良木病院

熊本県院内がん登録データに係る統計

－2023 年診断症例－

編集・発行 熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会
〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
電話：096-344-2111（代表）

令和7年3月